

19. ボルト・ナット類
屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの
●ステンレス ●溶融亜鉛メッキ仕上げ

20. ケーブル及び配線
(1)表示
下記の箇所、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。
① ケーブルがスラブを貫通する部分
② ケーブル分岐部分
③ 変電所内のケーブル引出し部分
④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分
⑤ 屋内の直線部分は、30mごと
⑥ プルボックス内
⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、50mごと
⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分
⑨ マンホール及びハンドホールごと
(2)ケーブル余長
1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数
●2箇所 ●4箇所 ●()箇所
2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数
●2箇所 ●4箇所 ●()箇所
3) 耐候処置
高圧引下げケーブルの屋外露出部には高圧絶縁テープを施す。

21. 配線器具の設置
(1)特殊コンセントはプラグ付とする。
(2)電源の種類により色を区別する。
(3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。
(4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。
(5)カバープレートは、原則として新金属製とする。
なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。
(6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。

22. 照明器具の設置
(1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。
(2)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。
(3)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。

23. 照明改修の際の測定
対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。
測定箇所(****) 測定回数 前後各(*)回

24. 分電盤、制御盤、キュービクル等
図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。

25. 受変電設備、発電設備の設置場所
(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。
(2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。
(3)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。
(4)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。

26. 発電設備の燃料配管
(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。
(2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。

27. 非常放送設備のスピーカ設置
(1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は10m以内とする。
(2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離15m以内とする。

28. 土工事
(1)埋戻しの材料及び工法
●B種 (材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め)
●その他 ()
ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。
(2)特記なき地中埋設配管の深さは、G L-600mm以上とする。
(3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。
(4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。

29. ハンドホール、マンホール
高さ900mmを超えるものにあつては、タラップ付とする。
なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。

30. 地中配線路の表示杭
下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。
① 建物への引込口及び送出口付近
② マンホール・ハンドホール付近
③ 地中線路の曲折箇所
④ 道路横断箇所
⑤ 直線部分では30m程度に1個（30mに満たない部分はその間に1個）

3. 機器仕様
下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
なお、詳細については図面による。

【電力設備】

1. 電灯設備
(1)既設等との取り合い
(2)機器類
(3)一般照明器具
(4)照明制御器
(5)外灯 (単独設置)
(6)コンセント等
(7)分電盤、制御盤等

2. 動力設備
(1)既設との取り合い
(2)機器類
(3)制御盤等
(4)負荷設備への接続
(5)電動機等の接地
(6)分電盤、制御盤等

3. 雷保護設備
(1)避雷針
(2)雷サージ保護
(3)電源回路保護
(4)通信回線保護
(5)接地設備
(1)接地工事
(2)接地抵抗測定
(3)接地極埋設機

●無し ●盤改造 ●配線接続 ●電源供給 ●その他 ()

●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯 (単独設置) ●コンセント等
●分電盤、制御盤等 ●その他 ()
1) 形式 ●公共型 ●一般型
2) 灯具 ●LED灯 ●その他 ()
3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防炎用
4) 環境 ●普通地域 ●損害地域
5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。
1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ ●その他 ()
2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他 ()
3) 制御方式 ●有線 ●無線通信
1) 照明用ポール
①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他 ()
②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。
2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
3) 灯具 ●LED灯 ●その他 ()
4) 電源 ●商用電源(60Hz) (●200V ●100V) ●その他 ()
5) 制御 ●E Eスイッチ ●タイマ ●その他 ()
6) 接地 ●単独接地 (●本工事 ●別途工事 ●既設利用) ●共用 ●その他 ()
●一般型 ●防水型
●ハイソックアクト (●固定型 ●上下動型(アップ式を含む))
1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。
3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。

●専用接地 ●金属管接地 (7.5kW以下)

1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載する。
2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。
3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。

1) 受雷部 ●突針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物
2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造体利用
3) 接地極 ●接地極埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極
4) 接地抵抗の測定
①測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ●その他 ()
②測定回数 ●3回 ●()回
5) 接地極埋設機を設置する。

1) 耐雷トランス ●設置 (●単相用 ●動力用) ●設置しない
2) SPD ●低圧用 (●クラスI ●クラスII) ●通信用 (●カテゴリ2 ●カテゴリD1)
3) SPDの性能仕様は別図による
1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。
2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。
電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。

1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種
2) 施工 ●各種単独 ●共有有り ()
1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法
2) 測定回数 ●3回 ●()回
接地には接地極埋設機を施工し、接地極の位置がわかるようにする。

【受変電設備】

5. 受変電設備
(1)既設との取り合い
(2)機器類
(3)盤類
(4)交流遮断器
(5)断路器
(6)負荷開閉器
(7)変圧器
(8)進相コンデンサ
(9)直列リアクトル
(10)キュービクル等
(11)基礎
(12)配線ピット及び蓋
(13)設置場所
【電力貯蔵設備】
6. 直流電源設備
(1)用途
(2)容量
(3)整流装置
(4)蓄電池
7. 交流無停電電源設備
(1)用途
(2)容量
(3)給電方式
(4)整流装置等
(5)蓄電池
(6)性能
8. 電力平準化用蓄電設備
9. 分散電源エネルギーマネージメントシステム

●無し ●改造 (機器取替、追加等を含む) ●増設 ●配線接続 ●その他 ()
●盤類 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●電磁接触器 ●その他 ()
1) 形式 ●キュービクル式配電盤 (JIS C 4620) ●高圧スイッチギア (JEM 1425) (●CX ●CW ●PW ●MW) ●開放形配電盤 ●その他 ()
2) 中通路 ●有 ●無し
3) 特記事項 ()
真空遮断器 (VCB)
①操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作
②引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し
1) 形式 ●3極単投 ●単極単投 (避雷器用に限る)
2) 操作方式 ●遠方手動操作 ●フック棒操作 (避雷器用に限る)
1) 形式 ●配電盤用 ●引込柱用 ●地中引込用
2) 配電盤用
①操作方式 ●フック棒操作 ●遠方手動操作 ●電動操作
②限流ヒューズ ●有 (ストライカ付) ●無し
③引外し装置 ●ストライカ引外し ●電圧引外し ●無し
①本体及び制御箱の材質 ●ステンレス製 ●鋼製
②保護装置 ●過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
③避雷器 ●内蔵 ●無し
4) 地中引込用 保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
1) 形式 ●油入 ●モールド
2) 設置方式 ●屋外型 ●屋内型
3) ダイアル温度計 ●有 (●最大値指針有 ●最大値指針無) ●無し
油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする
1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド
2) その他 ①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ②放電装置を附属又は内蔵すること
1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド
2) 容量 ●6% ●13%
3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること
1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。
3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
●本工事 (●21N/mm2 ●18N/mm2) ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
1) 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
2) ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。
●屋内 ●屋外 (●地上 ●屋上)

●非常用照明器具電源 ●受変電設備制御電源 ●その他 ()
() kVA
1) 出力電圧 直流 (●12V ●24V ●48V ●()V)
2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。
1) 種類 ●鉛蓄電池 (●HS ●MSE ●長寿命形MSE) ●アルカリ蓄電池 (●AH ●AMH) ●その他 ()
2) 最低蓄電池温度 ●5℃ ●15℃ ●25℃ ●-5℃ ●()℃
() kVA
() ●常時インバータ給電方式 ●ラインインタラクティブ方式 ●常時商用給電方式 ●その他 ()
整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。
1) 種類 ●鉛蓄電池 (●HS ●MSE ●長寿命形MSE) ●アルカリ蓄電池 (●AH ●AMH) ●その他 ()
2) 最低蓄電池温度 ●5℃ ●15℃ ●25℃ ●-5℃ ●()℃
停電補償時間 ()
() ●仕様詳細は別図による。
●仕様詳細は別図による。

【発電設備】

10. 燃料式発電設備
(1)用途
(2)設置場所
(3)機器
(4)発電装置
(5)燃料
(6)燃料槽
(7)給油ボックス
(8)燃料移送ポンプ
(9)基礎
11. その他発電設備
【通信・情報設備】
12. 構内情報通信設備
13. 構内交換設備
(1)機器
(2)交換装置
(3)電話機
(4)端子盤類
(5)アウトレット
(15) 映像音響設備

1) 用途 ●防災電源専用 (防災認定品) ●防災電源兼用 (防災認定品) ●一般用 ●非常用
2) 区分 ●屋内 (●普通地域 ●損害地域) ●屋外 (●普通地域 ●損害地域)
●発電装置 ●燃料槽 ●給油ボックス ●燃料移送ポンプ ●その他 ()
1) 種類 ●ディーゼル発電装置 ●ガスエンジン発電装置 ●ガスタービン発電装置 ●簡易形 ●オープン式 ●キュービクル式 (●85dB(A)/1m ●75dB(A)/1m)
2) 形式 ●簡易形 ●オープン式 ●キュービクル式 (●10秒以内 ●40秒以内) ●()秒以内
4) 連続運転時間 ●2時間以上 ●10時間以上 ●24時間以上 ●72時間以上 ●その他 ()
5) 発電機
①電気方式 ●三相3線式 (●6.6kV ●200V ●()V) ●単相3線式 (200/100V) ●単相2線式 (200V ●100V ●()V)
②定格周波数 60Hz
③定格出力 () kVA
6) 原動機
①定格出力 ●() kW 以上 ●() ps 以上
②冷却方式 ●ラジエータ方式 ●その他 ()
1) 種類 ●軽油 ●灯油 ●A重油 ●その他 ()
2) 引渡時燃料 ●満タン ●指定なし ●その他 ()
1) 形式及び容量 ●パッケージ搭載タンク () リットル ●燃料小出槽 () リットル ●主燃料槽 () リットル ●屋外型 (ステンレス製 ●鋼製) ●屋内型 (ステンレス製 ●鋼製)
2) 燃料小出槽
3) 主燃料槽
①設置場所 ●屋内 ●屋外(地上) ●地下埋設 (●タンク室内埋設 ●直埋設) ●二重殻タンク ●一重殻タンク ●その他 ()
③設置工事 ●本工事 ●別途工事 ●その他 ()
④タンク室工事 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
1) 材質 ●ステンレス製 ●鋼製 ●その他 ()
2) 油量指示計 ●有 ●無し
1) 電動ポンプ ●歯車ポンプ ●油中ポンプ
2) 手動ポンプ (ウイングポンプ) ●有 ●無し
3) 電動ポンプ水没防止カバー ●有 ●無し
●本工事 (●21N/mm2 ●18N/mm2) ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
●()の仕様詳細は別図による。
●仕様詳細は別図による。
13. 構内交換設備
(1)機器
(2)交換装置
(3)電話機
(4)端子盤類
(5)アウトレット
14. 情報表示設備
(1)設備
(2)呼び出し装置
(3)出退表示装置
(4)時刻表示装置
(5)警報等表示装置

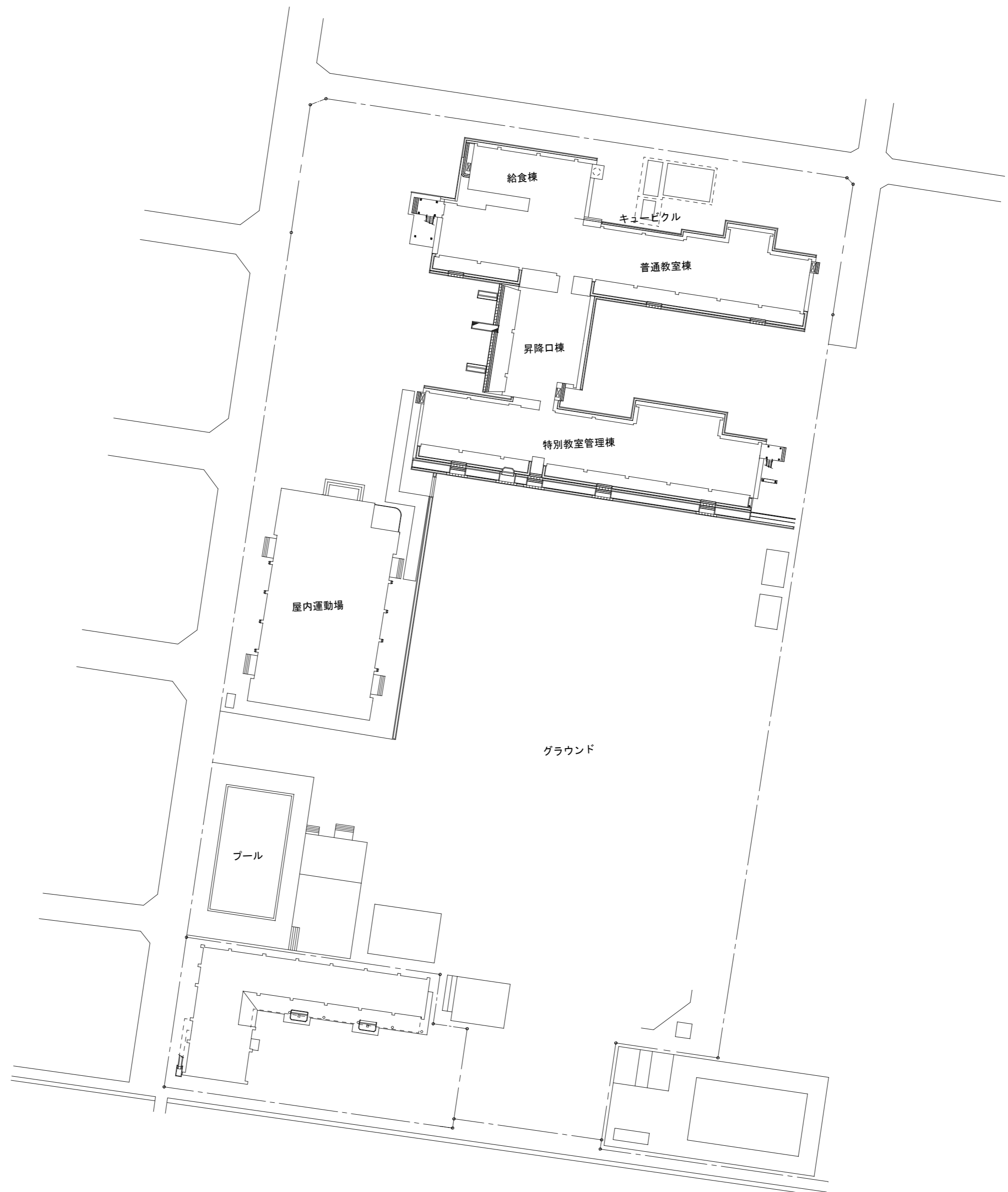
●交換装置 ●電話機 ●端子盤類 ●アウトレット ●その他 ()
1) 種別 ●構内交換装置 (●デジタルPBX ●IP-PBX ●VoIPサーバ) ●ボタン電話装置 ●その他 ()
2) 局線応答方式 ●局線中継台 ●分散中継台 ●ダイヤルイン ●ダイレクトインダイヤル ●ダイレクトインライン ●その他 ()
3) 保安用接地 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
4) 本配電盤(MDF) ●自立フレーム (●片面形 ●両面形) ●交換機一体型 ●壁掛型 ●その他 ()
5) 電源装置 ①形式 ●別置型 ●一体形 ●その他 () ②停電補償時間 ●30分以上 ●()以上
●一般電話機 ●多機能電話機 ●IP電話機 ●デジタルコードレス電話機 (PHS方式) ●IP-PBX電話機 (無線LAN方式) ●その他 ()
1) 端子盤 ●中継端子盤 (IDF) ●室内端子盤
2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子スペースを見込む。
●ローテンションアウトレット (●固定型 ●上下動型(アップ式を含む)) ●壁コンセント ●その他 ()
●呼び出し装置 ●出退表示装置 ●時刻表示装置 ●警報等表示装置
仕様詳細は別図による。
(2)呼び出し装置 仕様詳細は別図による。
(3)出退表示装置 仕様詳細は別図による。
(4)時刻表示装置 仕様詳細は別図による。
(5)警報等表示装置
1) 機器 ●表示盤 ●検出装臈 ●その他 ()
2) 表示盤 ①表示方式 ●その他 () ②施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
3) 検出装臈 ①検出方式 ●電極 ●無電圧接点 ●その他 () ②施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()
4) 図面に特記明示がない場合、検出装臈への接続は本工事とする。
●仕様詳細は別図による。

16. 拡声設備	<ul style="list-style-type: none"> ●増幅器 ●付属機器 ●操作装置 ●スピーカー ●その他 () ●非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用出力 () W
(2) 増幅器	出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形
(3) 付属機器	<ul style="list-style-type: none"> ・オーディオミキサー ●リモコンマイク ・電源制御器 ・録音再生装置 (・CD ・メモリアーディオ ・その他 ()) ・アナウンスレコーダ (・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ ・その他 ())
(4) 操作装置	<ul style="list-style-type: none"> ・有線マイクロホン ●無線マイクロホン (●電波式 (・アナログ ●デジタル) ・赤外線式) ・ラジオチューナー (・FM ・AM ・その他 ()) ・スピーカー切替装置 ・その他の機器 ()
(5) スピーカ	<ul style="list-style-type: none"> ●卓型 ●キャビネットラック型 ●壁掛型 ●その他 () ●非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用結線 ●1W ・3W ・ () W インピーダンス ●Lo形 ・Hi形 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他 ()
17. 誘導支援設備	<ul style="list-style-type: none"> ●音声誘導装置 ・インターホン ●トイレ等呼出装置
(1) 設備	<ul style="list-style-type: none"> 1) 検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他 () 2) 設置場所 ・屋外 (防雨形) ・屋内 3) 機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他 () 4) 機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他 () 5) 制御装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 () 6) 送信機 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () 7) 受信機 ・スピーカー式 ・イヤホン式 ・その他 ()
(3) インターホン	<ul style="list-style-type: none"> 1) 用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用 ・その他 (E・L・V用) 2) 機能 ・音声通話 ・映像モニタ 3) 通話網 ・親子式 ・相互式 ・複合式 4) 通話方式 ・同時通話式 ・交互通話式 ・その他 () 5) 機器 ・親機 ・子機 ・その他 () 6) 親機 <ul style="list-style-type: none"> ①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他 () ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 () 7) 子機 <ul style="list-style-type: none"> ①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他 () ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他 ()
(4) トイレ等呼出装置	<ul style="list-style-type: none"> 1) 用途 ●トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他 () 2) 機器 ●親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 () 3) 親機 ●壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 () 4) 呼出スイッチ ●押ボタン式 ●引紐式 ・その他 () 5) 警報装置 ●光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他 ()
18. テレビ共同受信設備	
(1) 受信放送	<ul style="list-style-type: none"> ・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他 ()
(2) 機器	<ul style="list-style-type: none"> ・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・その他 ()
(3) アンテナ	<ul style="list-style-type: none"> 1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他 () 2) マスト ・地上波用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・衛星用 (・壁面取付 ・自立 ・既設利用) ・その他 () 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
19. 監視カメラ設備	・仕様詳細は別図による。
20. 駐車場管制設備	・仕様詳細は別図による。
21. 防犯・入退室管理設備	・仕様詳細は別図による。
22. 自動火災報知設備	
(1) 機器	<ul style="list-style-type: none"> ●受信機 ・副受信機 (表示装置) ・中継器 ・発信機 ●感知器 ・光警報装置 ・その他 ()
(2) 受信機	<ul style="list-style-type: none"> 1) 型式 ●P型1級 ・P型2級 ・R型 2) 回線数 ●P-1 (40) 回線 P-2 (5) 回線 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 盤形式 ・複合盤組込 ・自立型 ●壁掛型 ・その他 ()
(3) 副受信機 (表示装置)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 盤形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他 () 2) 回線数 () 回線 () アドレス 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。
(4) 中継器	試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能
(5) 発信機	<ul style="list-style-type: none"> 1) 型式 ・アドレス付 ●P型1級 ・P型2級 2) 消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。
(6) 感知器	<ul style="list-style-type: none"> 3) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ●消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 () 1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 ●熱感知器 ●空気管式 ●煙感知器 ●炎感知器 3) 試験機能 ●自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ●一般 ●防水 ・防爆 ・防食 ・その他 ()
(7) 光警報装置	<ul style="list-style-type: none"> 1) 機器 ・警報装置 ・制御装置 ・同期装置 2) 警報装置 ・天井付 ・壁付 3) 同期装置 ・自走同期式 ・外部同期式

23. 自動閉鎖設備	<ul style="list-style-type: none"> ●連動制御器 ●感知器 ●自動閉鎖装置 ・自動閉鎖装置 ・その他 ()
(2) 連動制御器	<ul style="list-style-type: none"> 1) 制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー ・非常口等の扉 ・その他 () 2) 回線数 () 回線 (遠方復帰機構 () 回路) 3) 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 1) 型式 ・アドレス付 ●一般型 2) 種類 煙感知器 (・2種 ●3種) 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ●一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 ()
(4) 自動閉鎖装置	<ul style="list-style-type: none"> 1) 方式 ・磁気式 ●ラッチ式 ・その他 () 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ●電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
(5) 自動閉鎖装置	<ul style="list-style-type: none"> 1) 方式 ・電気錠 ・その他 () 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
24. 非常警報設備	<ul style="list-style-type: none"> ●非常放送装置 ・非常ベル
(1) 設備	<ul style="list-style-type: none"> 1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 ・増幅器 ・スピーカー ・非常用リモコンマイク ・その他 ()
(2) 非常放送装置	<ul style="list-style-type: none"> 3) 増幅器 <ul style="list-style-type: none"> ①出力 () W ②出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他 () ④機能 ・マイク放送 ・連動放送 (・自火報設備 ・緊急地震速報設備) ・その他 () ⑤用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 4) スピーカ <ul style="list-style-type: none"> ①結線 ●1W ・3W ・ () W ②インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 () ④用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 5) 非常用リモコンマイク <ul style="list-style-type: none"> 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他 () 1) 機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他 () 2) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()
(3) 非常ベル (自動ガリンを含む)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 機器 ・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器 ・その他 () 2) 回線数 () 回線 3) 設置 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 () 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 ()
(4) 検知器	<ul style="list-style-type: none"> 1) 動作 ・単独 (単独動作) ・連動 (受信機に伝送) 2) 定格電圧 ・AC100V ・DC24V (受信機等から供給) ・その他 () 3) ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式
【中央監視制御設備】	・仕様詳細は別紙による。
【医療関係設備】	・仕様詳細は別紙による。
【構内配電線路】	
26. 構内配電線路	
(1) 配線方式	<ul style="list-style-type: none"> ●地中線式 (・直埋 ●管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 ()
(2) 建柱	<ul style="list-style-type: none"> 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード ・有 ・無)
(3) 装柱機器 (高圧用)	<ul style="list-style-type: none"> 4) 装柱材料 ・有 (電力仕様) ・無 5) 銘板 ・有 ・無 1) 機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。
(4) 装柱機器 (低圧用)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 1) 形式 ●ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ●本工事 (・建築工事 ●電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
(5) ハンドホールマンホール	<ul style="list-style-type: none"> 3) ケーブル支持金物の取付 ●2箇所 ・4箇所 ・ () 箇所 4) 重車両の通行 ・有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・無
(6) 錆蓋	<ul style="list-style-type: none"> 1) 錆蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。 1) 種類 ●FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他 () 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ●2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
(7) 地中ケーブル保護材料	

【構内通信線路】	
27. 構内通信線路	
(1) 用途	<ul style="list-style-type: none"> ・電話 ●拡声 ・時刻表示 ●火災報知 ・非常警報 ・インターホン ・テレビ共同受信 ・防犯 ・制御 ・その他 () ・地中線式 (・直埋 ●管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 ()
(2) 配線方式	
(3) 建柱	<ul style="list-style-type: none"> 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード ・有 ・無)
(4) ハンドホールマンホール	<ul style="list-style-type: none"> 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 銘板 ・有 ・無 1) 形式 ●ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ●電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・ () 箇所 4) 重車両の通行 ・有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・無
(5) 錆蓋	<ul style="list-style-type: none"> 1) 錆蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。 1) 種類 ●FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他 () 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ●2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
(6) 地中ケーブル保護材料	
【その他】	
28. 消火器	<ul style="list-style-type: none"> 1) 設置 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ●別途工事 2) 消火器 種別 ()、数量 () 本 3) 消火器収納箱 材質 ()、数量 () 面
4. 使用資機材の適用規格	
(1) 以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本産業規格 (JIS規格) 適合品の使用を原則とする。	
●電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品	<ul style="list-style-type: none"> ・電気用品安全法適合品
●耐熱・耐火電線・耐熱・耐火ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの ・第三者認証機関として(一社)日本電線工業規格 (JCS規格) への適合性検査を行い合格したもの
●非常用照明器具	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法に定める国土交通大臣認定品 ・(一社)日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの
●誘導灯	<ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA誘導灯認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
●制御盤	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)日本配電制御システム工業規格 (JSIA規格) 適合品
●消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品	<ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関 ((一財)日本消防設備安全センター (消防用設備等認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
●不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品	<ul style="list-style-type: none"> ・(一財)日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの
●金属閉鎖形スイッチギア	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)日本電機工業規格 (JEM規格) 適合品
●高圧機器 (遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器)	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品
●直流電源装置 (防災電源用)	<ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA蓄電池設備認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
●自家発電装置 (防災電源用)	<ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関 ((一社)日本内燃力発電設備協会) の認定を受け、認定証票 (長時間形) が貼付されたもの
●自家発電装置 (防災電源用でないもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)日本電機工業規格 (JEM規格) 適合品
●太陽電池モジュールの支持物	<ul style="list-style-type: none"> ・電気設備の技術基準の解釈第46条第2項又は第3項の規定に適合するもの
●電話用設備 (電話交換機、電話機等)	<ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関 ((一財)電気通信端末機器審査協会 (JATE) 等) の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの
●非常用放送設備	<ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
●テレビ共同受信機器	<ul style="list-style-type: none"> ・優良住宅部品 (BL部品) の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの ・(一社)電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの
●自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
(2) 特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。	

5. 施工方法及び検査に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ※ 屋内運動場の足場設置を伴う空気管改修工事においては、夏休み期間を利用し改修すること。
-------------------	--



・	
・	
・	
・	

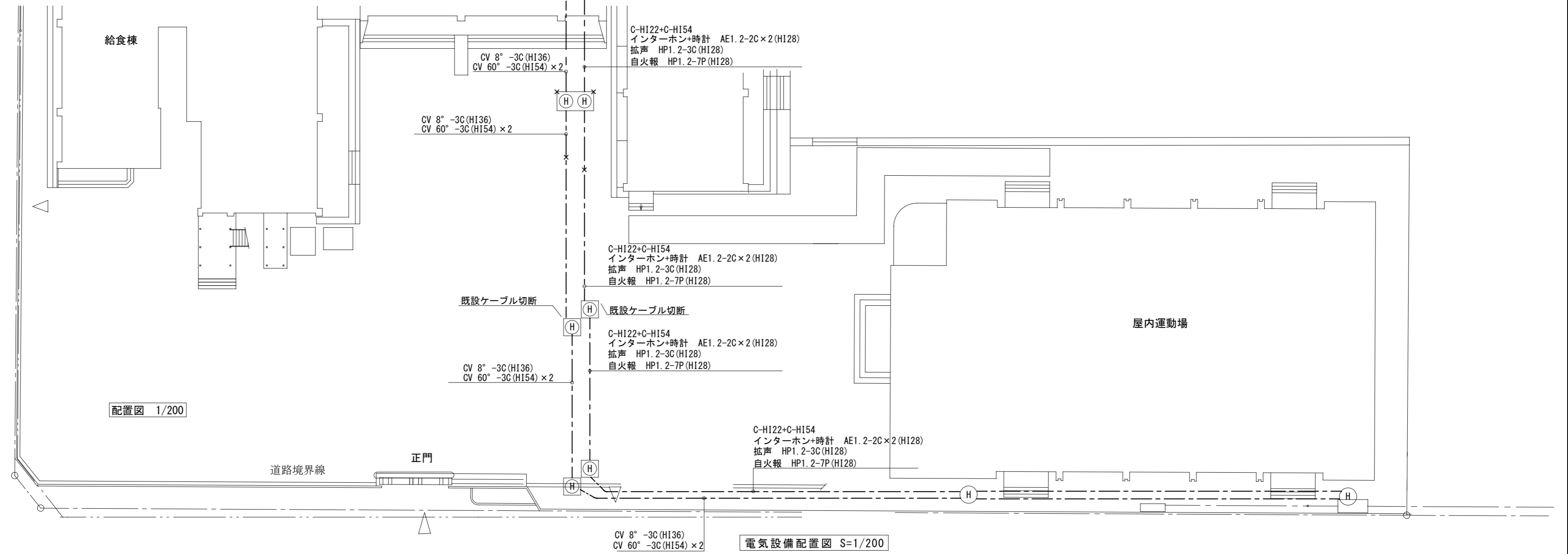
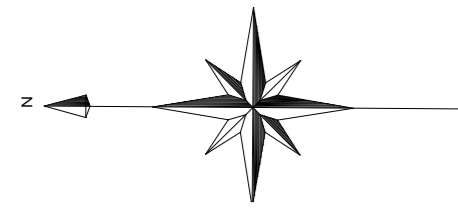

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-8-01 一級建築士 No.352551 田端 達也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端達也	一級建築士 No.352027 梅島野矢 No.352047 岸上貴智

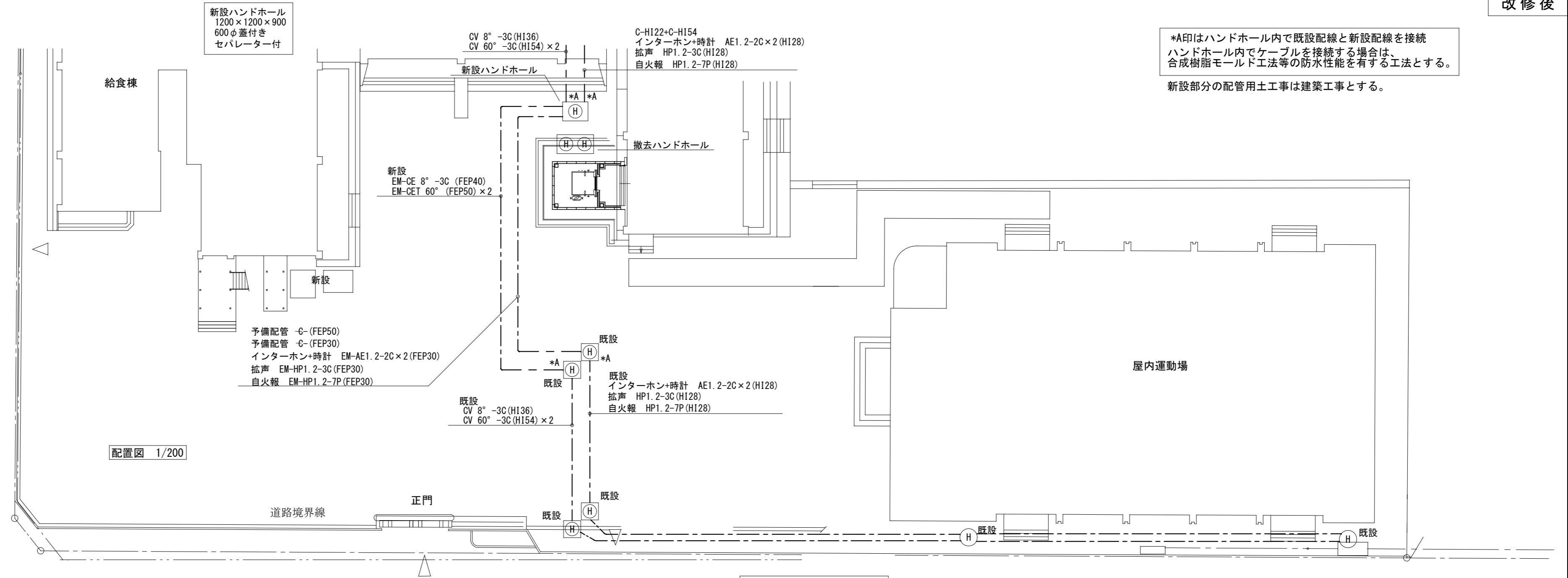
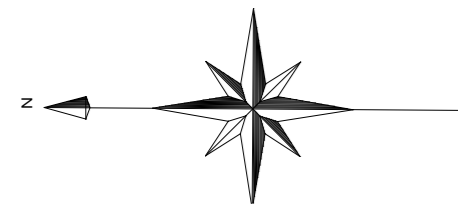
SCALE	1/700
DATE	1/28/21

工事名称 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
 図面名称 配置図

E-04
 原図: A2



電気設備配置図 S=1/200



*A印はハンドホール内で既設配線と新設配線を接続
 ハンドホール内でケーブルを接続する場合は、
 合成樹脂モールド工法等の防水性能を有する工法とする。
 新設部分の配管用土工事は建築工事とする。

電気設備配置図 S=1/200

編	
号	
表	
明	
細	
則	

田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 隆也

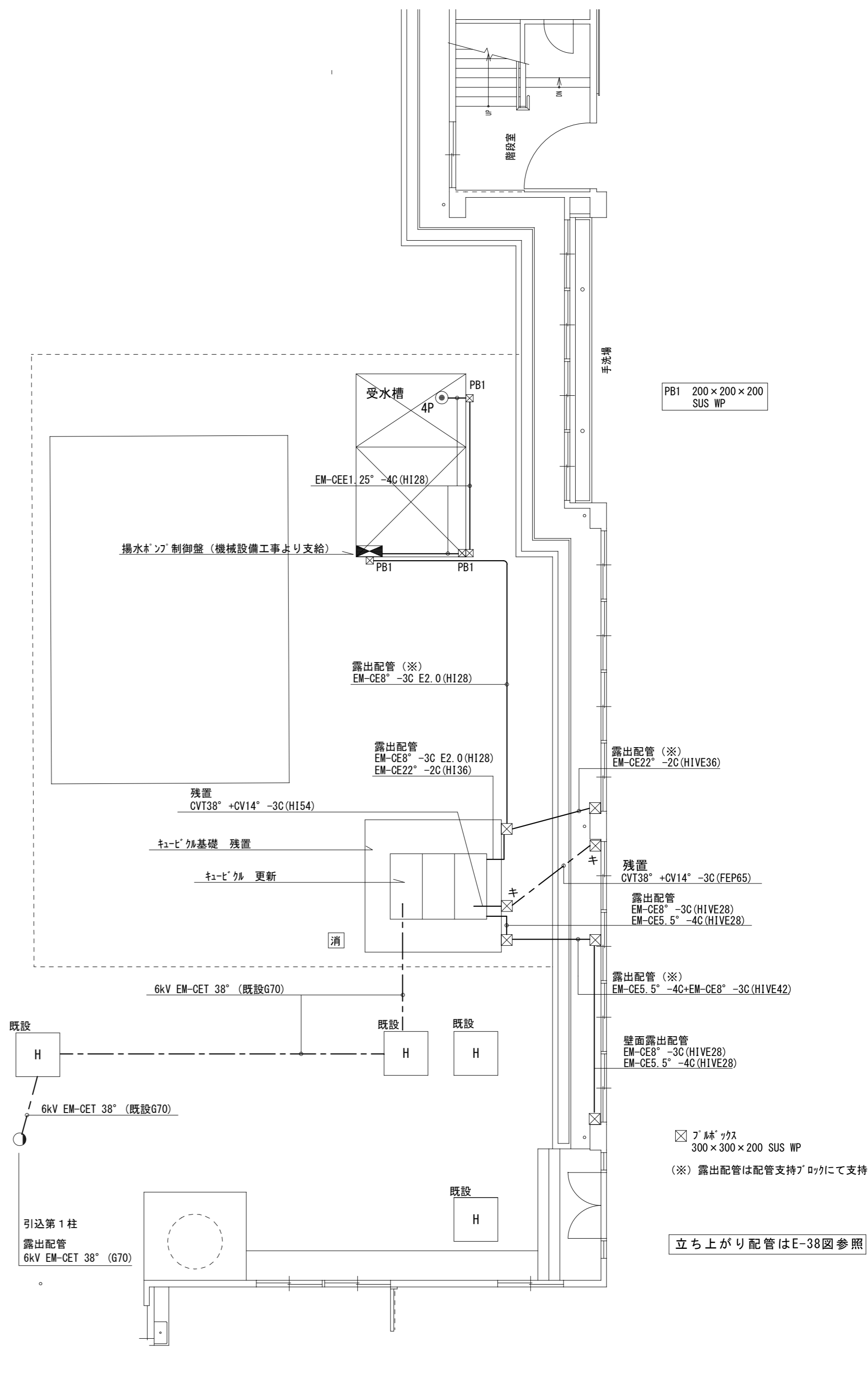
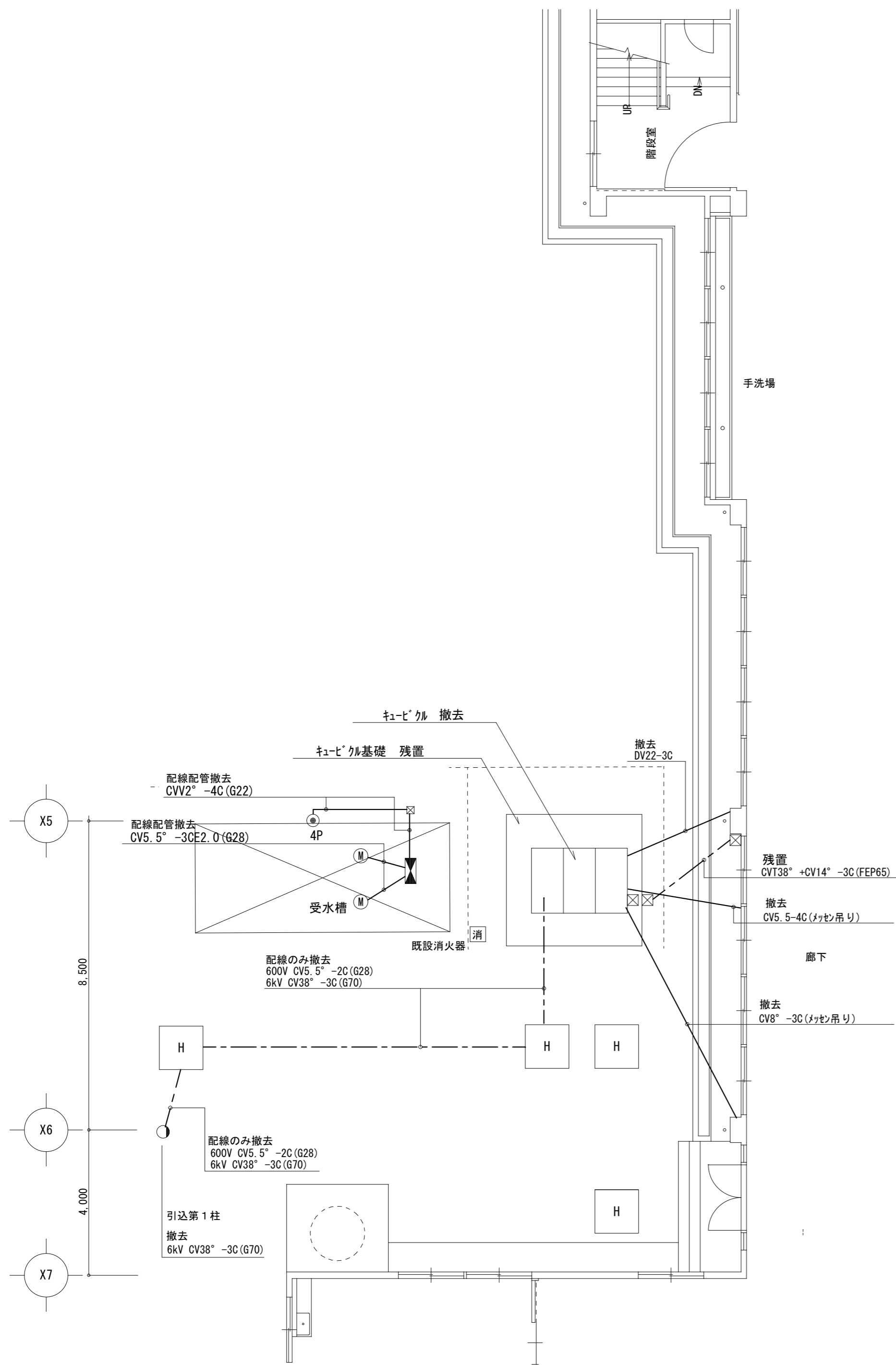
設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端隆也	一級建築士 No.352057 梅津智一 No.352058 村上真智

SCALE	1/200
DATE	1/28/22

工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
図面名称	電気設備配置図(改修前・改修後)

改修前

改修後



PB1 200×200×200 SUS WP

※ 露出配管は配管支持ブロックにて支持

立ち上がり配管はE-38図参照

編	
考	

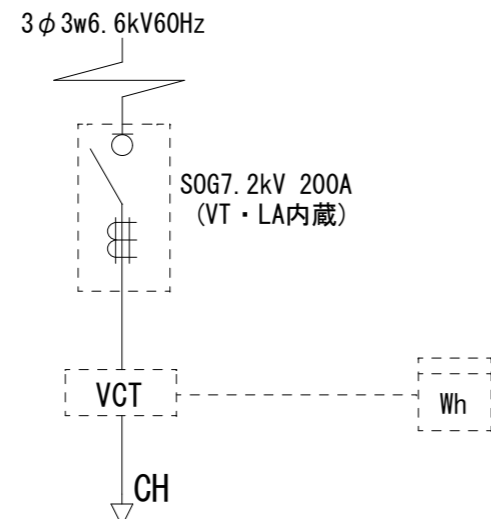
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 隆也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端隆也	一級建築士 No.352075 梅田隆一 梅田隆一 梅田隆一 梅田隆一 梅田隆一

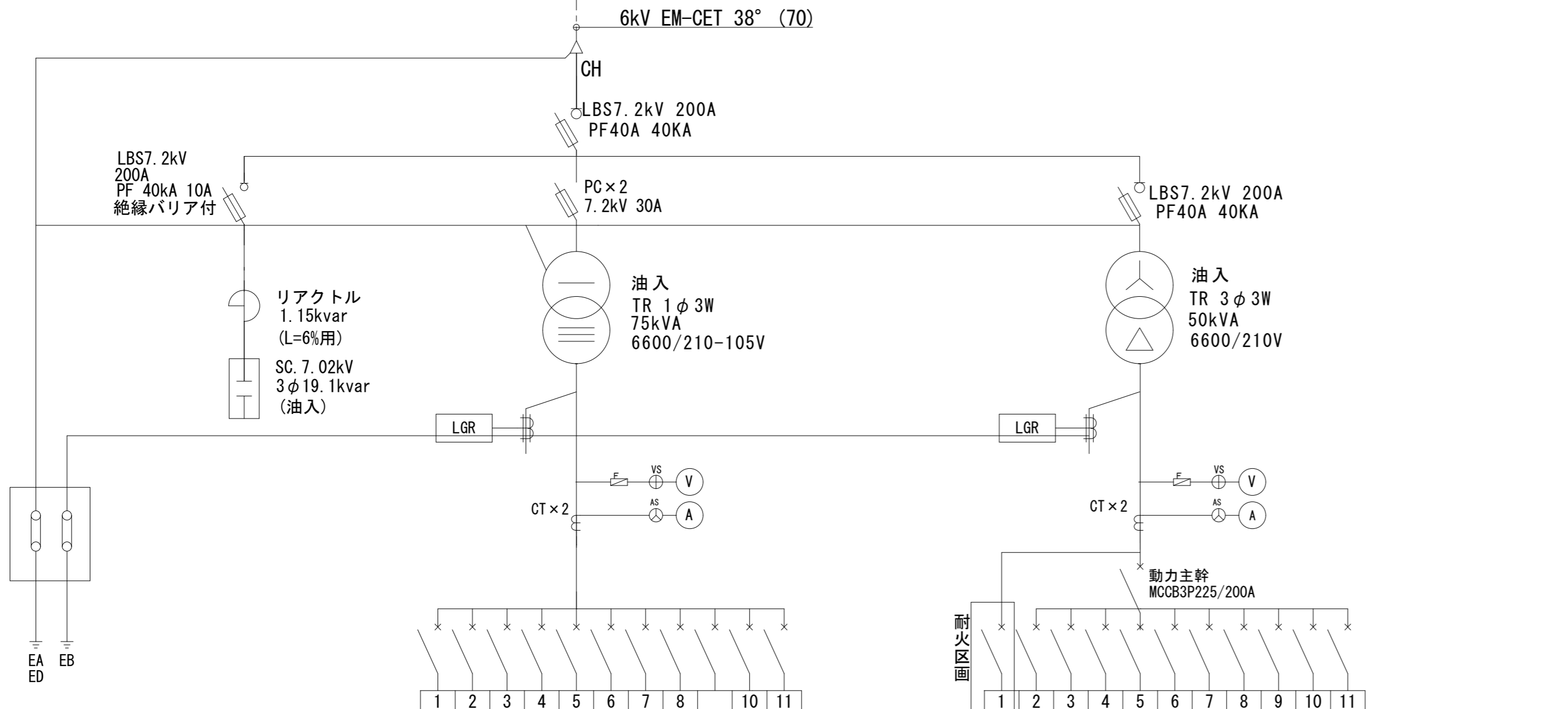
SCALE	1/100
DATE	1/14/17

工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事
 図面名称 電気設備配置図(キュービクル廻り)改修前・後

E-06
 原図: A2



屋外型キュービクル単線結線図 (更新)



負荷名称	容量 (kVA)	幹線サイズ	開閉器MCCB
1 1L-A			3P100/100A
2 2L-A			3P100/100A
3 3L-A			3P100/100A
4 1L-B			3P100/100A
5 2L-B			3P100/100A
6 3L-B			3P100/100A
7 予備			3P100/100A
8			3P50/30A
9 盤内電源			2P20/20A
10 SC系統用制御電源			2P20/20A
11 ガス空調機			2P100/75A

負荷名称	容量 (kW)	幹線サイズ	開閉器MCCB
1 P-2 消火ポンプ	5.5		3P100/75A
2 図書室空調機電源			3P50/30A
3 コンピュータ室空調機電源			3P50/30A
4 不明			3P100/100A
5 職員室空調機電源			3P60/60A
6 電気温水器			3P100/100A
7 浄化槽			3P100/100A
8 P-3 汚水ポンプ・空調機			3P100/75A
9 ELV	3.8		3P50/40A
10 揚水ポンプ	3.7		3P50/50A
11 プール			3P100/100A
12 予備			3P100/100A

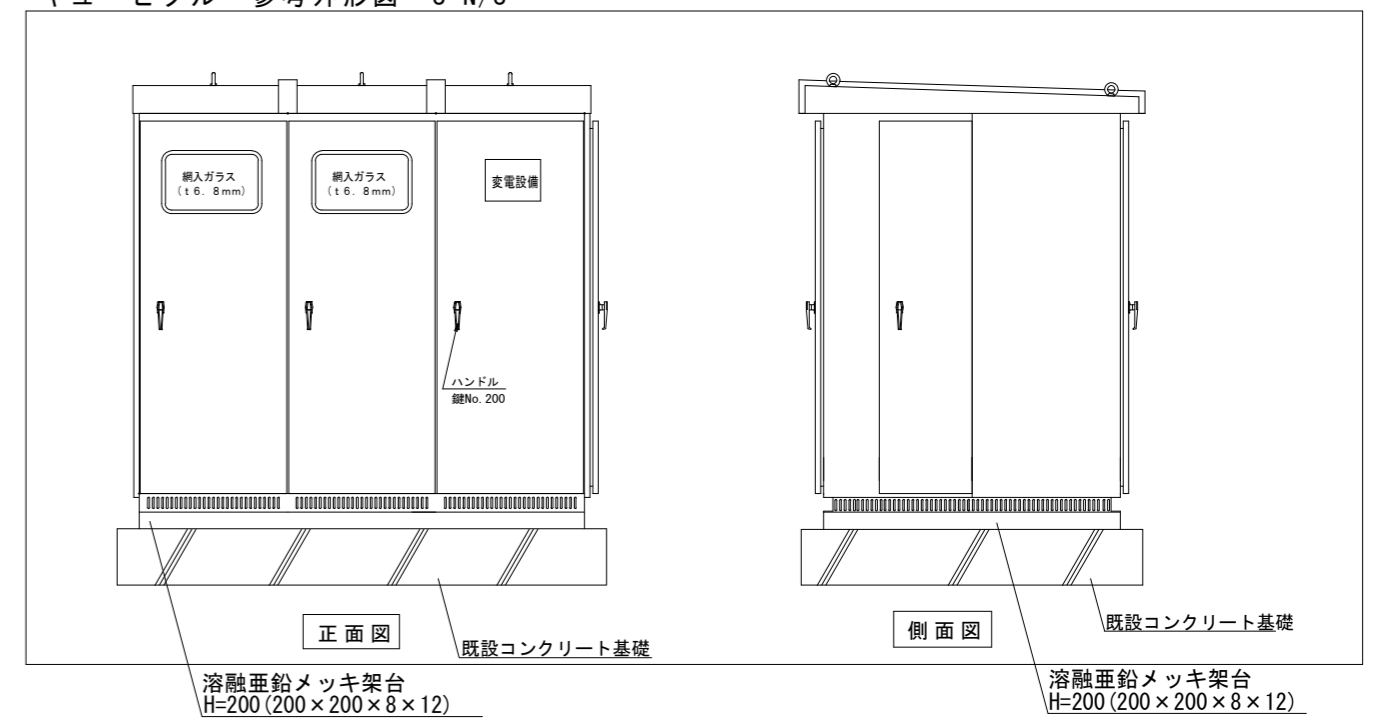
特記事項

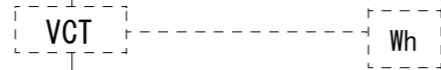
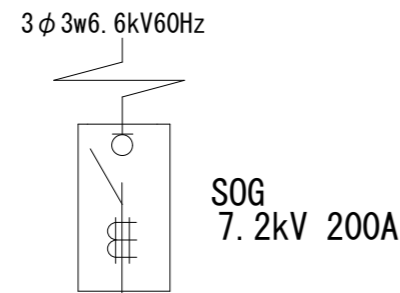
1. 国土交通省仕様に基づく。
2. 消防認定品とする。
3. ベースは溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
4. 各盤内LED照明付とし、扉の開閉により点滅とする。
5. 変圧器盤にはサーモによる自動運転の換気扇付とする。
6. 変圧器は防振ゴムを取り付けること。
7. 既設配線再使用のため既設配線接続位置を考慮する。
8. 工事にあたっては、電気主任技術者立会いのもと、停電作業にて施工すること。
9. 事前に作業手順書を作成し、監督員及び施設管理者の承諾を得ること。
10. 立会いに要する費用及び各種試験検査費用も本工事に含むものとする。
11. 電力会社、所轄消防署への申請手続きを行うこと。
12. 既設配線サイズは現況を調査確認のこととする。
13. AC100Vコンセント1個口×2を取り付ける。

警報内訳

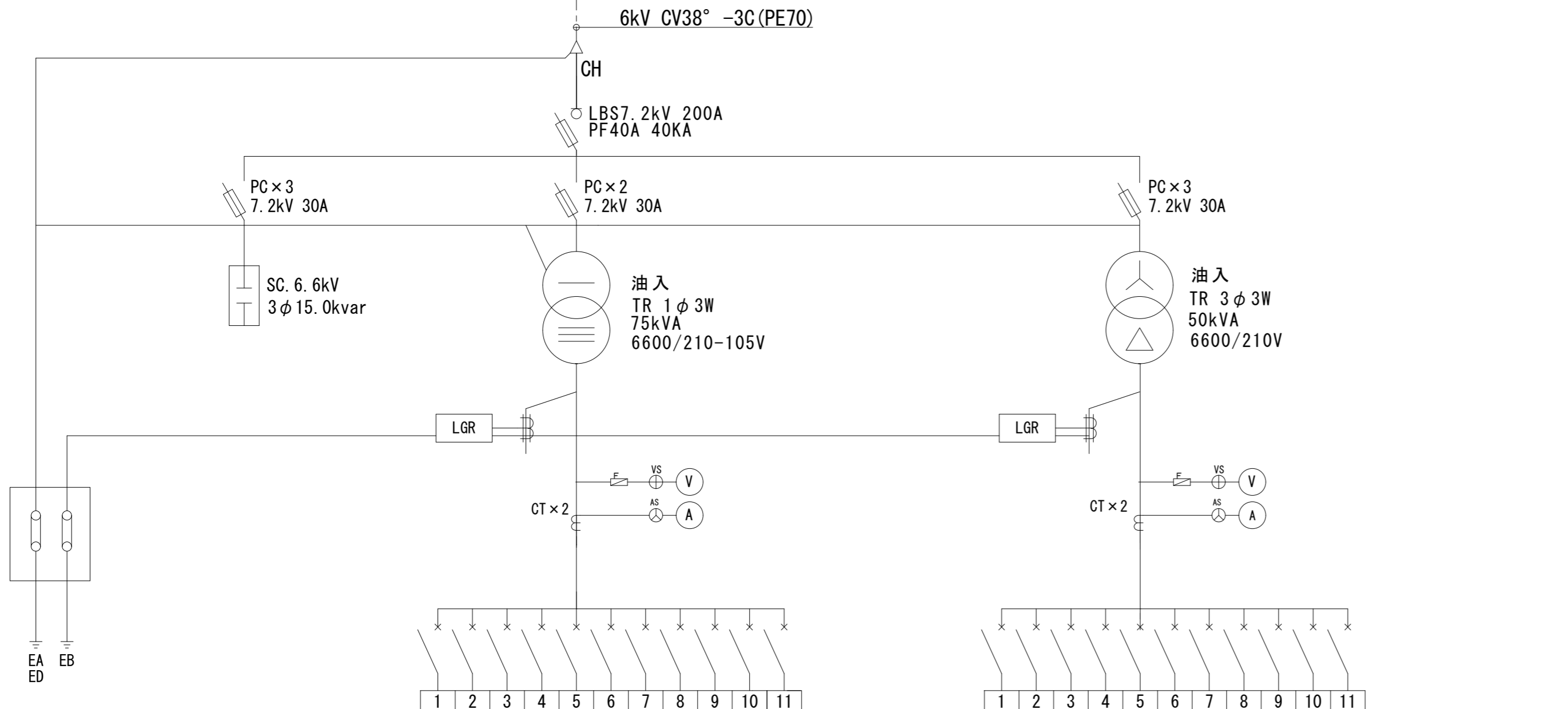
項目	キュービクル (AC100V)		外部出力 (一括)
	表示ランプ	ブザー (タイマー付き)	
電灯変圧器 漏電	○		
動力変圧器 漏電	○		
電灯変圧器 過負荷	○		
動力変圧器 過負荷	○		
直列リアクトル 異常	○		
高圧コンデンサ 異常	○		
LBS1 ヒューズ溶断 (コデナ回路)	○		

キュービクル 参考外形図 S=N/S





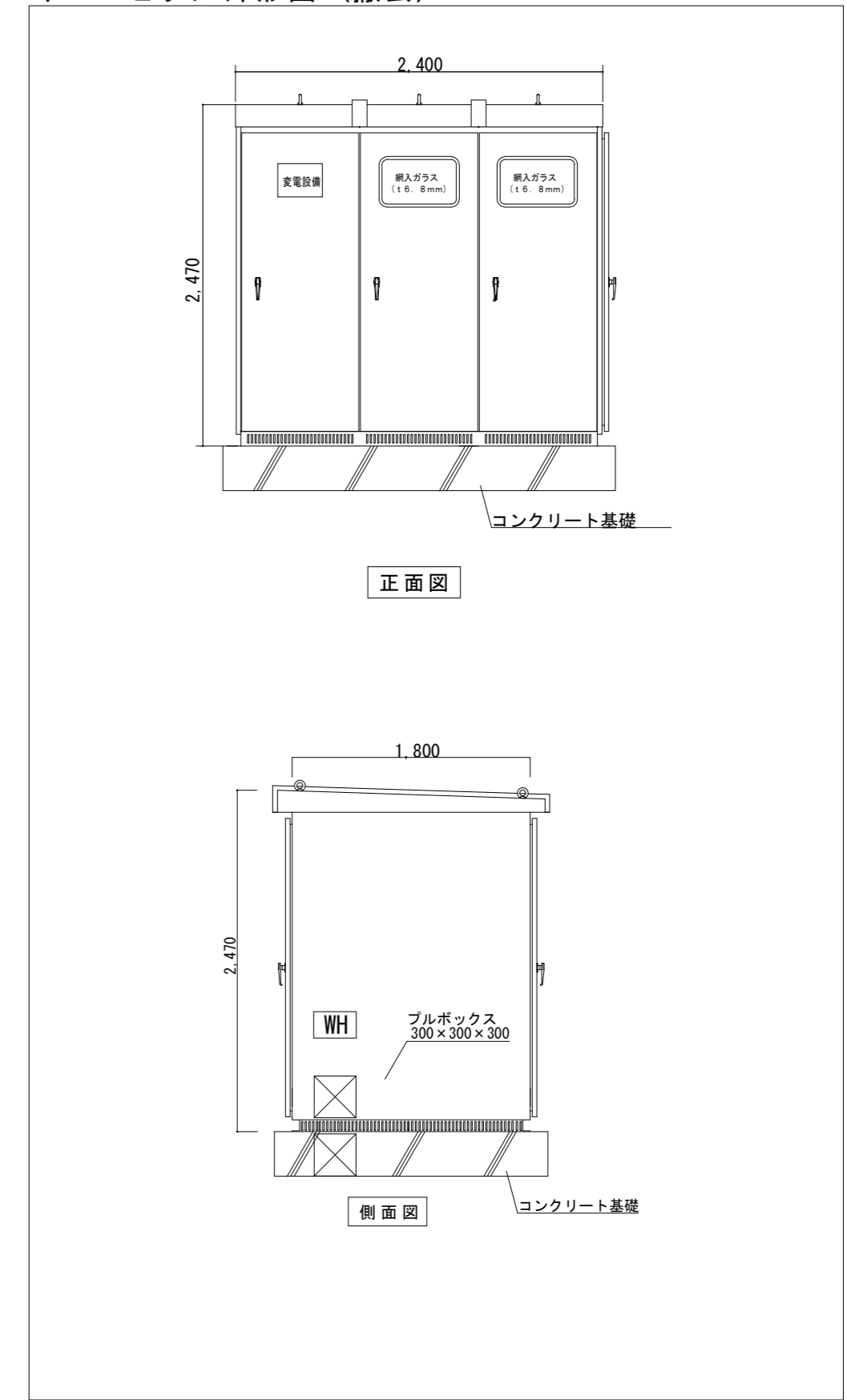
屋外型キュービクル単線結線図 (撤去)



負荷名称	容量 (kVA)	幹線サイズ	開閉器MCCB
1 1L-A			3P100/100A
2 2L-A			3P100/100A
3 3L-A			3P100/100A
4 1L-B			3P100/100A
5 2L-B			3P100/100A
6 3L-B			3P100/100A
7 予備			3P100/100A
8			3P50/30A
9			2P20/20A
10			2P20/20A
11 ガス空調機			2P100/75A

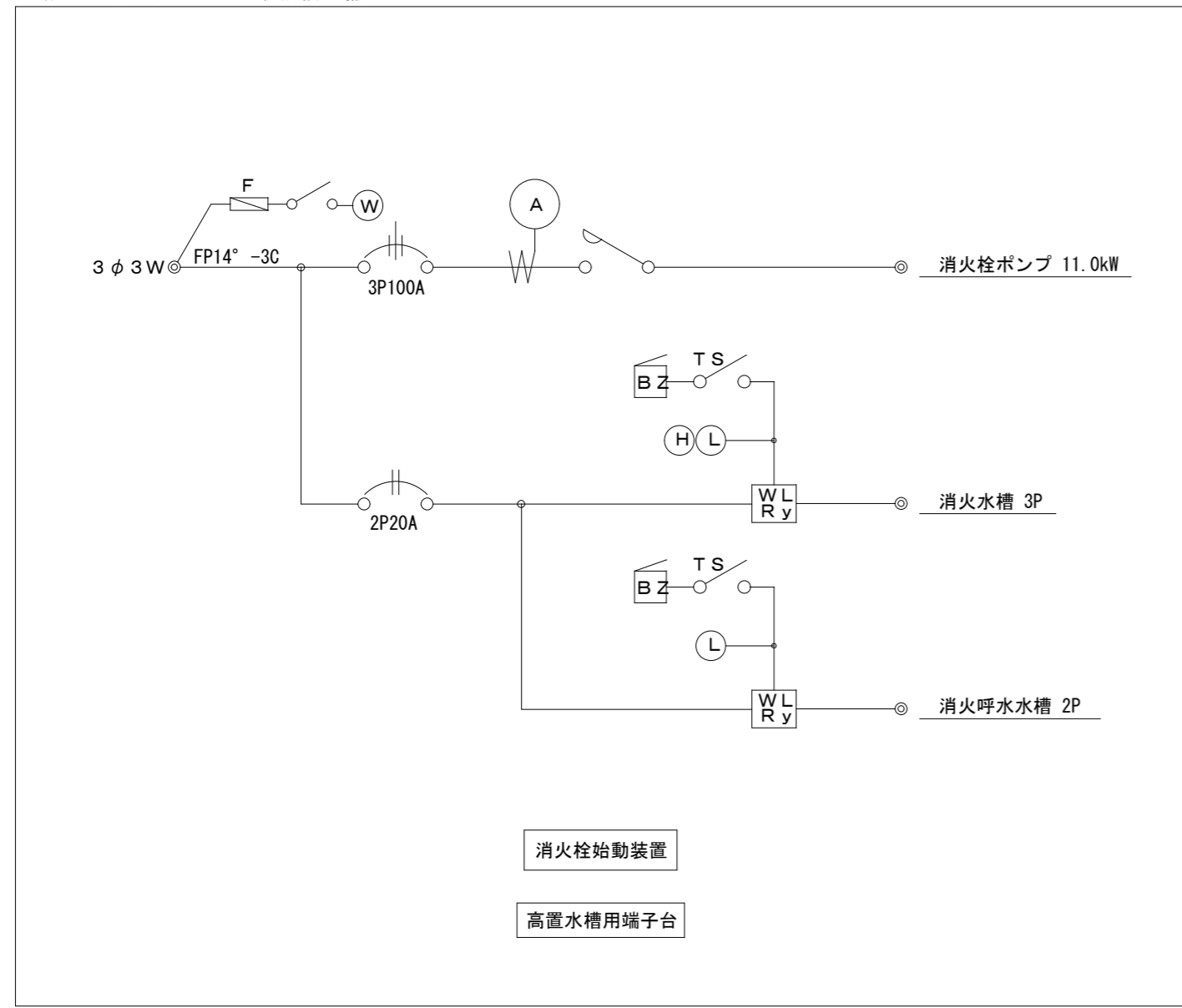
負荷名称	容量 (kW)	幹線サイズ	開閉器MCCB
1 図書室空調機電源			3P50/30A
2 コンピュータ室空調機電源			3P50/30A
3 不明			3P100/100A
4 職員室空調機電源			3P60/60A
5 旧温水器電源 (不使用)			3P100/100A
6 電気温水器			3P100/100A
7 P-3 汚水ポンプ・空調機			3P100/75A
8 P-1 揚水ポンプ			3P50/50A
9 プール			3P100/100A
10 浄化槽			3P100/100A
11 P-2 消火ポンプ盤			3P100/100A

キュービクル外形図 (撤去)



改修前

動力盤 (P-2) 自立型 改修前 撤去



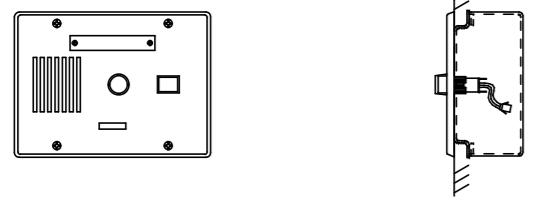
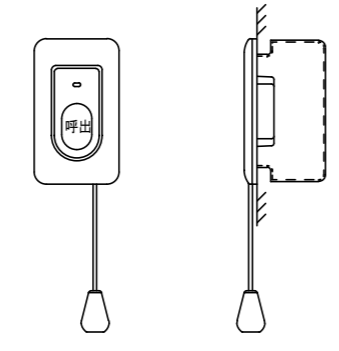
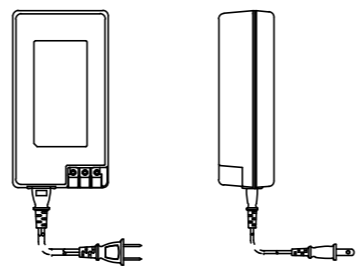
改修後

動力盤 (P-2) 自立型 改修後

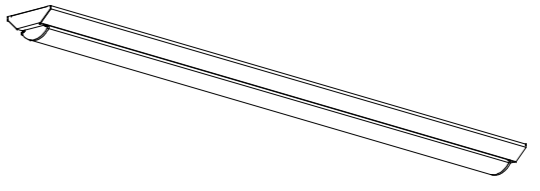


多目的トイレ

トイレ呼出機器姿図

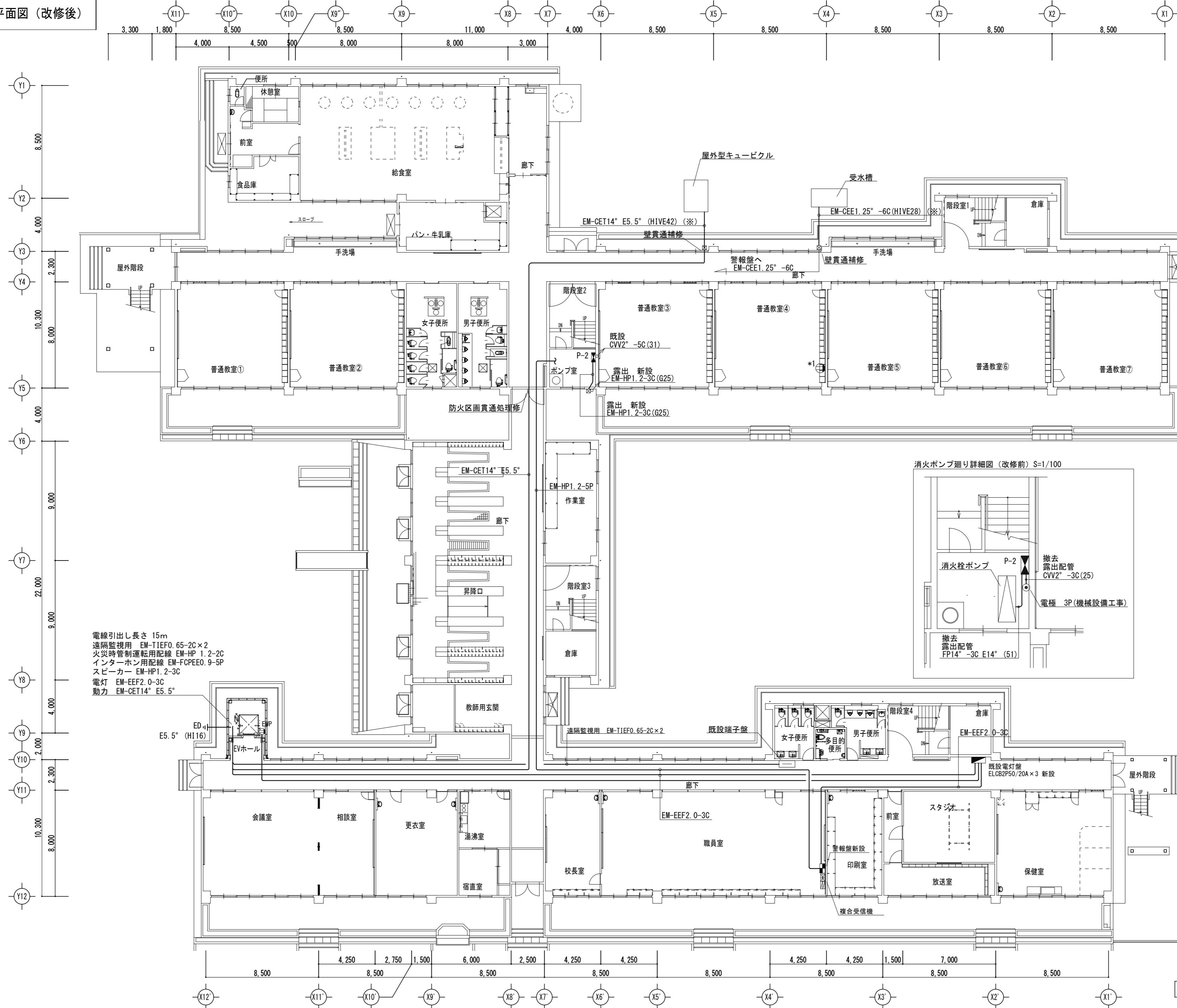
<p>トイレ呼出表示器 1窓 移報接点付き</p>	<p>トイレ呼出ボタン(引きひも付)</p>	<p>電源アダプター</p>																												
 <p>参考型番 CN-1A34/A-D</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>DC12V(電源アダプターから供給)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型(JIS3種用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>ステンレス t0.8</td></tr> <tr><td>窓数</td><td>1窓</td></tr> <tr><td>表示方式</td><td>断続ブザー音と表示点灯</td></tr> </table>	電源電圧	DC12V(電源アダプターから供給)	形状	壁埋込型(JIS3種用スイッチボックス)	材質	ステンレス t0.8	窓数	1窓	表示方式	断続ブザー音と表示点灯	 <p>参考型番 NBR-7HWA</p> <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型(JIS1種用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>引きひも式、ボタン式両用</td></tr> </table>	形状	壁埋込型(JIS1種用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	備考	引きひも式、ボタン式両用	 <p>参考型番 PS-1225A</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>入力容量</td><td>75VA</td></tr> <tr><td>出力電圧</td><td>DC12V</td></tr> <tr><td>出力電流</td><td>2.5A</td></tr> <tr><td>形状</td><td>据置・壁取付(専用金具)両用</td></tr> <tr><td>材質</td><td>難燃性樹脂</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	入力容量	75VA	出力電圧	DC12V	出力電流	2.5A	形状	据置・壁取付(専用金具)両用	材質	難燃性樹脂
電源電圧	DC12V(電源アダプターから供給)																													
形状	壁埋込型(JIS3種用スイッチボックス)																													
材質	ステンレス t0.8																													
窓数	1窓																													
表示方式	断続ブザー音と表示点灯																													
形状	壁埋込型(JIS1種用スイッチボックス)																													
材質	自己消火性樹脂																													
備考	引きひも式、ボタン式両用																													
電源電圧	AC100V 50/60Hz																													
入力容量	75VA																													
出力電圧	DC12V																													
出力電流	2.5A																													
形状	据置・壁取付(専用金具)両用																													
材質	難燃性樹脂																													

照明器具姿図

<p>LEDパナライト</p>	<p>LSS9-2-30</p>
 <p>昼白色 : 5000K 消費電力 : 20.1W以下 器具光束 : 3,200 lm</p>	

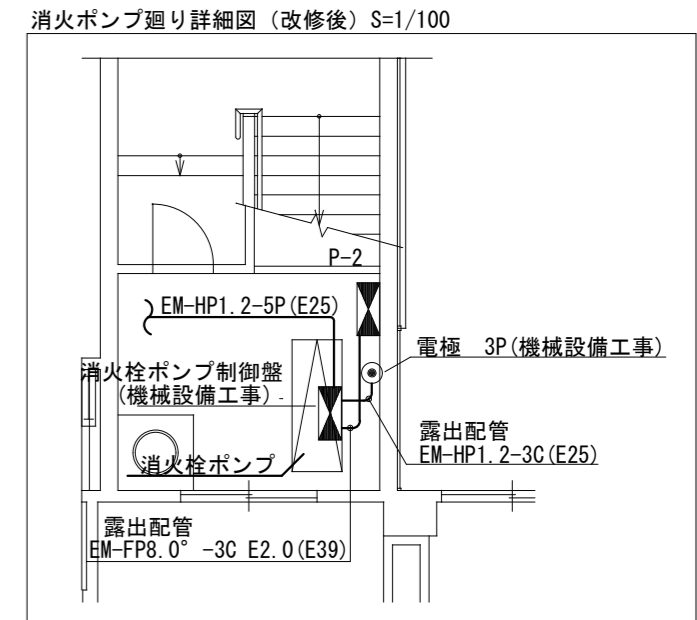
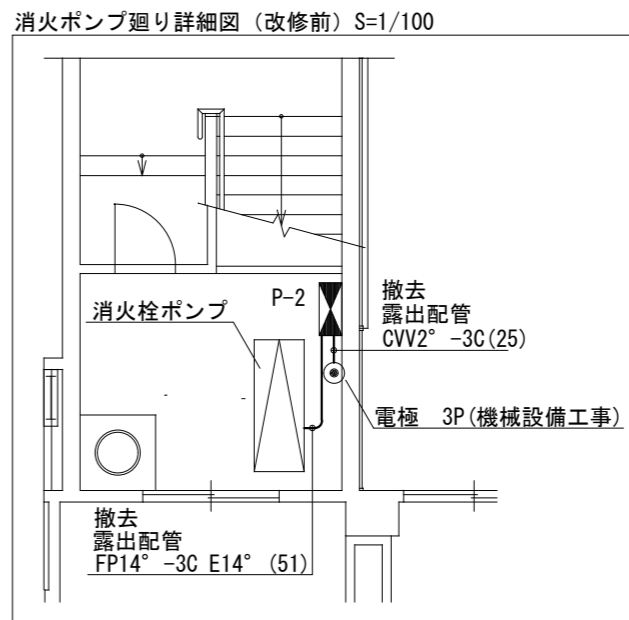
・	
・	
・	
・	
・	

校舎 1階平面図 (改修後)



電線引出し長さ 15m
 遠隔監視用 EM-TIEF0.65-2C×2
 火災時管制運転用配線 EM-HP 1.2-2C
 インターホン用配線 EM-FCPEE0.9-5P
 スピーカー EM-HP1.2-3C
 電灯 EM-EEF2.0-3C
 動力 EM-CET14° E5.5°

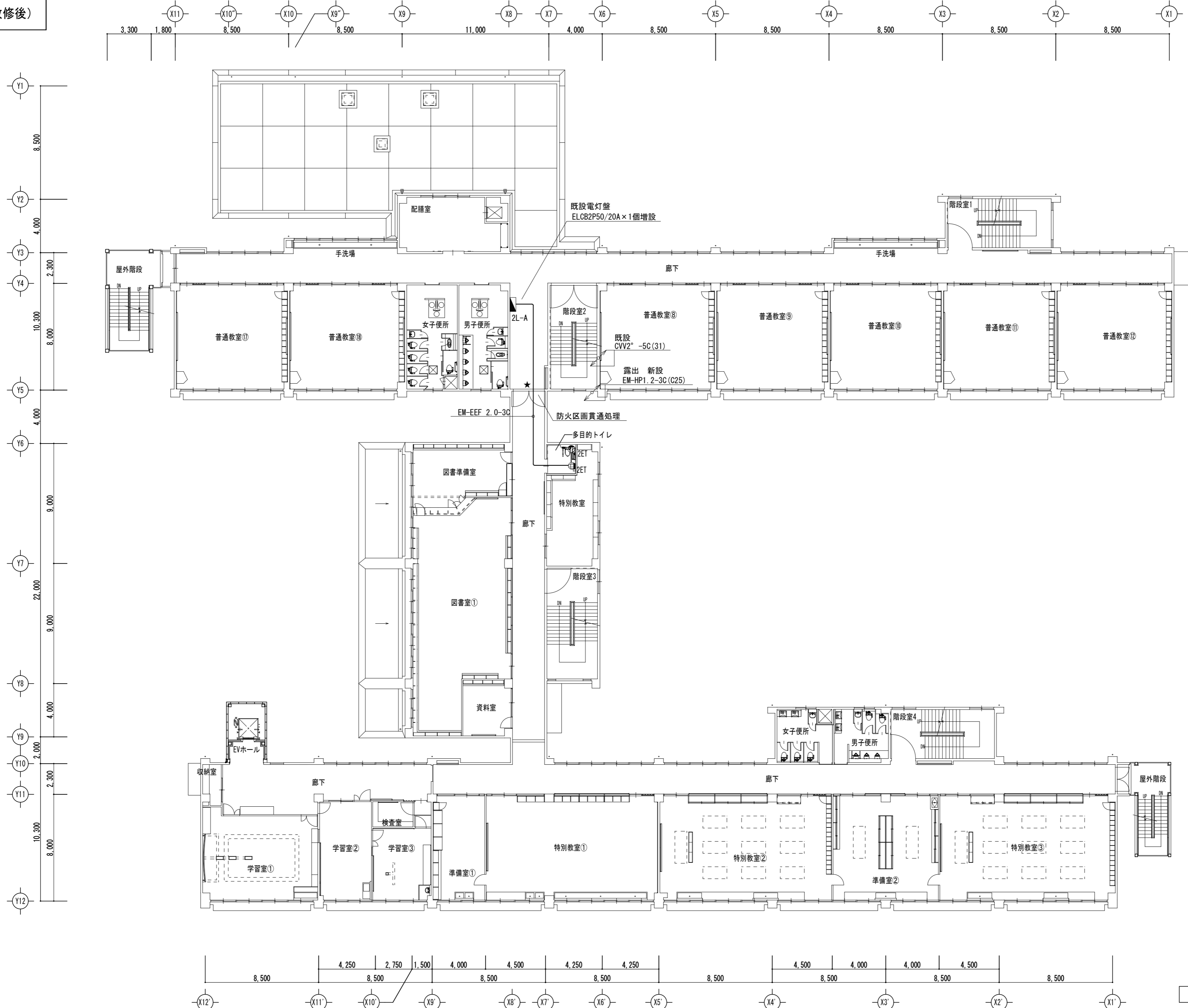
☒ SUS WP
 200×200×200
 (※) 露出配管は配管支持ブロックにて支持



- 15 窓 警報盤新設 (電池内蔵型)
1. キュービクル 異常
 2. 消火栓ポンプ 起動
 3. 消火栓ポンプ 異常
 4. 消火水槽 減水
 5. 消火用補給水槽 減水
 6. 呼水水槽 減水
 7. 受水槽 満水
 8. 受水槽 減水
 9. 高置水槽 満水
 10. 高置水槽 減水
 11. 揚水ポンプ 異常
 - 12~15 予備

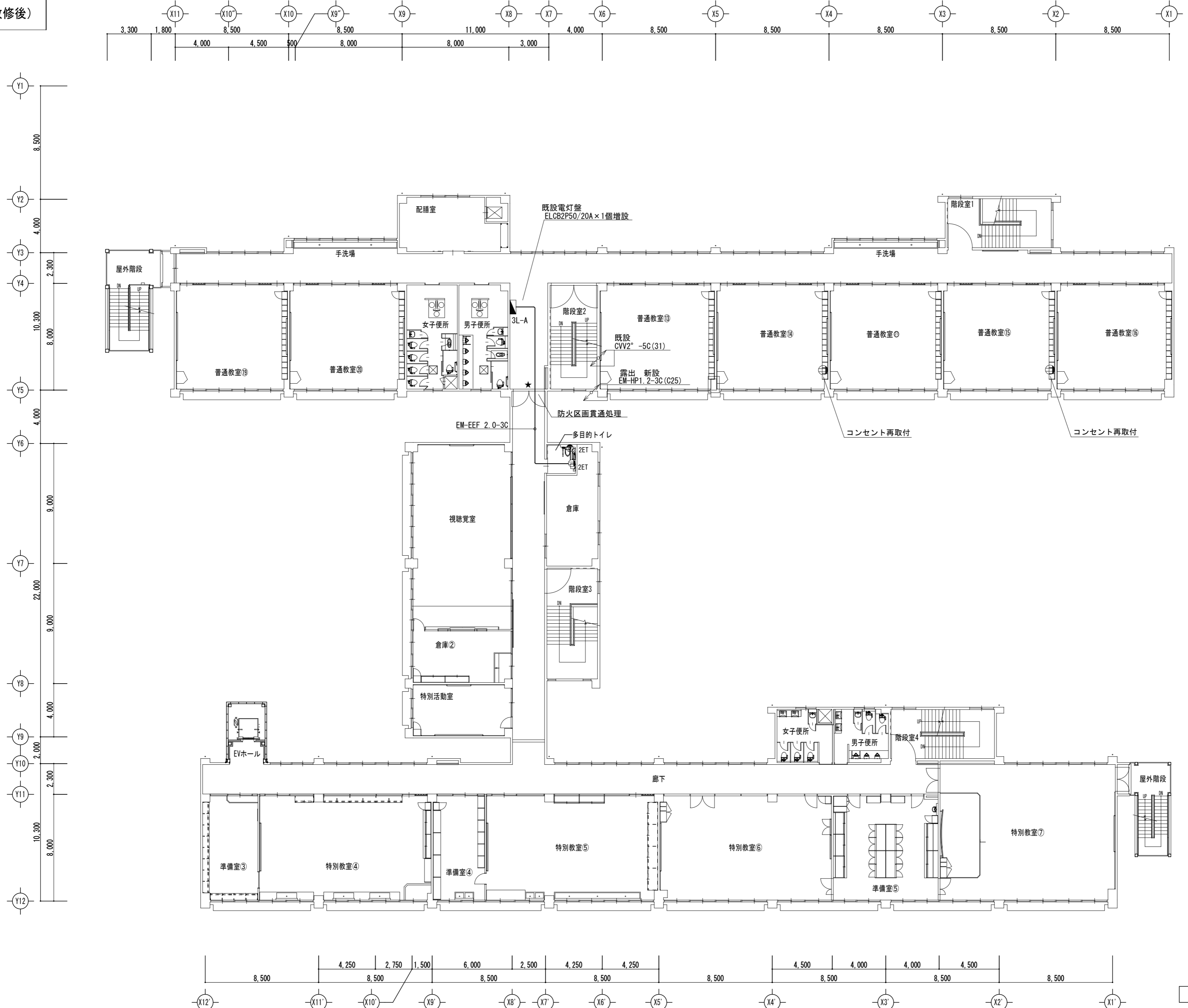
1階平面図 S=1/200

校舎 2階平面図 (改修後)



2階平面図 S=1/200

校舎 3階平面図 (改修後)



3階平面図 S=1/200

構	
考	

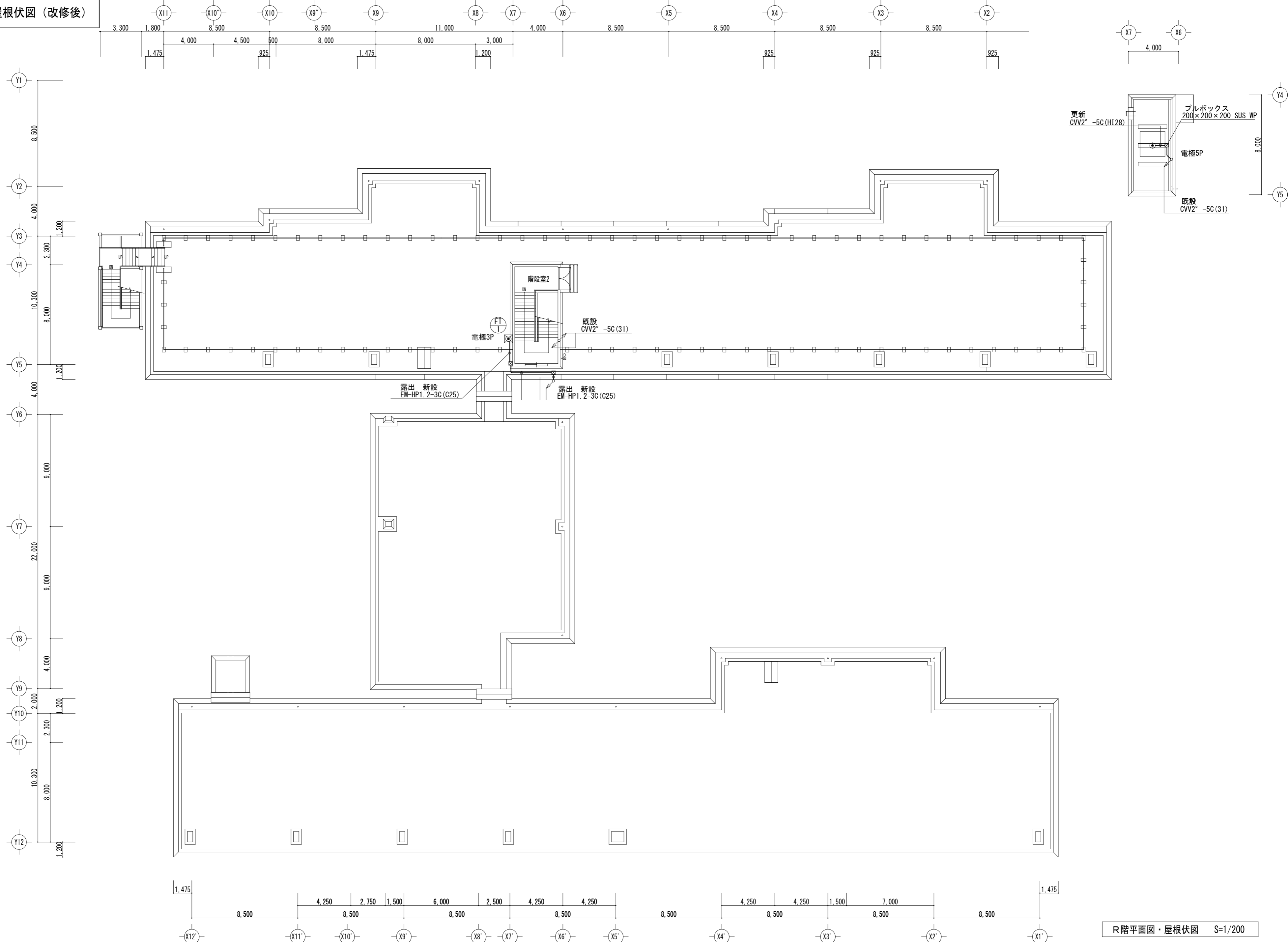
田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-8-0-1 一般建築士 No.352551 田端 隆也

設計代表者	設計担当者
一般建築士 No.352551 田端隆也	一般建築士 No.352551 梅田隆一 梅田隆一 梅田隆一

SCALE	1/200
DATE	1/280

工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
図面名称	校舎 3階コンセント平面図 (改修後)

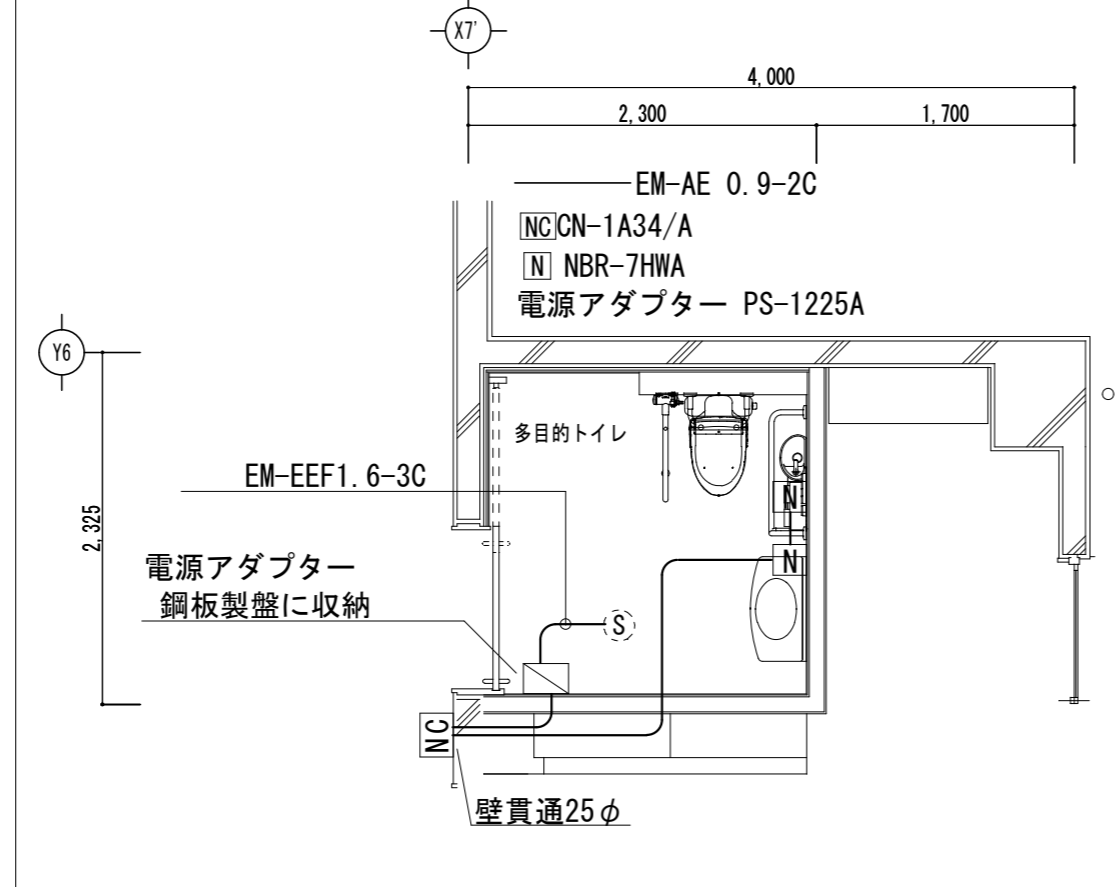
校舎 R階平面図・屋根伏図 (改修後)



R階平面図・屋根伏図 S=1/200

校舎 昇降口棟 2階図書室②・多目的トイレ

誘導支援設備図



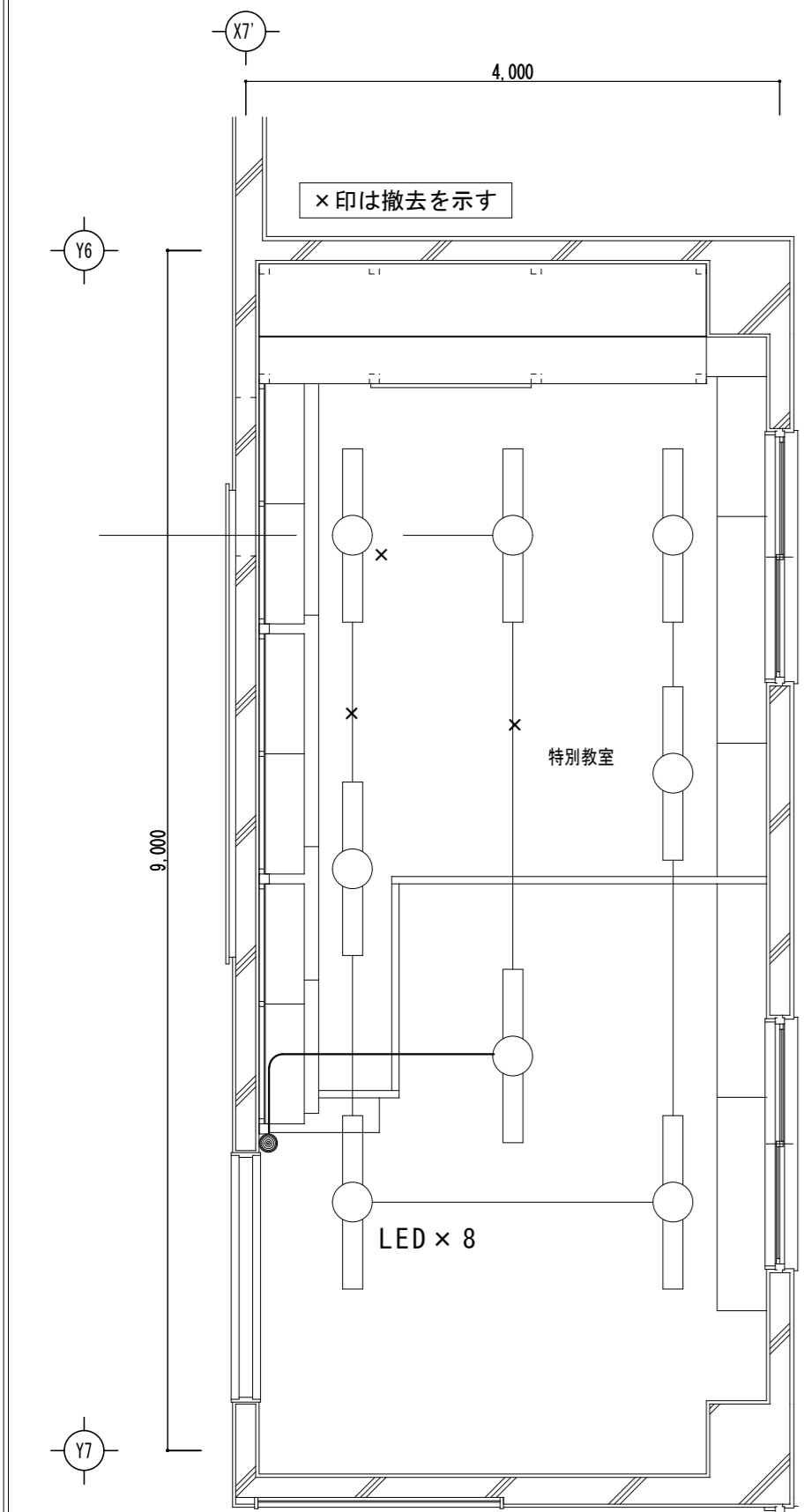
凡例表

記号	名称	備考
	LEDベースライト	公共型番：LSS9-2-30
	LEDベースライト	既設分
	タンブラスイッチ	
	人感センサー 親機	換気扇連動端子付き
	ジョイントボックス	
	人感センサー用操作スイッチ	2回路
	天井埋込換気扇	機械設備工事

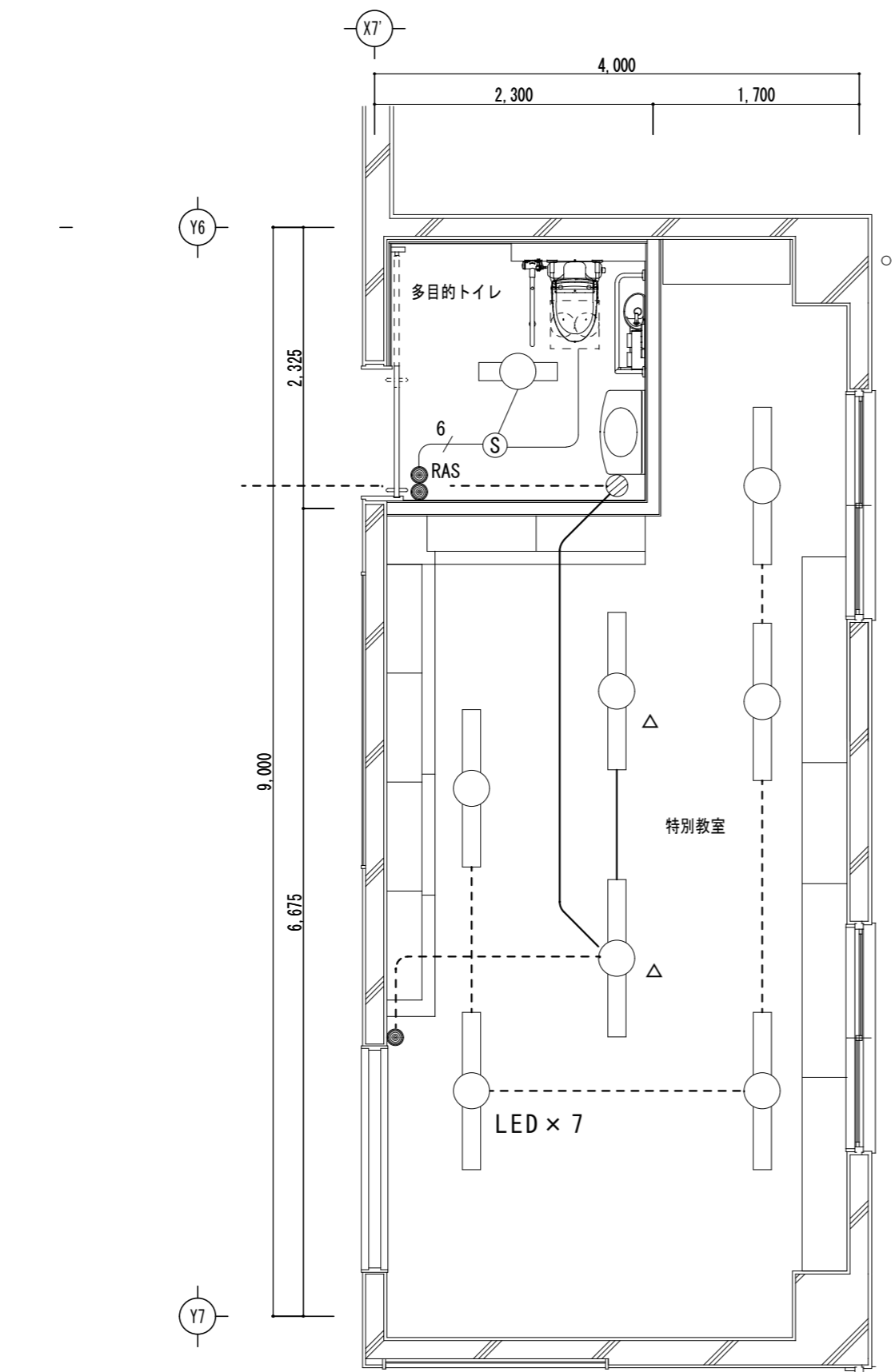
記入なき配線は下記による。

- # — EM-EEF 2.0-3C (1C接地) *B—メタルモールB型使用。
- // — EM-EEF 2.0-3C (PF22) (1C接地) *P—PF管使用。
- - - — EM-EEF 1.6-3C (1C接地) ★—壁貫通補修
- # — EM-EEF 1.6-3C △印は既設機器の再取付を示す。
- /6 — EM-EEF 1.6-3C×2 □印は新設機器を示す。

露出立下り部はメタルモールにて保護とする。



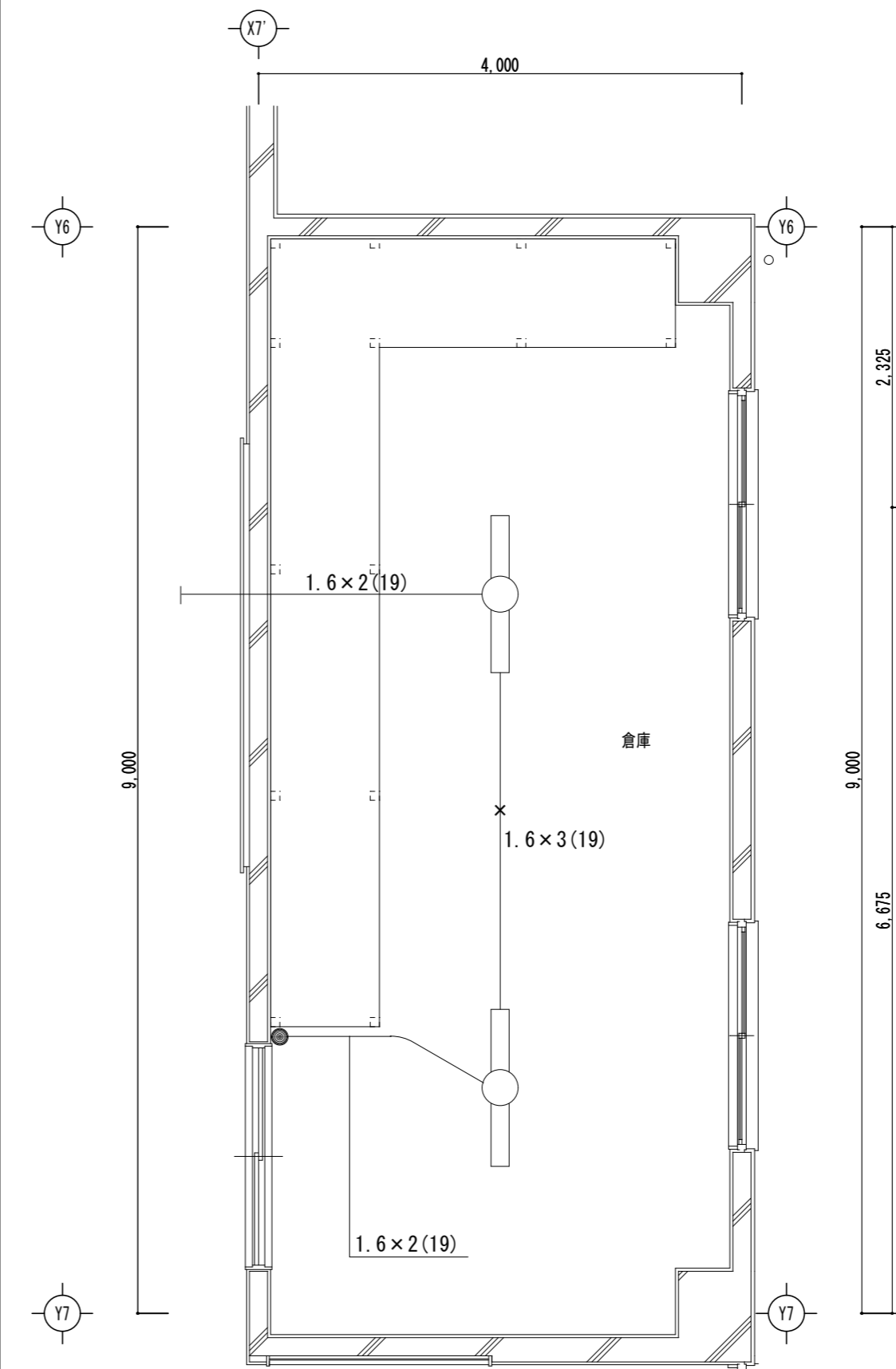
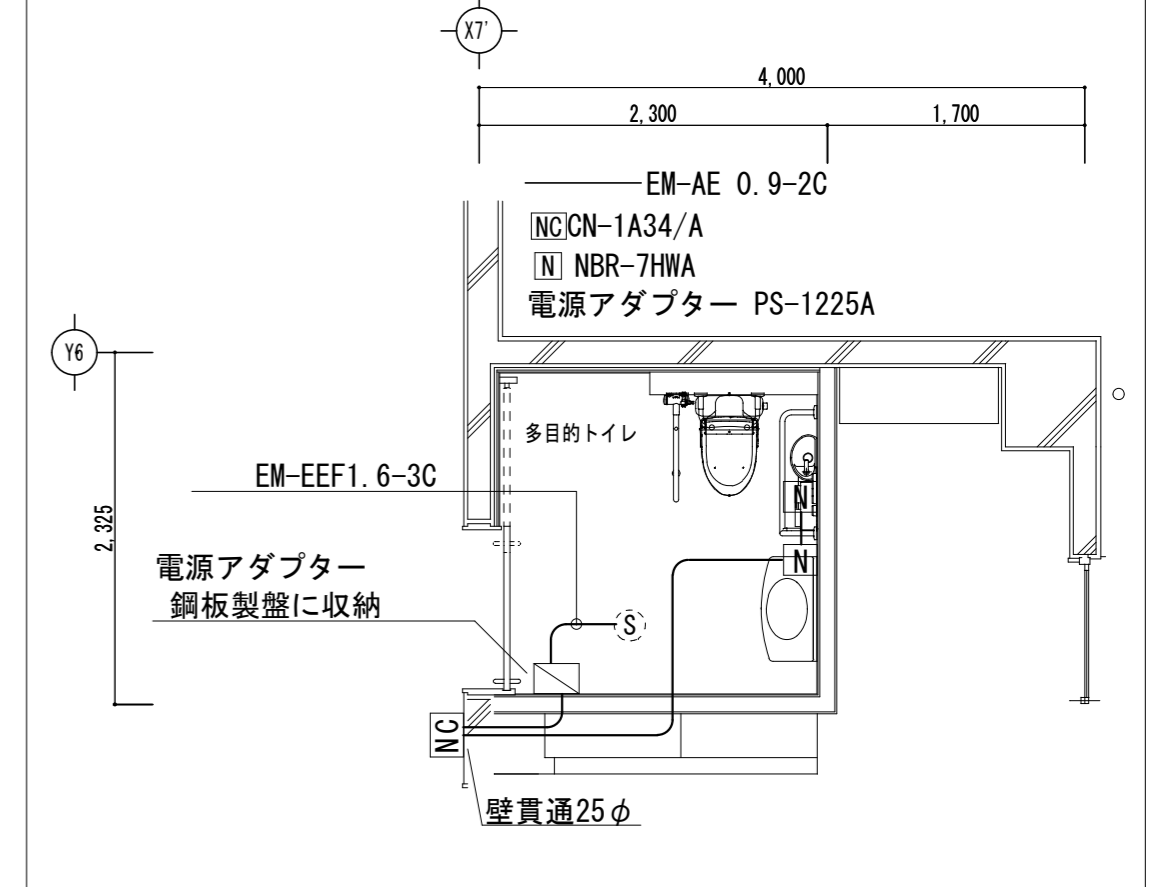
改修前
平面詳細図 S=1/50



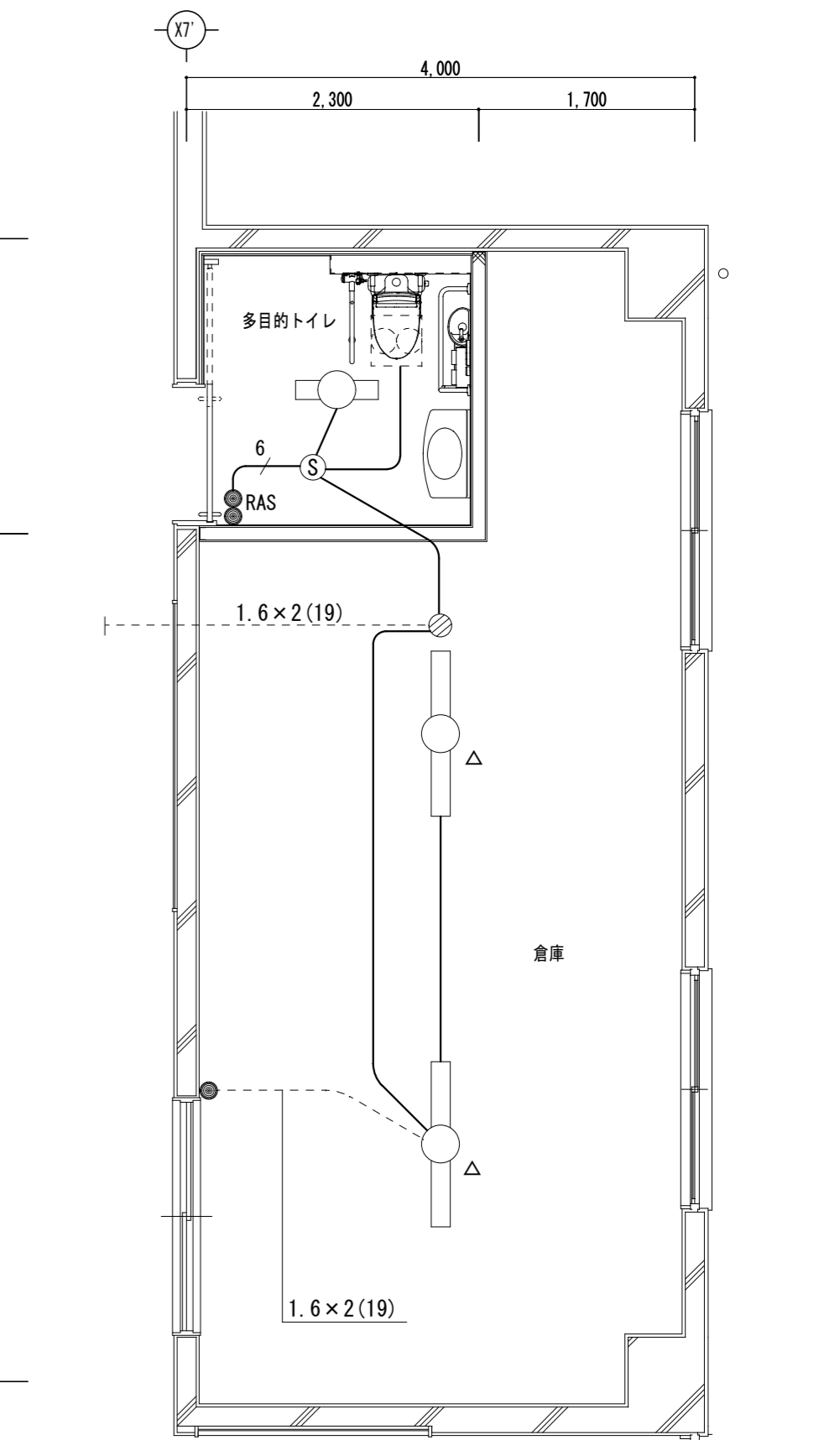
改修後
平面詳細図 S=1/50

校舎 昇降口棟 3階資料室・多目的トイレ

誘導支援設備図



改修前
平面詳細図 S=1/50



改修後
平面詳細図 S=1/50

改修前

非常放送回路番号表

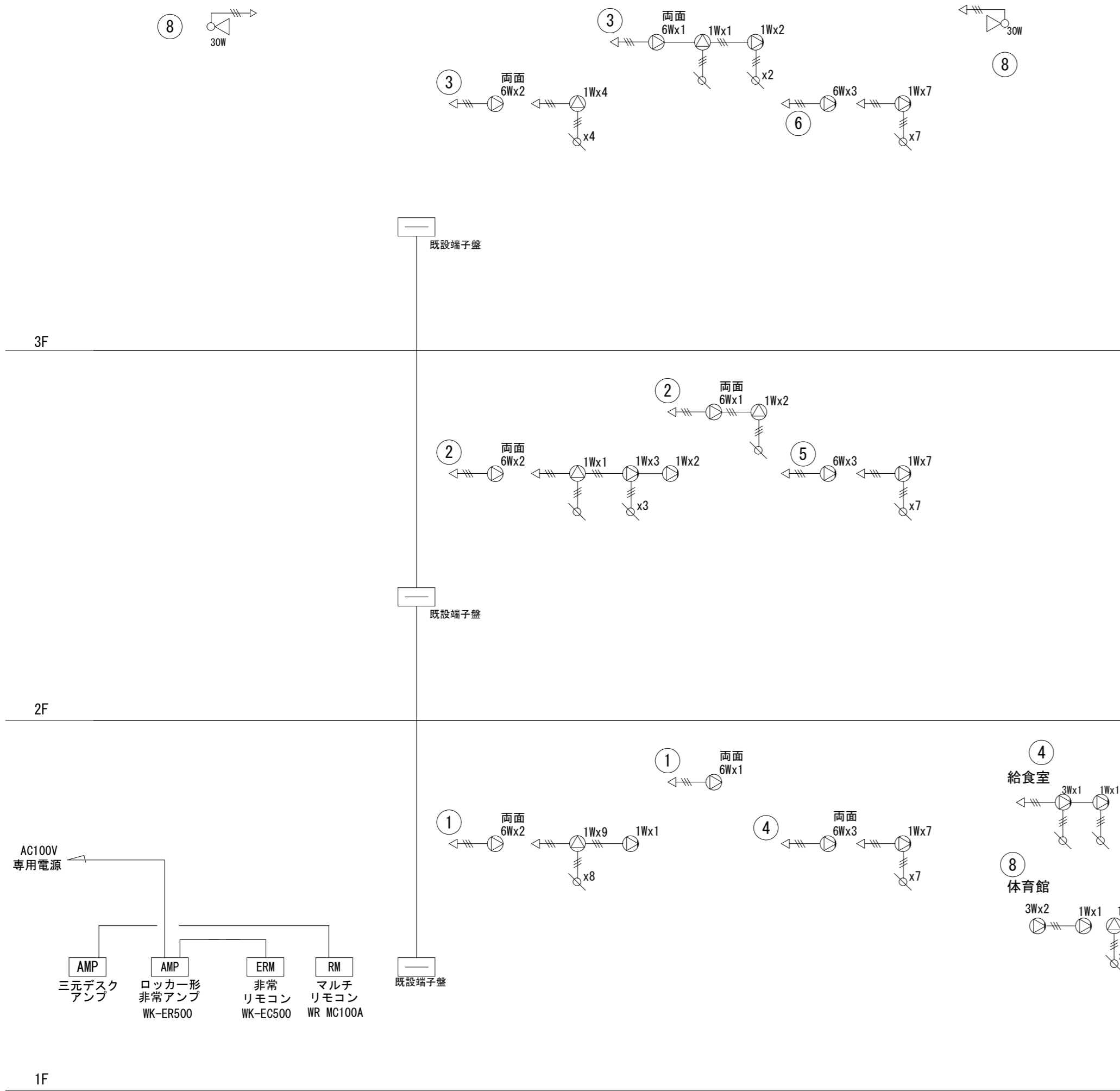
番号	名称
1	管理棟 1階
2	管理棟 2階
3	管理棟 3階
4	教室棟 1階
5	教室棟 2階
6	教室棟 3階
7	屋上
8	体育館
9	予備
10	予備
20	予備

一般放送回路番号表

番号	名称
1	管理棟 1階
2	管理棟 2階
3	管理棟 3階
4	教室棟 1階
5	教室棟 2階
6	教室棟 3階
7	屋上
8	体育館
9	予備
10	予備
20	予備

凡例

記号	名称	備考
⊙	天井埋込スピーカー	
⊗	天井埋込スピーカー	アッテネーター付
⊕	壁掛けスピーカー	
⊖	壁掛けスピーカー	アッテネーター付
∠	アッテネーター	
∞	ホーンスピーカー	
□	端子盤	



拡声設備系統図

・ 機器は撤去とする。
 備考
 三重県知事登録第1-8-0-1 一般建築士 No.352551 田端 達也

改修後

非常放送回路番号表

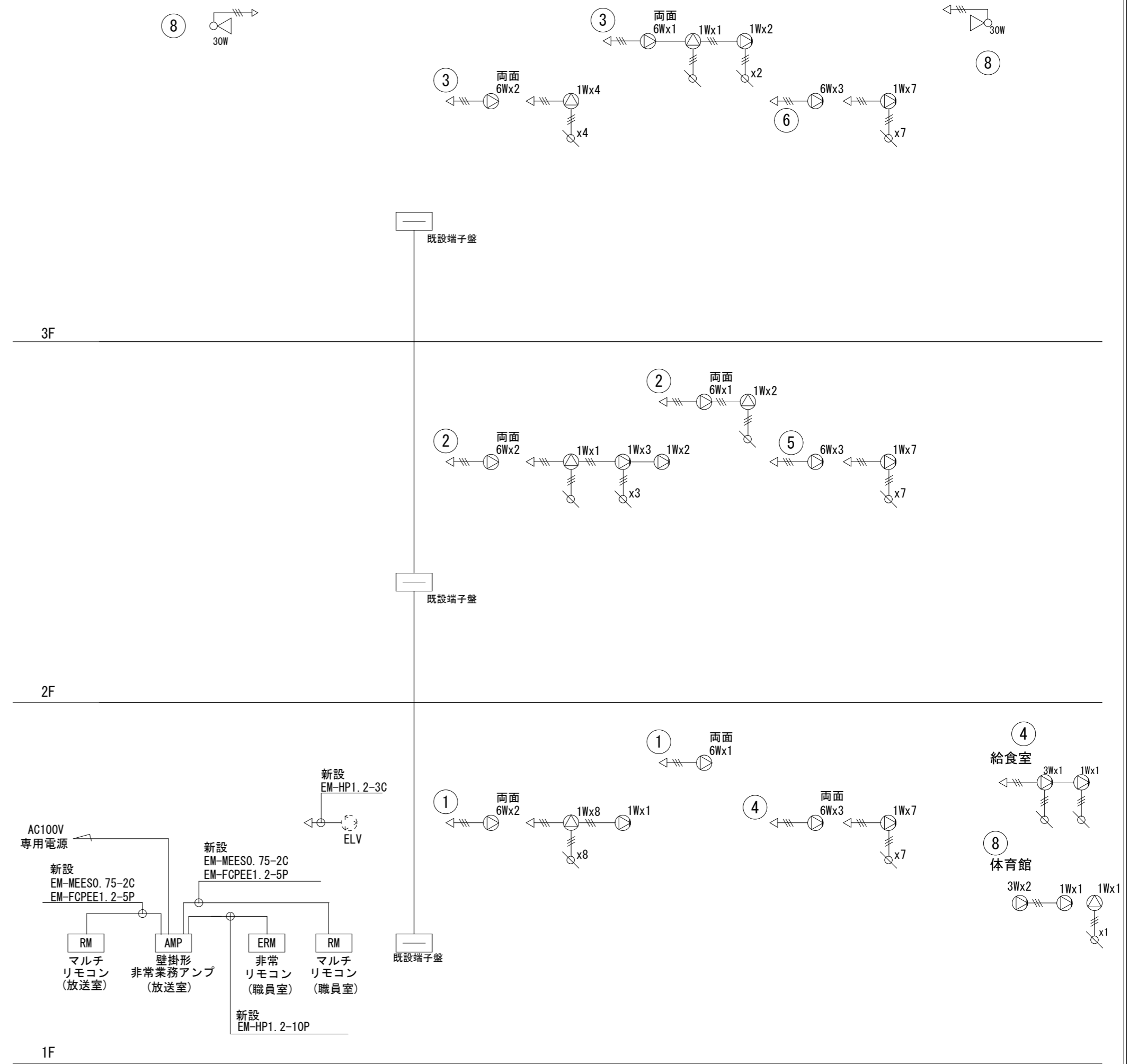
番号	名称
1	管理棟 1階
2	管理棟 2階
3	管理棟 3階
4	教室棟 1階
5	教室棟 2階
6	教室棟 3階
7	屋上
8	体育館
9	ELV
10	予備
20	予備

一般放送回路番号表

番号	名称
1	管理棟 1階
2	管理棟 2階
3	管理棟 3階
4	教室棟 1階
5	教室棟 2階
6	教室棟 3階
7	屋上
8	体育館
9	ELV
10	予備
20	予備

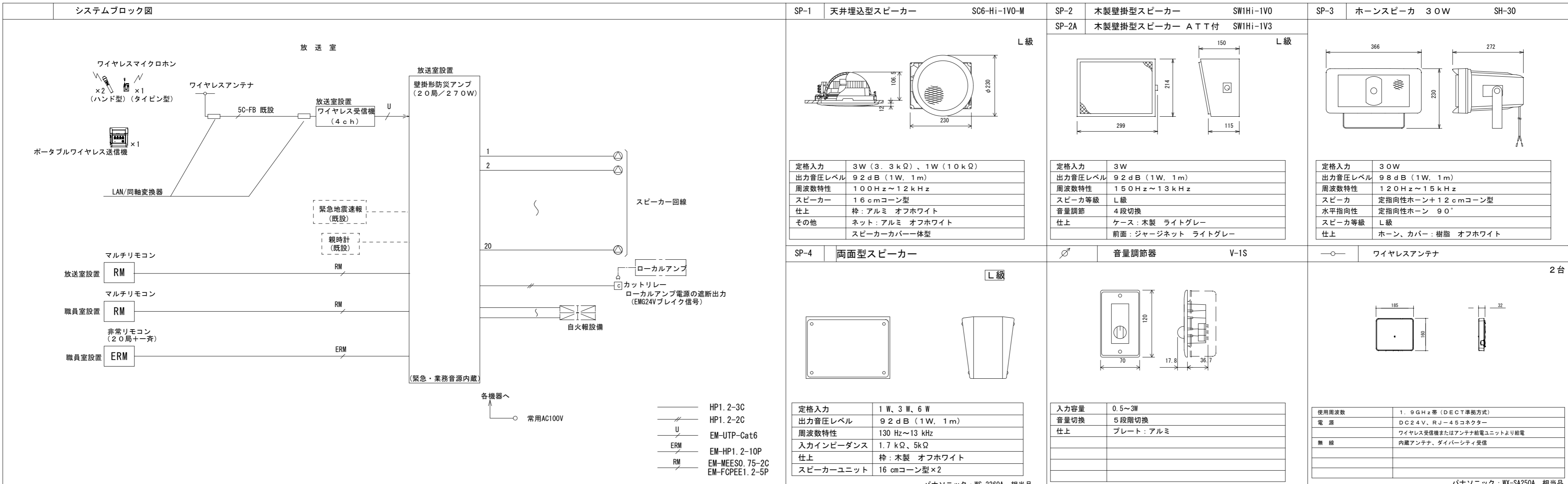
放送区域	管理棟	教室棟	屋外	体育館	給食室	計	入力容量計
スピーカー名称・容量							
スピーカー 1W	24	21		2	1	48	1W×48=48W
スピーカー 3W				2	1	3	3W×3=9W
スピーカー 6W	9	9				18	6W×18=108W
スピーカー 30W			2			2	30W×2=60W
合計							225W

HP1.2-3C 既設配線



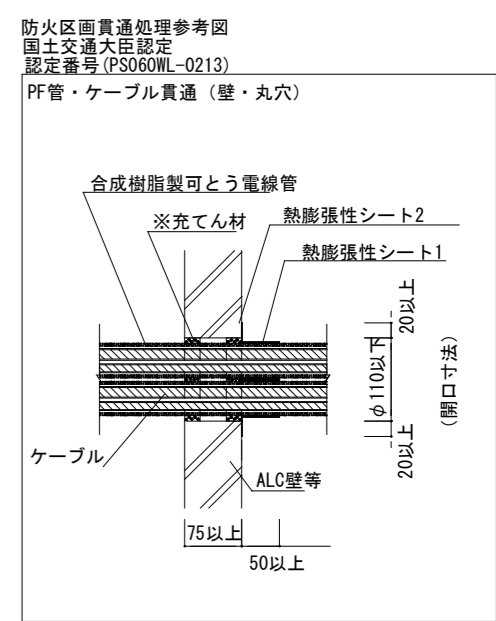
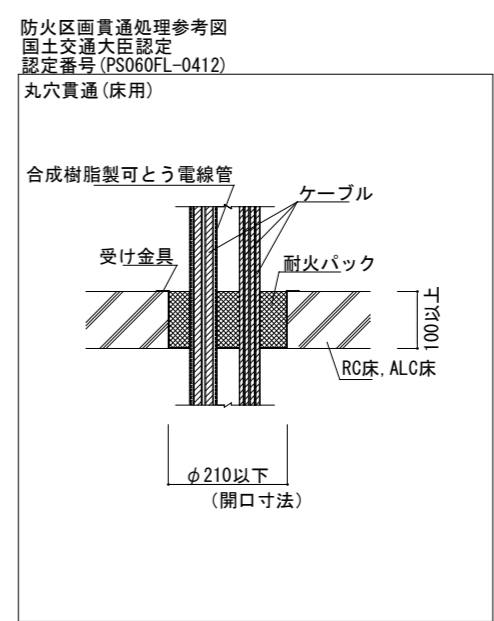
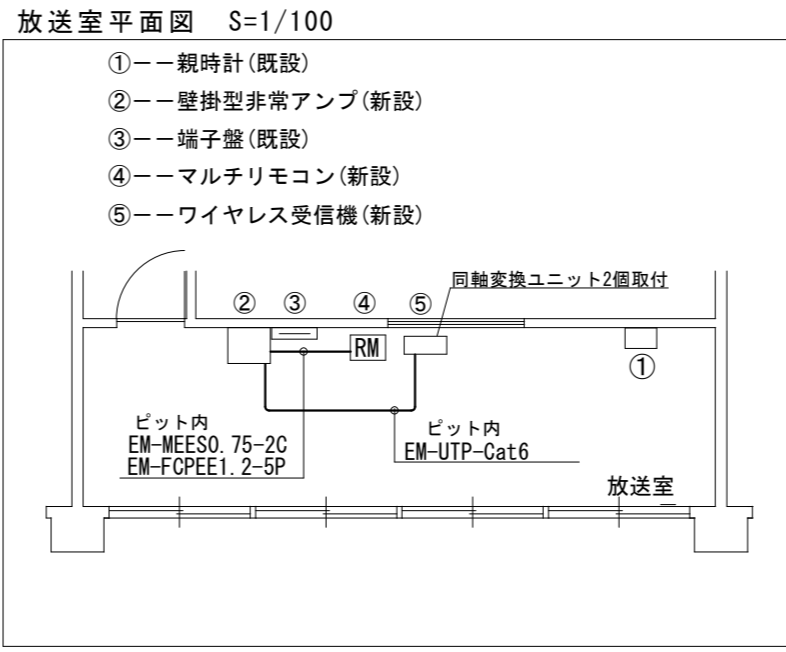
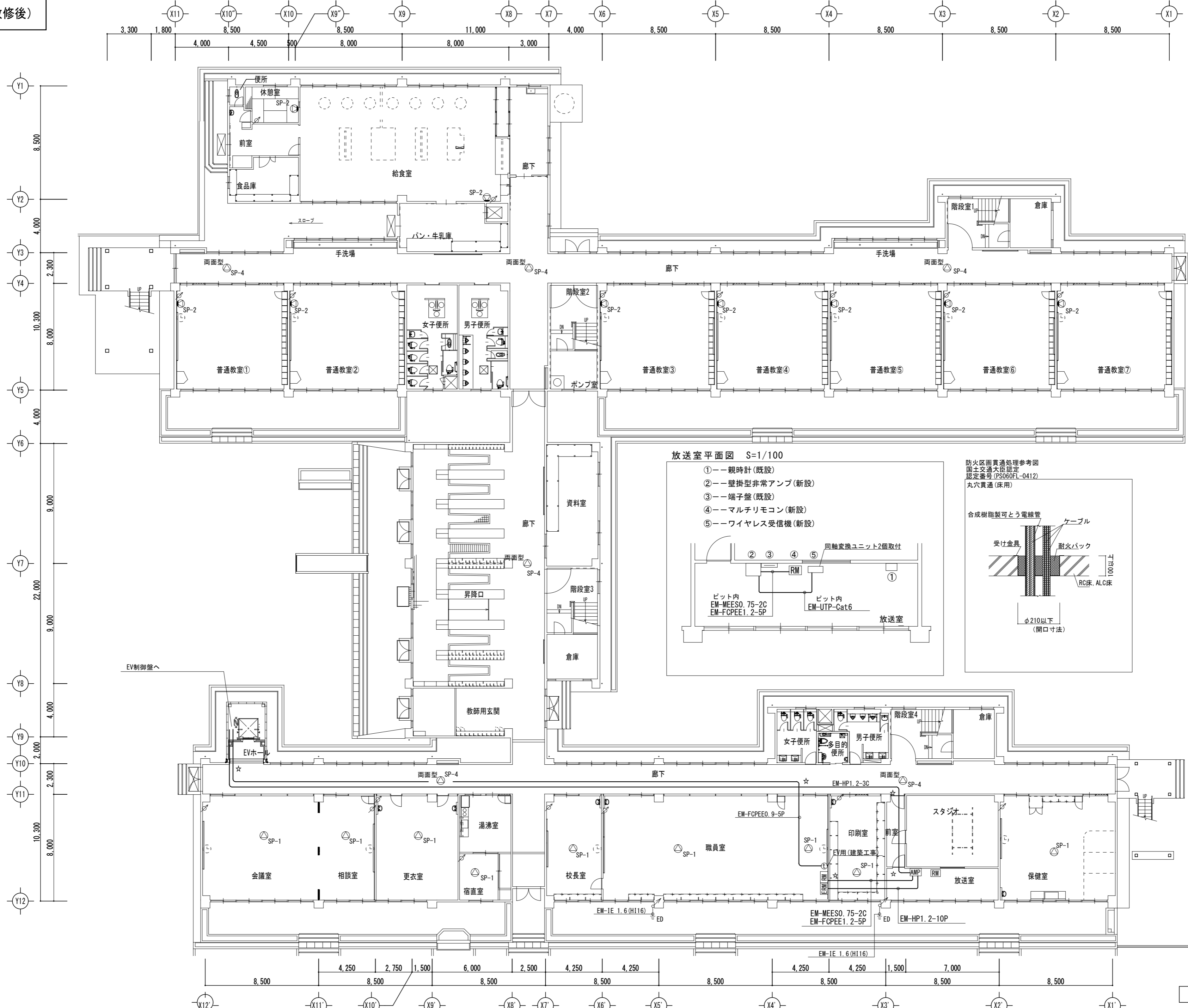
拡声設備系統図

「非常放送設備と自動火災報知設備は連動なし。
 非常放送設備のマイク使用時にベル鳴動が停止する措置を講じる」



<p>AMP 壁掛形防災アンプ (20局/270W)</p> <p>電源: AC100V 50/60Hz ワイヤレスアンテナ接続: 8ポート、RJ-45コネクタ 増設ワイヤレス受信機接続: 1ポート、RJ-45コネクタ 音声入力: 1系統: 補助入力 -10dBV 平衡600Ω コネクタ式端子台 音声出力: 4系統: チャンネル出力 -10dBV 平衡600Ω 1系統: ミキシング出力 -10dBV/-50dBV 平衡600Ω コネクタ式端子台 ネットワーク接続端子: 1ポート、100BASE-TX、RJ-45コネクタ 設定保守用接続端子: 1ポート、Micro USB Type-B パナソニック: WX-SR204A 相当品</p>	<p>AMP ワイヤレス受信機 (4ch)</p> <p>電源: AC100V 50/60Hz ワイヤレスアンテナ接続: 8ポート、RJ-45コネクタ 増設ワイヤレス受信機接続: 1ポート、RJ-45コネクタ 音声入力: 1系統: 補助入力 -10dBV 平衡600Ω コネクタ式端子台 音声出力: 4系統: チャンネル出力 -10dBV 平衡600Ω 1系統: ミキシング出力 -10dBV/-50dBV 平衡600Ω コネクタ式端子台 ネットワーク接続端子: 1ポート、100BASE-TX、RJ-45コネクタ 設定保守用接続端子: 1ポート、Micro USB Type-B パナソニック: WX-SR204A 相当品</p>	<p>RM マルチリモコン (20局+齊)</p> <p>電源: DC24V (システム本体又は別売ACアダプターより供給) 主装置音声出力: -2dBV 1系統、平衡 外部音声入力: -2dBV ビンジャック2系統 外部音声出力: -2dBV ビンジャック1系統 外部制御入力: 3回路 無電圧マイク挿入力 外部制御出力: 3回路 オープンコレクタ出力 スピーカー制御: 放送エリア×20、一斉、個別 通信: RS-485×1 機能: 角度調整 (本体/マイク)、コールサイン4種類 マイクロホン: エレクトレットコンデンサ型 パナソニック: WR-MC100B 相当品</p>	<p>SP-1 天井埋込型スピーカー SC6Hi-1V0-M</p> <p>規格入力: 3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ) 出力音圧レベル: 92dB (1W、1m) 周波数特性: 100Hz~12kHz スピーカー: 16cmコーン型 仕上: 枠: アルミ オフホワイト ネット: アルミ オフホワイト その他: スピーカーカバー一体型</p>	<p>SP-2 木製壁掛型スピーカー SWHi-1V0</p> <p>規格入力: 3W 出力音圧レベル: 92dB (1W、1m) 周波数特性: 150Hz~13kHz スピーカー等級: L級 音量調節: 4段切換 仕上: ケース: 木製 ライトグレー 前面: ジャージネット ライトグレー</p>	<p>SP-3 ホーンスピーカ 30W SH-30</p> <p>規格入力: 30W 出力音圧レベル: 98dB (1W、1m) 周波数特性: 120Hz~15kHz スピーカー: 定指向性ホーン+12cmコーン型 水平指向性: 定指向性ホーン 90° スピーカー等級: L級 仕上: ホーン、カバー: 樹脂 オフホワイト</p>
<p>AMP 非常リモコン (20局)</p> <p>電源: DC24V (壁掛形非常用放送設備より供給) 選択制御: 20局+齊 (優先/一般 設定可) 緊急地震放送: 地震放送表示、地震放送停止スイッチ ファンクションスイッチ: 5個: スピーカー回路まとめ/音源再生/外部制御出力 モニタースピーカー: 業務放送時 音量調節付き (操作パネル面) ハウリング防止機能付 その他: 停電送可 (本体に業務放送用蓄電池を内蔵時) CUD認証製品 パナソニック: WR-EC320 相当品</p>	<p>SP-4 両面型スピーカー</p> <p>規格入力: 1W、3W、6W 出力音圧レベル: 92dB (1W、1m) 周波数特性: 130Hz~13kHz 入力インピーダンス: 1.7kΩ、5kΩ 仕上: 枠: 木製 オフホワイト スピーカーユニット: 16cmコーン型×2 パナソニック: WS-2260A 相当品</p>	<p>V-1S 音量調節器</p> <p>入力容量: 0.5~3W 音量切換: 5段階切換 仕上: プレート: アルミ</p>	<p>ワイヤレスマイクロホン (ハンド型)</p> <p>使用周波数: 1.9GHz帯 (DECT準拠方式) 使用マイク: 単一指向性エレクトレット・コンデンサマイク 周波数特性: 100Hz~15kHz 外部入力: 1系統: ラインイン-14dBV φ3.5mmステレオミニジャック (モノラルミックス) 使用電池: 単3形アルカリ乾電池LR6×1個 または、単3形充電池ニッケル水素電池×1個 電池寿命: 約8時間 (25℃連続使用時) パナソニック: WX-ST200 相当品</p>	<p>ワイヤレスマイクロホン (タイピン型)</p> <p>使用周波数: 1.9GHz帯 (DECT準拠方式) 使用マイク: 単一指向性エレクトレット・コンデンサマイク 周波数特性: 100Hz~15kHz 外部入力: 1系統: ラインイン-14dBV φ3.5mmステレオミニジャック (モノラルミックス) 使用電池: 単3形アルカリ乾電池LR6×1個 または、単3形充電池ニッケル水素電池×1個 電池寿命: 約8時間 (25℃連続使用時) WX-L400</p>	<p>ポータブルワイヤレス送信機</p> <p>使用周波数: 1.9GHz帯 (DECT準拠方式) マイク入力1、2: -54dBV 平衡 600Ω 大型様式ジャック 補助入力3、4: -54dBV/-14dBV切換 不平衡 600Ω ライン出力: φ3.5mmミニ様式ジャック -20dBV 不平衡 600Ω φ3.5mmミニ様式ジャック (モノラルミックス) 周波数特性: 100Hz~15kHz 電源: 単3形アルカリ乾電池×4本 または、USB給電 電池寿命 (25℃連続使用): 約24時間 (単3形アルカリ乾電池LR6×4使用時) パナソニック: WX-ST510 相当品</p>

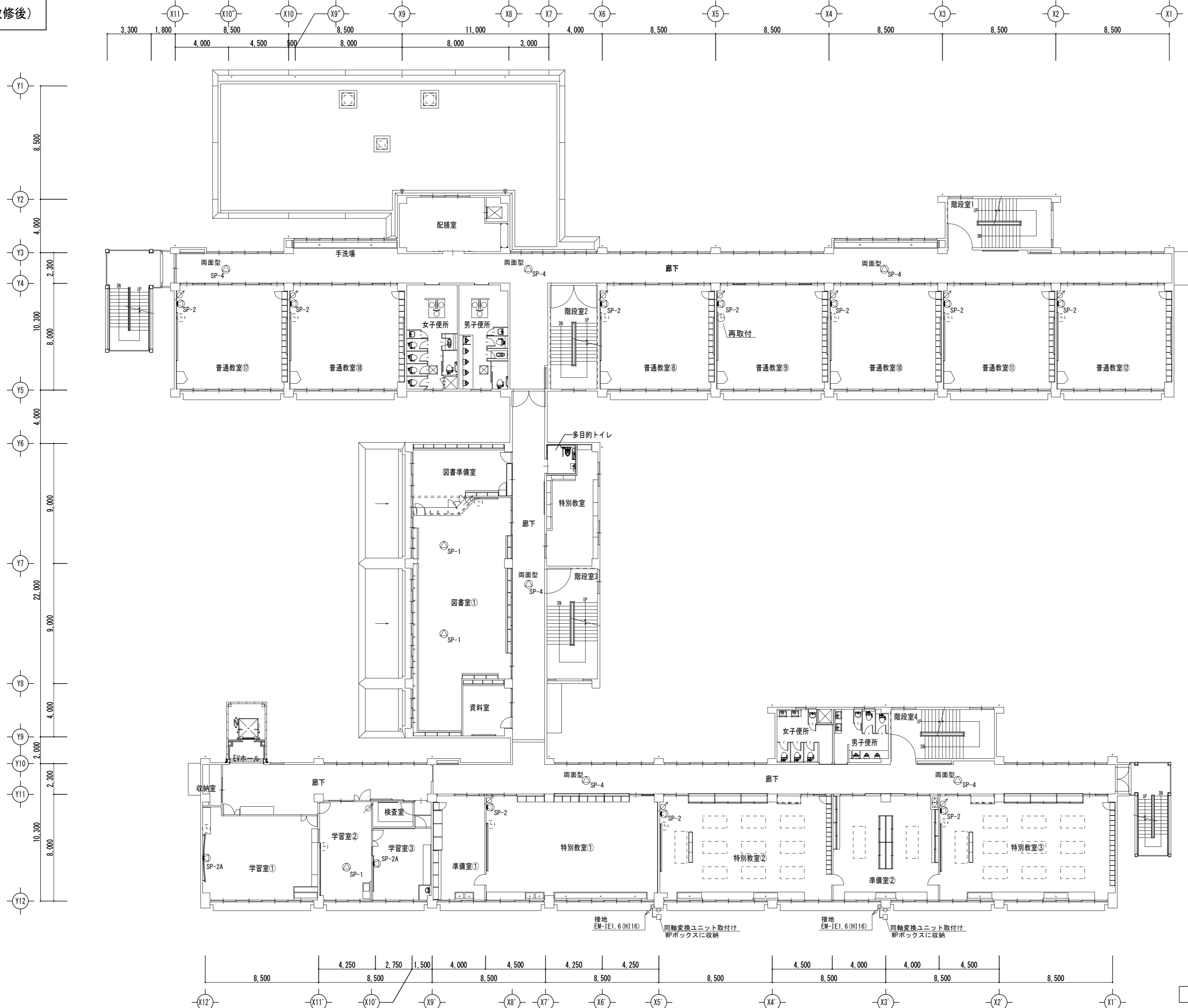
校舎 1階平面図 (改修後)



☆印は防火区画貫通処理を示す

1階平面図 S=1/200

校舎 2階平面図 (改修後)



2階平面図 S=1/200

構 成 考	三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 進也
-------------	---------------------------------------

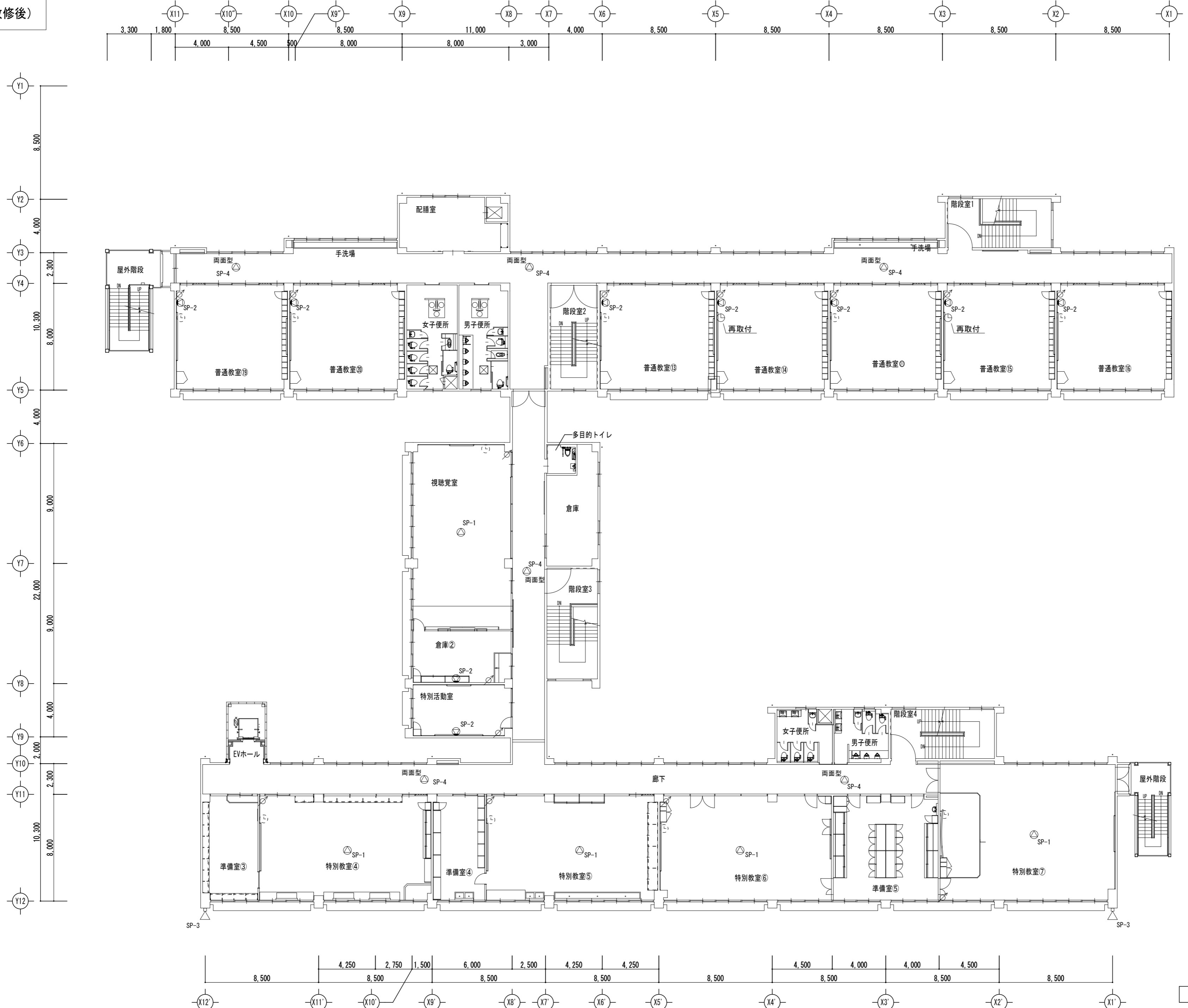
田端建築設計 (株)

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352027 梅田健一 二級建築士 No.15147 岸上良智

SCALE	1/200
DATE	

工事名称	津市立南立城小学校長寿命化改修工事
図面名称	校舎 2階拡声設備平面図 (改修後)

校舎 3階平面図 (改修後)



3階平面図 S=1/200

編	
号	
考	

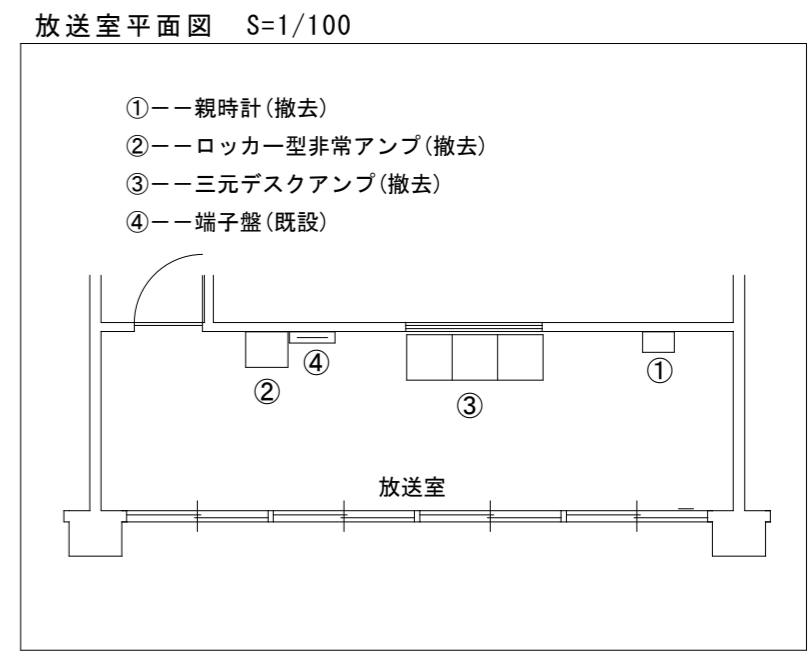
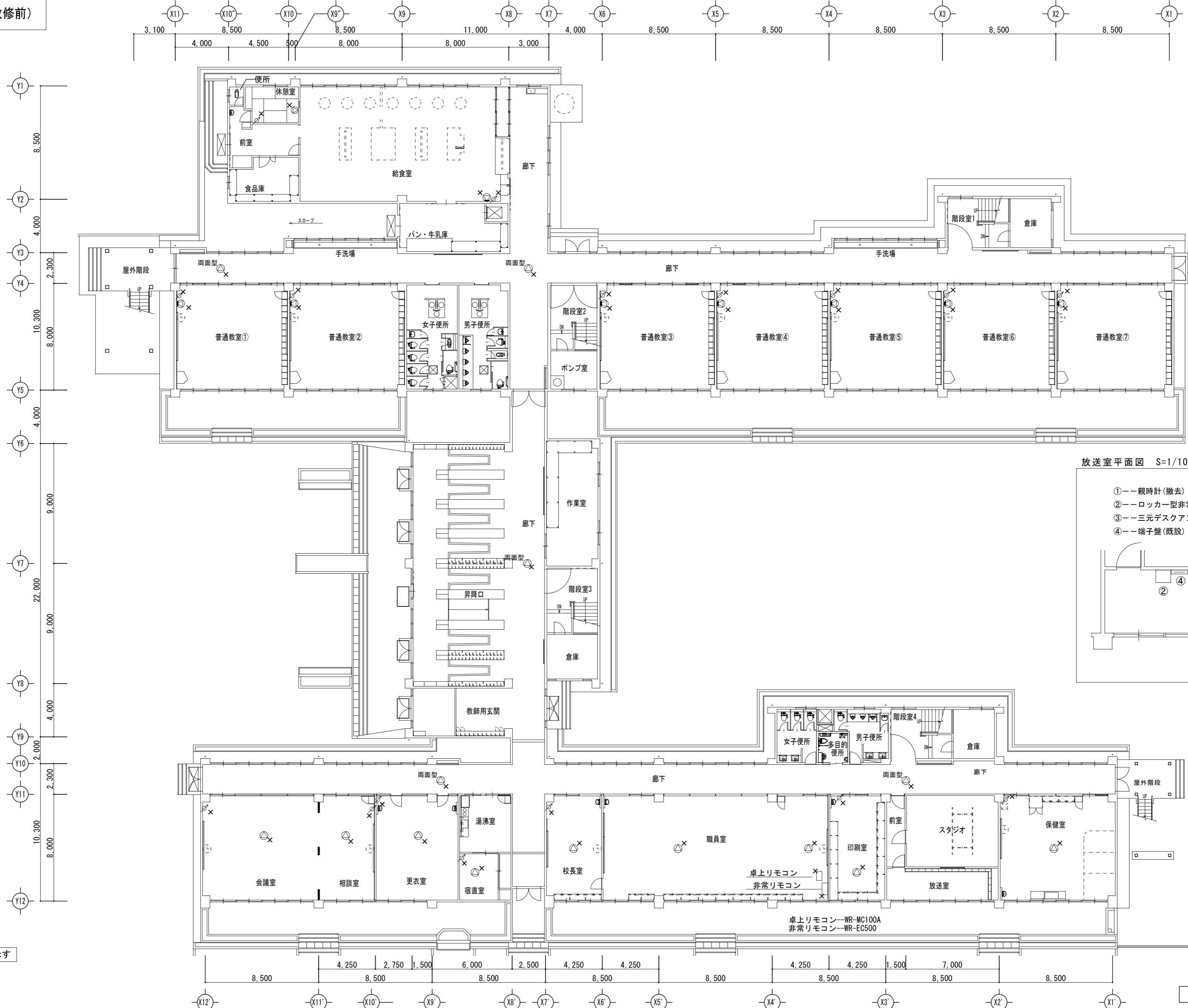
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 達也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端達也	一級建築士 No.352075 梅田 隆一 梅田 隆一 梅田 隆一

SCALE	1/200
DATE	1/28

工事名称 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
 図面名称 校舎 3階拡声設備平面図 (改修後)

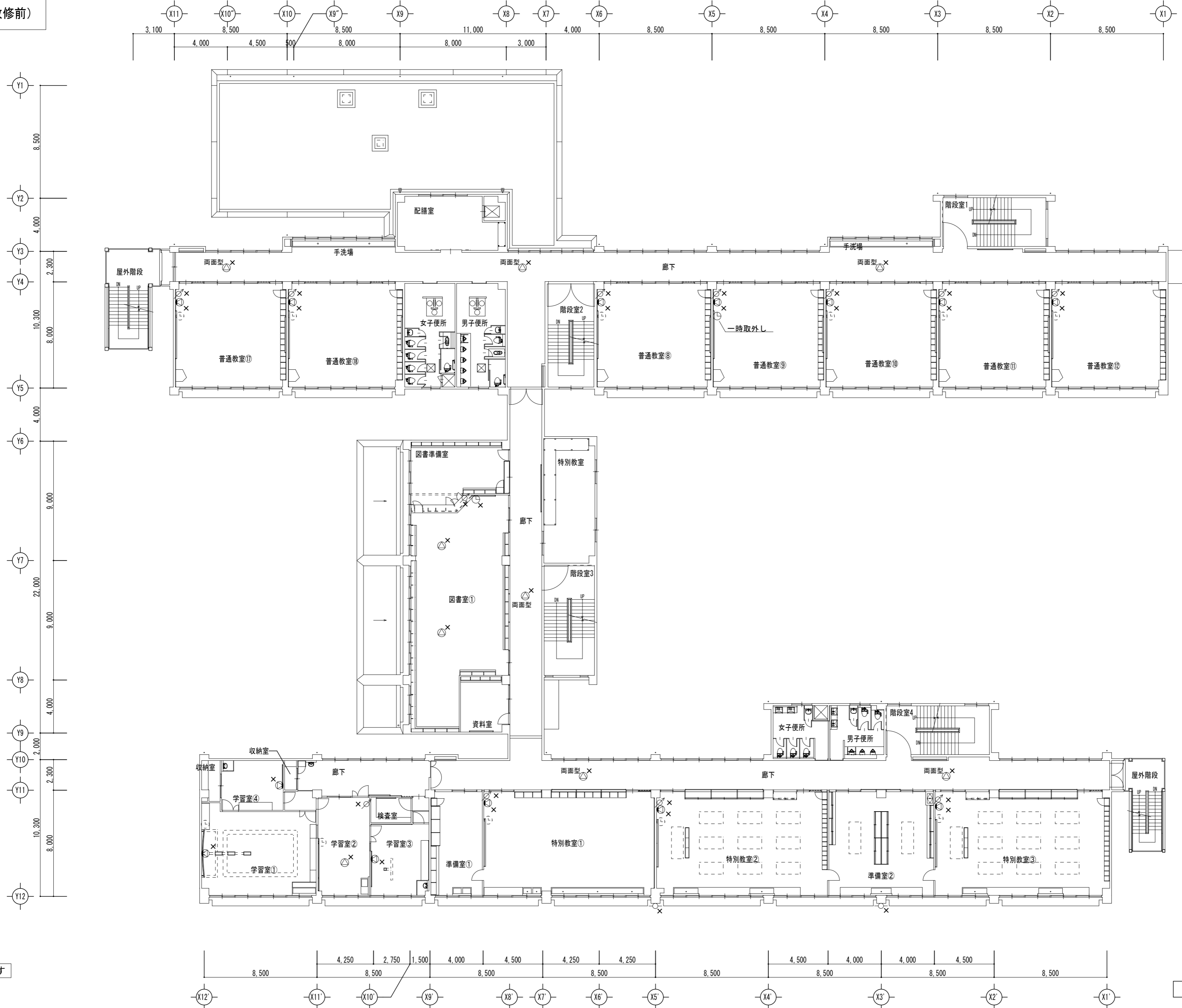
校舎 1階平面図 (改修前)



×印は撤去を示す

1階平面図 S=1/200

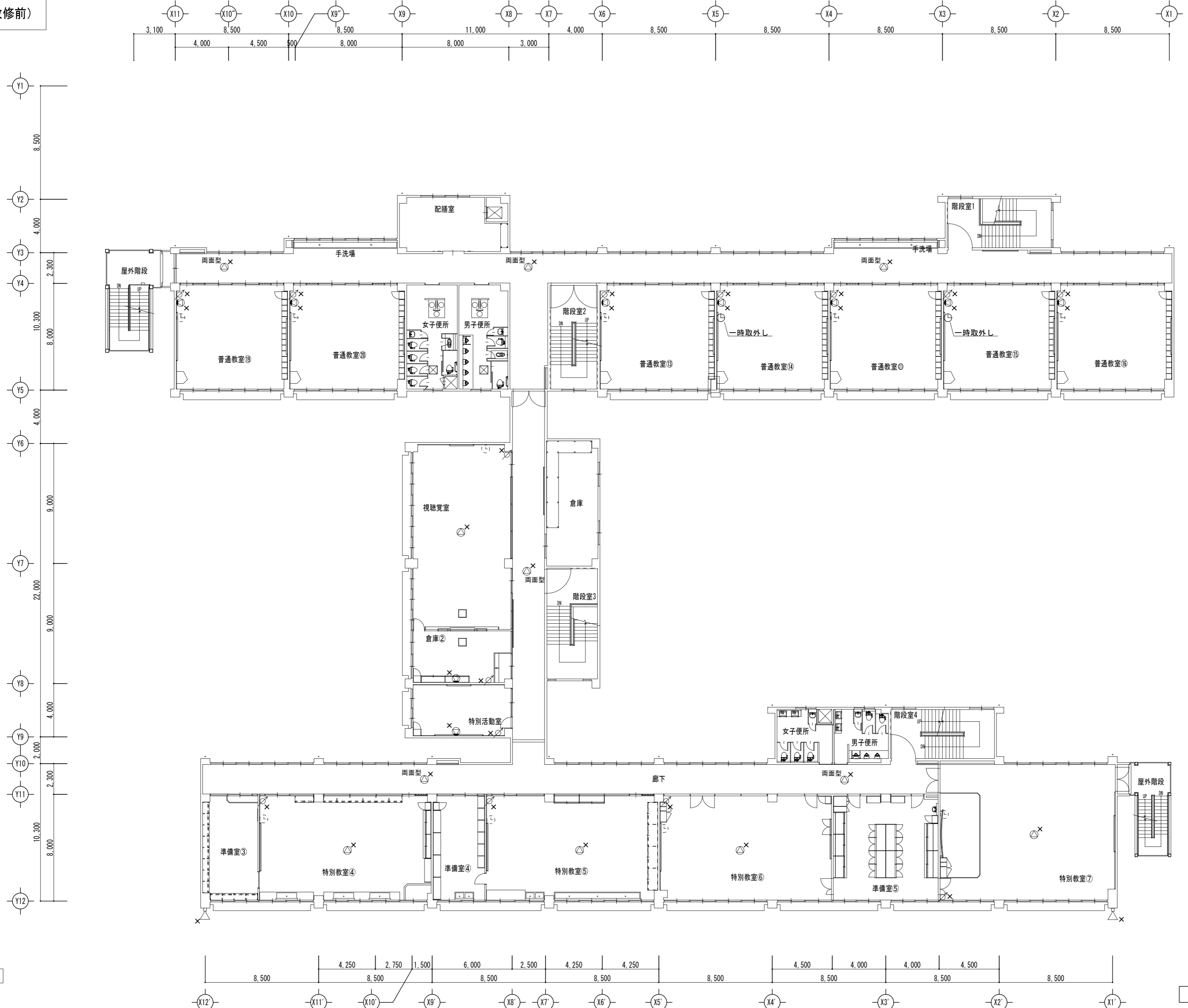
校舎 2階平面図 (改修前)



×印は撤去を示す

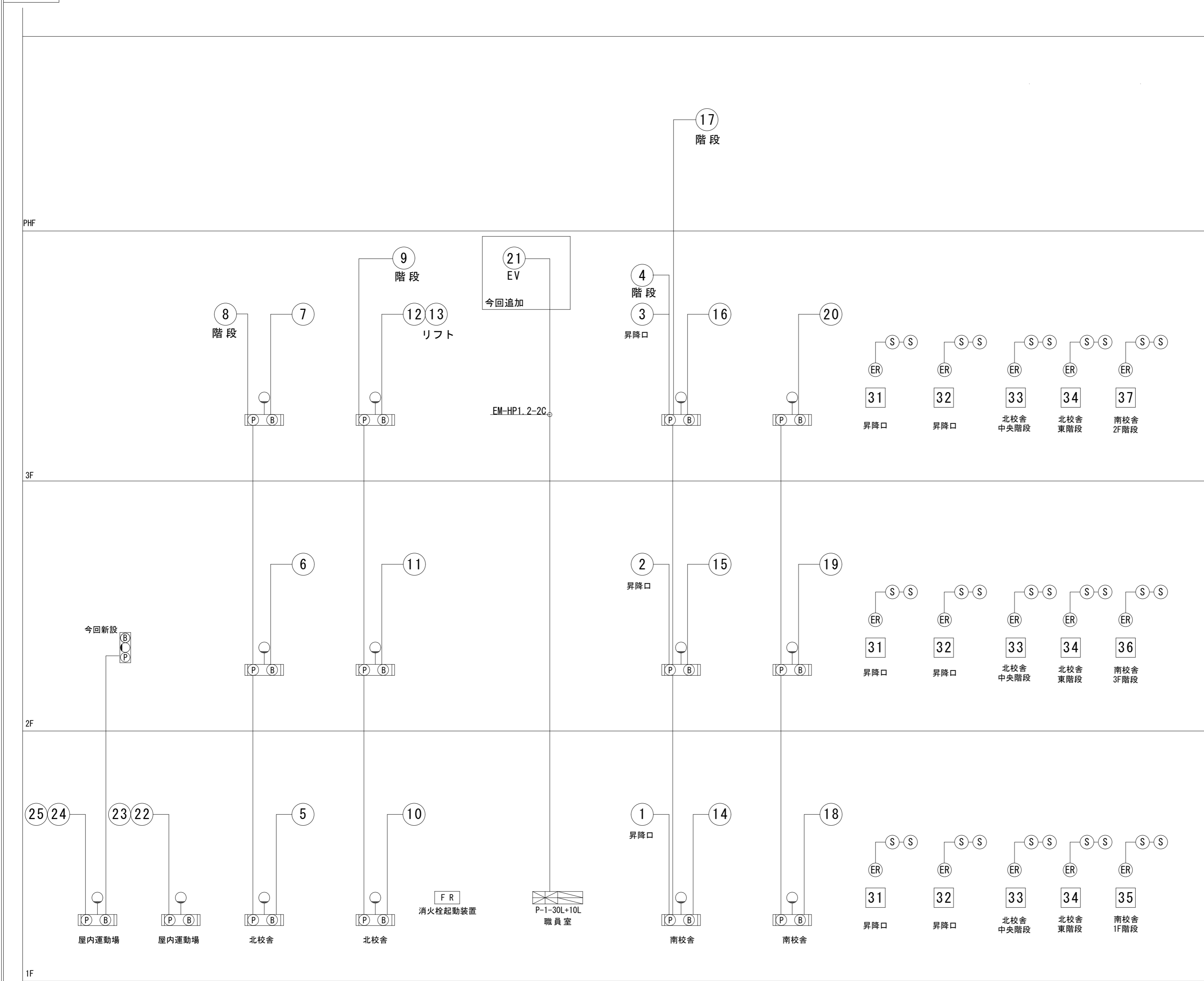
2階平面図 S=1/200

校舎 3階平面図 (改修前)



×印は撤去を示す

3階平面図 S=1/200



凡例表

記号	名称	備考
	複合受信機 P型1級 30窓+10窓	
	消火栓組込	
	総合盤	
	P型1級発信機	
	表示灯	
	ベル	
	煙感知器 2種	
	差動式スポット型感知器 2種	
	定温式スポット型感知器 1種防水	
	定温式スポット型感知器 特種	
	煙感知器 3種	
	自動閉鎖装置	防火戸
	終端抵抗器	
	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
	警戒区域番号	

P型1級30窓+10窓 複合受信機警 戒区域一覧表

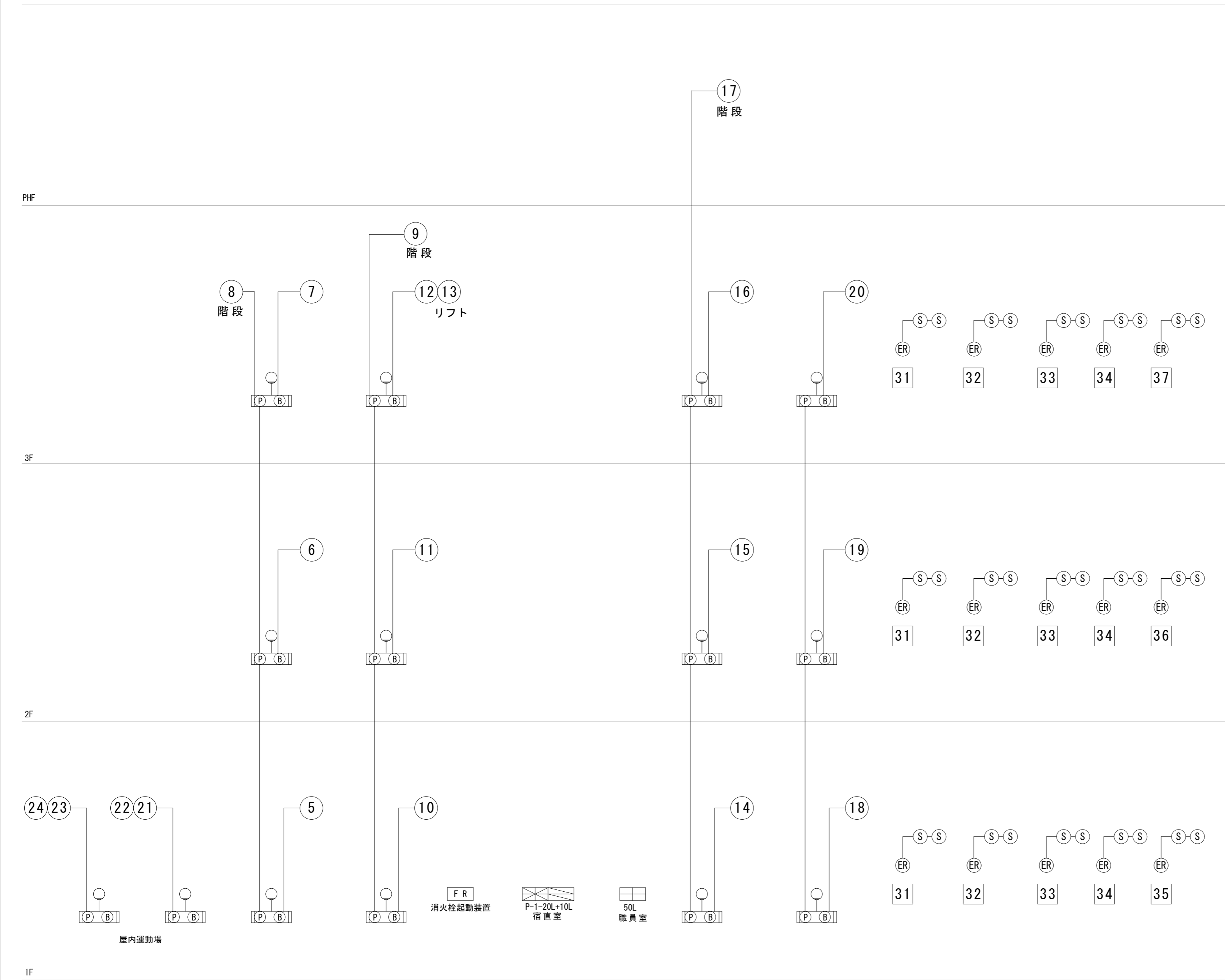
番号	名称	番号	名称
1	昇降口 1階 玄関	16	南校舎 3階 東
2	昇降口 2階 図書室	17	南校舎 東階段
3	昇降口 3階 視聴覚室	18	南校舎 1階 西
4	昇降口 中央階段	19	南校舎 2階 西
5	北校舎 1階 東	20	南校舎 3階 西
6	北校舎 2階 東	21	南校舎 EV
7	北校舎 3階 東	22	体育館 1階
8	北校舎 東階段	23	体育館 ホール上部
9	北校舎 中央階段	24	体育館 1階
10	北校舎 1階 西	25	体育館 ホール上部
11	北校舎 2階 西	26	予備
12	北校舎 3階 西	27	予備
13	リフト	28	予備
14	南校舎 1階 東	29	予備
15	南校舎 2階 東	30	予備

10窓 連動制御盤 警戒区域一覧表

番号	名称
31	昇降口 中央階段
32	昇降口 廊下 北
33	北校舎 中央階段
34	北校舎 東階段
35	南校舎 1階 東階段
36	南校舎 2階 東階段
37	南校舎 3階 東階段
38	予備
39	予備
40	予備

自動火災報知設備系統図

表示灯は、消火ポンプ起動時はフリッカーすること。
表示灯の電源は、屋内消火栓ポンプより供給すること。



自動火災報知設備系統図

表示灯は、消火ポンプ起動時はフリッカーすること。
表示灯の電源は、屋内消火栓ポンプより供給すること。

凡例表

記号	名称	備考
	複合受信機 P型1級 20窓+10窓	
	消火栓組込	
	総合盤	
	P型1級発信機	
	表示灯	
	ベル	
	煙感知器 2種	
	差動式スポット型感知器 2種	
	定温式スポット型感知器 1種防水	
	煙感知器 3種	
	自動閉鎖装置	防火戸
	終端抵抗器	
	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
	警戒区域番号	

P型1級30窓 受信機警 戒区域一覧表

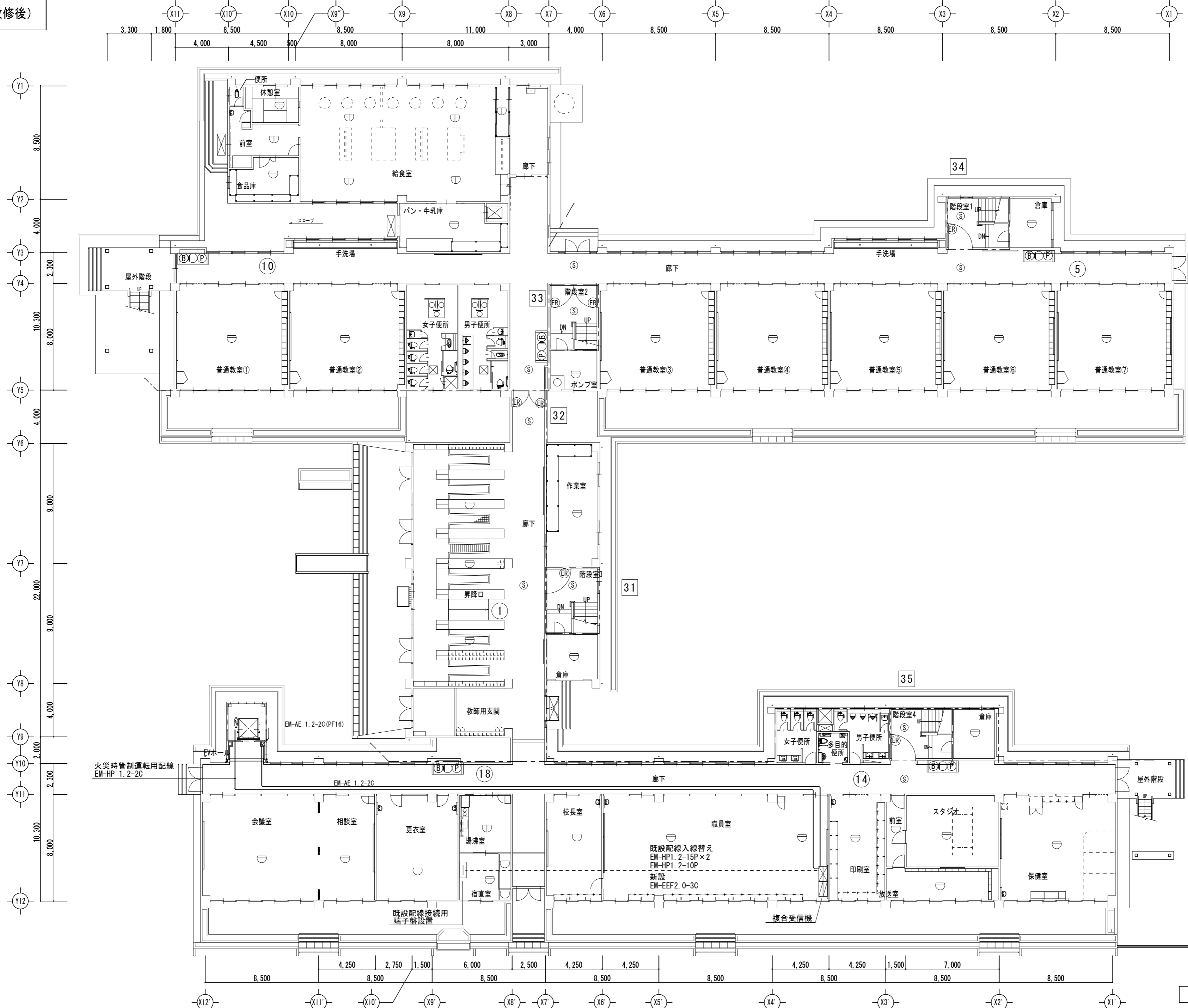
番号	名称	番号	名称
1	昇降口 1階 玄関	16	南校舎 3階 東
2	昇降口 2階 図書室	17	南校舎 東階段
3	昇降口 3階 視聴覚室	18	南校舎 1階 西
4	昇降口 中央階段	19	南校舎 2階 西
5	北校舎 1階 東	20	南校舎 3階 西
6	北校舎 2階 東	21	体育館 ステージ下
7	北校舎 3階 東	22	体育館 ステージ上
8	北校舎 東階段	23	体育館
9	北校舎 中央階段	24	体育館 ホール
10	北校舎 1階 西	25	予備
11	北校舎 2階 西	26	予備
12	北校舎 3階 西	27	予備
13	リフト	28	予備
14	南校舎 1階 東	29	予備
15	南校舎 2階 東	30	予備

10窓 連動制御警 戒区域一覧表

番号	名称	番号	名称
1	昇降口 中央階段	9	予備
2	昇降口 廊下 北	10	予備
3	北校舎 中央階段	11	予備
4	北校舎 東階段	12	予備
5	南校舎 1階 東階段	13	予備
6	南校舎 2階 東階段	14	予備
7	南校舎 3階 東階段	15	予備
8	予備		

・機器は撤去とする。

校舎 1階平面図 (改修後)



火災時管制運転用配線
EM-HP 1.2-2C

EM-AE 1.2-2C (PF16)

EM-AE 1.2-2C

既設配線入線替え
EM-HP1.2-15P×2
EM-HP1.2-10P
新設
EM-EEF2.0-3C

既設配線接続用
端子盤設置

複合受信機

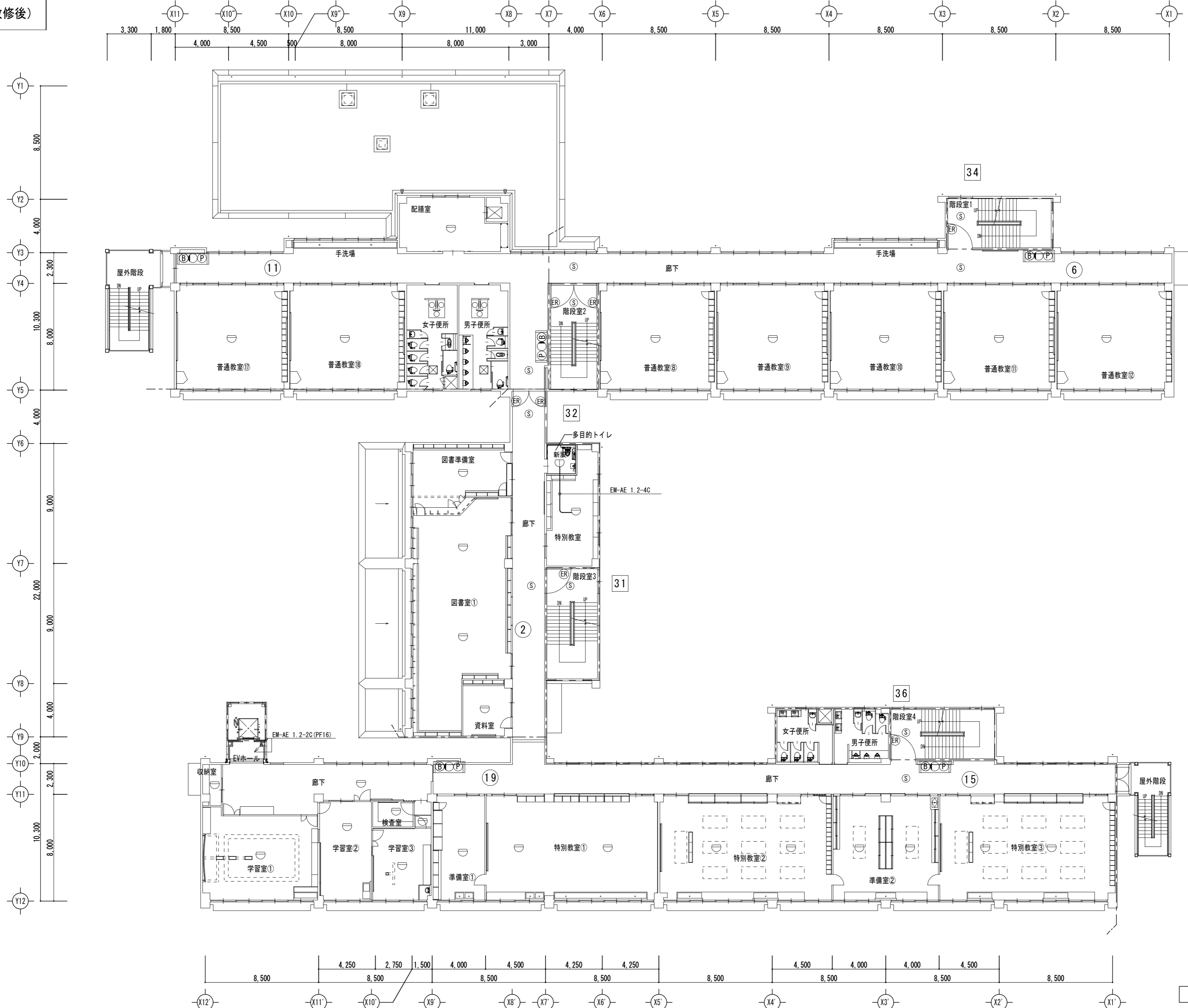
1階平面図 S=1/200

設計代表者 一級建築士 No.35251 田端隆也	設計担当者 一級建築士 No.35257 橋本健一 二級建築士 No.35258 村上真智	SCALE 1/200 DATE 2023.11.28	工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事	E-25 原図: A2
------------------------------------	---	--------------------------------------	---------------------------	----------------

田端隆也建築設計 (株) 田端隆也建築設計
三重県知事登録第1-801 一級建築士 No.35251 田端 隆也

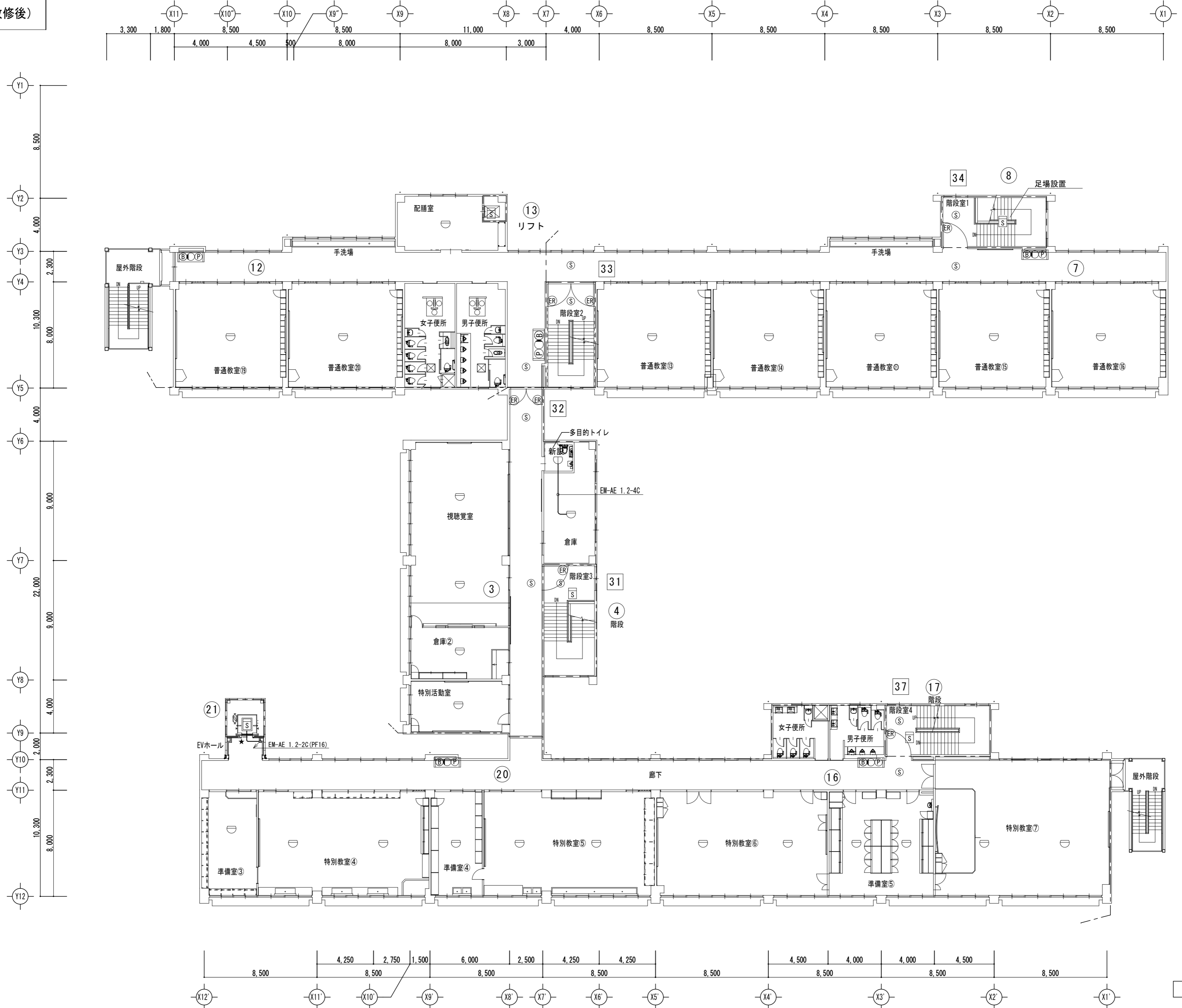
図面名称
校舎 1階自動火災報知設備平面図 (改修後)

校舎 2階平面図 (改修後)



2階平面図 S=1/200

校舎 3階平面図 (改修後)



3階平面図 S=1/200

構造 電気 設備 衛生 消防 安全	設計代表者 一級建築士 No.32551 田端 進也	設計担当者 一級建築士 No.32027 橋本 健一 二級建築士 No.32551 田端 進也	SCALE 1/200 DATE	工事名称 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事 図面名称 校舎 3階自動火災報知設備平面図 (改修後)	E-27 原図: A2
----------------------------------	-------------------------------------	---	------------------------	---	----------------

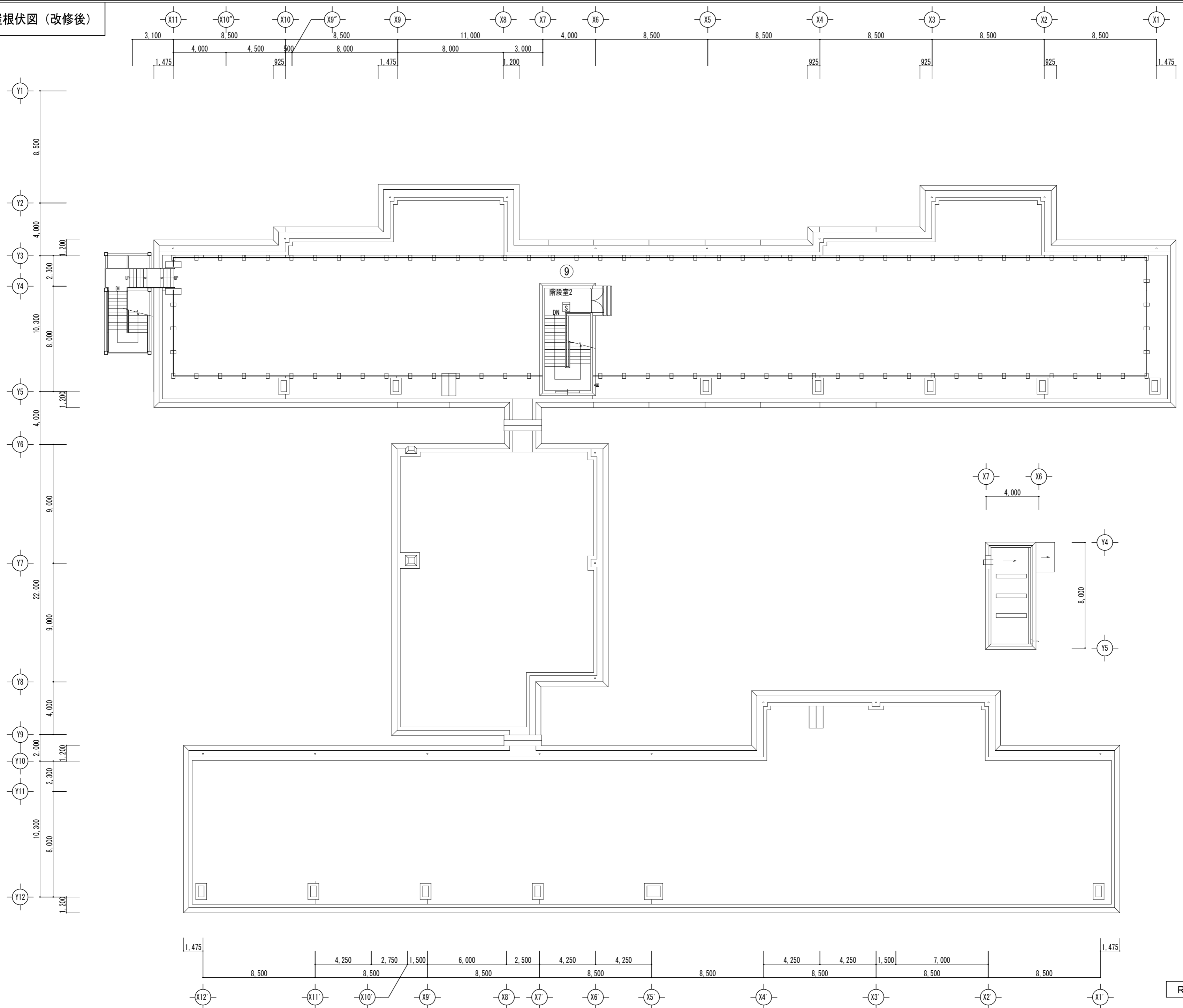
(株)田端隆建築設計

設計代表者 一級建築士 No.32551 田端 進也	設計担当者 一級建築士 No.32027 橋本 健一 二級建築士 No.32551 田端 進也
-------------------------------------	---

SCALE	1/200
DATE	

工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
図面名称	校舎 3階自動火災報知設備平面図 (改修後)

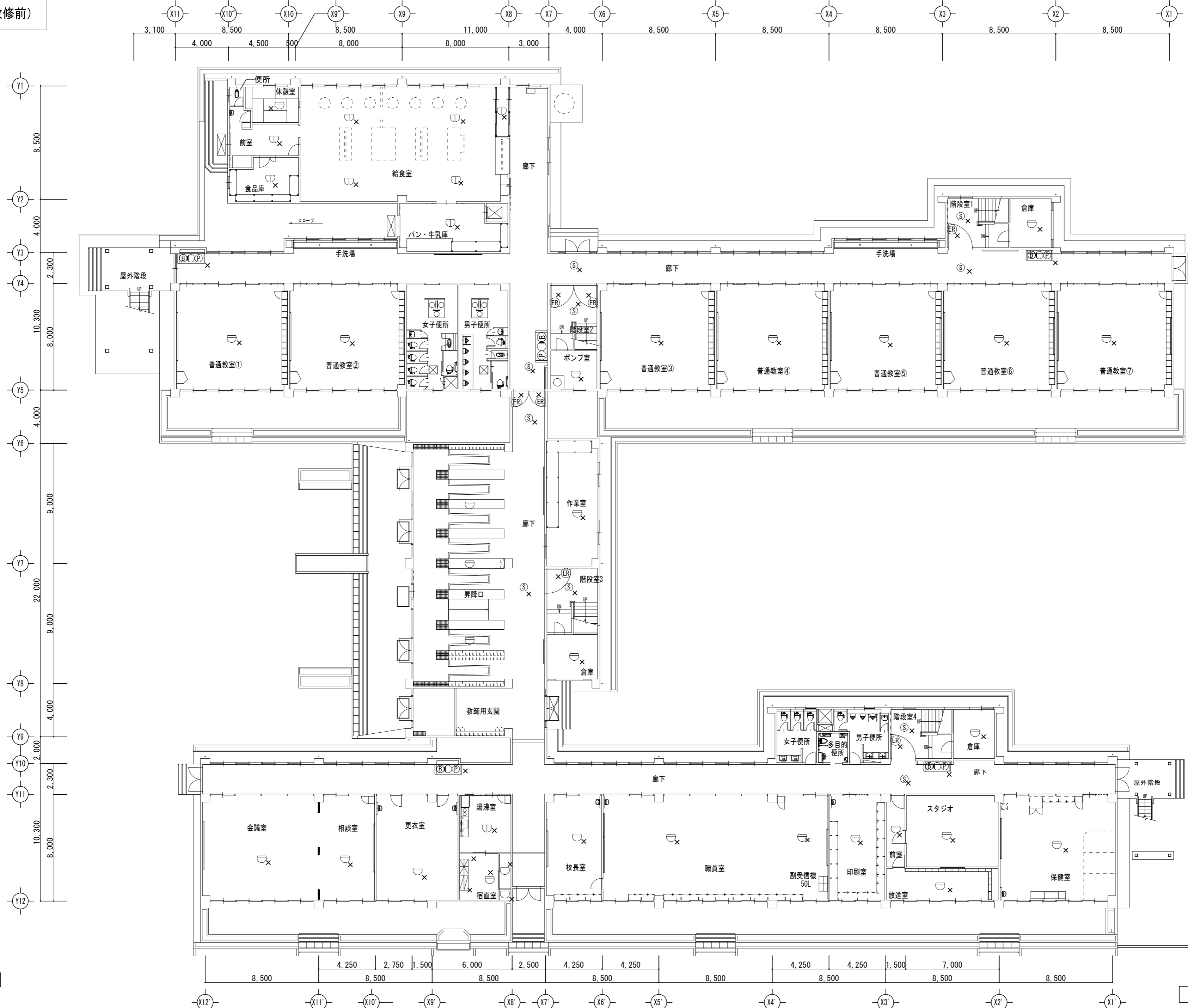
E-27
原図: A2



R階平面図・屋根伏図 S=1/200

編 号 . . .	設計代表者 一級建築士 No.35251 田端 達也	設計担当者 一級建築士 No.35257 梅田 健一 二級建築士 No.35258 岸上 貴智	SCALE X2 : 1/200 X3 : 1/250 DATE	工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事	E-28 原図: A2
			図面名称 校舎 R階自動火災報知設備平面図 (改修後)		

校舎 1階平面図 (改修前)

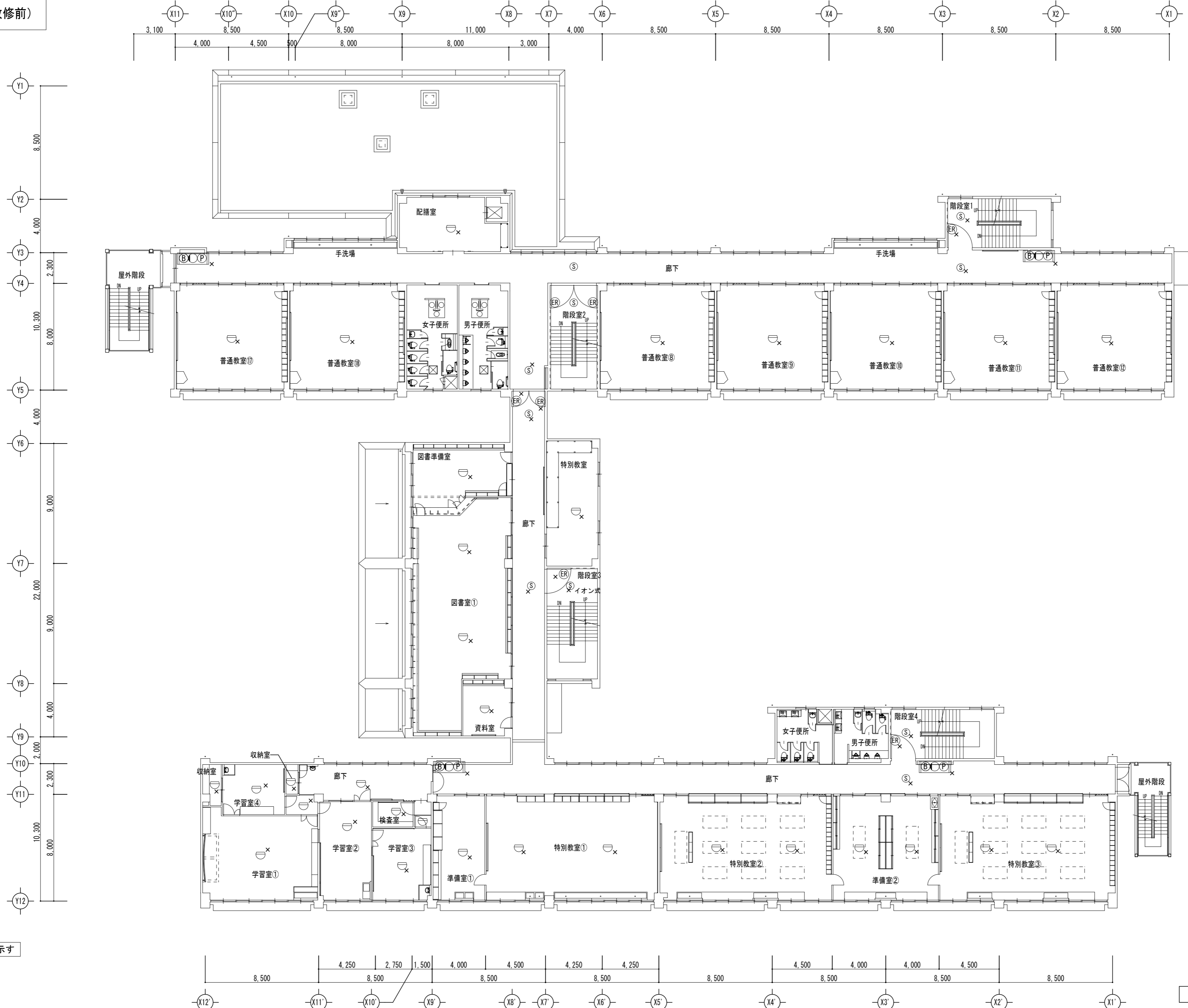


×印は撤去を示す

1階平面図 S=1/200

編 号 . . .	設計代表者 一級建築士 No.35251 田端 達也	設計担当者 一級建築士 No.35257 橋本 健一 二級建築士 No.35258 村上 賢	SCALE 1/200 1/200	工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事	E-29 原図: A2
			DATE	図面名称 校舎 1階自動火災報知設備平面図 (改修前)	

校舎 2階平面図 (改修前)

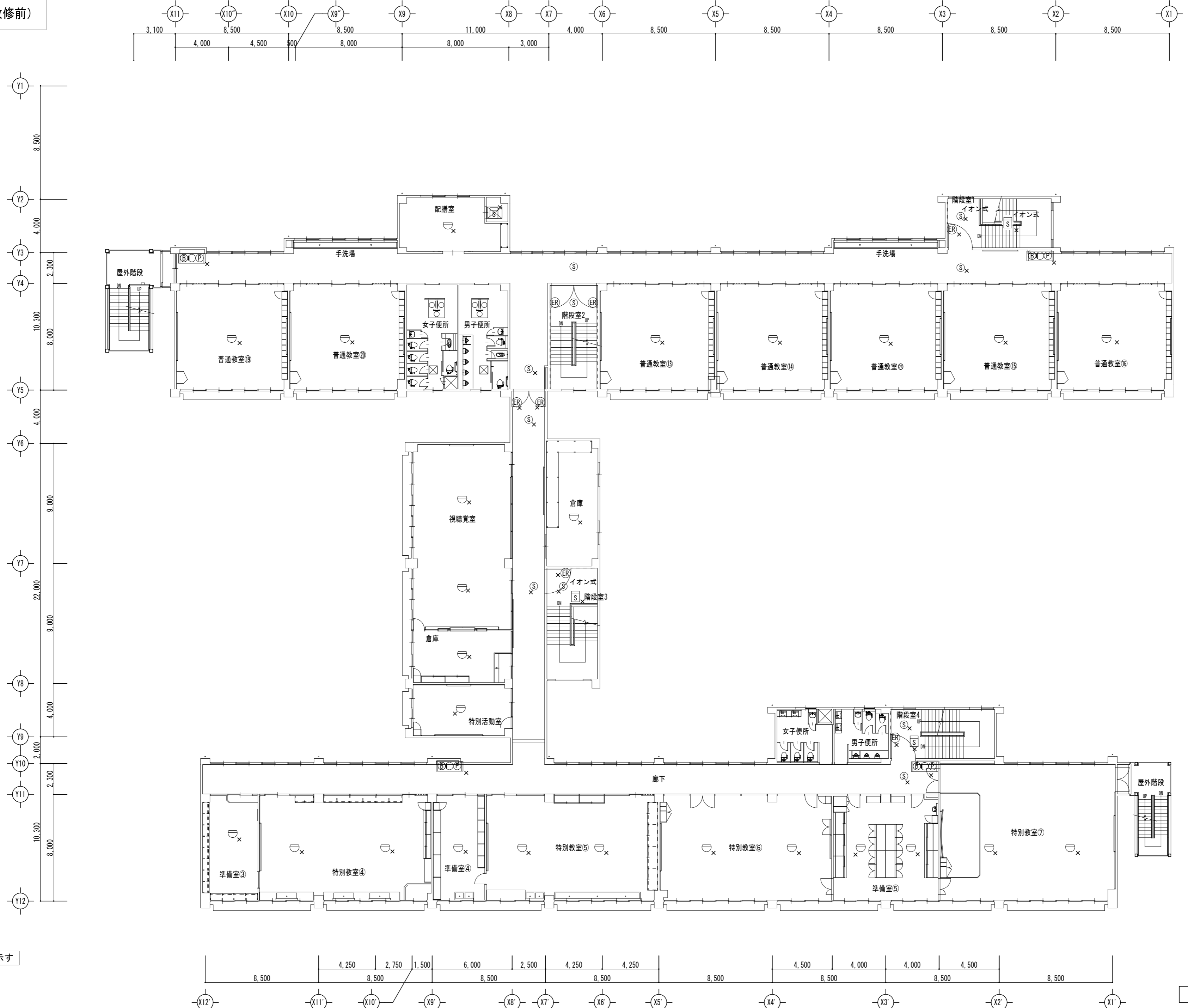


×印は撤去を示す

2階平面図 S=1/200

編 号 . . .	設計代表者 一級建築士 No.32551 田端 進也	設計担当者 一級建築士 No.32027 橋本 健一 二級建築士 No.32027 村上 賢	SCALE 1/200 1/200	工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事	E-30 原図: A2
			DATE 1/28	図面名称 校舎 2階自動火災報知設備平面図 (改修前)	

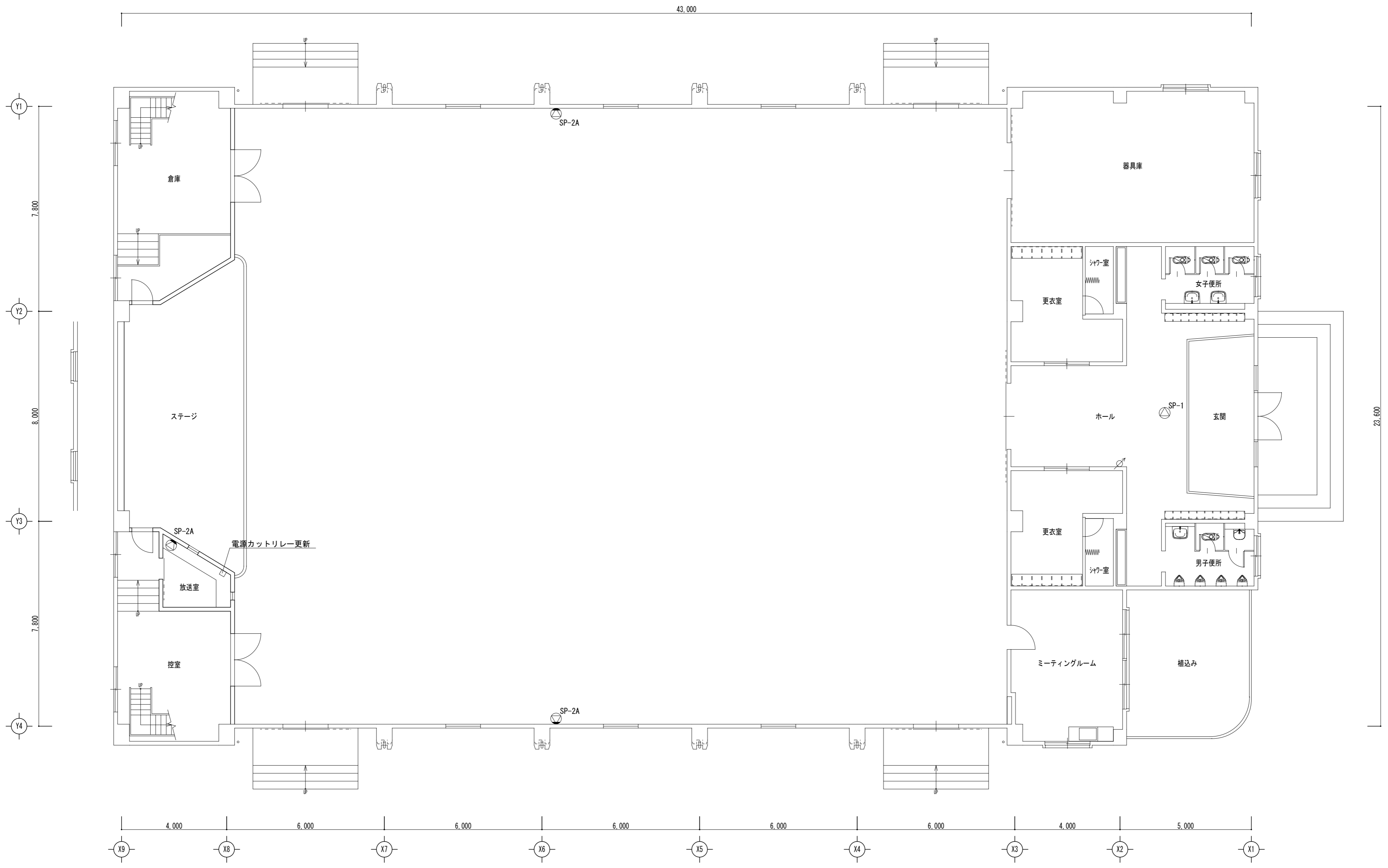
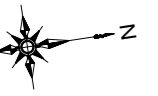
校舎 3階平面図 (改修前)



×印は撤去を示す

3階平面図 S=1/200

構 造 考 察 	田端隆建築設計 (株) <small>三重県知事登録第1-8-0-1 一般建築士 No.352551 田端 隆也</small>		設計代表者 <small>一般建築士 No.352551 田端 隆也</small>	設計担当者 <small>一般建築士 No.352551 田端 隆也 構造設計一般建築士 田端 隆也</small>	SCALE 1/200 1/200 DATE	工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事 図面名称 校舎 3階自動火災報知設備平面図 (改修前)	E-31 原図: A2
	3階平面図 S=1/200						

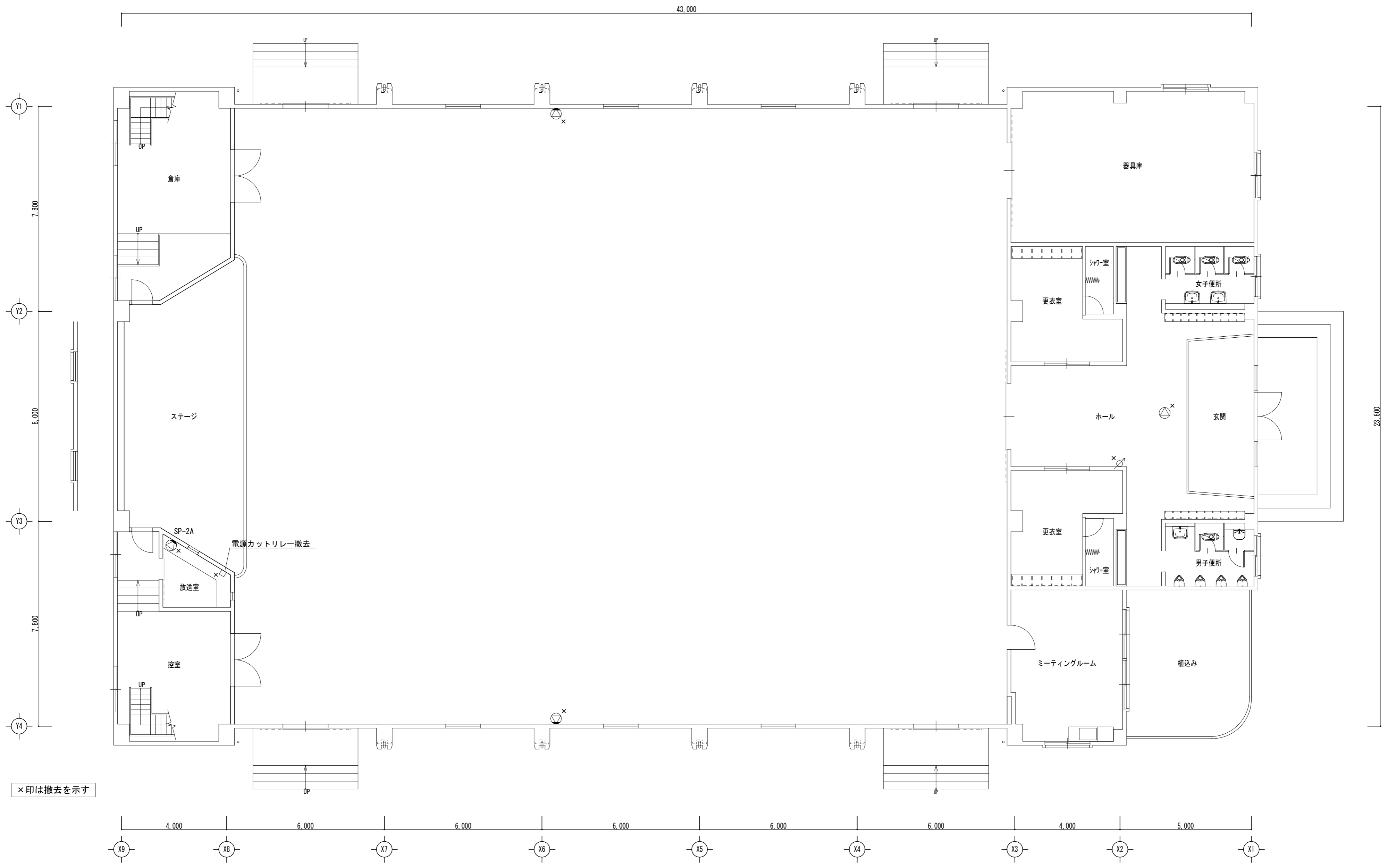


1階平面図 S=1/100

構 成 考	〇 (株) 田端隆建築設計 <small>三重県知事登録第1-8-0-1 一般建築士 No.352551 田端 隆也</small>
-------------	---

設計代表者 一般建築士 No.352551 田端隆也	設計担当者 一般建築士 No.352557 梅田 隆一 梅田 隆一 梅田 隆一	SCALE X2 = 1/100 X3 = 1/140 DATE
-------------------------------------	--	---

工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事 図面名称 屋内運動場 1階拡声設備平面図 (改修後)	E-32 原図: A2
--	----------------



×印は撤去を示す

1階平面図 S=1/100

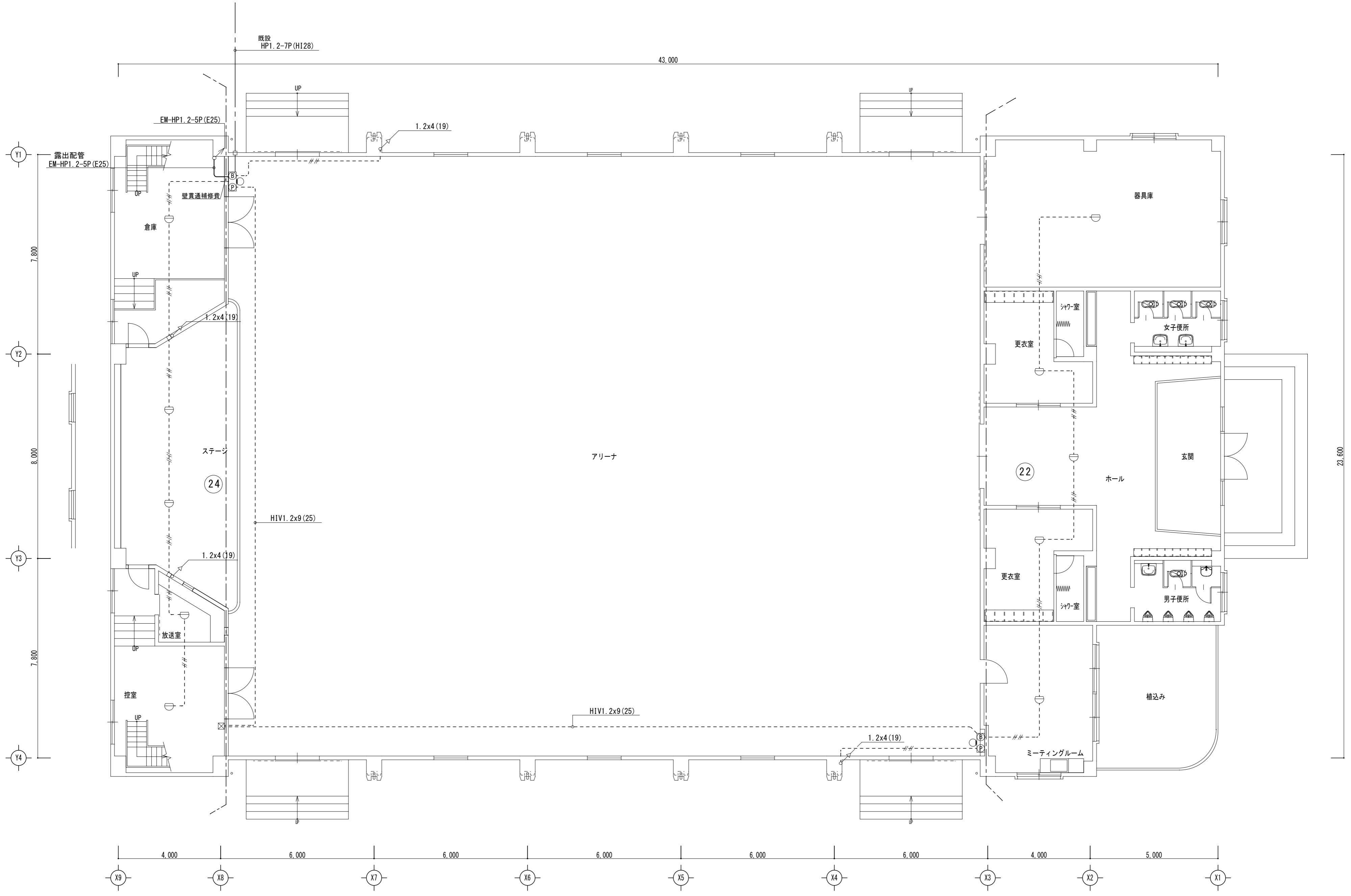
構 成 考	三重県知事登録第1-8-01 一級建築士 No.352551 田端 達也
-------------	---

(株)田端隆建築設計
 一級建築士
 No.352551
 田端 達也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端 達也	一級建築士 No.352027 橋本 隆一 二級建築士 No.352027 岸上 貴智

SCALE	X2 = 1/100
	X3 = 1/140
DATE	

工事名称	津市立南立城小学校長寿命化改修工事
図面名称	屋内運動場 1階拡声設備平面図 (改修前)



1階平面図 S=1/100

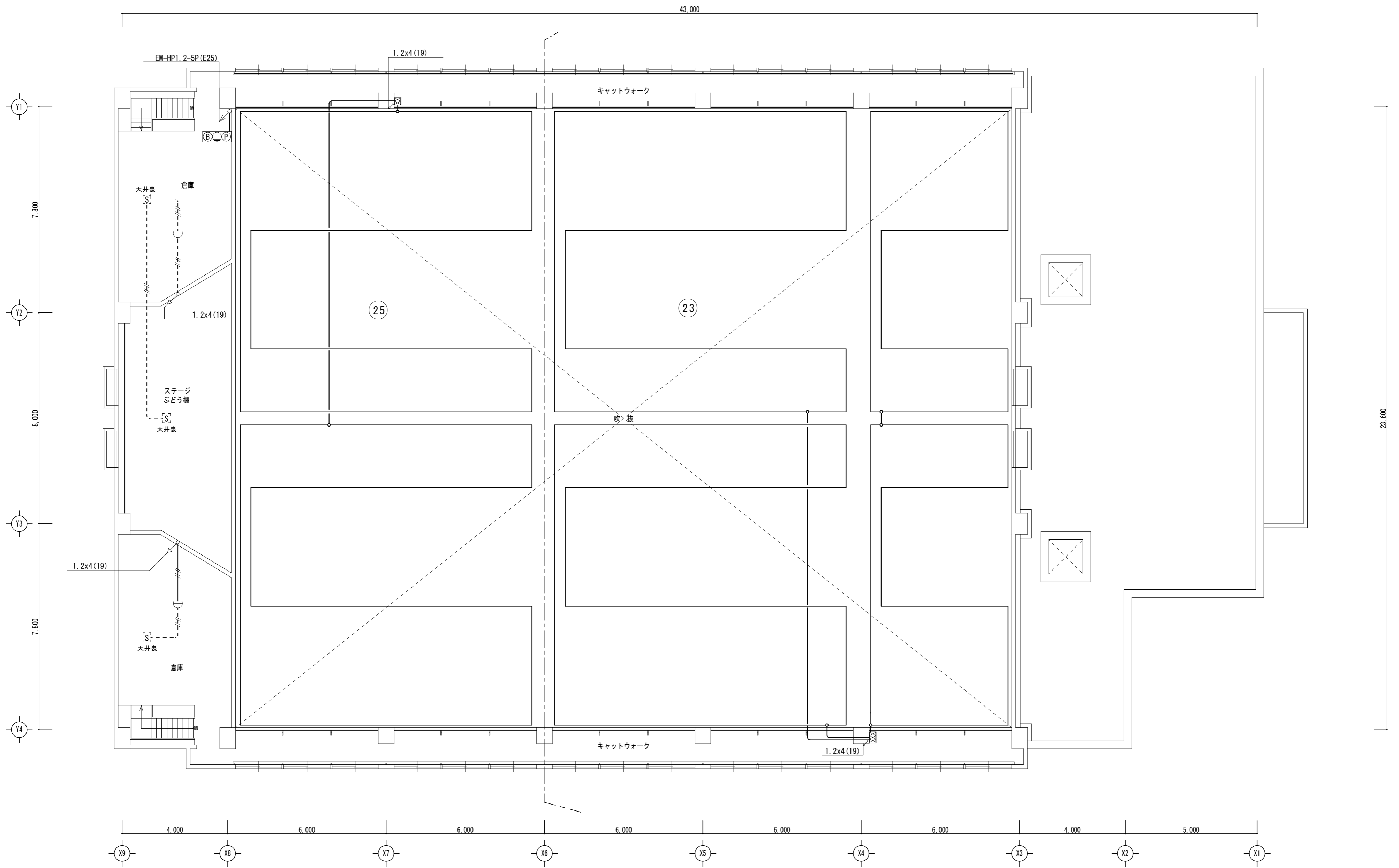
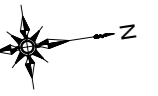
構 成 考	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
-------------	--

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 隆也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端隆也	一級建築士 No.352057 梅田隆一 No.352058 村上良智

SCALE	1/100
DATE	

工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
図面名称	屋内運動場 1階自動火災報知設備平面図 (改修後)



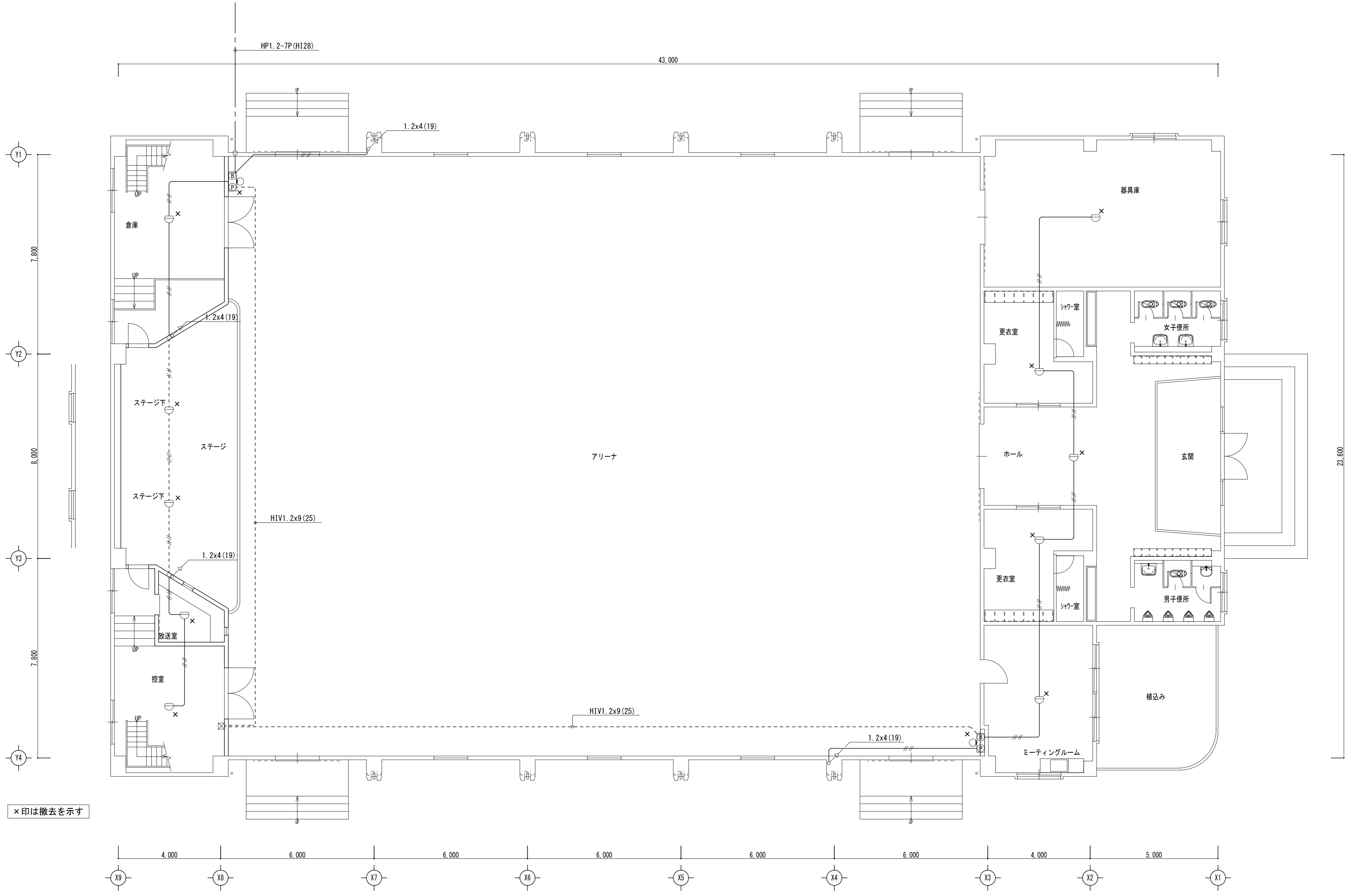
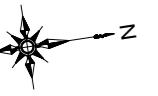
2階平面図 S=1/100

構 造 考	〇(株)田端隆建築設計 <small>三重県知事登録第1-8-0-1 一般建築士 No.352551 田端 隆也</small>
-------------	---

設計代表者 一般建築士 No.352551 田端隆也	設計担当者 一般建築士 No.352027 橋本健一 構造設計一般建築士 No.35147 岸上良智
-------------------------------------	--

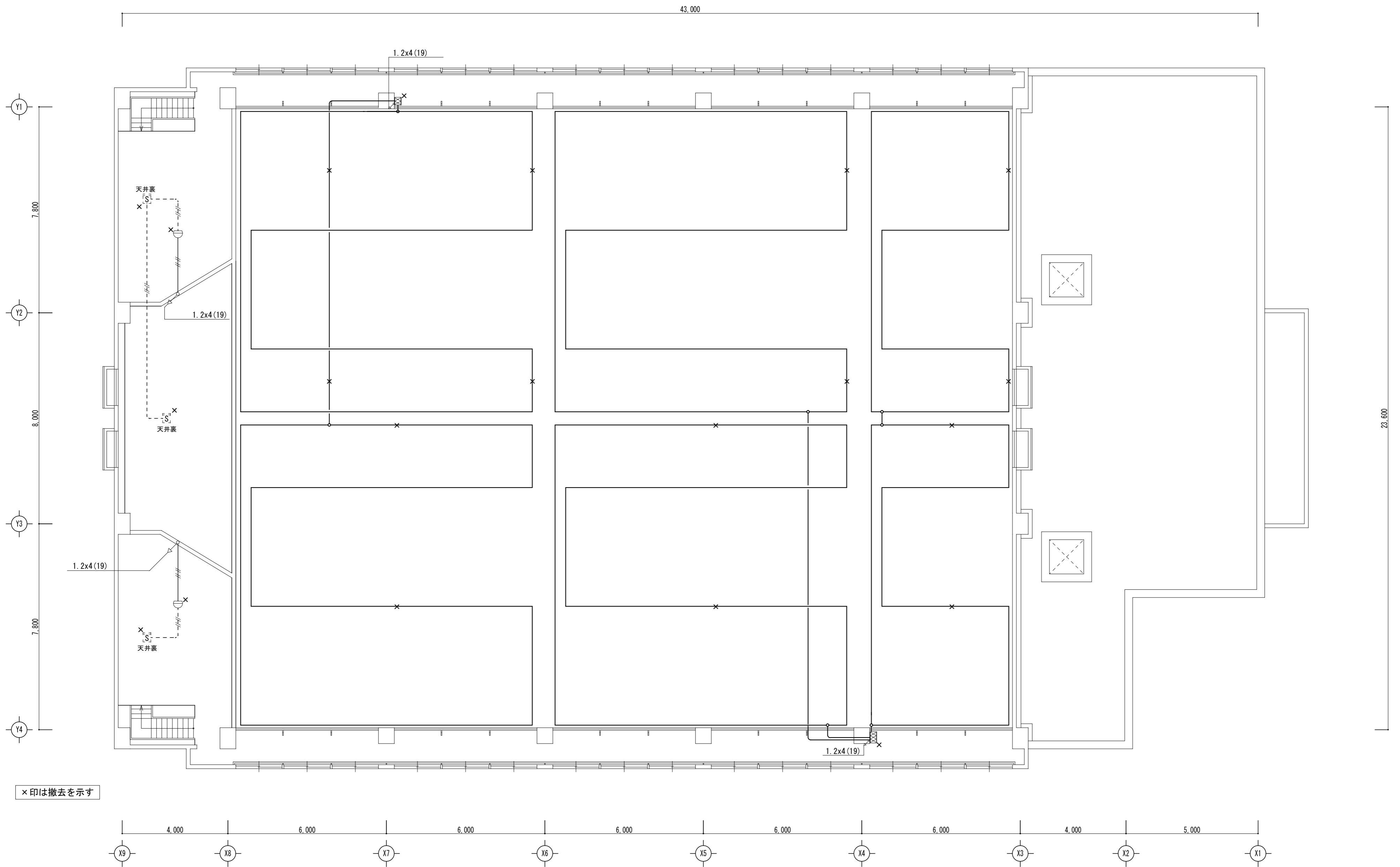
SCALE 1/100 DATE

工事名称 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事 図面名称 屋内運動場 2階自動火災報知設備平面図 (改修後)
--



×印は撤去を示す

1階平面図 S=1/100



×印は撤去を示す

2階平面図 S=1/100

編 号 考	三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 達也
-------------	--

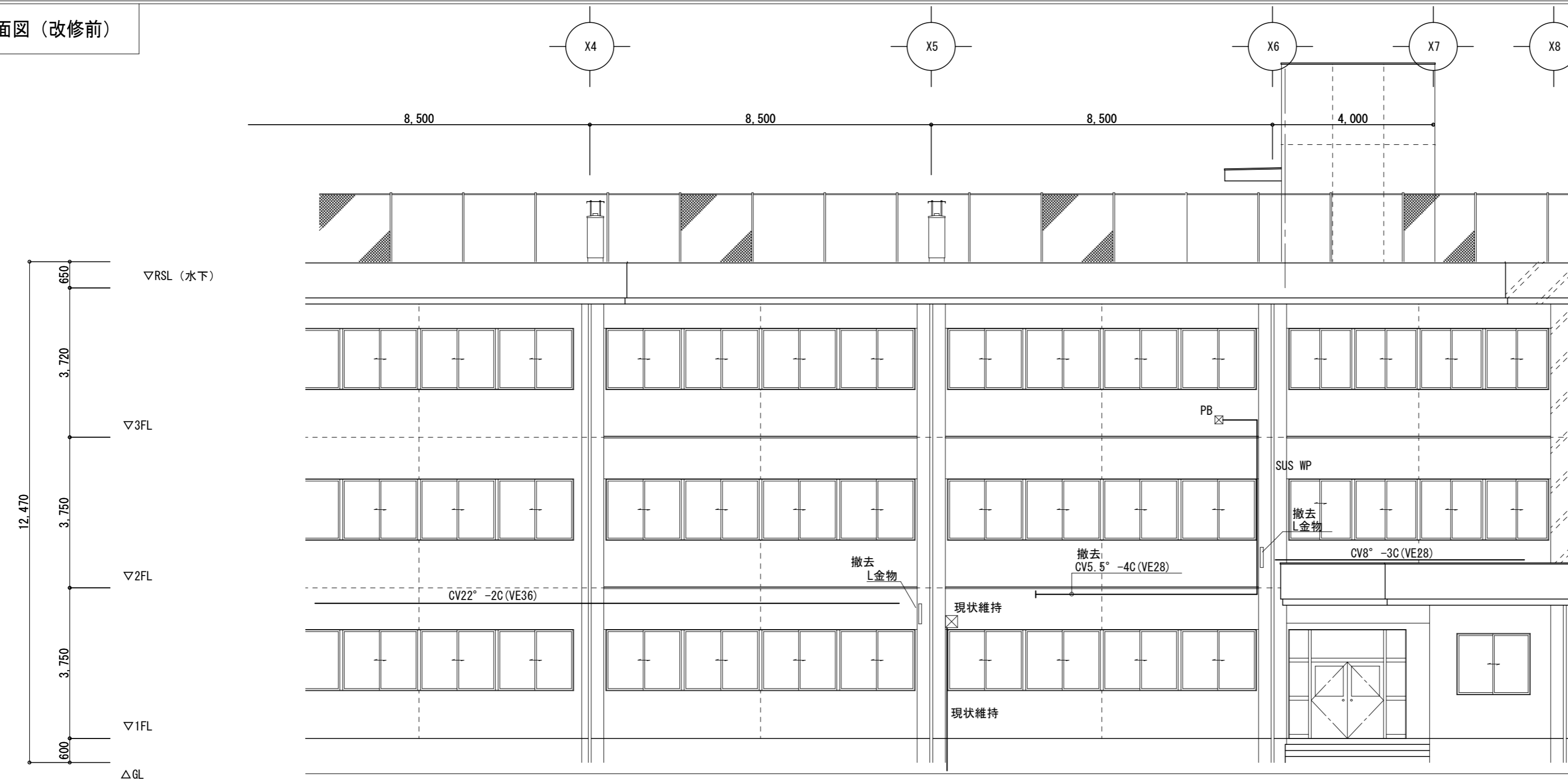
田端隆建築設計
 (株)田端隆建築設計

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端達也	一級建築士 No.352077 橋本健一 構造設計一級建築士 No.352077 村上良智

SCALE	1/100
縮尺	1/100
DATE	

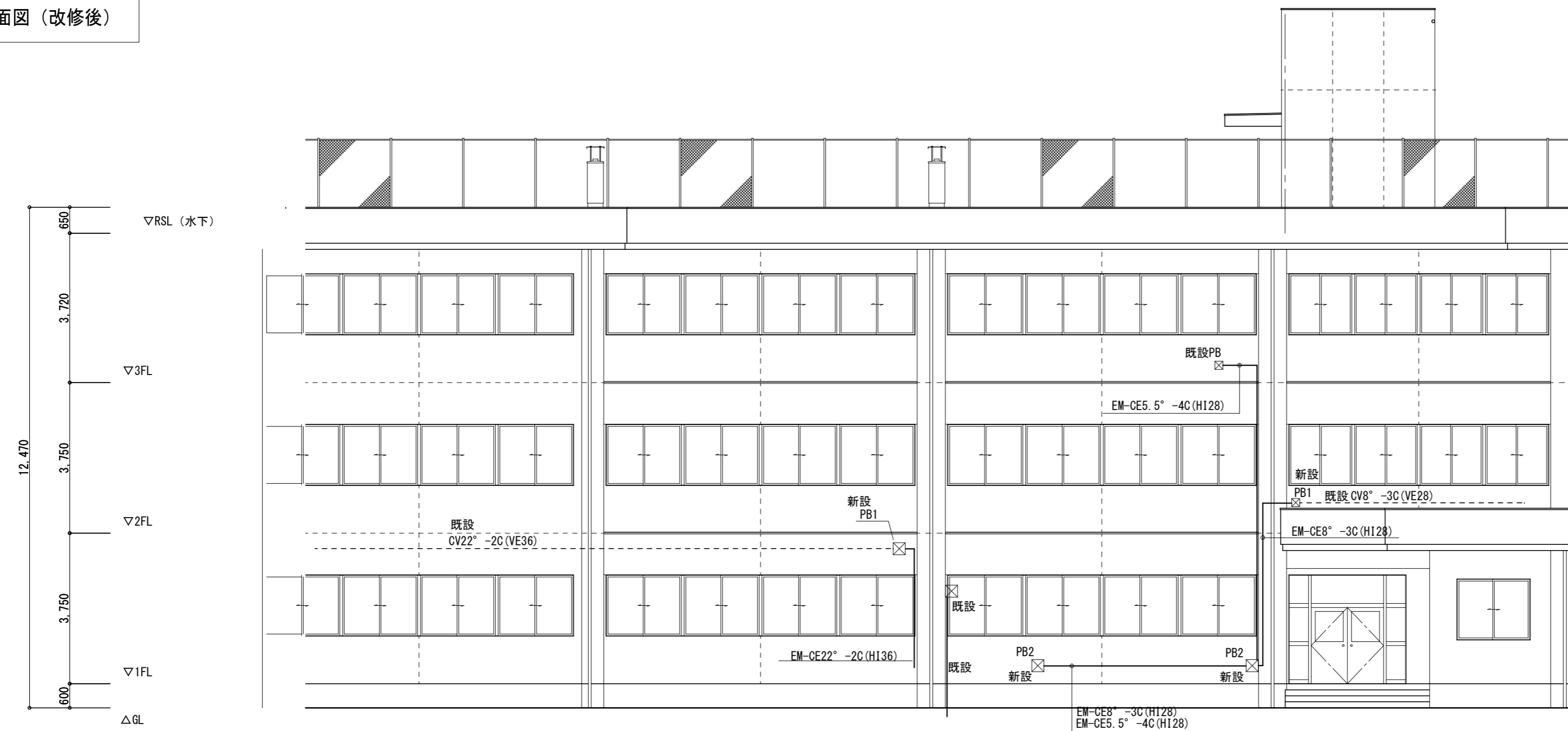
工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
図面名称	屋内運動場 2階自動火災報知設備平面図 (改修前)

校舎 立面図 (改修前)



北立面図

校舎 立面図 (改修後)



北立面図

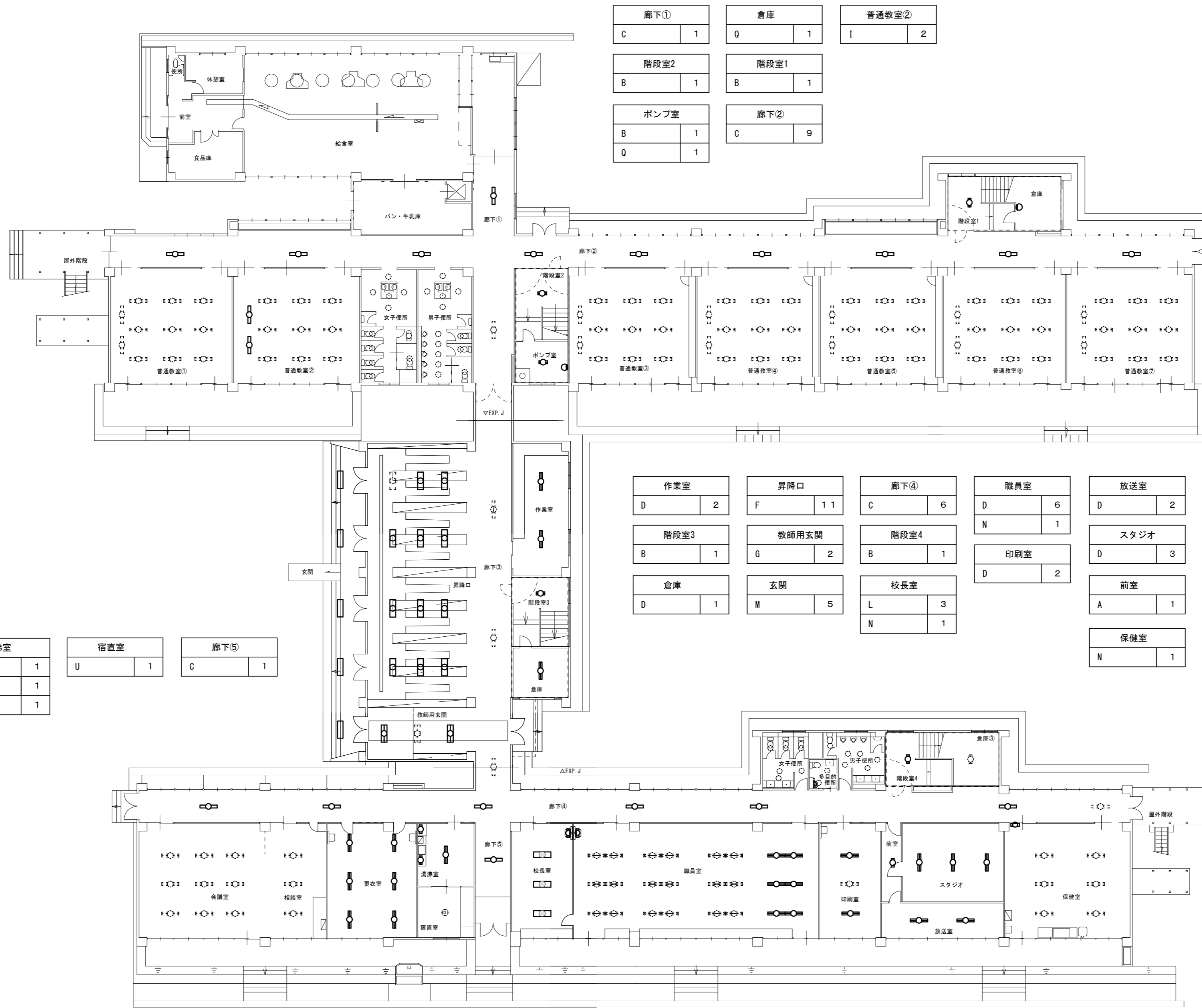
- PB1 200×200×200 SUS WP
- PB2 300×300×200 SUS WP

編					
考					

<p>(株)田端隆建築設計</p> <p>三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 達也</p>	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事	E-38
	一級建築士 No.352551 田端達也	一級建築士 No.352075 梅島智也 梅島智也 梅島智也	1/100 1/741		
			DATE	図面名称 校舎 立面図 (改修前・後)	

LEDベースライト (FL20W×1) ※直付型			LEDベースライト (FL20W×2) ※直付型			LEDベースライト (FLR40W×1) ※直付型			LEDベースライト (FLR40W×2) ※直付型			LEDベースライト (FLR40W×1) ※埋込型		
記号	A	参考型番 XFX200DEN LE9	記号	B	公共型番 LSS9-2-15	記号	C	公共型番 LSS10-4-30	記号	D	公共型番 LSS10-4-37	記号	E	参考型番 XFX410RENLE9
LEDベースライト (FLR40W×1) ※埋込型			LEDベースライト (FLR40W×2) ※埋込型			LEDベースライト (FHF32W×1) ※埋込型			LEDベースライト (FHF32W×1) 黒板灯 ※直付型			LEDベースライト (FHF32W×1) 黒板灯 ※埋込型		
記号	F	参考型番 XFX410VENLE9	記号	G	公共型番 LRS20-4-37	記号	H	公共型番 LSS6-4-23	記号	I	公共型番 LSS13-4-21	記号	J	公共型番 LRS8-4-20
LEDスクエアベースライト (FHP32W×3) ※埋込型			LEDベースライト (FHF32W×2) ※埋込型			LEDブラケットライト (FL20W×1)			LEDキッチンライト (FL15W×1)					
記号	K	公共型番 LRS9-4-45	記号	L	参考型番 XFX460VENLE9	記号	M	公共型番 LBF3MP/PP-2-13	記号	N	参考型番 LSEB7112LE1	記号		
			※リニューアルパネル共 			※防湿・防雨型 								
LED棚下灯 (FL20W×1)			LEDブラケット (LL40W×1)			LEDウォールライト (FHF32W×1)			LED高天井用ライト (MF400W×1)			LEDシーリングライト (~8畳相当)		
記号	P	参考型番 LGB52097LE1	記号	Q	参考型番 LGB87020F	記号	R	公共型番 LBF3MP/PP-4-20	記号	T	公共型番 LSR2W-200	記号	U	参考型番 LGB12625LE1
						※防湿・防雨型 								

津市立南立誠小学校校長寿命化改修工事		縮尺
図面名称	照明器具姿図	原図：A 2
津市建設部 営繕課		No. E-39



廊下①	C	1
倉庫	Q	1
普通教室②	I	2
階段室2	B	1
階段室1	B	1
ポンプ室	B	1
	Q	1
廊下②	C	9

作業室	D	2
昇降口	F	11
廊下④	C	6
職員室	D	6
放送室	D	2
	N	1
階段室3	B	1
教師用玄関	G	2
階段室4	B	1
印刷室	D	2
スタジオ	D	3
倉庫	D	1
玄関	M	5
校長室	L	3
	N	1
前室	A	1
保健室	N	1

更衣室	D	6
湯沸室	B	1
	D	1
	P	1
宿直室	U	1
廊下⑤	C	1

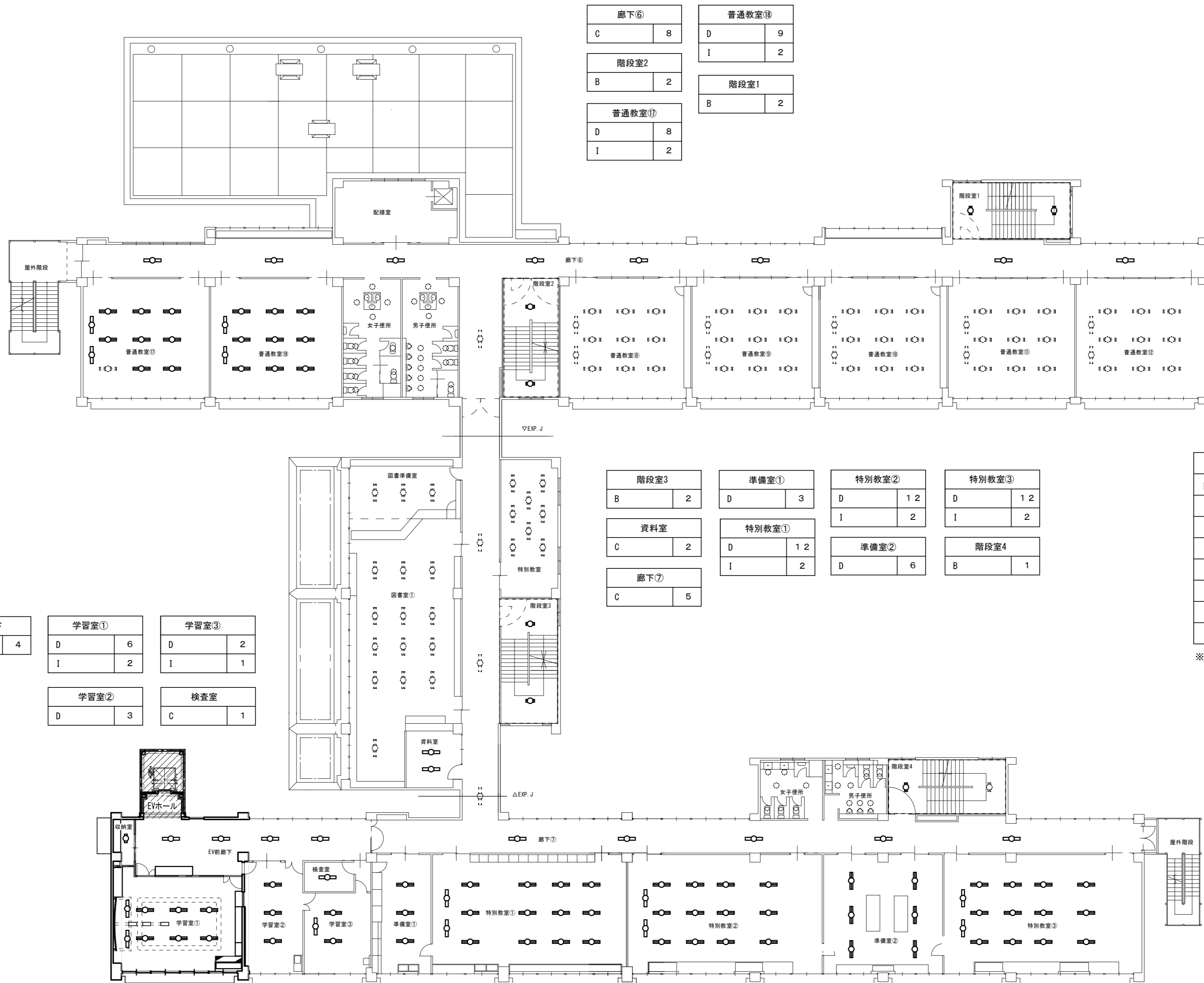
凡例	
図記号	摘要
○	FL20W×1 露出型
○	FL20W×2 露出型
○	FLR40W×1 露出型
○	FLR40W×1 埋込型
○	FLR40W×2 露出型
○	FLR40W×2 埋込型
○	FHF32W×2 埋込型
○	FL15W×1 キッチンライト
○	ダウンライト
○	ブラケットライト
○	シーリングライト
○	白熱灯

※ 点線は既設器具を示す

1階平面図 S=1/200

※ 水銀使用製品は産業廃棄物として、関係法令により適切に処理すること

津市立南立誠小学校校長寿命化改修工事		縮尺	1/200
図面名称	校舍 1階平面図(一般照明)	原図	A 2
津市建設部 営繕課		No.	E-40



廊下⑥	
C	8
階段室2	
B	2
普通教室⑦	
D	8
I	2

普通教室⑧	
D	9
I	2
階段室1	
B	2

階段室3	
B	2
資料室	
C	2
廊下⑦	
C	5

準備室①	
D	3
特別教室①	
D	1 2
I	2

特別教室②	
D	1 2
I	2
準備室②	
D	6

特別教室③	
D	1 2
I	2
階段室4	
B	1

収納室	
A	1

EV前廊下	
C	4

学習室①	
D	6
I	2

学習室③	
D	2
I	1

学習室②	
D	3

検査室	
C	1

凡例	
図記号	摘要
○	FL20W×1 露出型
⊙	FL20W×2 露出型
□	FLR40W×1 露出型
◻	FLR40W×1 埋込型
⊞	FLR40W×2 露出型
⊞	FLR40W×2 埋込型
○	ダウンライト

※ 点線は既設器具を示す

2階平面図 S-1/200

※ 水銀使用製品は産業廃棄物として、関係法令により適切に処理すること

津市立南立誠小学校長寿命化改修工事		縮尺 1/200
図面名称	校舎 2階平面図(一般照明)(改修後)	原図: A 2
津市建設部 営繕課		No. E-41



廊下⑥	
C	8
階段室2	
B	2
普通教室⑦	
D	8
I	2

普通教室⑧	
D	9
I	2
階段室1	
B	2

階段室3	
B	2
資料室	
C	2
廊下⑦	
C	5

準備室①	
D	3
特別教室①	
D	1 2
I	2

特別教室②	
D	1 2
I	2
準備室②	
D	6

特別教室③	
D	1 2
I	2
階段室4	
B	1

収納室	
A	1

相談室①	
D	2
I	1

学習室①	
D	6
I	2

学習室③	
D	2
I	1

相談室②	
C	2

学習室②	
D	3

検査室	
C	1

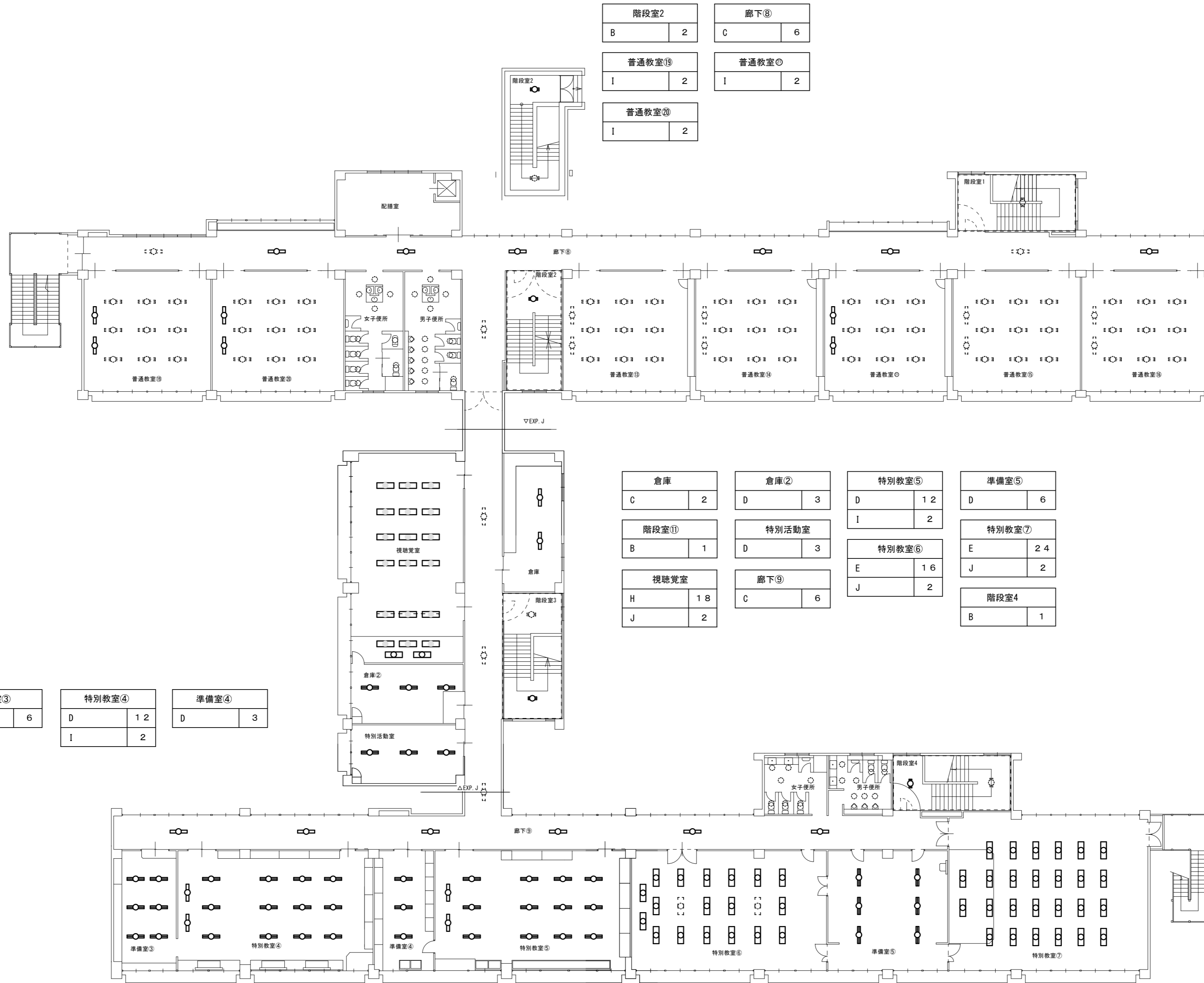
凡例	
図記号	摘要
○	FL20W×1 露出型
⊙	FL20W×2 露出型
□	FLR40W×1 露出型
◻	FLR40W×1 埋込型
⊞	FLR40W×2 露出型
⊞	FLR40W×2 埋込型
○	ダウンライト

※ 点線は既設器具を示す

2階平面図 S-1/200

※ 水銀使用製品は産業廃棄物として、関係法令により適切に処理すること

津市立南立誠小学校長寿命化改修工事		縮尺 1/200
図面名称	校舎 2階平面図(一般照明) (改修前)	原図: A 2
津市建設部 営繕課		No. E-42



階段室2	
B	2
普通教室⑱	
I	2
普通教室⑳	
I	2

廊下⑧	
C	6
普通教室㉑	
I	2

倉庫	
C	2
階段室㉒	
B	1
視聴覚室	
H	1 8
J	2

倉庫②	
D	3
特別活動室	
D	3
廊下⑨	
C	6

特別教室⑤	
D	1 2
I	2
特別教室⑥	
E	1 6
J	2

準備室⑤	
D	6
特別教室⑦	
E	2 4
J	2
階段室4	
B	1

準備室③	
D	6

特別教室④	
D	1 2
I	2

準備室④	
D	3

凡例	
図示記号	摘要
○	FL20W×1 露出型
○	FL20W×2 露出型
○	FLR40W×1 露出型
○	FLR40W×1 埋込型
○	FLR40W×2 露出型
○	FLR40W×2 埋込型
○	FHF32W×1 埋込型
○	ダウンライト

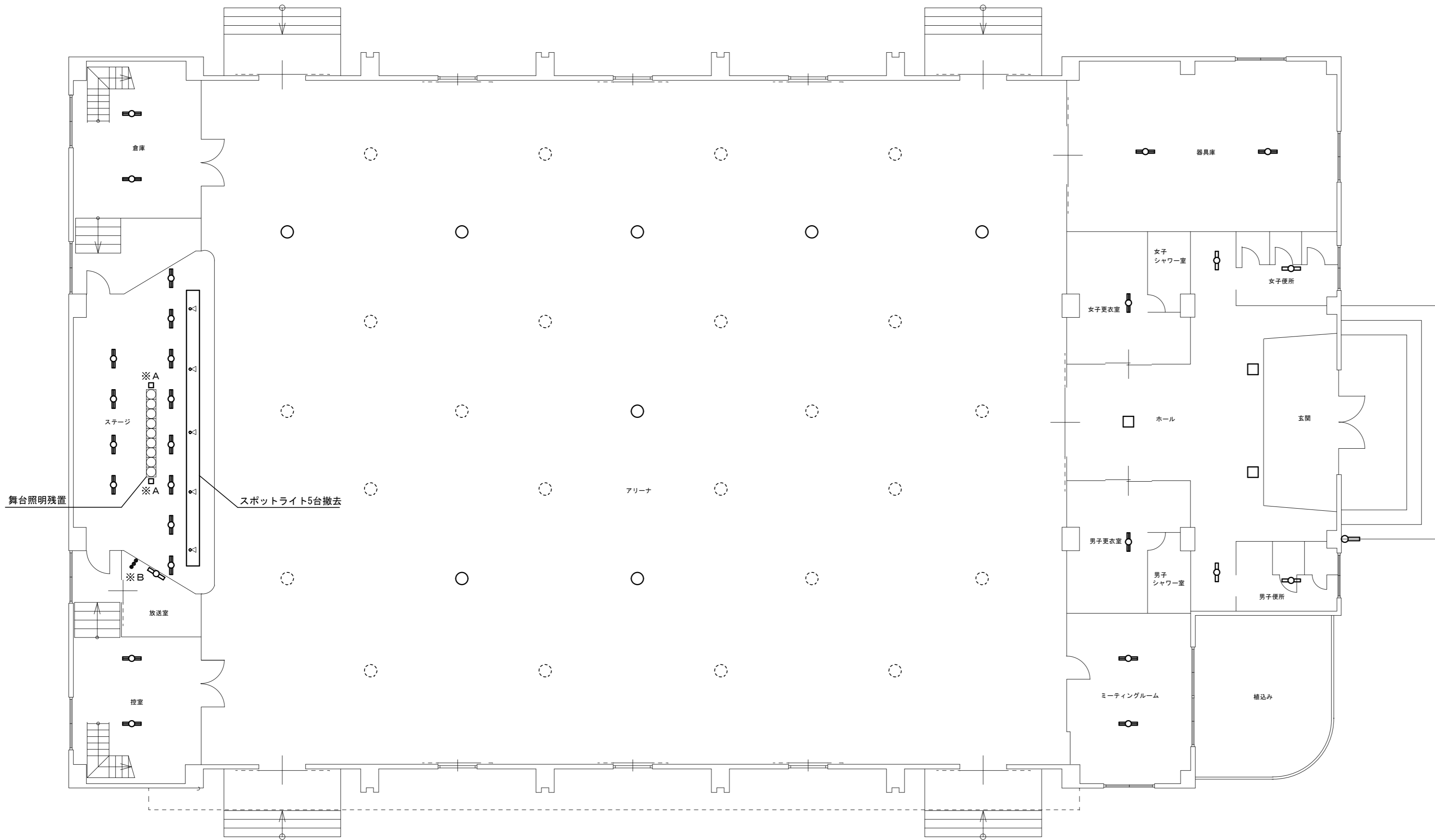
※ 点線は既設器具を示す

3階平面図 S=1/200

※ 水銀使用製品は産業廃棄物として、関係法令により適切に処理すること

津市立南立誠小学校長寿命化改修工事		縮尺
		1/200
図面名称	校舎 3階平面図(一般照明)	原図: A 2
津市建設部 営繕課		No. E-43

倉庫	放送室	器具庫	女子便所	男子便所	ミーティングルーム
D 2	C 1	D 2	C 1	C 1	D 2
ステージ	控室	女子更衣室	男子更衣室	ホール	屋外
D 12	D 2	D 1	D 1	C 2 K 3	R 1
	アリーナ				
	T 8				

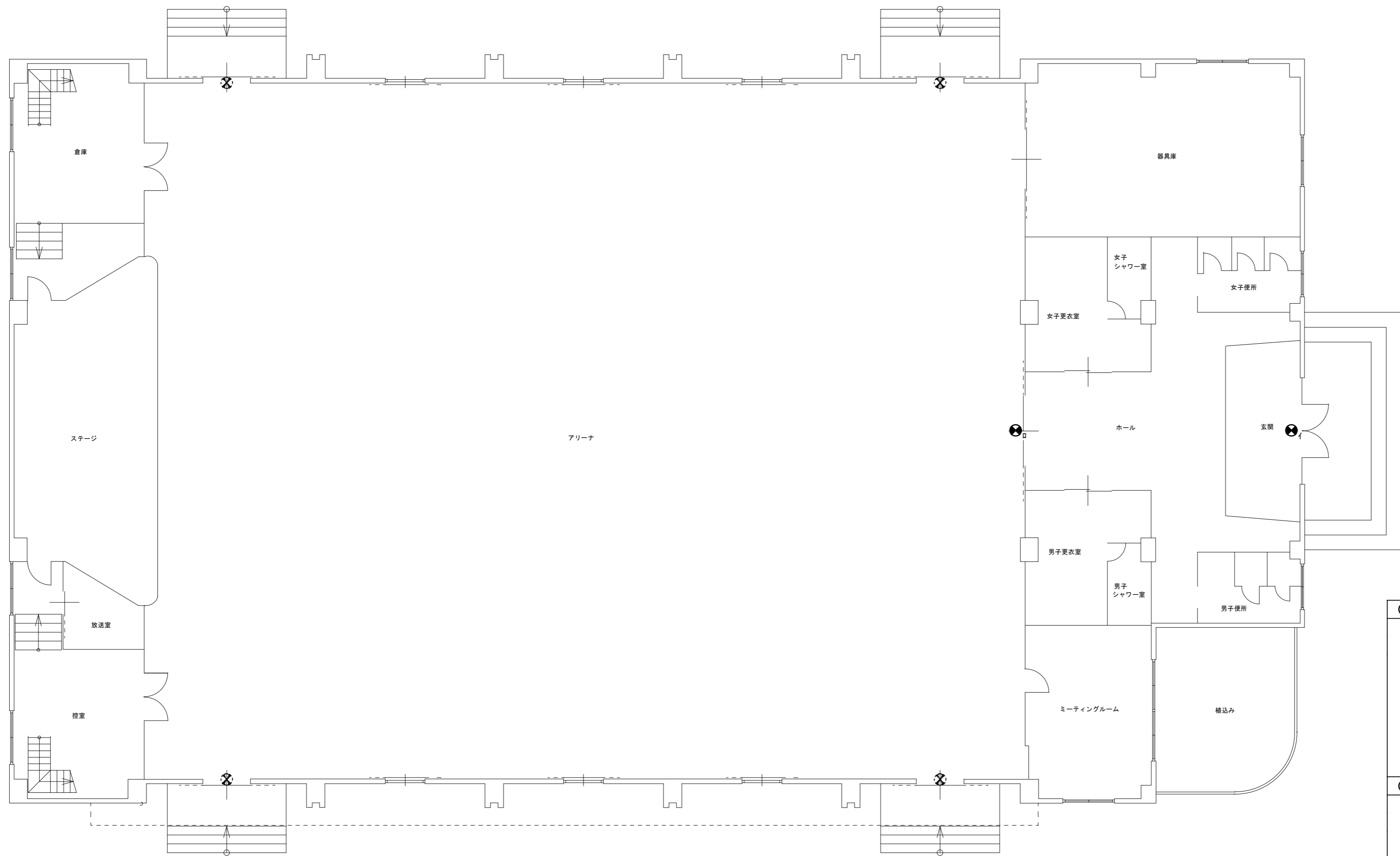


凡例	
図示記号	摘要
○	FLR40W×1 露出型
●	FLR40W×2 露出型
○	高天井用ライト
□	スクエアライト 埋込型
◻	ブラケットライト
◐	スポットライト (撤去)
◑	舞台照明 (残置)

- ※ 点線は既設器具を示す
- ※ 水銀使用製品は産業廃棄物として、関係法令により適切に処理すること
- ※ A 落下防止ワイヤー取付 (2ヶ所)
器具荷重を考慮した落下防止措置を施すこと
- ※ B ブランクプレートに変更

1階平面図 S=1/200

津市立南立誠小学校長寿命化改修工事		縮尺
図面名称 屋内運動場 1階平面図(一般照明)		1/200
津市建設部 営繕課		原図: A 2
		No. E-44



● I	LED避難口誘導灯 B級 電池内蔵型 SH1-FSF20-BL	※リニューアルプレート共
● II	LED避難口誘導灯 B級 電池内蔵型 SH1-FSF20-BL	※ガード共

※ 点線は既設器具を示す

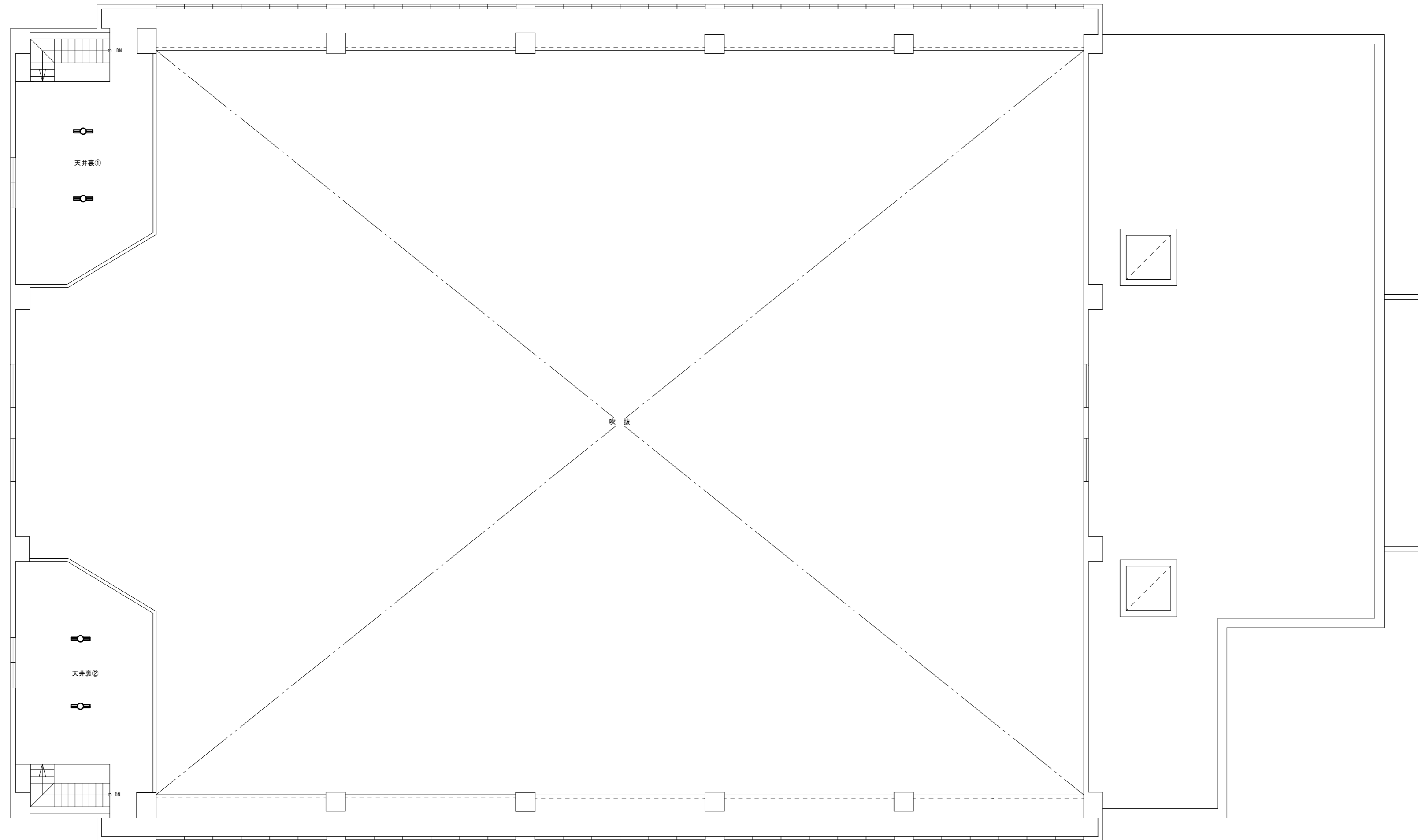
1階平面図 S=1/200

※ 水銀使用製品は産業廃棄物として、関係法令により適切に処理すること

津市立南立誠小学校長寿命化改修工事		縮尺 1/200
図面名称	屋内運動場 1階平面図(誘導灯)	原図：A 2
津市建設部 営繕課		No. E-45

天井裏①	
D	2

天井裏②	
D	2



凡例	
図示記号	摘要
	FLR40W×2 露出型

2階平面図 S=1/200

※ 水銀使用製品は産業廃棄物として、関係法令により適切に処理すること

津市立南立誠小学校長寿命化改修工事		縮尺
		1/200
図面名称	屋内運動場 2階平面図(一般照明)	原図：A 2
津市建設部 営繕課		No. E-46

<p>機械設備工事特記仕様書</p> <p>1 工事名称 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事</p> <p>2 工事場所 津市 桜橋二丁目 地内</p> <p>3 建築概要 普通教室棟 R C造 3階建 延べ面積：2.607㎡ 昇降口棟 R C造 3階建 延べ面積：895㎡ 特別教室管理棟 R C造 3階建 延べ面積：2.348㎡ 消防法施行令の適用 1項</p> <p>4 適用基準 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和7年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和7年版」 「公共建築設備工事標準図書（電気、機械設備工事編）令和7年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針令和7年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 な、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。</p> <p>5 一般事項 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生すると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と通りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 ■建築工事に準じる 完成図等：作成する（完成図・保単に関する資料）（完成図作図範囲（設計図を訂正）完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権第27条及び第28号に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。 ※ 工事写真は営繕工事写真撮影要領（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（最新版））に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年2月1日付け国発建技第14号）」による。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。</p> <p>(2) 機器及び材料等 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。</p> <p>(3) 官公署等への届出手続 工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ■本工事 ■建築工事 □電気設備工事 □機械設備工事 □別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。</p> <p>(4) 品質管理 工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。</p> <p>(5) 出来形管理 以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ） ・ 基礎寸法 ・ 水平、垂直等 2) 配管・ダクト工事 ・ 支持間隔 ・ 振れ止め支持間隔 3) 屋外排水工事 ・ 排水勾配 ・ 樹の深さ 4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ</p> <p>(6) 製品確認 発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない</p> <p>(7) 耐震安全性の分類 構造体（ ）類 建築非構造部材（ ）類 建築設備（ ）類</p> <p>(8) 機器の地震力（主要機器） ■図示による 機器名 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0） 水槽類 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0）</p> <p>その他監督員が指示するもの</p> <p>(9) 冷媒（フロン類）の回収 □適用する ■適用しない 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・ フロン回収行程管理票 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券） 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。 バッテリー形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。 (10) 中間技術検査 実施回数（ ）回 実施する段階（ ）</p>	<p>(11) 発生材の処理等 ■建築工事に準じる 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>1) 引渡しを要するもの（ ） 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>2) 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） なお施工に際して廃石綿等特別管理廃棄物及びびびわしき機器等が発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>3) 建設発生土（ □ 構内敷きならし □ 処分地指定 処分地（ ） （ □ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離（ ）km）</p> <p>4) 現場内において再利用を図るもの（ ）</p> <p>5) 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□ 新築</td> <td>建築設備工事</td> <td>□ 手作業</td> </tr> <tr> <td>□ 増築</td> <td>□ 有</td> <td>□ 手作業</td> </tr> <tr> <td>□ 修繕</td> <td>□ 無</td> <td>□ 手作業、機械作業併用</td> </tr> <tr> <td>□ 模様替え</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6) 再資源化を図るもの（ □ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊 □ 建設発生木材 ）</p> <p>7) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（マフミア、B2、D票を提示すること。）</p> <p>(12) 電気保安技術者 □ 配置する ■ 配置しない</p> <p>(13) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 ■建築工事に準じる 1) 施工可能日 □ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし（ ）</p> <p>2) 施工可能時間帯 □ 指定なし □ 指定あり（ 時～ 時 ）</p> <p>(14) 仮設工事 構内既存の施設 ■建築工事に準じる 1) 便所 □ 利用できる □ 利用できない 2) 工事用水 □ 利用できる（有償） □ 利用できる（無償） □ 利用できない 3) 工事用電力 □ 利用できる（有償） □ 利用できる（無償） □ 利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。</p> <p>(15) 足場 ■建築工事に準じる 内部足場の種別（参考） □ 脚立 □ 棚足場 □（ ） 外部足場の種別（参考） □ 手摺先行据置枠組本足場 □ その他（ ） 防護シート等による養生 □ 適用する □ 適用しない 設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。 つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第81条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者</p> <p>(16) 建築材料等 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 （認定製品の品名： ） 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。 （認定製品の品名： ・間伐材製工用バリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板）（ ）</p> <p>(17) 三重県産業廃棄物税 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> <p>(18) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p> <p>(19) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にならい復旧すること。</p> <p>(20) その他 1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 2) 測定機器の校正記録 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 3) フロン回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（令和2年4月1日施行）等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。</p>	工程	作業内容	分別解体等の方法	□ 新築	建築設備工事	□ 手作業	□ 増築	□ 有	□ 手作業	□ 修繕	□ 無	□ 手作業、機械作業併用	□ 模様替え			<p>(21) 現場での安全確保（自主施工の原則） 1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。</p> <p>(22) 建築副産物情報交換システムの利用 受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び 再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。</p> <p>(23) あと施工アンカー あと施工アンカーの性能確認試験及び施工確認試験を行うこと。</p> <p>(24) アスベストについて 工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び資与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。 「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。</p> <p>6 工事項目 給排水衛生設備工事 ■ 屋外給水設備工事 ■ 屋内給水設備工事 ■ 屋外排水設備工事 ■ 屋内排水通気設備工事 ■ 衛生器具設備工事 ■ 消火設備工事 □ 給湯設備工事 □ 屋外ガス設備工事 □ 屋内ガス設備工事 □ 浄化槽設備工事 □ 厨房機器設備工事 空調設備工事 □ 配管設備工事 ■ 換気設備工事 自動制御設備工事 □ 自動制御設備工事</p> <p>7 工事概要 給排水衛生設備工事 (1) 給水設備工事 本工事は、受水槽、揚水ポンプ、高置水槽の更新及び多目的トイレ設置に伴う改修工事を行うものである。 量水器から受水槽までの給水管、受水槽から高置水槽までの給水管も対象とする。 直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10Kとし、高置水槽以降については、JIS 5Kを使用する。</p> <p>(2) 排水設備工事 汚水、雑排水を合流式により屋外樹に接続放流するものである。</p> <p>(3) 衛生器具設備工事 本工事は、衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるものとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。</p> <p>(4) 消火設備工事 屋内消火栓設備工事は、ポンプ室に設置する消火栓ポンプユニットより各階屋内消火栓に加压送水するものである。</p> <p>(5) 換気設備工事 本工事は、天井扇の設置ならびに付帯ダクト設備工事を行うものである。 色は監督員と協議の上決定する。</p> <p>8 総合調整 (1) 風量調整 □ 適用する ■ 適用しない (2) 水量調整 ■ 適用する □ 適用しない (3) 室内外空気の温度測定 □ 適用する ■ 適用しない (4) 室内外空気の湿度測定 □ 適用する ■ 適用しない (5) 室内気流及びじんあいの測定 □ 適用する ■ 適用しない (6) 騒音の測定 □ 適用する ■ 適用しない (7) 飲料水の水质の測定（水道法施行規則第10条による水质検査） ■ 適用する □ 適用しない (8) その他（ ） □ 適用する ■ 適用しない</p>	<p>9 工事細目 (1) 配管材料</p> <p>■ 給水管 ■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116（一般：SGP-VB 地中；SGP-VD） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB 地中；SGP-FVD） ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ■ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。 ■ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742（一般・地中：H1VP） □ 水道配水用ポリエチレン管 JWWA K 144（地中：PE） □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWWA G 115（最高使用圧力1.0MPa以下） □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448（最高使用圧力2.0MPa以下） ※ 地中埋設管は、取出し位置の6L面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。</p> <p>■ 雑排水管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） ■ 土間・一般：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） ■ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 ■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>■ 通気管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>■ 汚水管 □ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JPF MDJ 002 ■ 土間・一般：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） ■ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 ■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>□ 給湯管 □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140（SGP-HVA） □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWWA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448</p> <p>□ ガス管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 土間：塩化ビニル被覆鋼管（黒） □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774（地中：PE） ※ 地中埋設鋼管は、取出し位置の6L面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 □ ガス事業者の供給規定に準じる</p> <p>■ 消火管 ■ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ■ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白）WSP041（SGP-VS） ※ 地中埋設管VSは、取出し位置の6L面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。</p> <p>■ 屋外埋設排水 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58（REP-VU） □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797（RS-VU） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品）（1類水路用遠心力鉄筋コンクリート管）</p> <p>□ 冷温水配管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140（一般：SGP-HVA）</p> <p>□ 冷却水管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116（一般：SGP-VA、VB） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB）</p> <p>□ ドレン管 □ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）（屋外 カラー-VP） □ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管 □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>□ 冷媒管 □ 銅及び銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 □ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。 ※ 冷媒用鋼管の内厚は、冷凍保安規則関係示基準の規定による。</p> <p>□ 油管 □ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452 溶接接合 □ 蒸気管 □ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452 □ フライン管 □ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452</p> <p>※ 弁類 揚水ポンプ（二次側）、消火ポンプ（二次側）、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は 5Kとする。 塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。</p>
工程	作業内容	分別解体等の方法																
□ 新築	建築設備工事	□ 手作業																
□ 増築	□ 有	□ 手作業																
□ 修繕	□ 無	□ 手作業、機械作業併用																
□ 模様替え																		
<p>・</p> <p>備考</p> <p>・</p>	<p>（株）田端建築設計</p> <p>三重県知事登録第1-801 一級建築士 No.352551 田端 進也</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設計代表者</th> <th>設計担当者</th> <th>SCALE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一級建築士 No.352551 田端進也</td> <td>一級建築士 No.352075 橋本賢二 No.352076 村上智香</td> <td>1/50 1/100 1/200 DATE</td> </tr> </tbody> </table>	設計代表者	設計担当者	SCALE	一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352075 橋本賢二 No.352076 村上智香	1/50 1/100 1/200 DATE	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>工事名称</td> <td>津市立南立誠小学校長寿命化改修工事</td> <td>M-01</td> </tr> <tr> <td>図面名称</td> <td>機械設備工事 特記仕様書（1）</td> <td>原図：A2</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事	M-01	図面名称	機械設備工事 特記仕様書（1）	原図：A2			
設計代表者	設計担当者	SCALE																
一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352075 橋本賢二 No.352076 村上智香	1/50 1/100 1/200 DATE																
工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事	M-01																
図面名称	機械設備工事 特記仕様書（1）	原図：A2																

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	-	2m 以下
	125A以上	-	3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下	-	1m 以下
	100A以上	-	2m以下

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
	鋼管	-	50A~100A 125A~
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 ステンレス鋼板 JIS G4305
 工法 アングルフランジ工法
 共板フランジ工法
 スライドオンフランジ工法
 形鋼補強 山形鋼 JIS G 3101 SUS鋼材 JIS G 4317
 丸ダクト スパイラルダクト
 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。
- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> グラスウール保温材 (屋内一般等)
<input checked="" type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input checked="" type="checkbox"/> 消火管 (露出部)
<input type="checkbox"/> 蒸気管 (往) <input type="checkbox"/> 蒸気管 (還) <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 (屋外等)
<input type="checkbox"/> 給湯管 (70℃以上) <input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/> | 保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 40K
保温板 JIS A 9504 1号又は2号 (防火区画貫通部等)
保温帯、フランクット JIS A 9504 1号
保温板 JIS A 9504 1号又は2号 (屋内一般等)
保温帯、フランクット JIS A 9504 1号
保温板 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) |
| <input type="checkbox"/> ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)
<input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/> | 保温板 JIS A 9504 1号又は2号 (防火区画貫通部等)
保温帯、フランクット JIS A 9504 1号
保温板 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 (露出)
<input type="checkbox"/> 給水管 <input checked="" type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 通気管 <input type="checkbox"/> ドレン管 <input type="checkbox"/> ガス管 <input checked="" type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> 油管 <input type="checkbox"/> 冷却水管 <input type="checkbox"/> ダクト (亜鉛鉄板製) <input type="checkbox"/> ダクト (鋼板製) | 保温板、保温筒 JIS A 9511 3号
保温板 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種
保温板 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種
保温板 JIS K 5492 (アルミニウムペイント) 下塗りは錆止めペイント |
- 2) 保温厚
- | | | | | | |
|--------------|------|----------|--------|---------|-------|
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 |
| 給水・排水・ドレン・給湯 | ~80A | 100~150A | - | 200A~ | - |
| 膨張・温水・消火管 | - | - | 32~50A | 65A~ | - |
| 蒸気管 | ~25A | - | ~25A | 32~200A | 250A~ |
| 冷水・冷温水・冷媒管 | - | - | - | - | - |
- ・ ポリスチレンフォーム
- | | | | | | | |
|----------------|------|-------|------|----------|--------|-------|
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | 65 |
| 給水・消火・排水管 | ~80A | 100A~ | - | - | - | - |
| 冷水・冷温水管 | - | - | ~25A | 32~200A | 250A~ | - |
| 冷水管 (冷水温度2~4℃) | - | - | ~20A | 25A~100A | 125A~ | - |
| ブライン管 | - | - | - | ~25A | 32~80A | 100A~ |
- ・ 機器ダクト保温厚
- | | | | |
|--|--------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 保温厚 | 25mm | 50mm | 75mm |
| ダクト (屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ | 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部 (ロックウール) | ダクト (屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類 | 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー |
| 排気筒隠蔽部 (ロックウール) | 煙道 (ロックウール) | | |

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
 ※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブタン管使用の場合は、上表保温不要。
 ※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
 保温化粧ケース仕上 ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
鋼板製タンク					カラー亜鉛鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダー	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・膨張・環水貯湯タンク					カラー亜鉛鉄板 (屋内)
温水・蒸気ヘッダー					熱交換器

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板
	機械室	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S内	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
サブライチャンパー	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
消音チャンパー、エルボ	鉄	保温板	ガラスクロス	鋼電甲金網	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道	フランクット	鉄線	カラー鉄板		

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
 ※ 2) 煙道フランクットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S02による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
 ※ 3) 鋼電甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

- 4) 施工
- ダクト保温施工範囲
1. S A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
2. E A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
3. R A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
4. O A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンパー内貼施工 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

配管用炭素鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

- 4) 施工
- ダクト保温施工範囲
1. S A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
2. E A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
3. R A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
4. O A 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンパー内貼施工 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

- (4) スリーブ工事
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP)なるものとする。
 箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. 地中梁以外の架抜き管スリーブは、亜鉛鉄板製を原則とする
4. 柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。
 紙製仮枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じ、かつ、配管施工前に仮枠を必ず取除くものとする。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくは施工アンカー工法とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあつてはアンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けるガリのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設標を設置すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - 土間配管は、土間筋に吊り下げなど埋設配管を保持すること。
 - 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。

・	
・	
・	
・	

田端建築設計

三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352075 梅田健一 梅田 尚志

SCALE	A2
DATE	

工事名称 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事

図面名称 機械設備工事 特記仕様書 (2)

M-02

原図: A2



———	新設給水管
——X——	新設消火管
-----	既設給水管
-----X-----	既設消火管



・	
・	
・	
・	
・	

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-8-01 一級建築士 No.352551 田端 達也

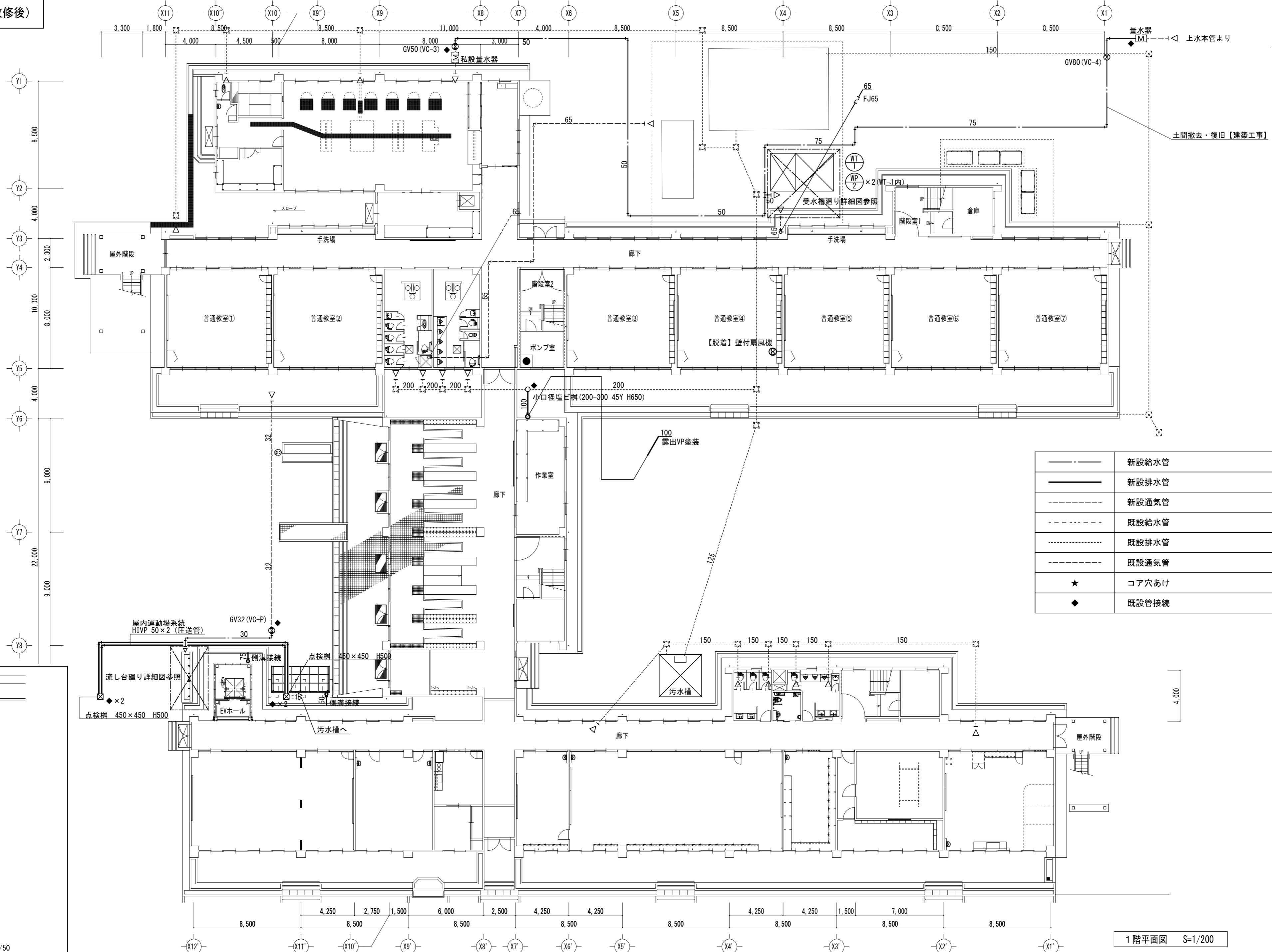
設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端 達也	一級建築士 No.352075 橋本 隆一 No.352076 村上 貴智

SCALE	A2 : 1/700
A3 : 1/880	
DATE	

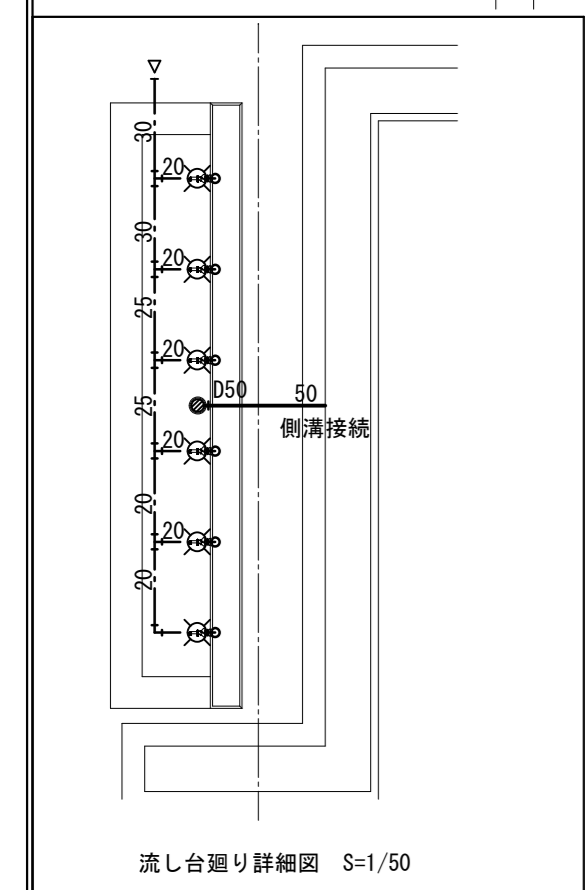
工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事
 図面名称 配置図 (改修後)

M-03
 原図: A2

校舎 1階平面図 (改修後)

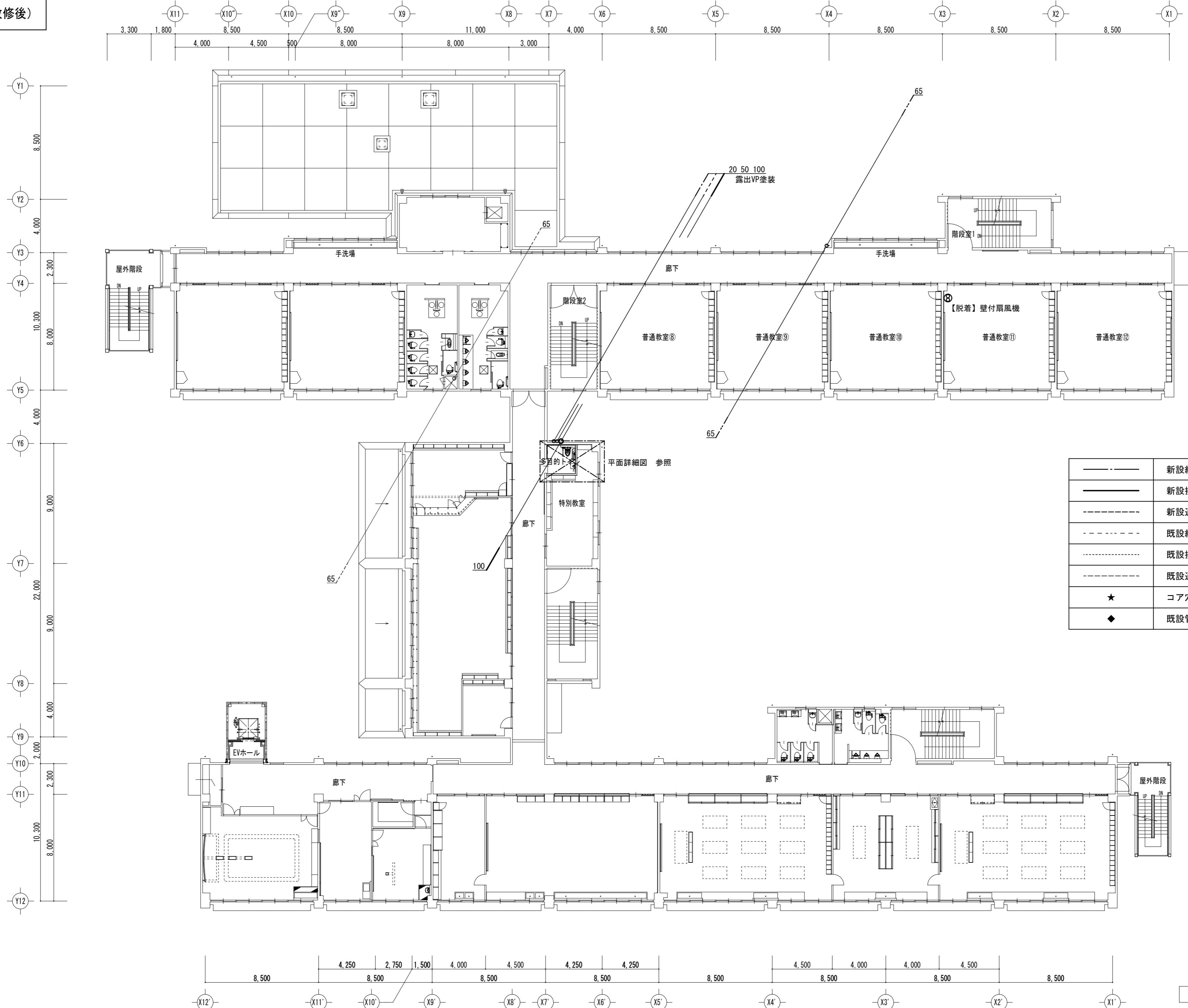


	新設給水管
	新設排水管
	新設通気管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
★	コア穴あけ
◆	既設管接続



1階平面図 S=1/200

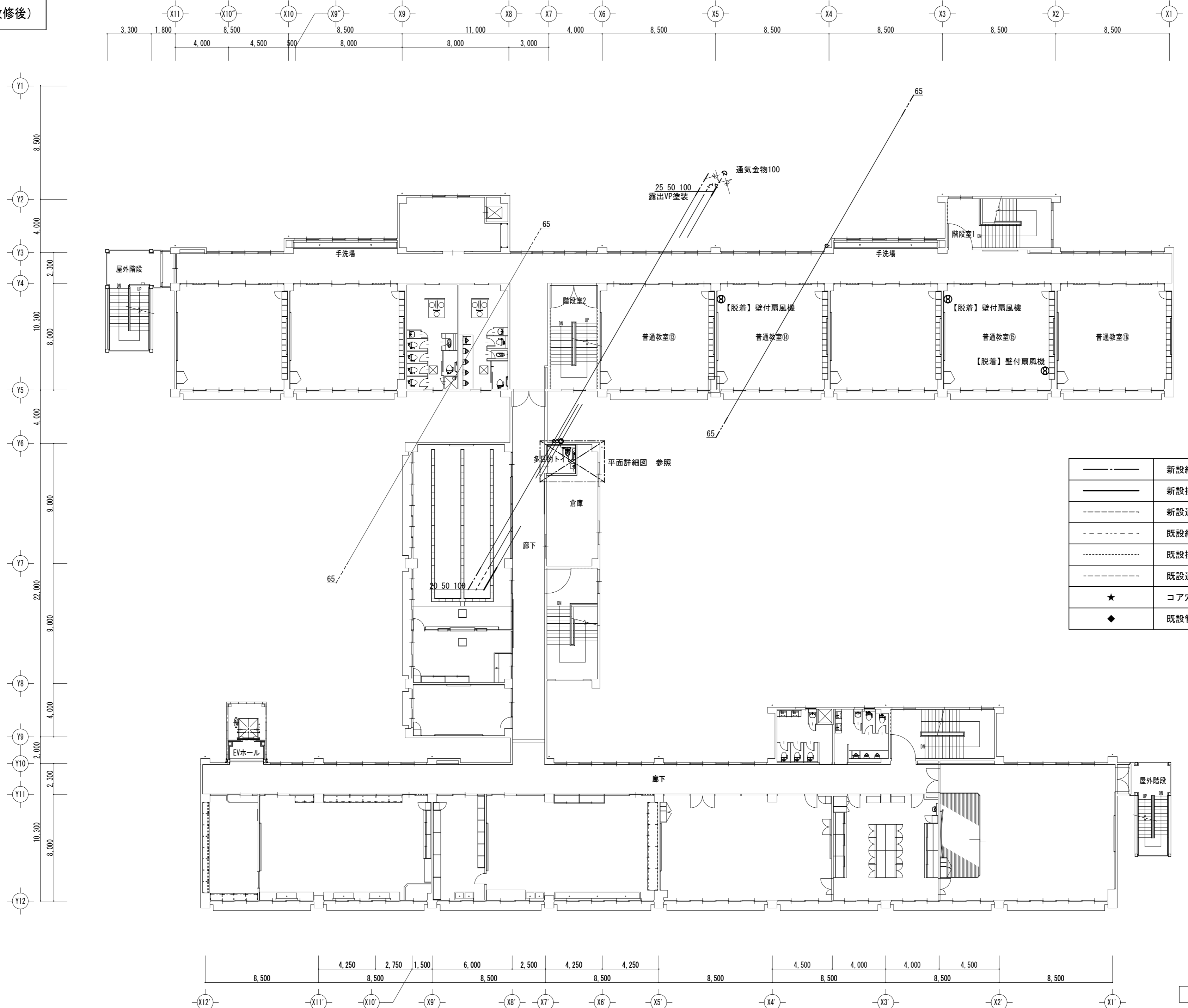
校舎 2階平面図 (改修後)



	新設給水管
	新設排水管
	新設通気管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
	コア穴あけ
	既設管接続

2階平面図 S=1/200

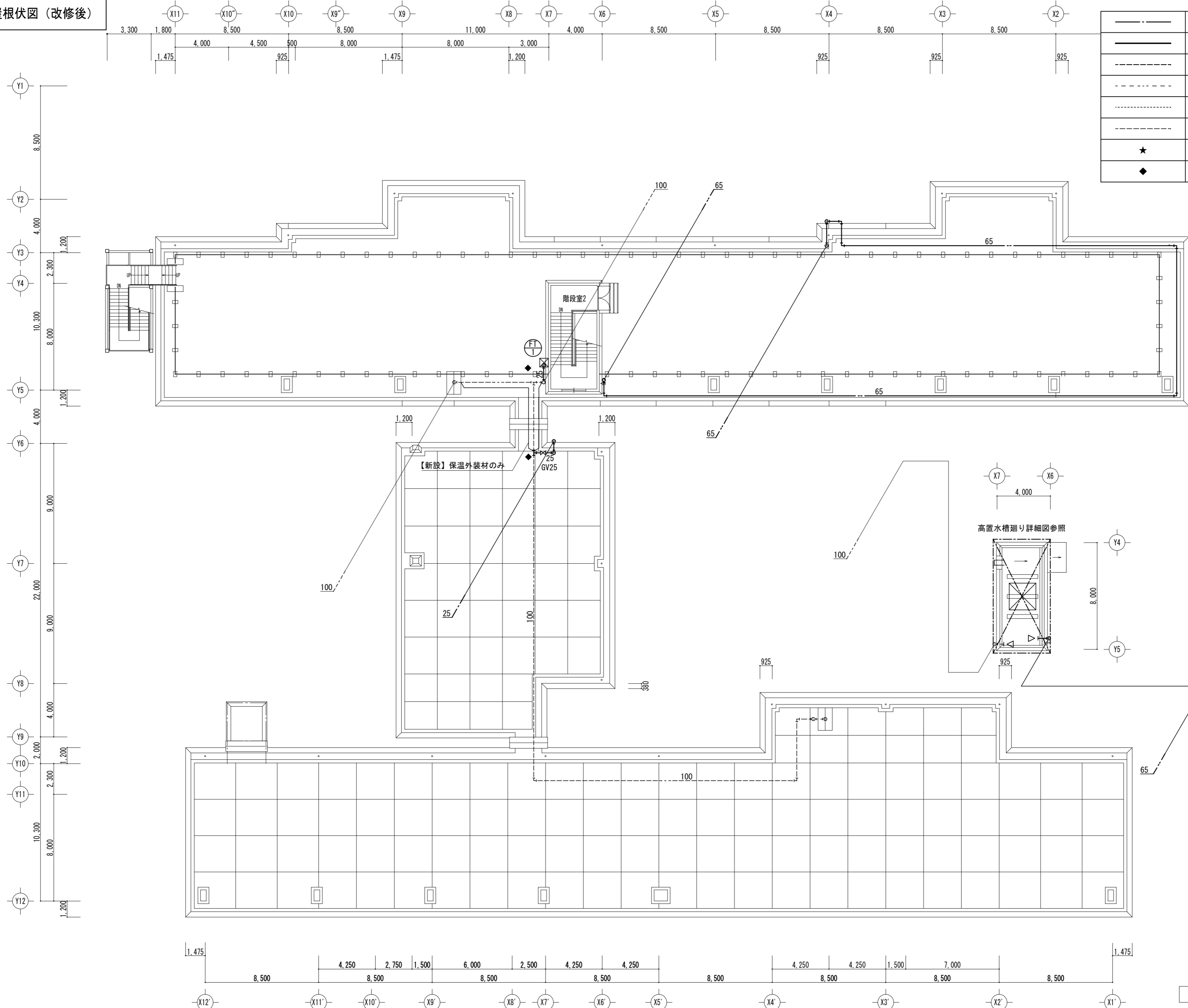
校舎 3階平面図 (改修後)



	新設給水管
	新設排水管
	新設通気管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
	コア穴あけ
	既設管接続

3階平面図 S=1/200

校舎 R階平面図・屋根伏図 (改修後)

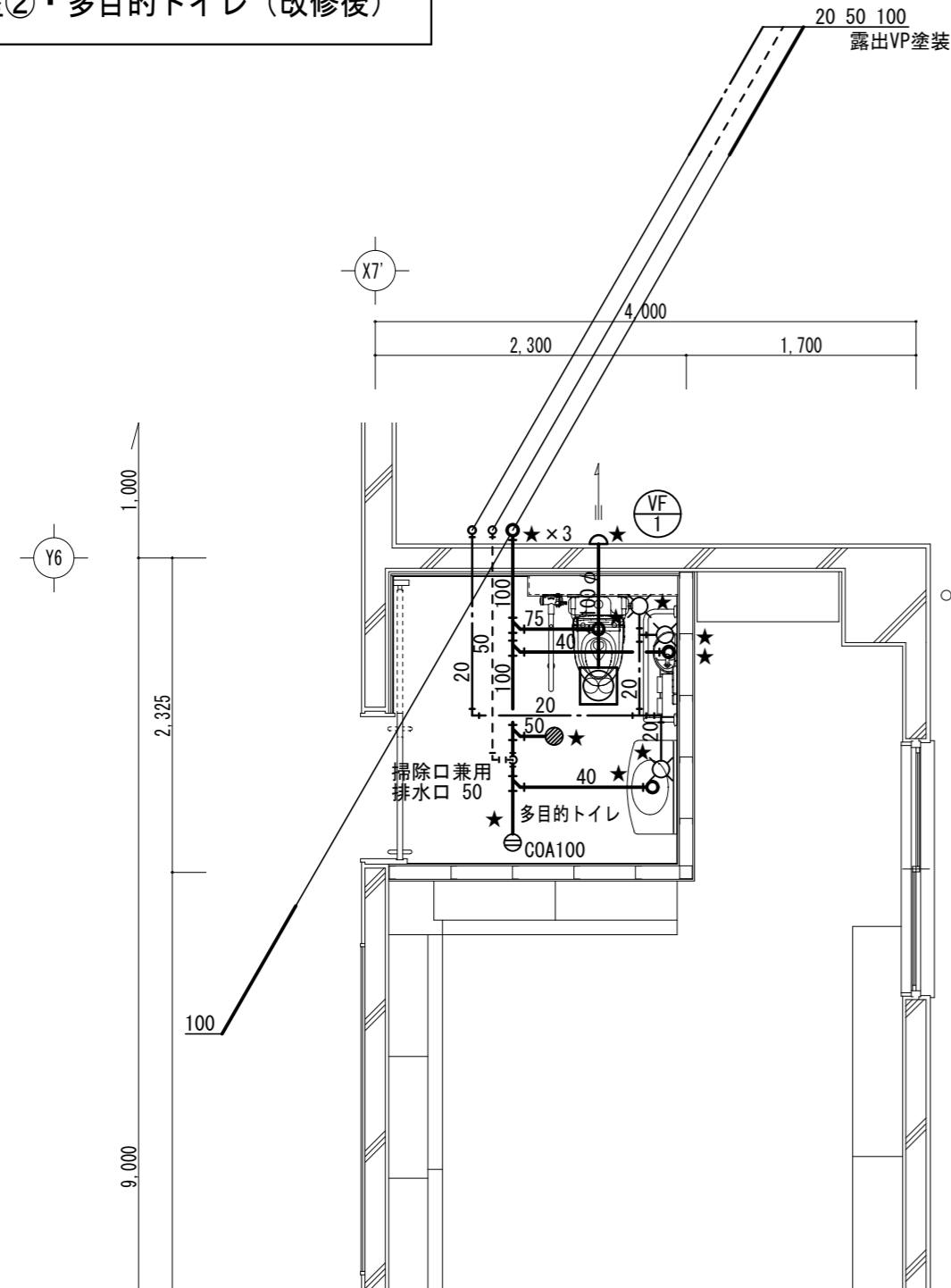


	新設給水管
	新設排水管
	新設通気管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
★	コア穴あけ
◆	既設管接続

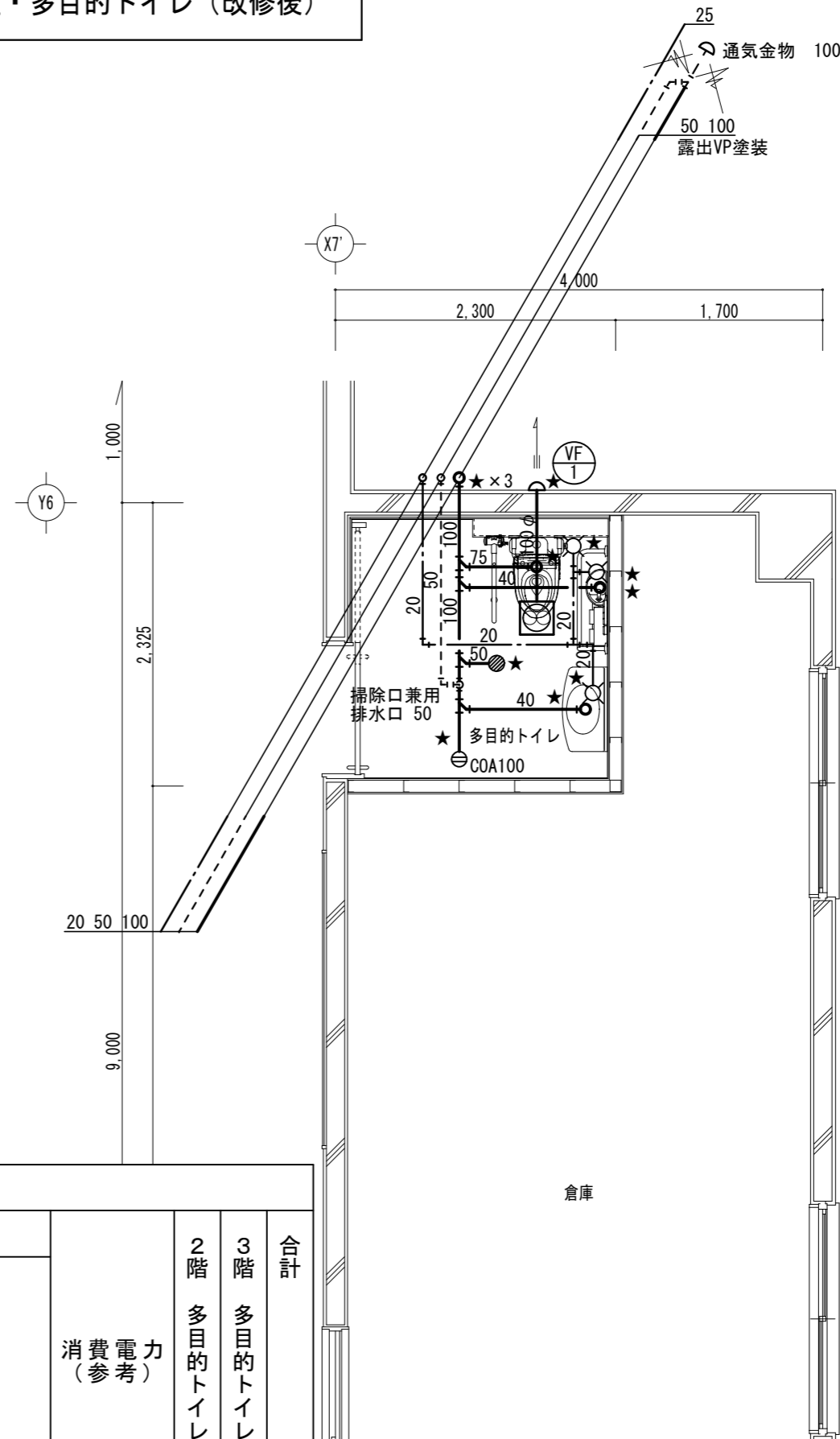
高置水槽廻り詳細図参照

R階平面図・屋根伏図 S=1/200

校舎 昇降口棟 2階図書室②・多目的トイレ (改修後)



校舎 昇降口棟 3階資料室・多目的トイレ (改修後)

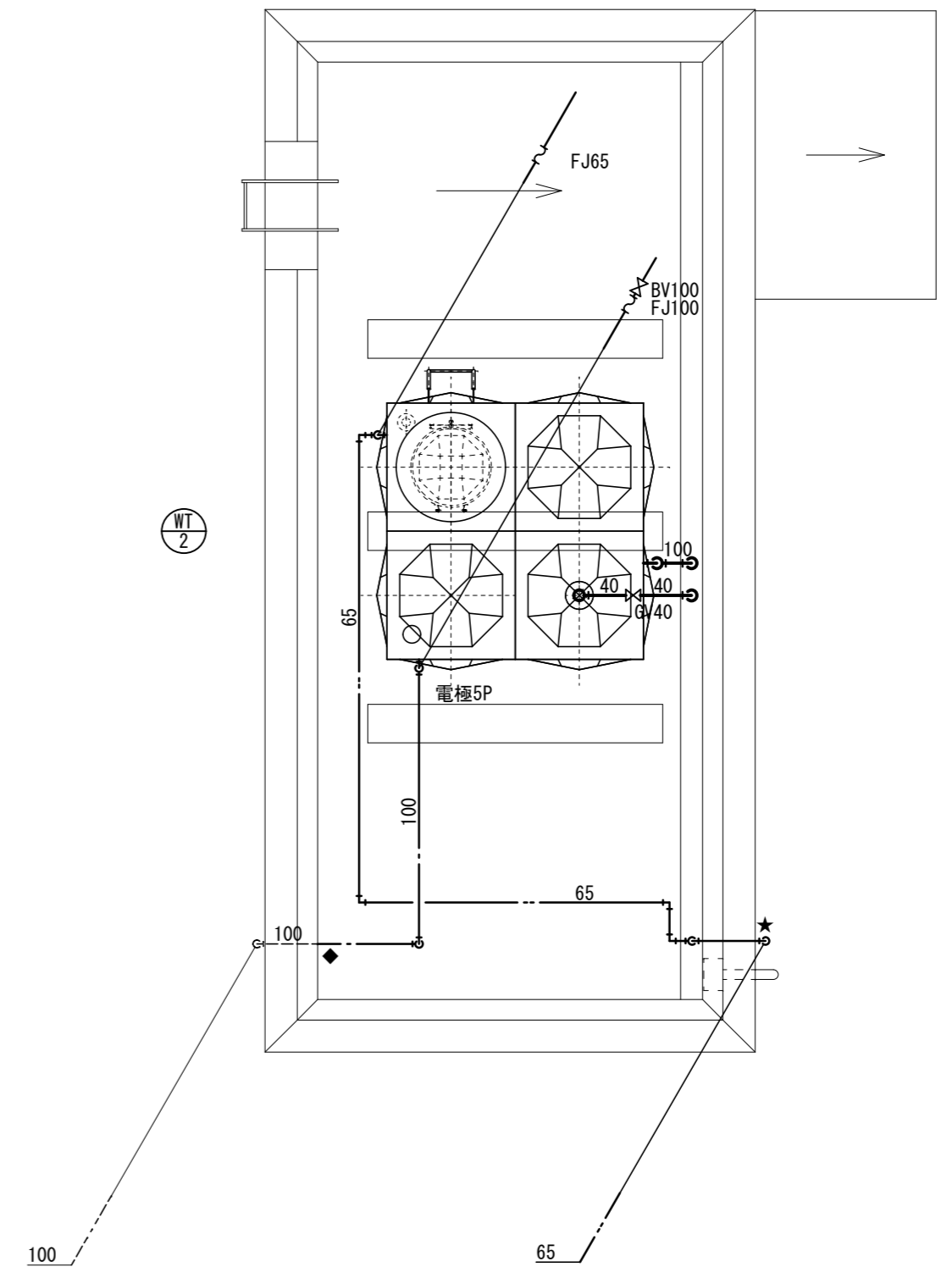
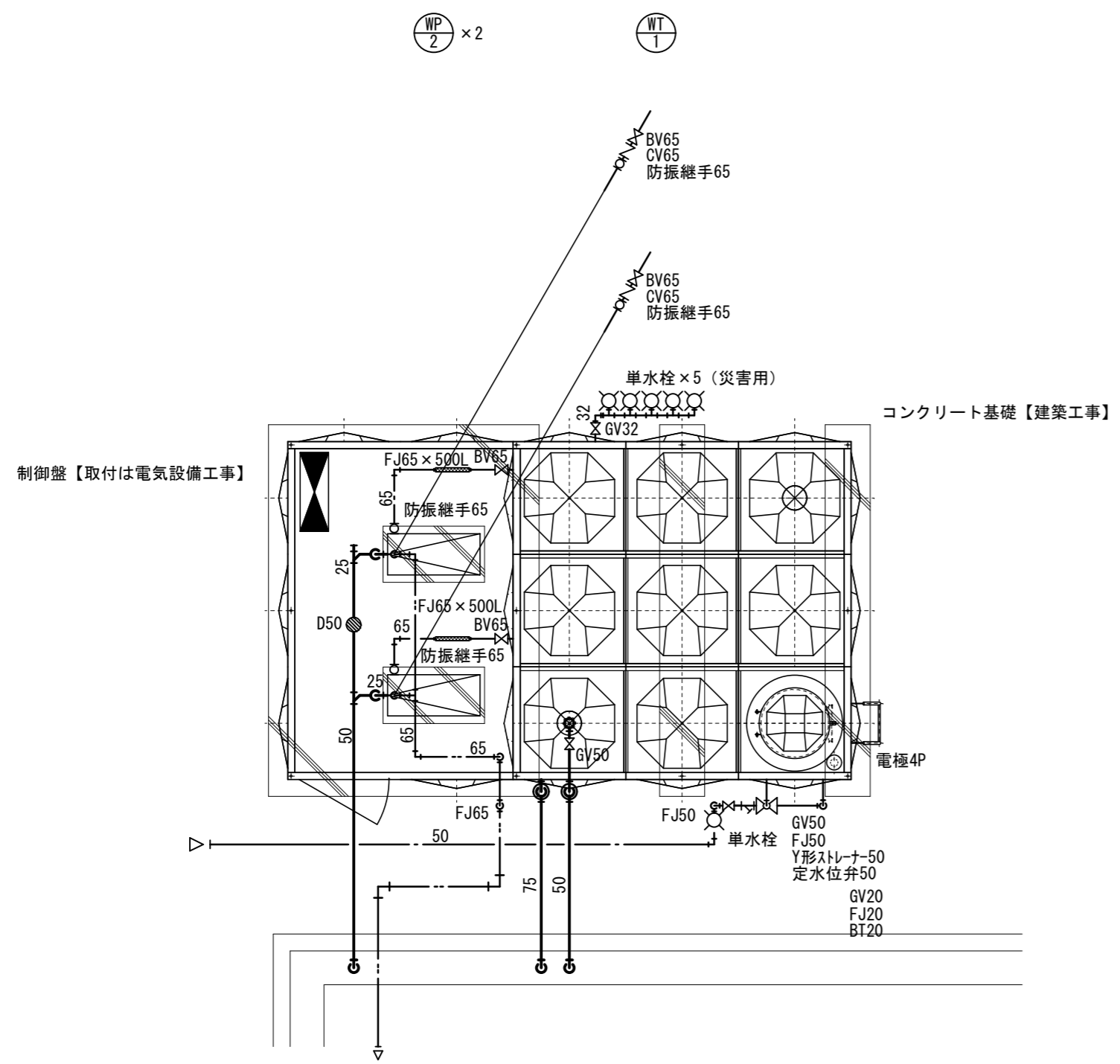


衛生器具表		仕様・参考型番		消費電力 (参考)	2階 多目的 トイレ	3階 多目的 トイレ	合計
名称							
	LIXIL	TOTO					
洋風便器	BC-P110SM, DQ-PA150CH, CW-PC12LQE-NECK-STG, 他一式	CF-63HST (紙巻器)	CFS498BC, TCF5841AUPR, 他一式	1300W	1	1	2
洗面器 (自動水栓)	L-275AN, AM-311CV1 (自動水栓), LF-105PA, SF-10E, KF-30DN, 他一式		L270C, TLE28SS1A (自動水栓), TLDP2105JA, TL220D, 他一式	0.6W	1	1	2
壁掛手洗器 (自動水栓)	AWL-71U2AM (P) (自動水栓), 他一式		LSA90AAP (自動水栓), 他一式	0.6W	1	1	2
L型手すり	KF-926AE80D25J, 他一式		T112CL11, 他一式		1	1	2
跳ね上げ手すり	KF-471EH70JU, 他一式		T112HK7R, 他一式		1	1	2
背もたれ	KFC-275T1U, 他一式		EWC283CR, 他一式		1	1	2
化粧鏡	KF-W450H1000A, 他一式		YM4510FA, 他一式		1	1	2

— — — — —	新設給水管
— — — — —	新設排水管
- - - - -	新設通気管
- - - - -	既設給水管
- - - - -	既設排水管
- - - - -	既設通気管
★	コア穴あけ
◆	既設管接続

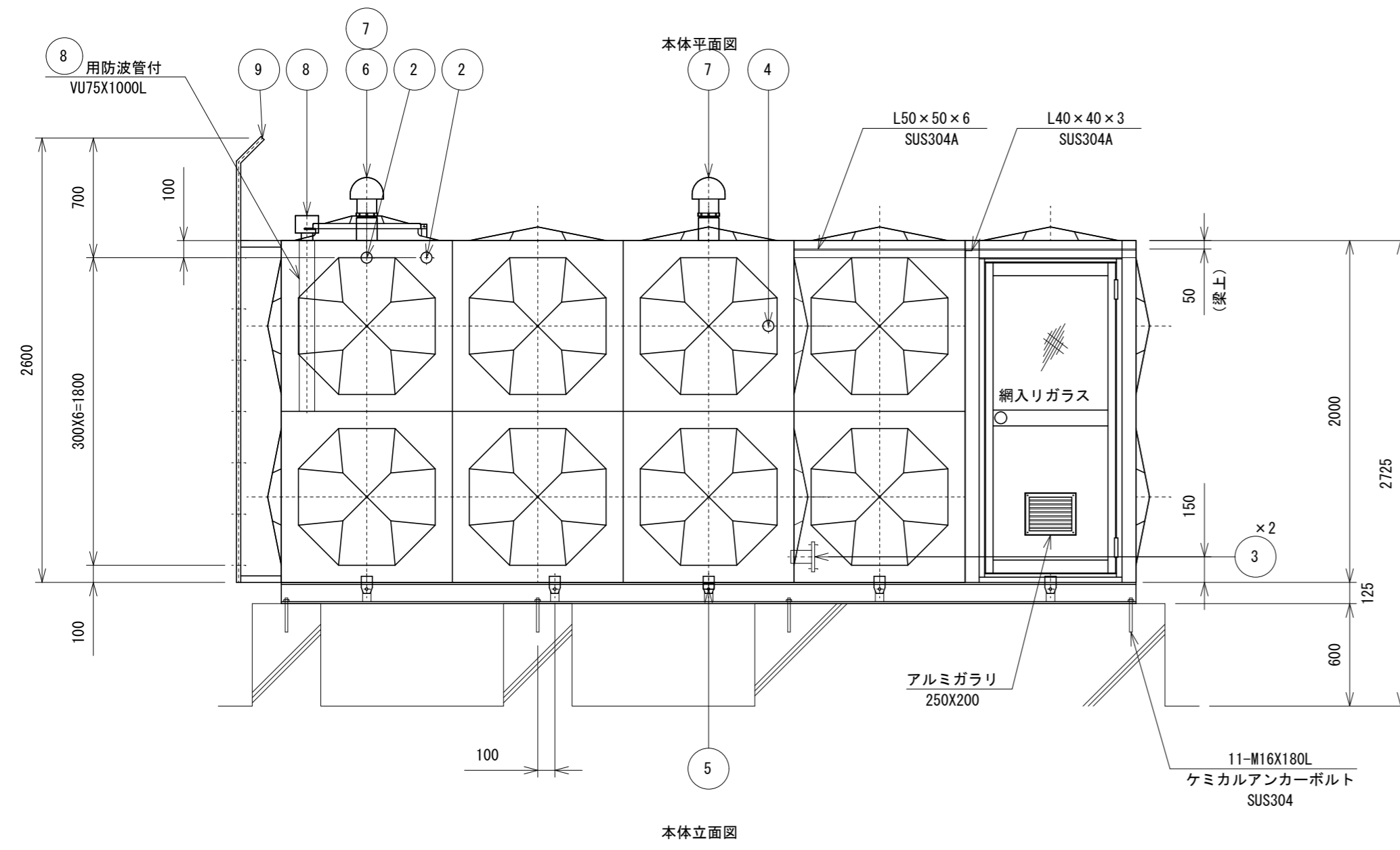
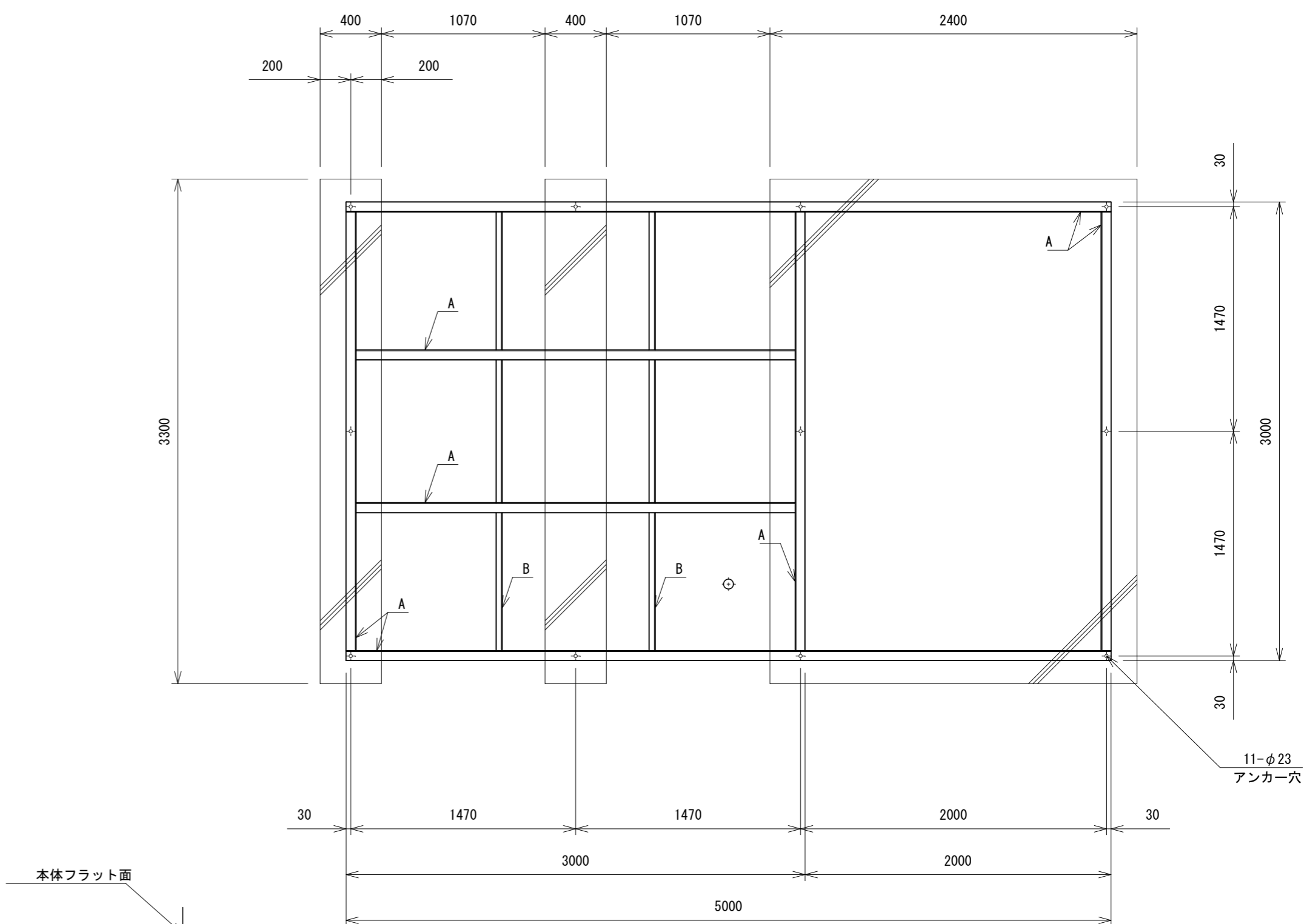
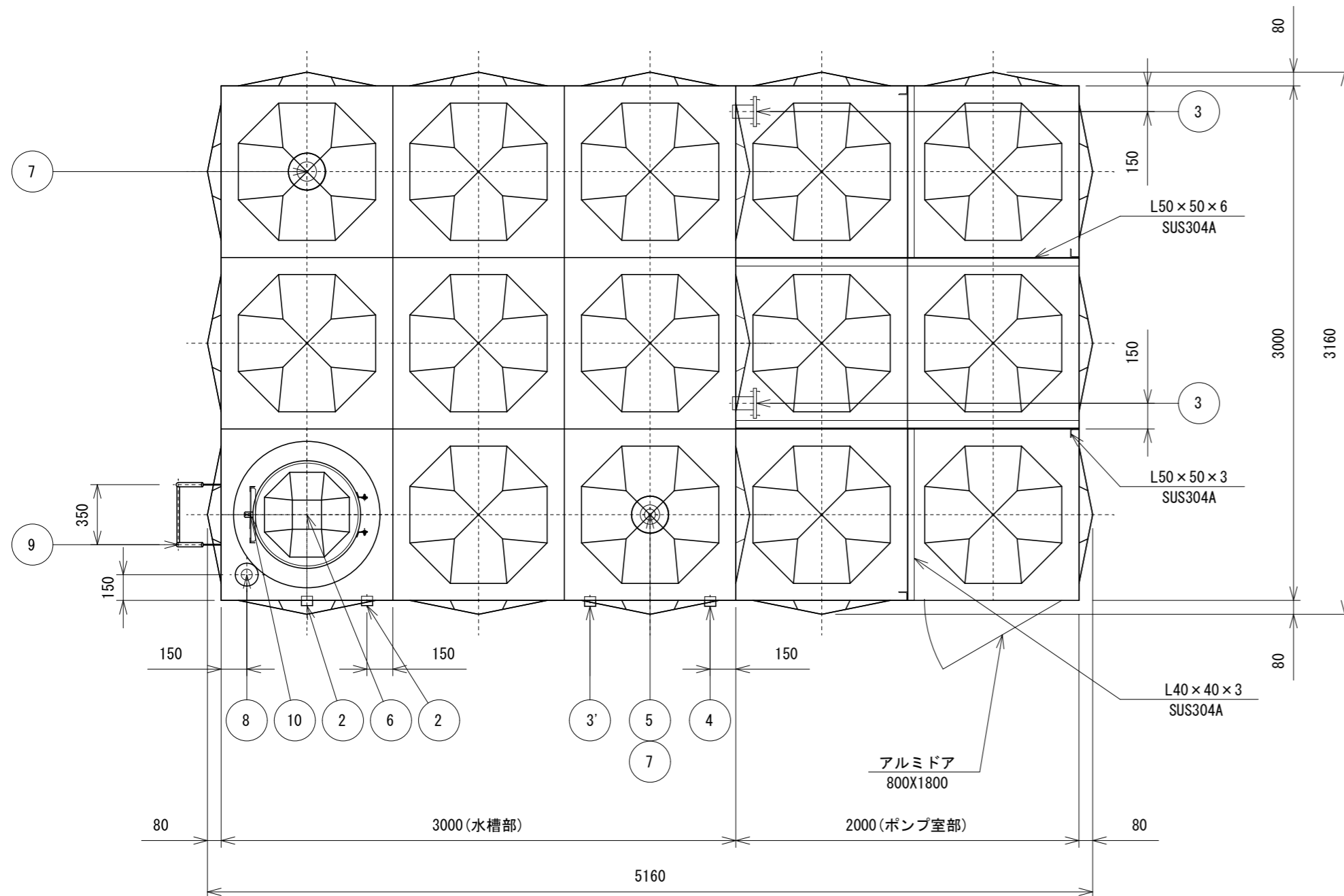
換気機器表							
記号	機器名称	仕様	定格電圧	消費電力 (W)	台数	設置場所	備考
VF-1	天井埋込形換気扇	型式: 低騒音形	1φ100V	15.5	2	2階 多目的トイレ	ルーバー: 格子タイプ
		能力: 100φ × 150CMH × 30Pa				3階 多目的トイレ	材質: ポティ(プラスチック)ファン(プラスチック)
		付属品: 天吊金具、SUS製深形フード(ガリ付)、他一式					

各室換気計算								
階	部屋名	面積 m ²	天井高 m	気積 m ³	換気回数による		設計風量	
					回数 回	必要換気量 m ³ /h	風量 m ³ /h	機器 記号
2	多目的トイレ	5.35	2.50	13.38	10	134	150	VF-1 1
3	多目的トイレ	5.35	2.50	13.38	10	134	150	VF-1 1

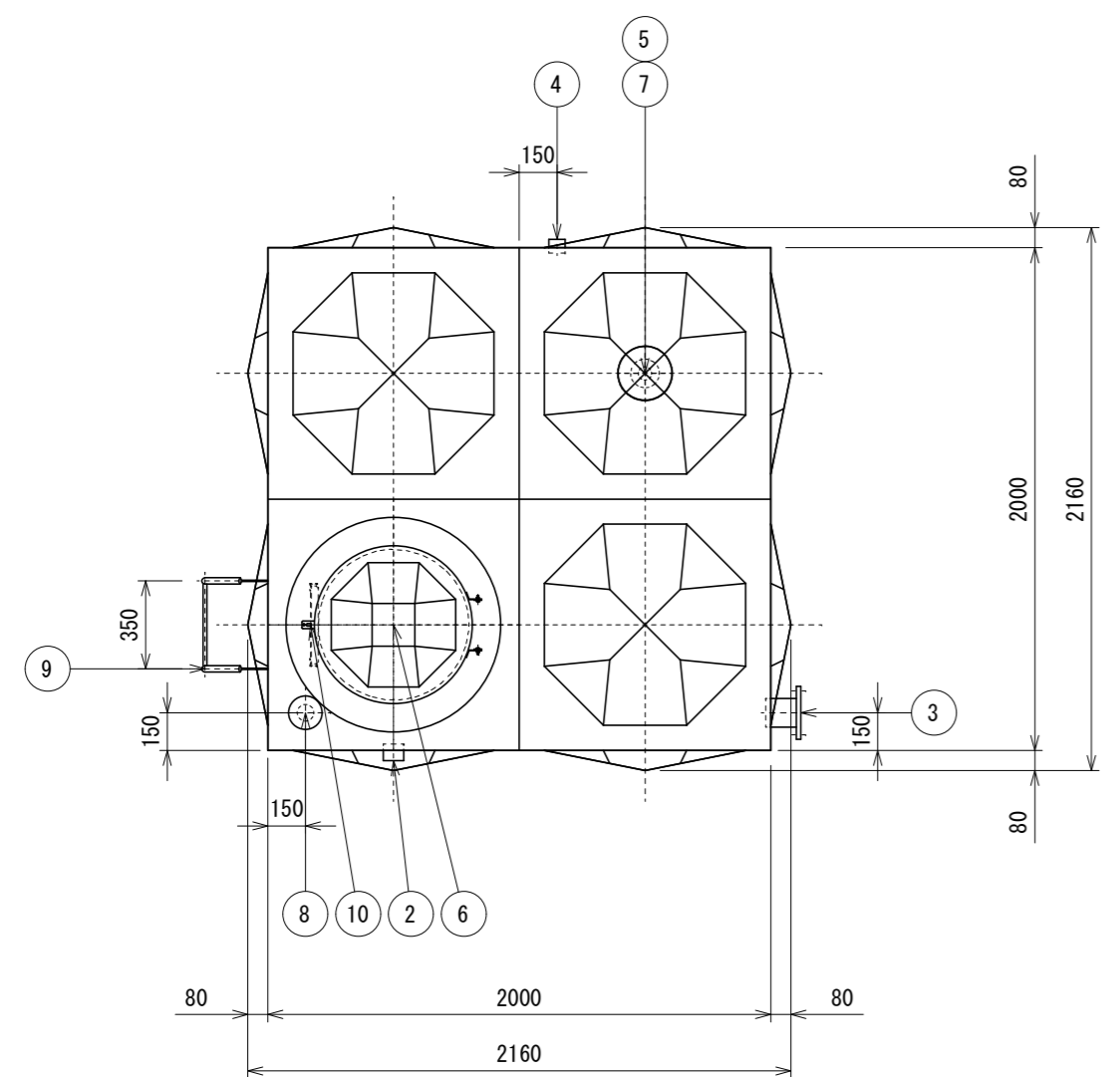


記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
WT-1	受水槽	型式：SUS製パネルタンク	-	1	屋外	内外梯子、電極座、通気口
		容量：12.5 m ³	-			防波筒、平架台、南京錠
		外形寸法：5,000×3,000×2,000H				設計用水平震度：1.5
		ポンプ室：2,000×3,000×2,000H				
WP-2	揚水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	3φ200V	2	受水槽 ポンプ室	設計用水平震度：1.0
		能力：65φ×340L/min×30mH×4P	3.7 kW			
		赤水対策品、自動交互運転 制御盤（電気設備工事に支給）				

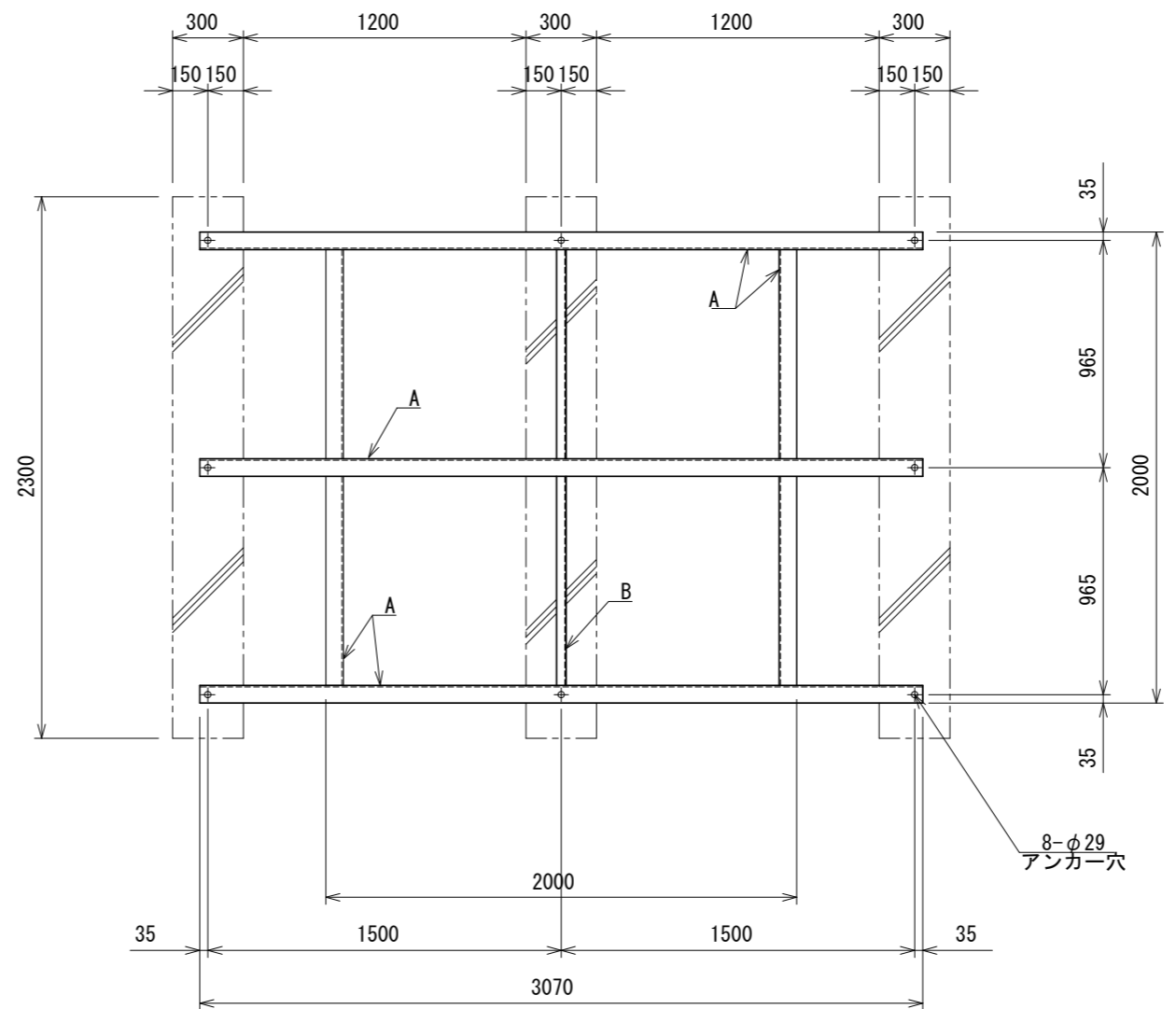
記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
WT-2	高置水槽	型式：SUS製パネルタンク	-	1	PH階	内外梯子、電極座、通気口
		容量：4.5 m ³	-			南京錠
		外形寸法：2,000×2,000×2,000H				設計用水平震度：2.0



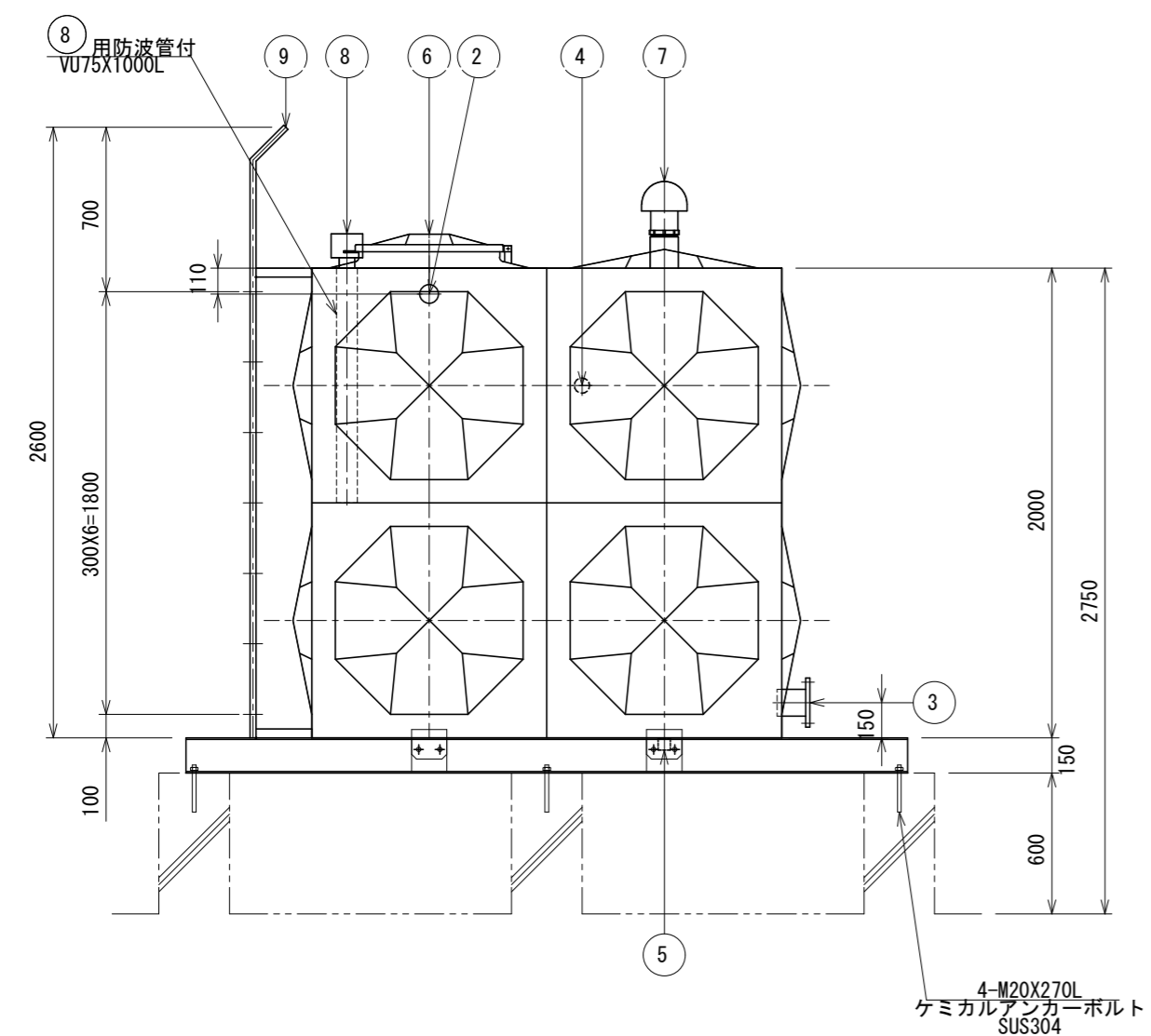
溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様												
設計水平震度	Kh = 1.5	10	内はしご	SUS329J4L	330X300	1	L30X30					
寸法	3000X5000 (3000+P2000) X2000	9	外はしご	STKM	350X300	1	φ25.4・RB16					
本体	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	SUS329J4L	7	通気口	ABS	100A	2	防虫網付	
	側板1段	t2.0	底板 (プレス)	t2.0	SUS444	6	マンホール	SUS329J4L	φ600	1	施錠式 二重蓋 (樹脂)	
	ポンプ室	t1.5		SUS444	5	排水口	SUS304	50A	1	ソケット		
受台 (架台)	A材 C125×65×6		B材 C75×40×5			4	溢水口	SUS316	75A	1	ソケット	
			SS400			3'	給水口	SUS304	32A	1	10KF SUS304	
仕上	ステンレス溶接部は酸洗い不動態処理					3	給水口	SUS304	65A	2	10KF SUS304	
	SS部は溶融亜鉛メッキ					2	揚水口	SUS316	50A	2	内外ソケット	
付属品	通気、電極カバー、ケミカルアンカーボルト					1	本体	SUS				
重量	本体 1100 kg	受台 (架台) 420 kg					品番	名称	材質	寸法	個数	備考



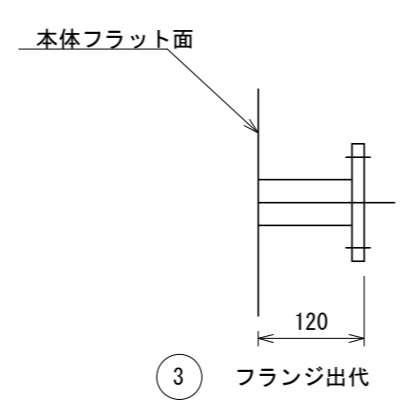
本体平面図



受台伏図
(既設基礎利用)



本体立面図



溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様					
設計水平震度	Kh = 2.0				
寸 法	2000X2000X2000				
本 体	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	SUS329J4L
	側板1段	t2.0	底板 (プレス)	t2.0	SUS444
受台 (架台)	A材	C125×65×6	B材	C75×40×5	SS400
仕 上	ステンレス溶接部は酸洗い不動態化处理 SS部は溶融亜鉛メッキ				
付 属 品	通気、電極カバー、ケミカルアンカーボルト				
重 量	本体	420 kg	受台 (架台)	290 kg	
10	内はしご	SUS329J4L	330X300	1	L30X30
9	外はしご	STKM	350X300	1	φ25.4・RB16
8	電極取付用座	ABS	50A	1	防波管付
7	通 気 口	ABS	100A	1	防虫網付
6	マンホール	SUS329J4L	φ600	1	施錠式 二重蓋 (樹脂)
5	排水口	SUS304	40A	1	ソケット
4	溢水口	SUS316	100A	1	ソケット
3	給水口	SUS304	100A	1	10KF SUS304
2	揚水口	SUS316	65A	1	内外ソケット
1	本 体	SUS			
品番	名 称	材 質	寸 法	個数	備 考

消火栓計算書 第1号消火栓												
【配管材料⇒配管用炭素鋼管 (SGP-白) JIS-G-3452】												
区間	器具単位数	流量	管径	局部抵抗の種類	1個当たりの相当長さ	数量	計またはK	K 実長	換算長	単位抵抗	区間抵抗	
						ヶ	m	Lm	m	R	R(L+L') mAq	
～①	1	130	40	90°エルボ (ねじ込式)	1.3	1	1.3	1.3				
				放水弁	7.0	1	7.0	7.0	8.3	0.0944	0.7836	
①～②	1	130	50	直管				71.7				
				90°エルボ (ねじ込式)	1.6	9	14.4	14.4				
				フレキ	1.6	1	1.6	1.6	87.7	0.0293	2.5696	
②～③	2	260	65	直管				84.7				
				90°エルボ (ねじ込式)	2.0	13	26.0	26.0				
				チーズ	4.1	1	4.1	4.1				
				フレキ	2.0	2	4.0	4.0	118.8	0.0313	3.7185	
③～④	2	260	65	直管				44.4				
				90°エルボ (ねじ込式)	2.0	5	10.0	10.0				
				チーズ	4.1	3	12.3	12.3				
				フレキ	2.0	2	4.0	4.0	70.7	0.0313	2.2130	
④～⑤	2	260	65	直管				91.3				
				90°エルボ (ねじ込式)	2.0	13	26.0	26.0				
				チーズ	4.1	6	24.6	24.6	141.9	0.0313	4.4415	
⑤～⑥	2	260	50	ゲート弁	0.3	1	0.3	0.3				
				逆止弁	4.4	1	4.4	4.4				
				フレキ	2.0	1	2.0	2.0	6.7	0.1056	0.7076	
⑥～⑦	2	260	50	直管				5.5				
				90°エルボ (ねじ込式)	1.6	1	1.6	1.6				
				フレキ	2.0	1	2.0	2.0				
				フート弁	4.4	1	4.4	4.4	13.5	0.1056	1.4256	
											合計	15.8594

ポンプの定格 吐出量 ポンプの定格 全揚程	計算式		計算		備考	
	屋内消火栓	$Q1=150 \times N$	$Q1=150 \times 2=$	300	$N=$	2
N: 同時開口数						
H: $h1+h2+h3+h4$	m	$H=$	$17.5+15.0+17.0+3.6$			
h1: 配管摩擦損失水頭	m	$=$	53.1	h1=		
N				15.8594×1.1		
$h1 \approx \sum h1n$				$= 17.5$		
n=1				h2=	15.0	
h1n: 呼び径dnの配管の摩擦損失水頭	m			h3=	17.0	
N: 配管の摩擦損失計算に必要なh1nの数				h4=	3.6	
$h1n = \frac{\alpha n \cdot (Lna + Lnb)}{100}$						
Lna: 呼径dnの配管の直管部の長さの合計	m					
Lnb: 呼径dnの配管の継ぎ手、バルブ類の						
直管相当長の長さの合計	m					
αn : (昭和51年4月5日、						
消防庁告示第3号)による						
h2: 実揚程 (吸込実揚程+吐出実揚程)	m					
h3: ノズルの放水圧力水頭						
屋内消火栓	17.0m					
h4: 消防ホースの摩擦損失水頭						
屋内消火栓	3.6m					
(ゴム引きホース長さ 15m×2本)						
電動機の出力	$KW = \frac{0.163 \times Q \times H}{K} \times Kc$	$KW =$	$\frac{0.163 \times 0.3 \times 53.1}{0.6} \times 1.1$			
KW: 必要な電動機容量・Q: 吐出量・h2実揚程			$=$	$4.77 < 5.5$		
K: ポンプの効率						
Kc: 電動係数 (1.1とする) 実揚程						
ポンプ仕様	口径	吐出量	揚程	電動機出力	極数	台数
	mm	L/min	m	kW		
	50	300	54	5.5	2	1
消火用水槽 (既設流用)	屋内消火栓	$Q01=2.6 \times N$				
	Q01: 水源の有効容量					
	N: 同時開口数					
消火用充水槽	$Qfh=200 \text{ Lit}$					

- 各種水槽は自動給水装置付とする。
- 警報の移報内容は、各種移報 (起動・故障、消火水槽減水、呼水水槽減水、高置水槽減水) を受信機または受信機近くの警報盤に移報する。
- ポンプ起動で表示灯をフリッカーさせる。
- 起動ボタンを自動火災報知設備の発信機と兼用する場合、表示灯の電源は屋内消火栓側からとし、配線はHPとする。
- 直接外気に面する屋外配管等はラッキング等凍結防止の措置を講じる。
- 消火ポンプ室は、開口部は防火戸及び換気口等はFD付とし、照明及び非常用照明が設置された不燃専用室とする。「消防ポンプ室」の表示を設置する。

記号	機器名	機器仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
PFD	消火ポンプユニット	形式: 呼水槽付ユニット 能力: $50 \phi \times 300 \text{ L/min} \times 54 \text{ m}$ 付属品: 吐き出し側フレキ 開閉表示付SV CV 制御盤 試験配管 消火水槽・呼水槽・充水槽電極 ポンプ運転・故障警報 クサリ付フート弁 共	3φ200V 5.5kW	1	ポンプ室	消火栓起動リレー内蔵 制御盤は吸込側から見て右側設置 設計標準震度Ks 1.0
	屋内消火栓BOX	形式: 1号消火栓 (表面処理鋼板製) 付属品: バルブ (40×90°) ノズル (40×13) ホース (15m×2本) 操作シール ホース架 鋼板製化粧架台		15	普通教室棟×6台 特別教室管理棟×6台 昇降口棟×3台	
	屋内消火栓BOX 【既設流用】	形式: 1号消火栓 (表面処理鋼板製) 付属品: 【新設】バルブ (40×90°) 【新設】ノズル (40×13) 【新設】ホース (15m×2本) 操作シール 【新設】ホース架		2	屋内運動場×2台	
	消火用補給水槽	容量: 200L 外径寸法: 600×600×900H 材質: SUS製 付属品: ステンレス製ブラケット架台、ホールタップ、電極 共		1	屋上	設計標準震度Ks 2.0

消火管保温仕様
屋外: ホリスチン保温筒+SUS鋼板
屋内露出①: グラスウール保温筒+合成樹脂加
屋内露出②: 管塗装

- ※屋内露出①は消火栓ボックス周囲の立管部分を対象とし、その他の箇所は屋内露出②とする。
- ※配管架台は溶融垂鉛付仕上げとする。

特記仕様書

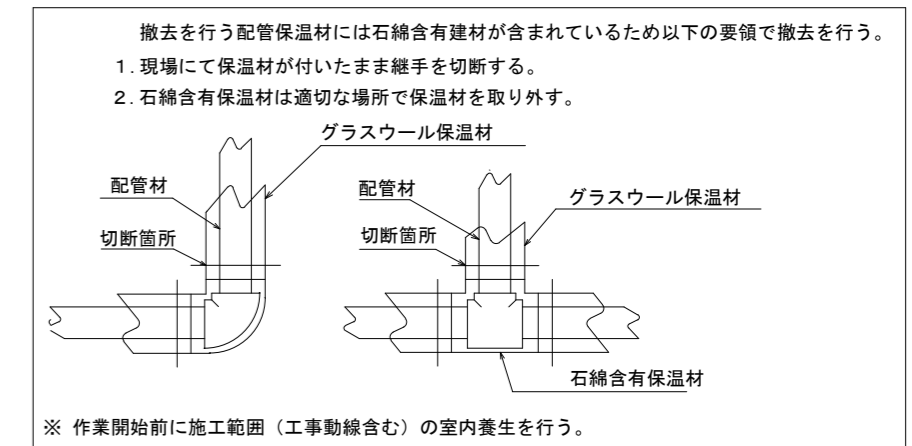
1. 一般事項

- 環境省「建築物の解体に係る石棉飛散防止対策マニュアル」に基づき、非石棉部での切断による除去を行う。
- アスベスト廃棄物の処理
- 「アスベスト廃棄物」の処理に当たっては、関係法令、地方公共団体・特定行政庁の指導等によるほか、「建設廃棄物の処理マニュアル (財) 日本産業廃棄物処理振興センター H13.7)」に基づいて実施する。
 - アスベスト廃棄物をやむを得ず一時的に構内に保管する場合の保管場所等については、監督職員と協議する。
 - アスベスト廃棄物の構外搬出作業にあたっては、作業実施予定日時等を事前に監督職員と協議する。
- アスベスト含有建材飛散防止処理施工記録
- 施工記録報告書を作成し、監督職員に提出する。
 - 施工記録報告書は下記の事項により作成する。
 - 施工計画書
 - 産業廃棄物処理記録
 - 作業者の作業記録
 - 異状があった場合の連絡先等
 - 処理工事業者名
 - 工事記録及び工事写真
 - 施工調査等記録
 - 建物の使用に当たっての注意事項
 - 処理工事期間
 - 処理工事の場所・部位
 - 処理工事業者名
 - 飛散防止処理剤の種類と使用量等
 - その他の必要事項
- 工事管理者
- 処理工事に係る総合的技術管理を行う工事管理者を選任する。
なお、工事管理者は、アスベスト含有建材飛散防止処理施工等にかかわる指導、及び管理を行う能力を有し、建築法で規定する主任技術者または監理技術者の資格を有するものとする。
 - 工事管理者と現場代理人及び石綿作業主任者はこれを兼ねることができる。

【石綿含有保温材撤去要領】 (参考)

- 使用機器及び材料 (ケレン棒、保護メガネ、噴霧器、管切断カッター (セーバーソー)、真空掃除機 (HEPA)、のび馬・移動式足場)
- 除去工事実施の表示を、目につきやすい場所に掲示する。
- 足場作業時は、安全帯を着用すること。
- 保護具を作業開始から最終清掃まで着用すること (保護衣・半面型防護マスク)
- 清掃及び養生を行う。
(1) 真空掃除機で施工周辺を掃除してから、扉・窓・換気扇等の開口部を養生シートで覆う。
(2) 配管エルボ・ダクトバックキン切断部位を養生シートで覆う。
- 除去工事を行う。
(1) 作業は、2人以上で行う。
(2) 切断は、石綿部分を噴霧器等で湿潤させる。
(3) 石綿部に触れない箇所を切断し、石綿部が切断後、落下しないよう必ず荷受できる状態で行い、落下による飛散防止を行う。
(4) 除去した配管エルボ・ダクトバックキンは、プラスチック袋で『石綿』である旨の表示を行い二重梱包し、衝撃を与えないよう取扱い一時保管場所に仮置きする。
- 袋詰めした石綿の一時保管
(1) 一時保管は、プラスチックシートが破損しないよう丁寧に仮置きする。
(2) 仮置き周辺は、カラーコーンなどで覆い、看板などで石綿の保管場所であることを掲示し、責任者及び連絡先を明記する。
- 洗身及び保護具の管理
(1) 作業終了後に洗眼、洗面及びうがいをする。また、呼吸用保護具に付着した粉じんを真空掃除機で清掃し、保護衣は廃石綿の袋に入れ産廃とする。
(2) 作業用足場・使用工具は、作業場外搬出前に真空掃除機にて清掃し、濡れたウェス等で拭く。
- 片付け・最終清掃を行う。

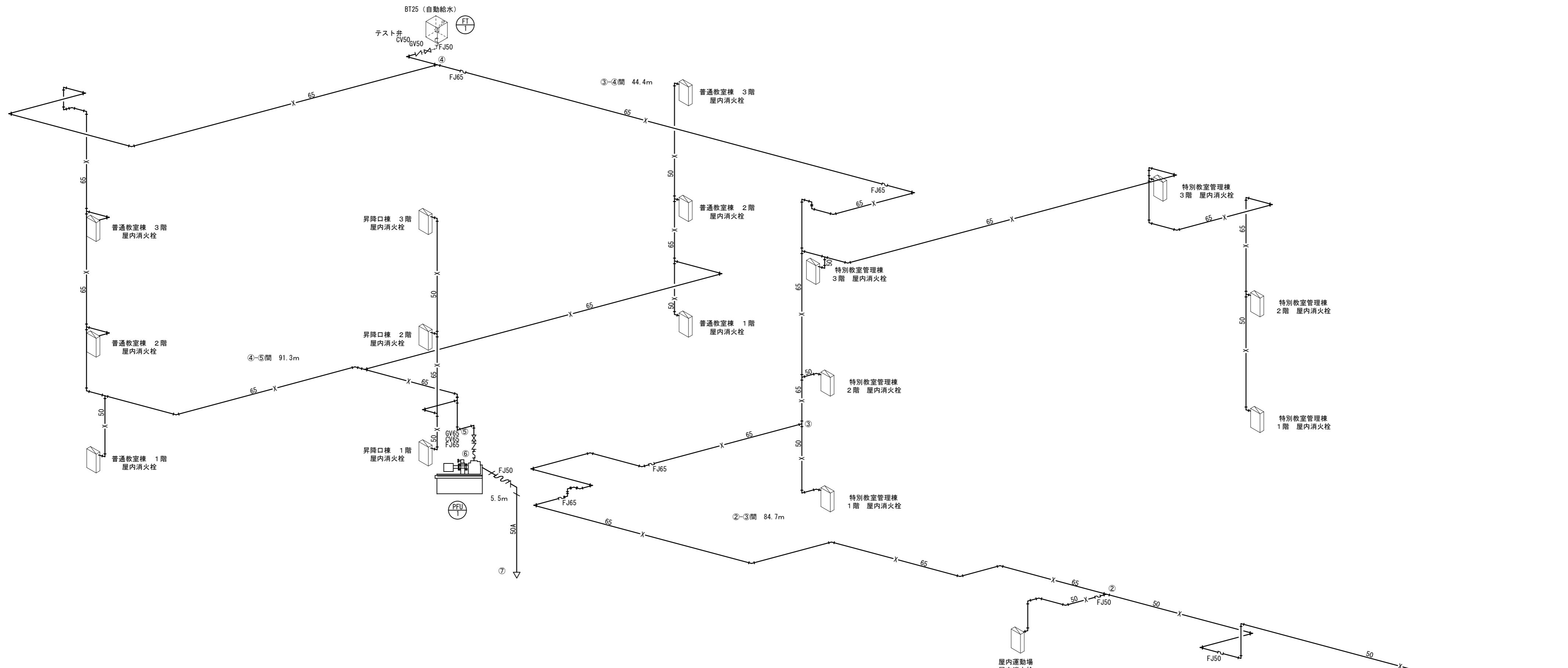
石綿含有保温材撤去要領図 (参考)



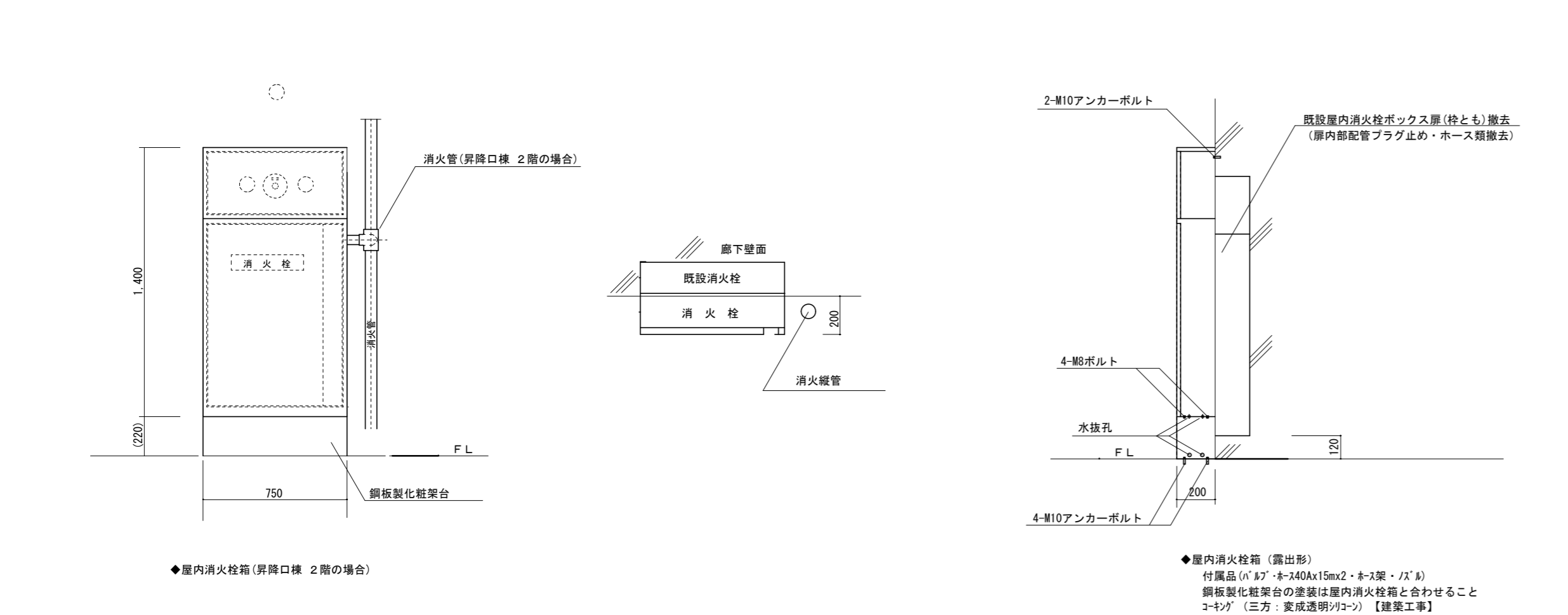
石綿含有保温材等の撤去数量集計表 (参考数量)

棟区分	種別	サイズ	か所数
ポンプ室	保温材	100	5

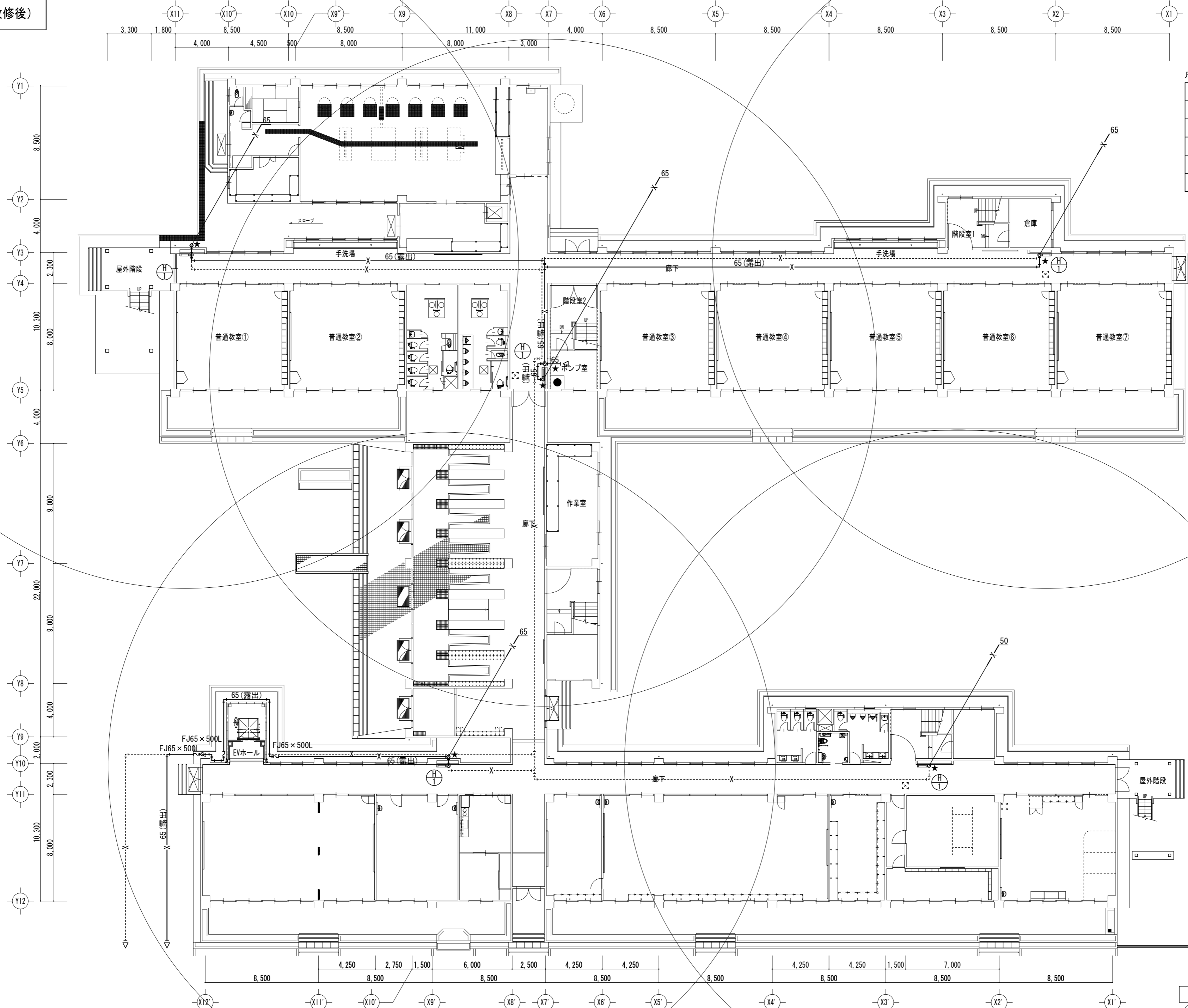
※切断等は配管撤去工事等で行い、それ以降の処分は専門業者により適切に処分する。



消火栓ボックス周り詳細図



校舎 1階平面図 (改修後)

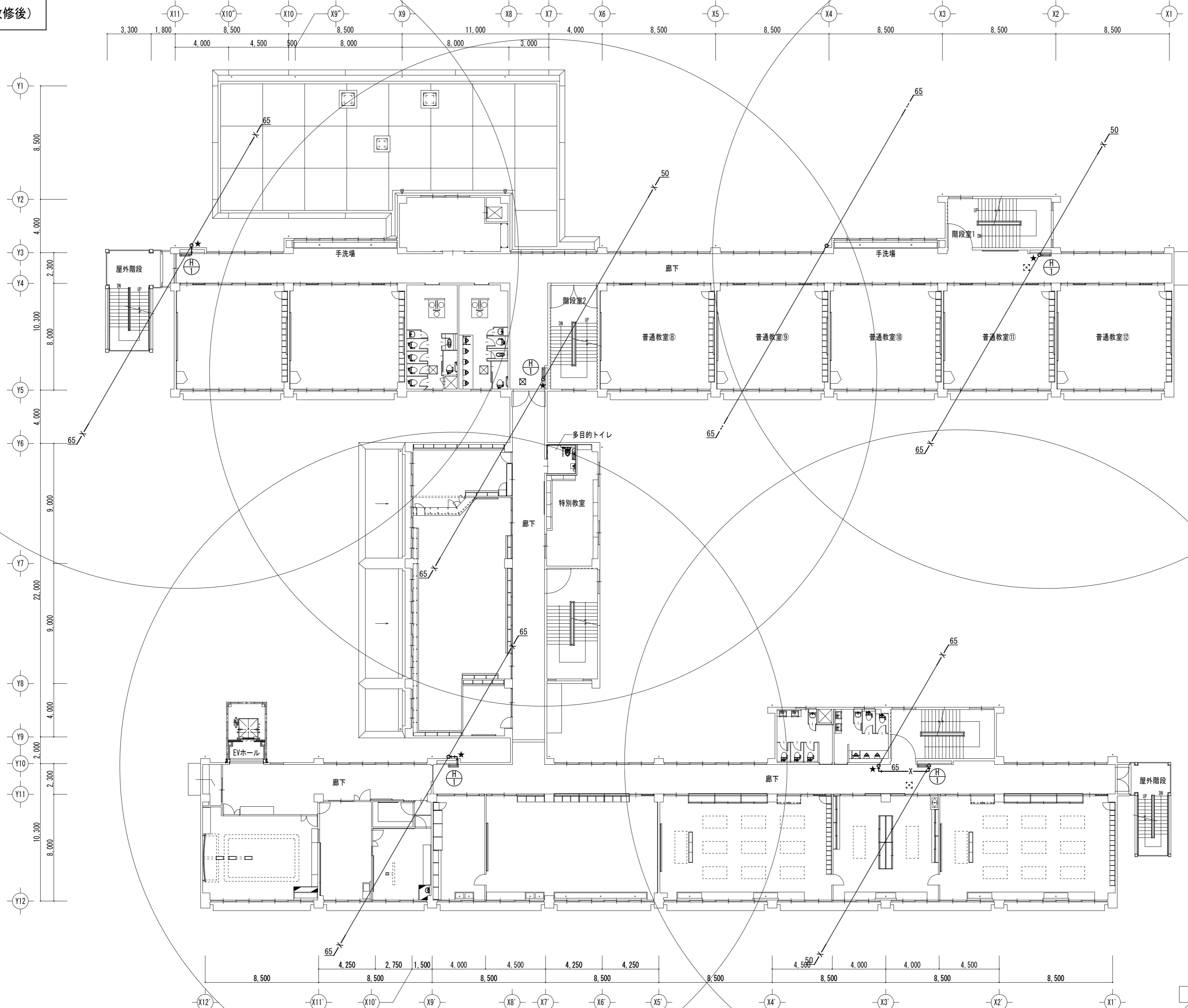


凡例

—X—	【新設】消火管
- - -X- - -	既設消火管
●	既設貫通穴再利用
★	コア穴あけ
☒	新設点検口 (450×450)
☒	既設点検口 (450×450)

1階平面図 S=1/200

校舎 2階平面図 (改修後)

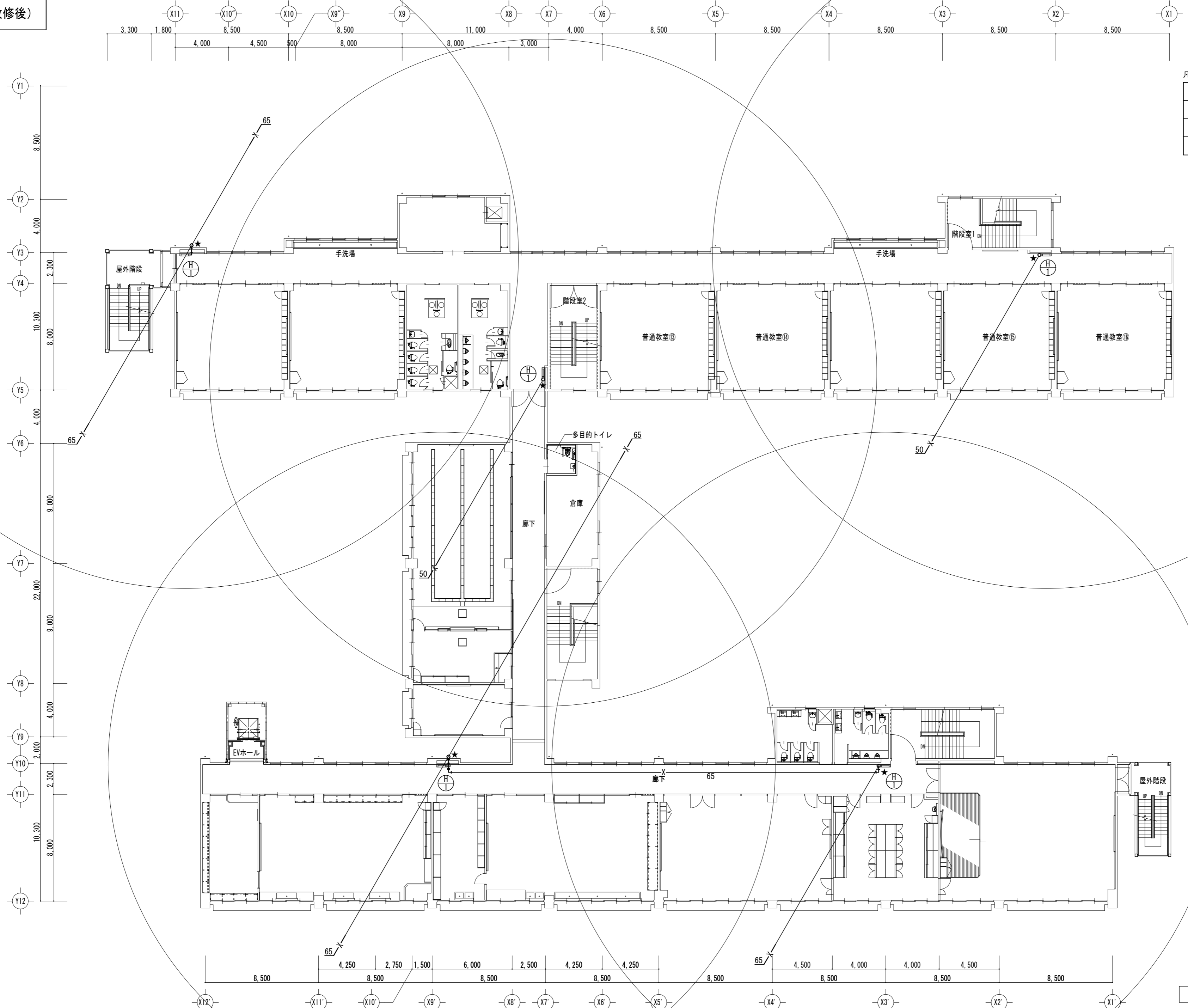


凡例

—X—	【新設】消火管
- - -X- - -	既設消火管
●	既設貫通穴再利用
★	コア穴あけ
☒	新設点検口 (450×450)
☐	既設点検口 (450×450)

2階平面図 S=1/200

校舎 3階平面図 (改修後)

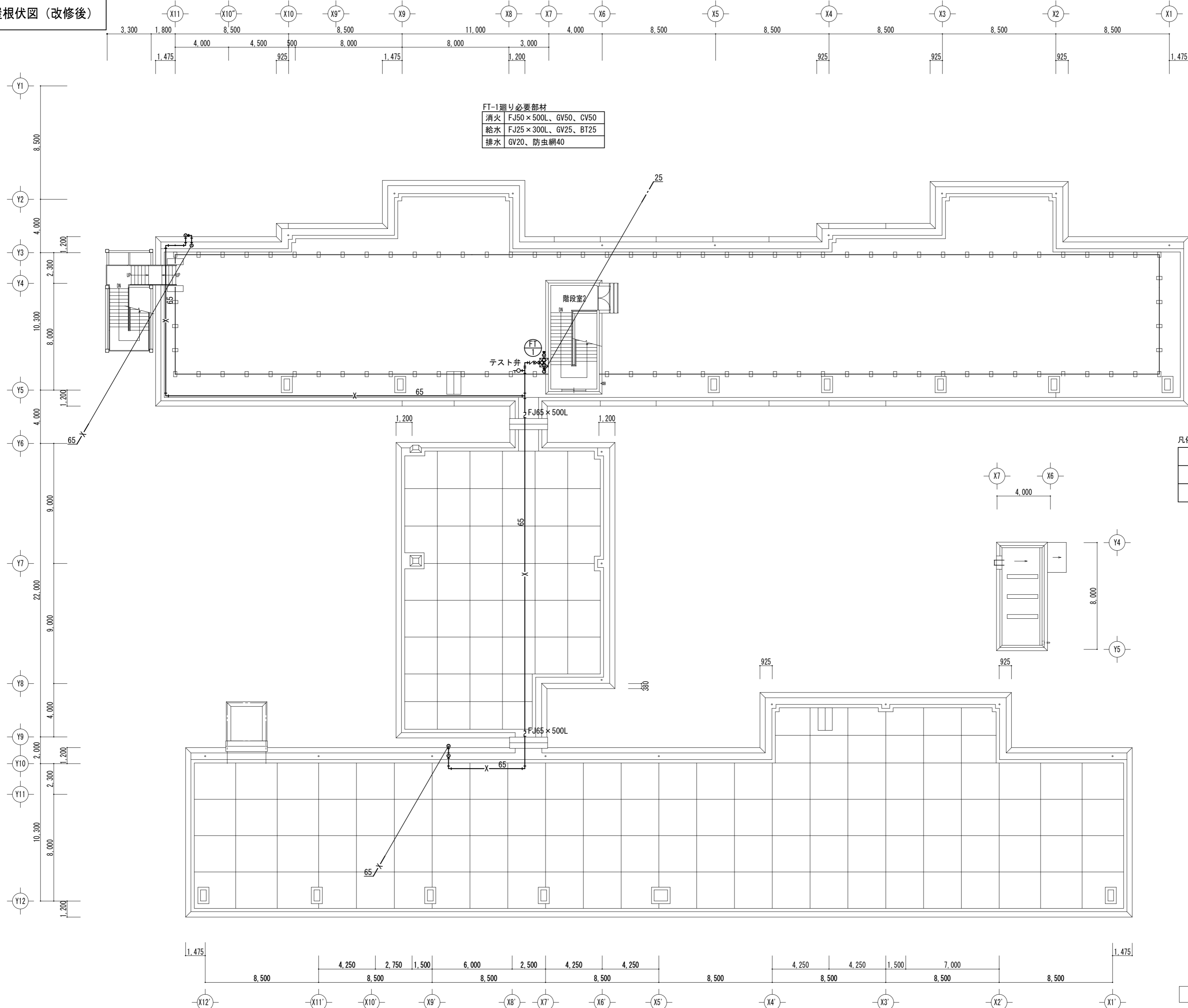


凡例

—X—	【新設】消火管
- - -X- - -	既設消火管
●	既設貫通穴再利用
★	コア穴あけ

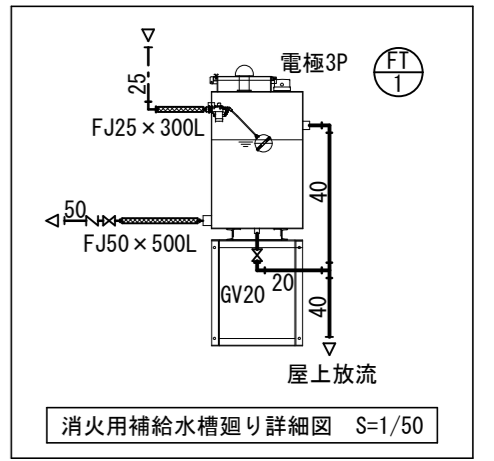
3階平面図 S=1/200

校舎 R階平面図・屋根伏図 (改修後)



FT-1 廻り必要部材

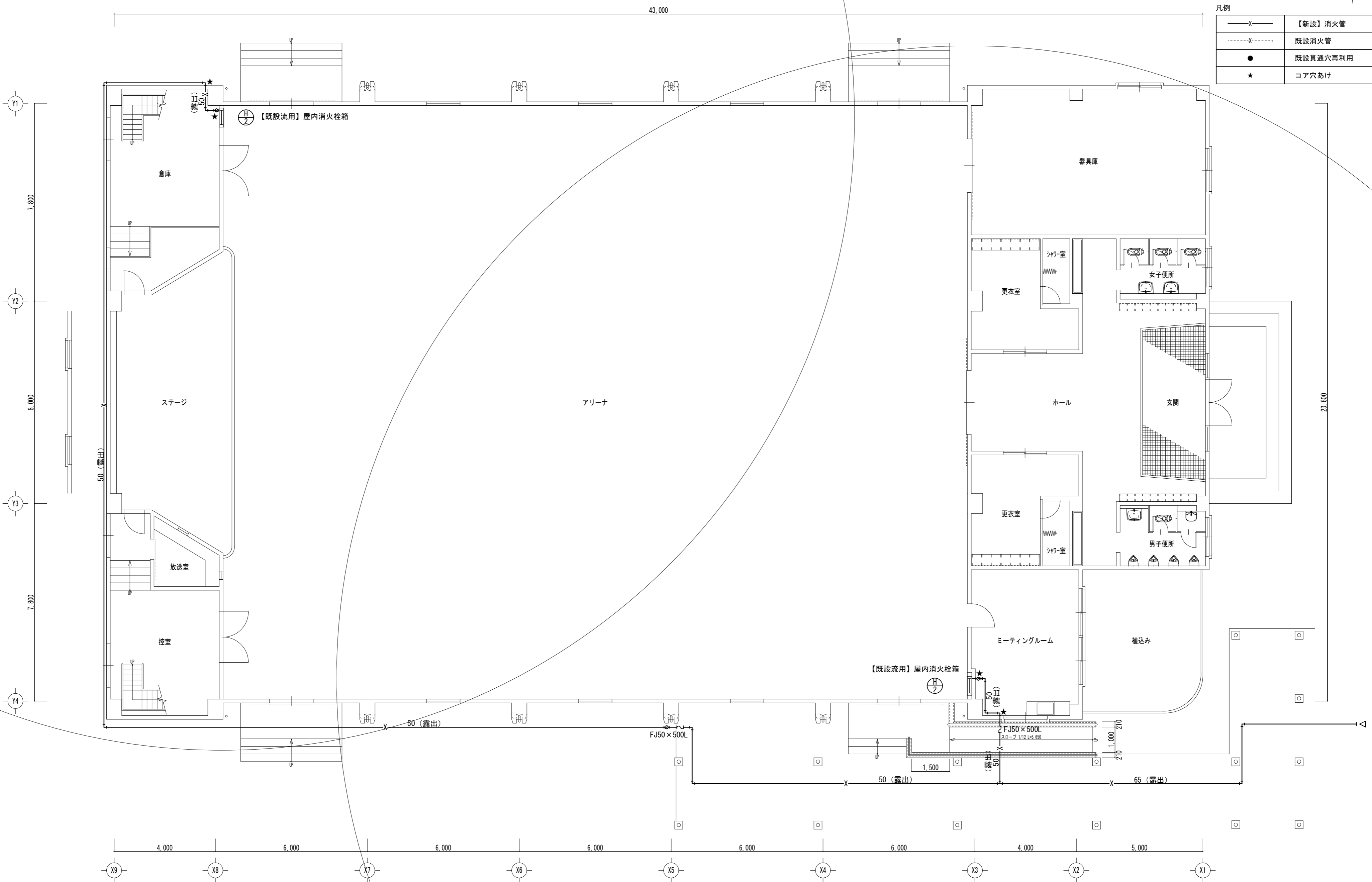
消火	FJ50 x 500L、GV50、CV50
給水	FJ25 x 300L、GV25、BT25
排水	GV20、防虫網40



凡例

—x—	【新設】消火管
- - -x- - -	既設消火管
●	既設貫通穴再利用

R階平面図・屋根伏図 S=1/200

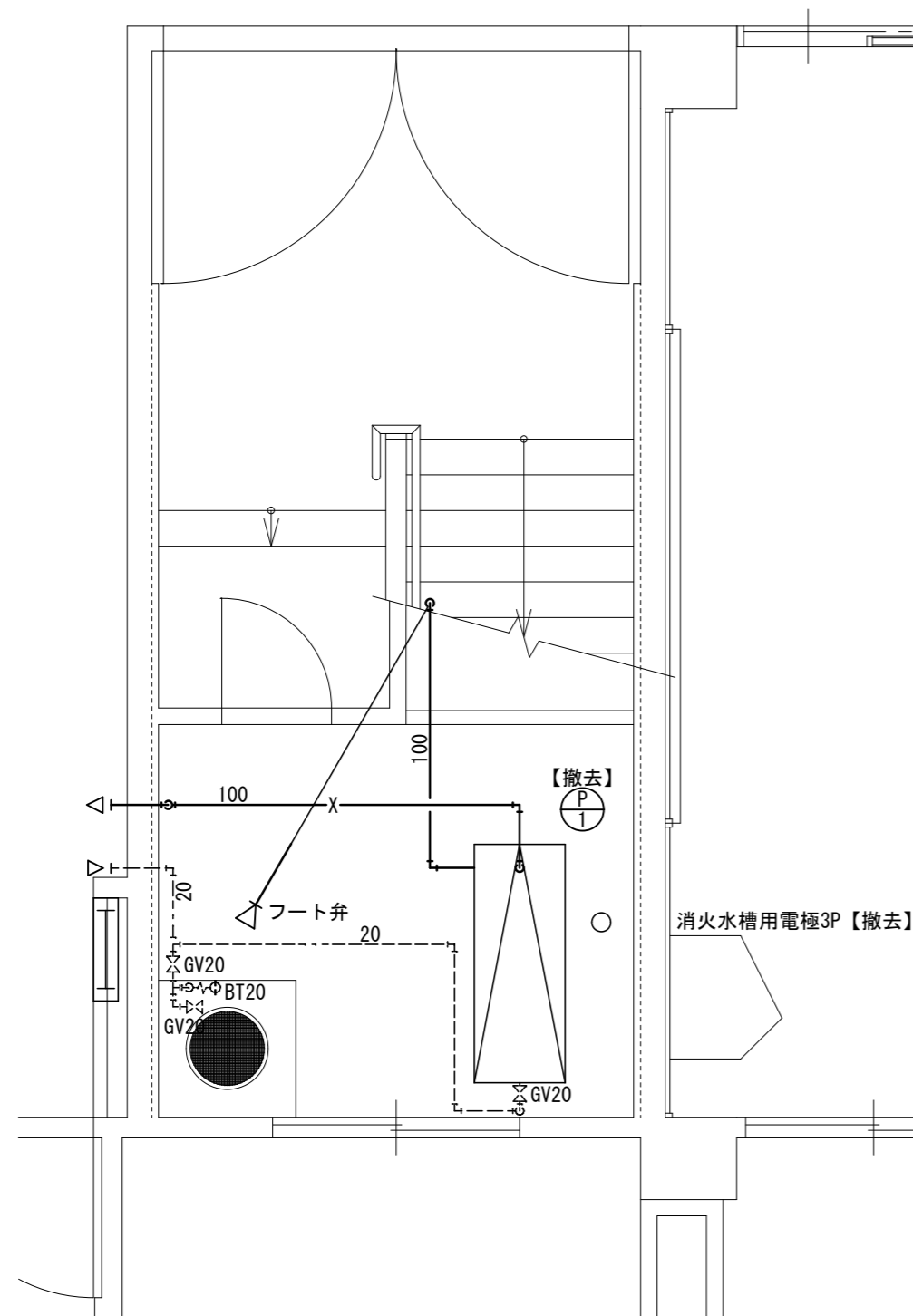


凡例

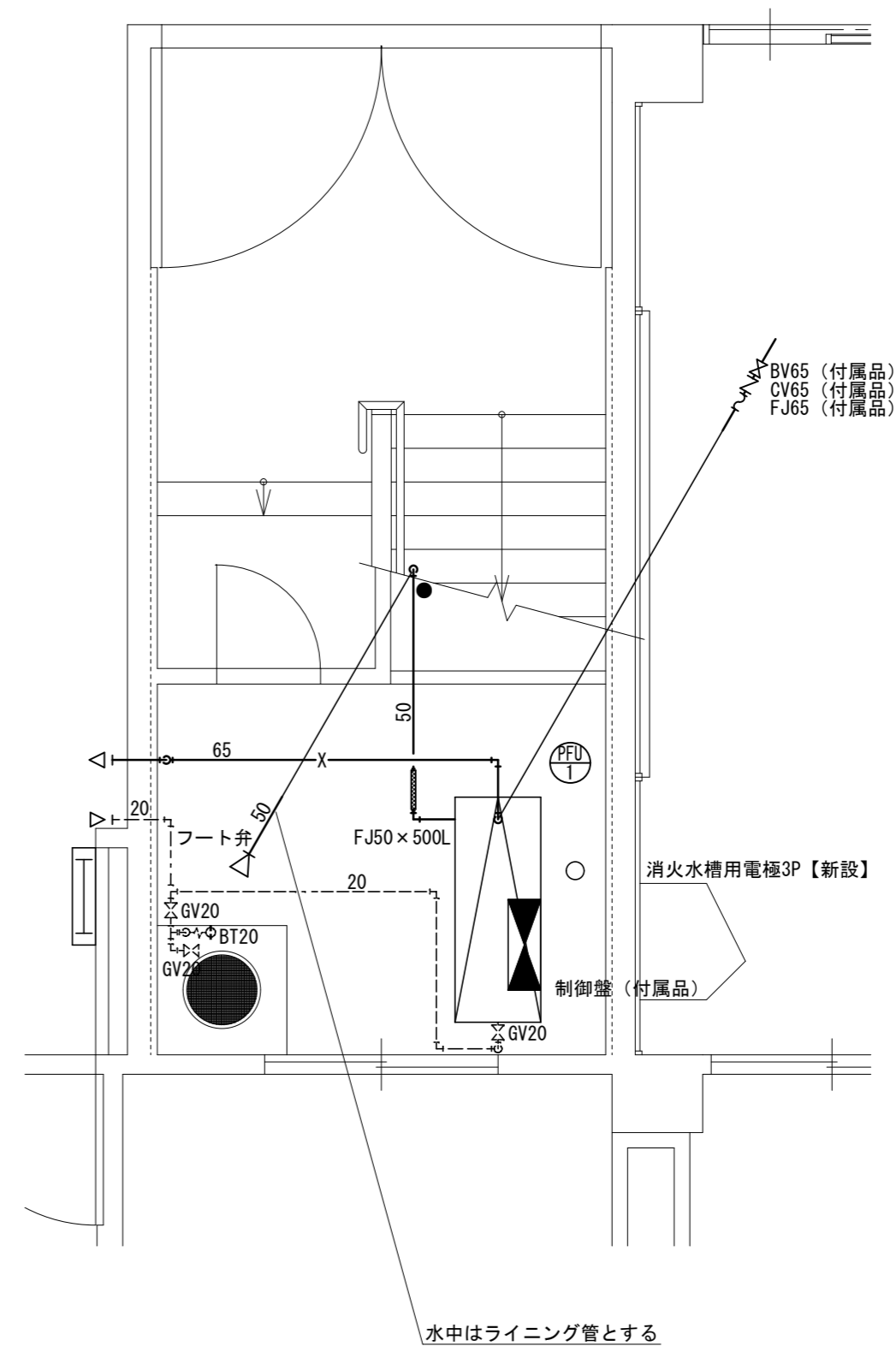
—X—	【新設】消火管
---X---	既設消火管
●	既設貫通穴再利用
★	コア穴あけ

1階平面図 S=1/100

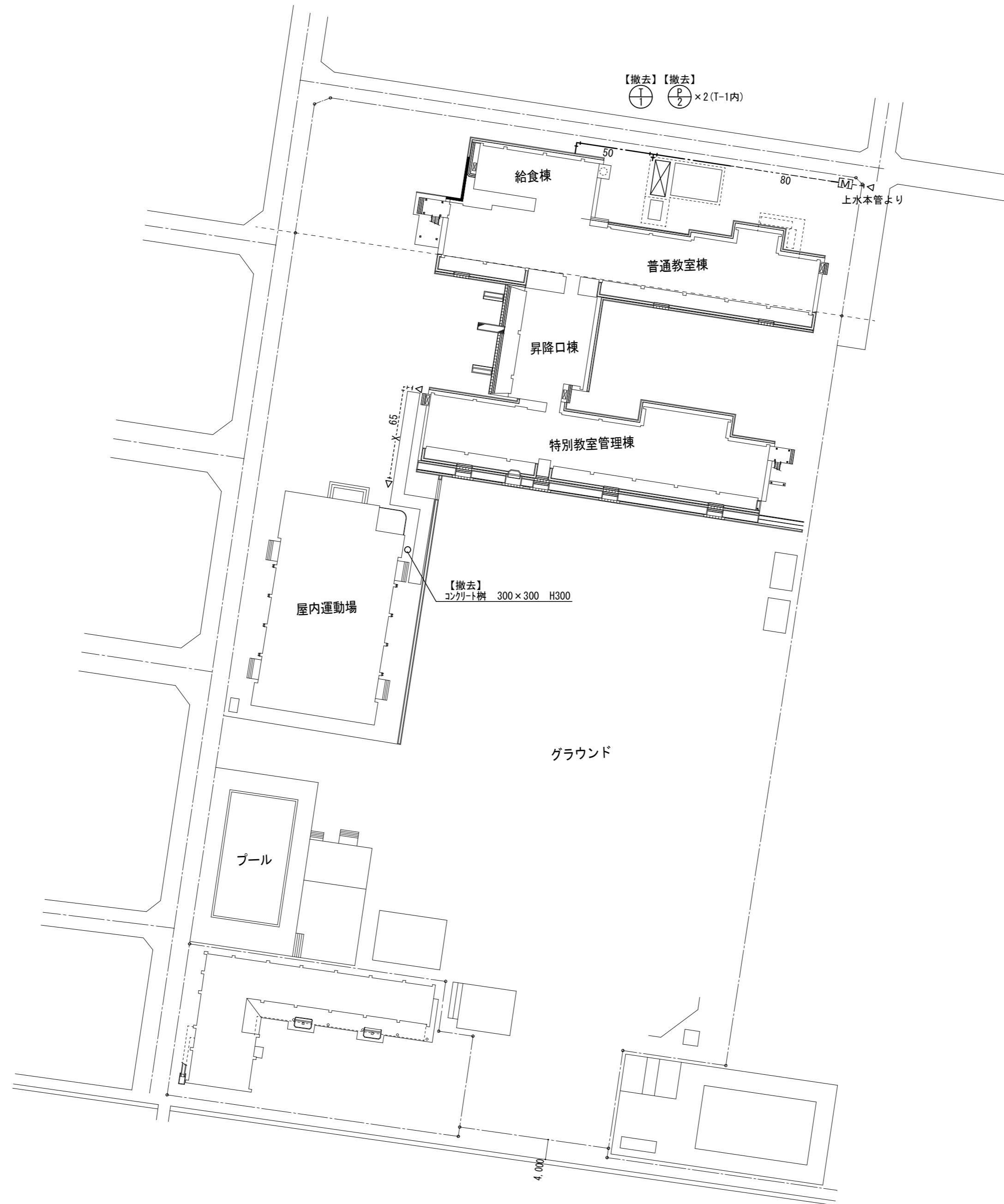
消火ポンプ廻り詳細図（改修前）



消火ポンプ廻り詳細図（改修後）




記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
【撤去】 P-1	屋内消火栓ポンプユニット	型式：屋内消火栓ポンプユニット	3φ200V	1	1階 ポンプ室	
		能力：80φ × 750L/min × 43mH	11.0 kW			
		呼水槽付				



— · — · —	【撤去】既設給水管
— X —	【撤去】既設消化管
-----	既設給水管
----- X -----	既設消化管

・	
・	
・	
・	
・	


(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-8-01 一級建築士 No.352551 田端 隆也

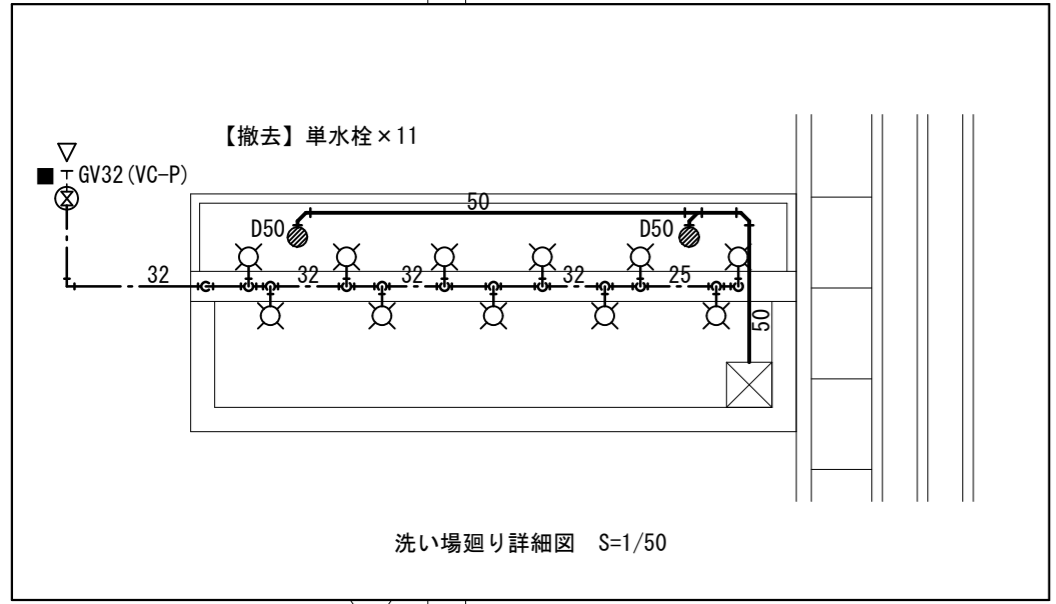
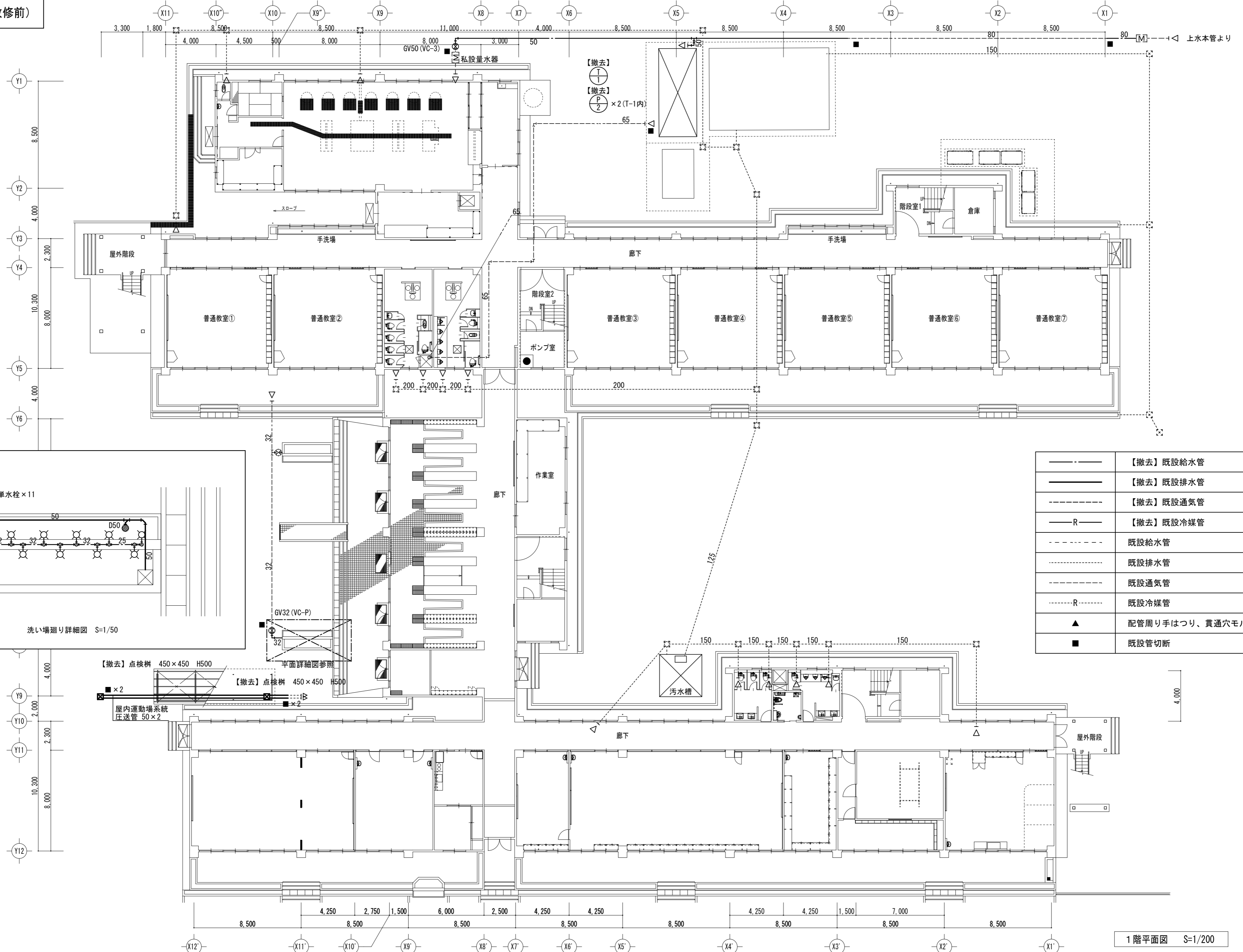
設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端 隆也	一級建築士 No.352077 構造設計一級建築士 No.4047 岸上 貴智

SCALE
A2 : 1/700
A3 : 1/887
DATE

工事名称 **津市立南立誠小学校長寿化改修工事**
 図面名称 **配置図(改修前)**



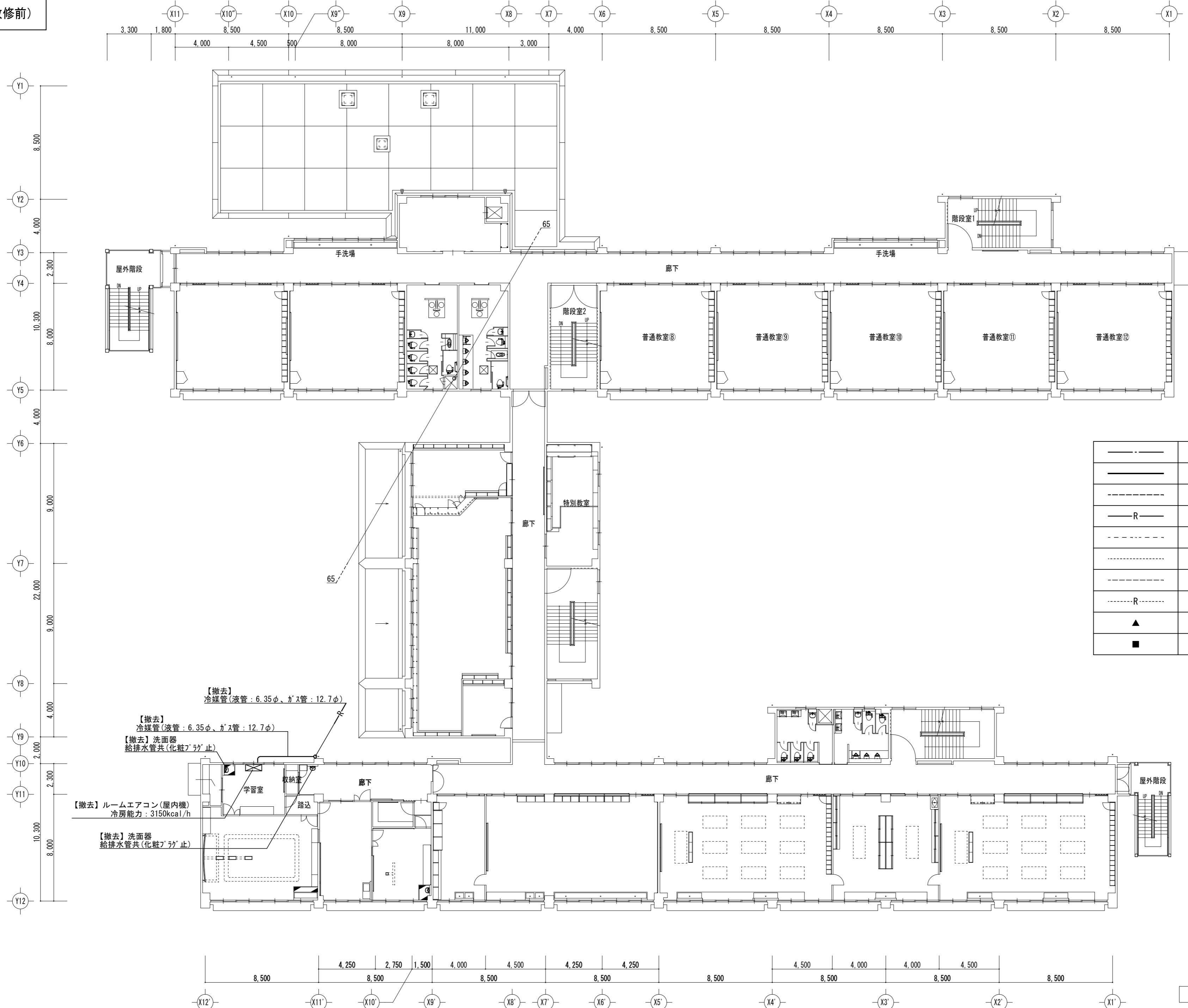
校舎 1階平面図 (改修前)



	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設通気管
	【撤去】既設冷媒管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
	既設冷媒管
	配管周り手はつり、貫通穴モルタル埋め
	既設管切断

1階平面図 S=1/200

校舎 2階平面図 (改修前)



	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設通気管
	【撤去】既設冷媒管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
	既設冷媒管
	配管周り手はつり、貫通穴モルタル埋め
	既設管切断

【撤去】
冷媒管(液管: 6.35φ、ガス管: 12.7φ)

【撤去】
冷媒管(液管: 6.35φ、ガス管: 12.7φ)

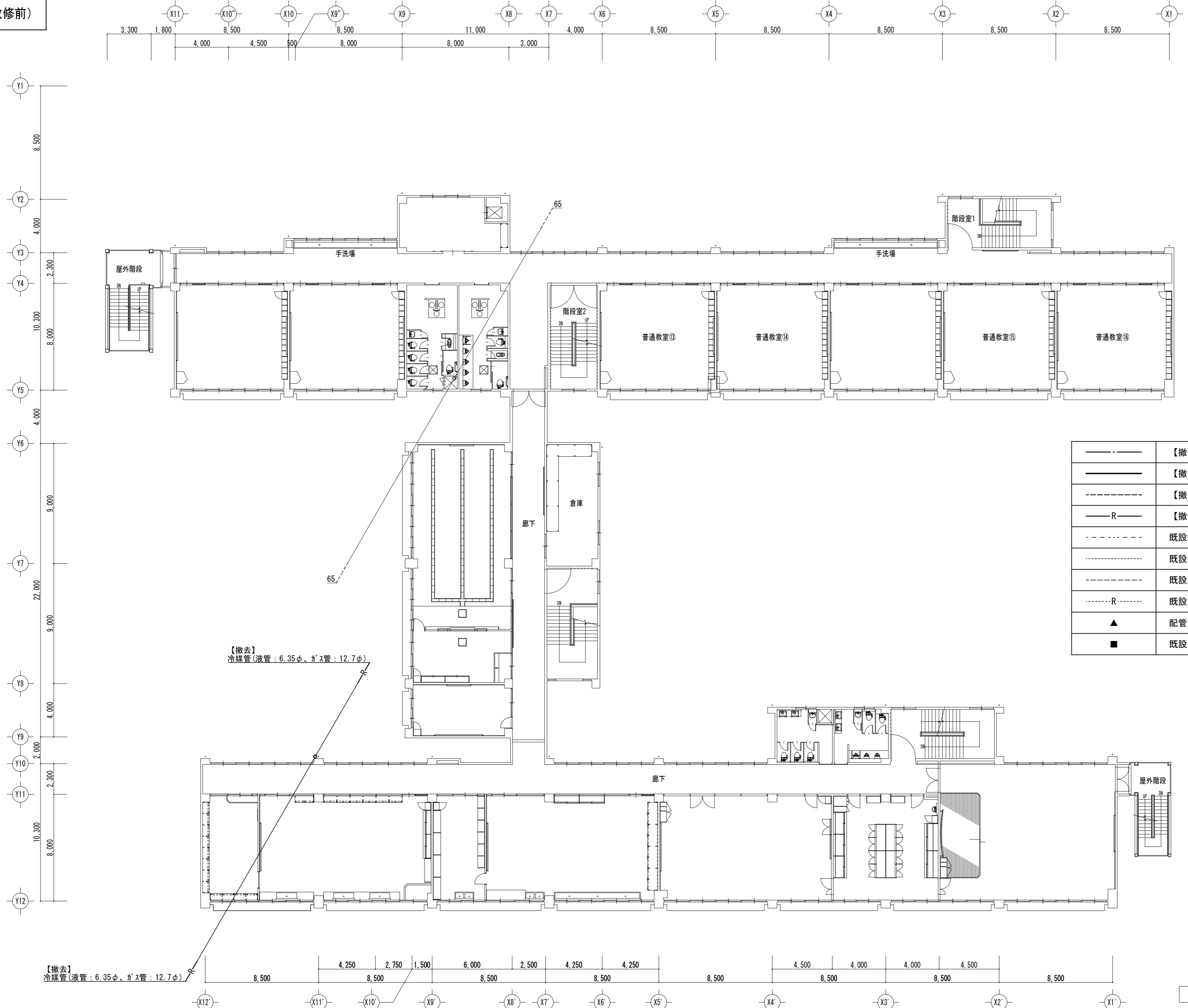
【撤去】洗面器
給排水管共(化粧プラグ止)

【撤去】ルームエアコン(屋内機)
冷房能力: 3150kcal/h

【撤去】洗面器
給排水管共(化粧プラグ止)

2階平面図 S=1/200

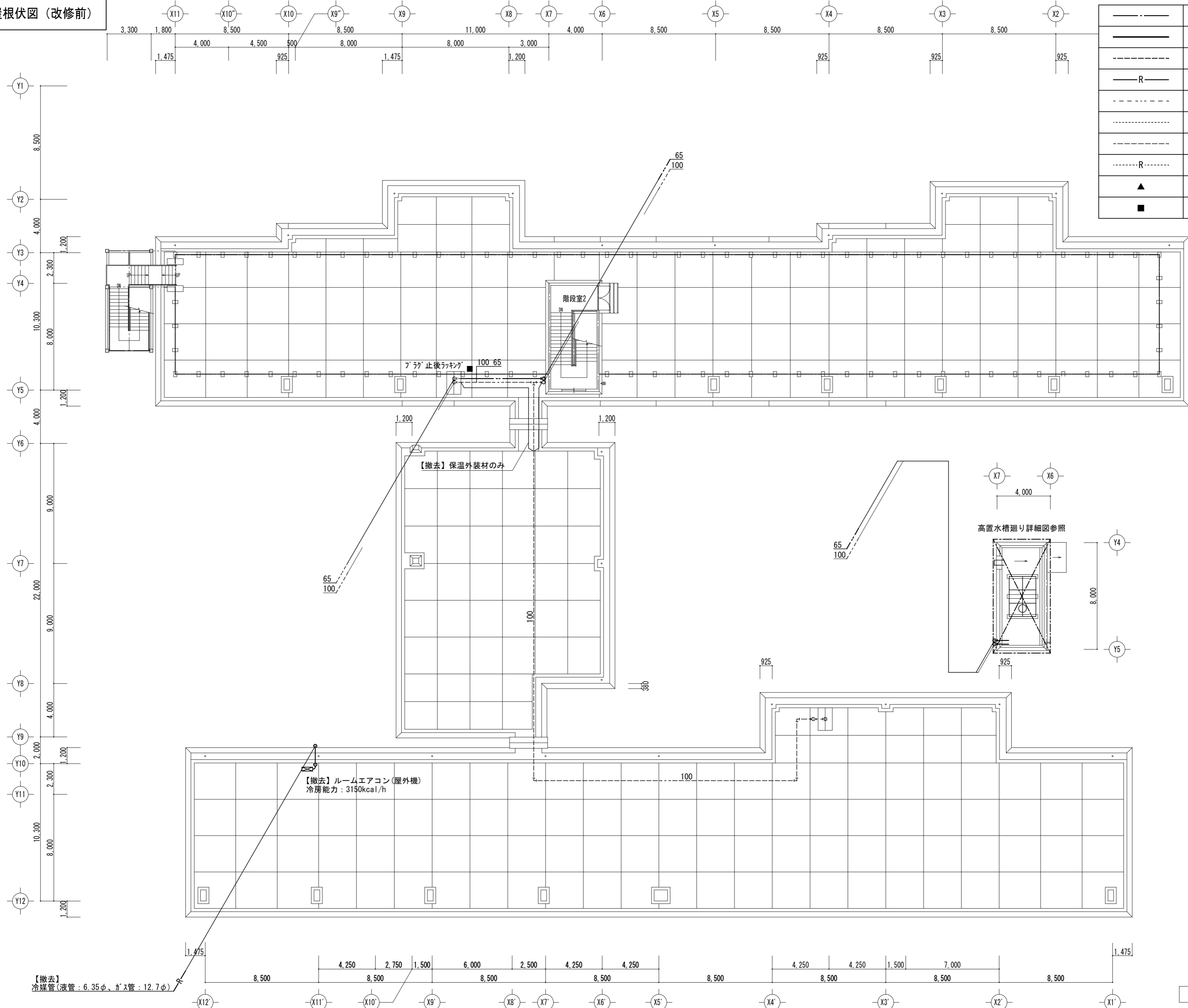
校舎 3階平面図 (改修前)



	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設通気管
	【撤去】既設冷媒管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
	既設冷媒管
	配管周り手はつり、貫通穴モルタル埋め
	既設管切断

3階平面図 S=1/200

校舎 R階平面図・屋根伏図 (改修前)



	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設通気管
	【撤去】既設冷媒管
	既設給水管
	既設排水管
	既設通気管
	既設冷媒管
	配管周り手はつり、貫通穴モルタル埋め
	既設管切断

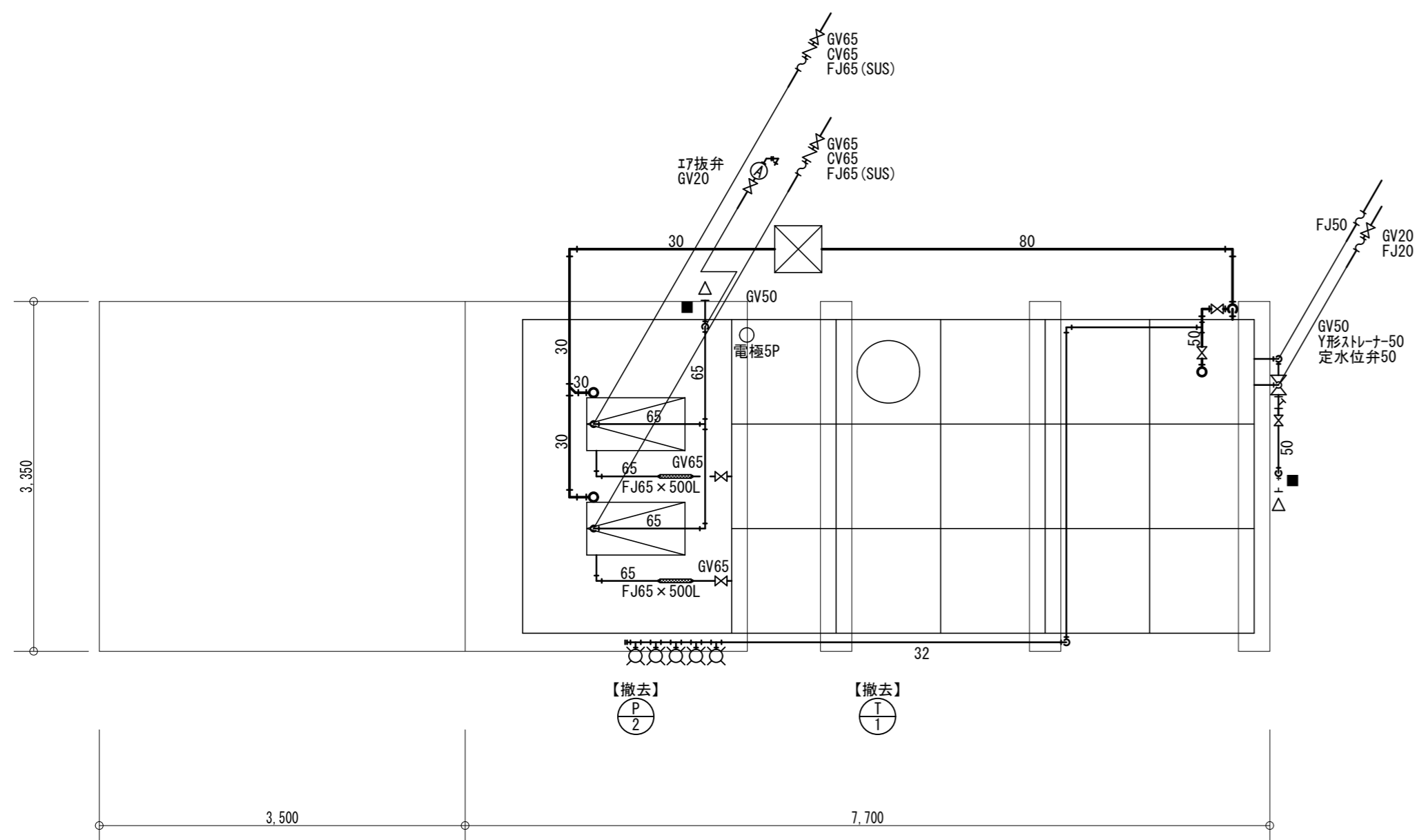
【撤去】冷媒管(液管: 6.35φ、ガス管: 12.7φ)

【撤去】ルームエアコン (屋外機)
冷房能力: 3150kcal/h

【撤去】保温外装材のみ

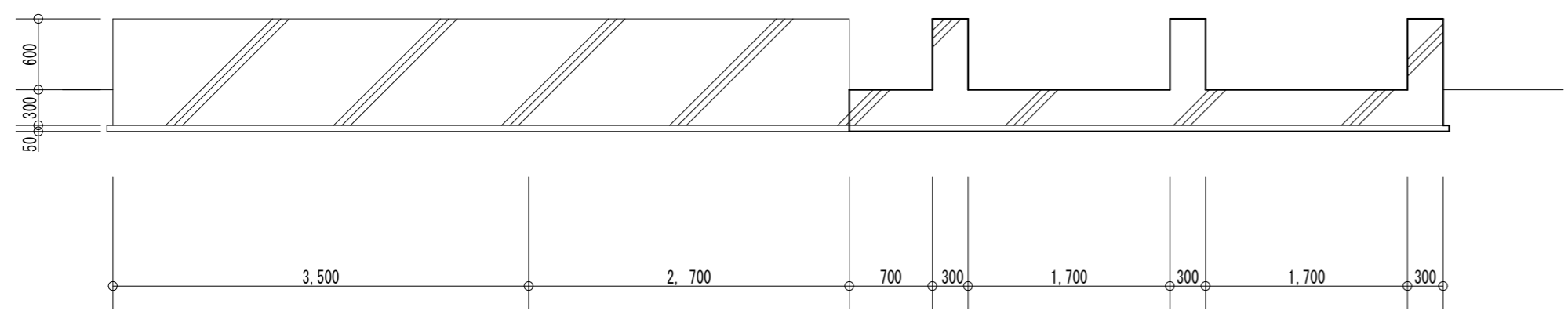
高置水槽廻り詳細図参照

R階平面図・屋根伏図 S=1/200



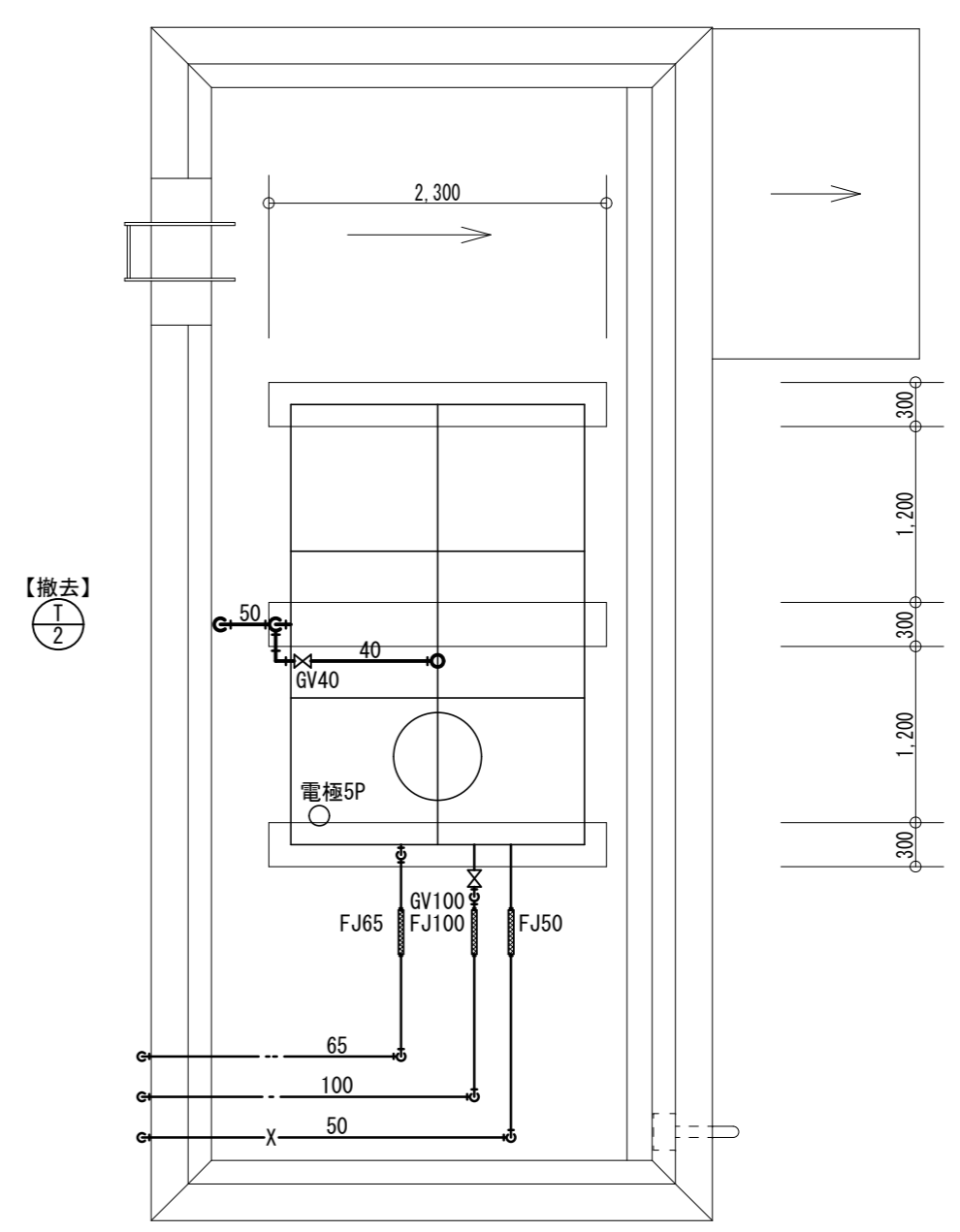
受水槽廻り詳細図

→ 受水槽基礎撤去【建築工事】



基礎断面図

記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
【撤去】 T-1	受水槽	型式：FRP製複合板	-	1	屋外	内外梯子、電極座、通気口 防波筒、平架台
		容量：30.0 m ³	-			
		外形寸法：5,000×3,000×2,000H				
		ポンプ室：2,000×3,000×2,000H				
【撤去】 P-2	揚水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	3φ200V	2	受水槽 ポンプ室	型番：TVS656×2ME3.7
		能力：65φ×340L/min×30mH	3.7 kW			
		自動交互運転				



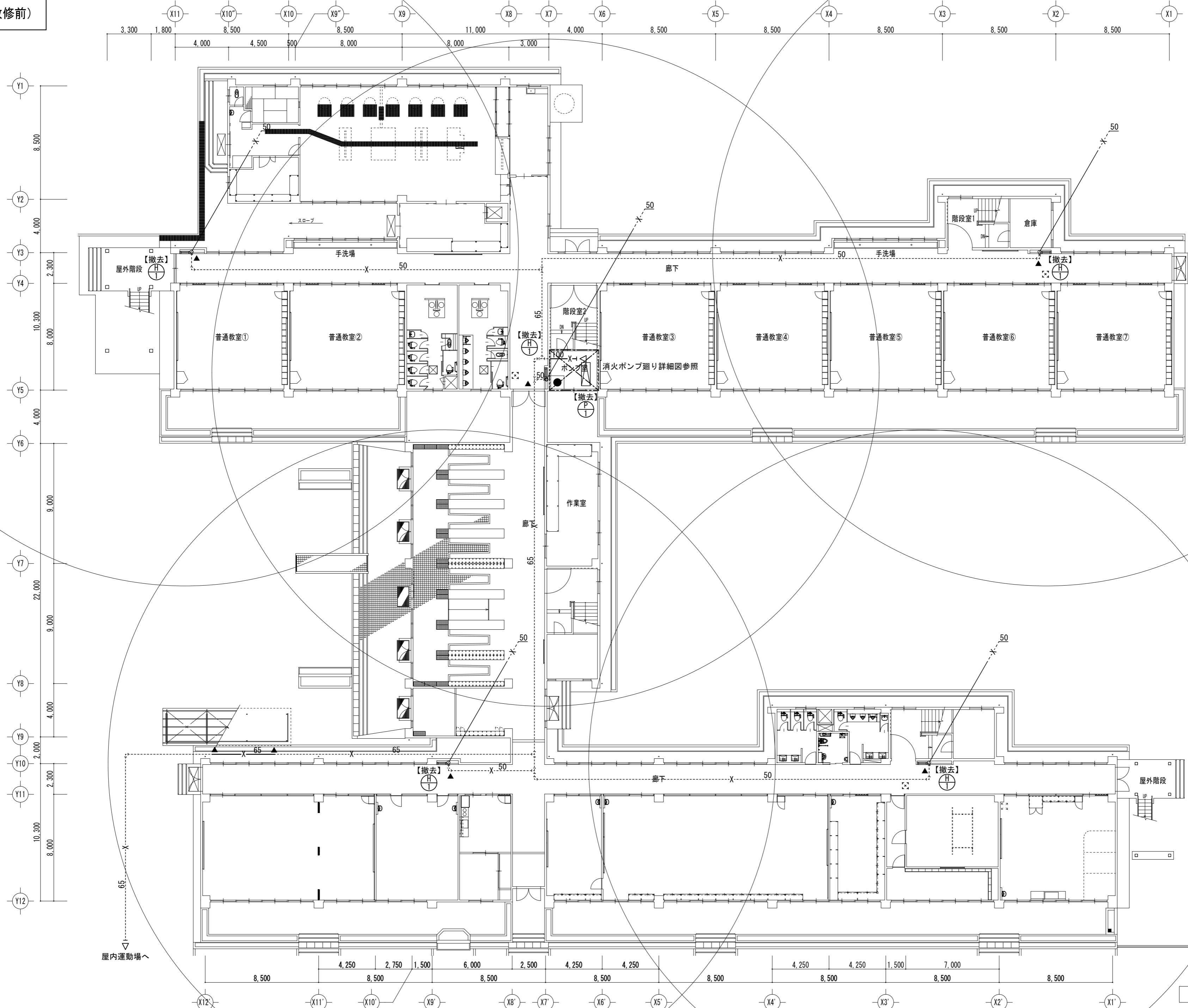
記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
【撤去】 T-2	高置水槽	型式：FRP製複合板	-	1	PH階	内外梯子、電極座、通気口
		容量：12.0 m ³	-			
		外形寸法：3,000×2,000×2,000H				

校舎 1階平面図 (改修前)



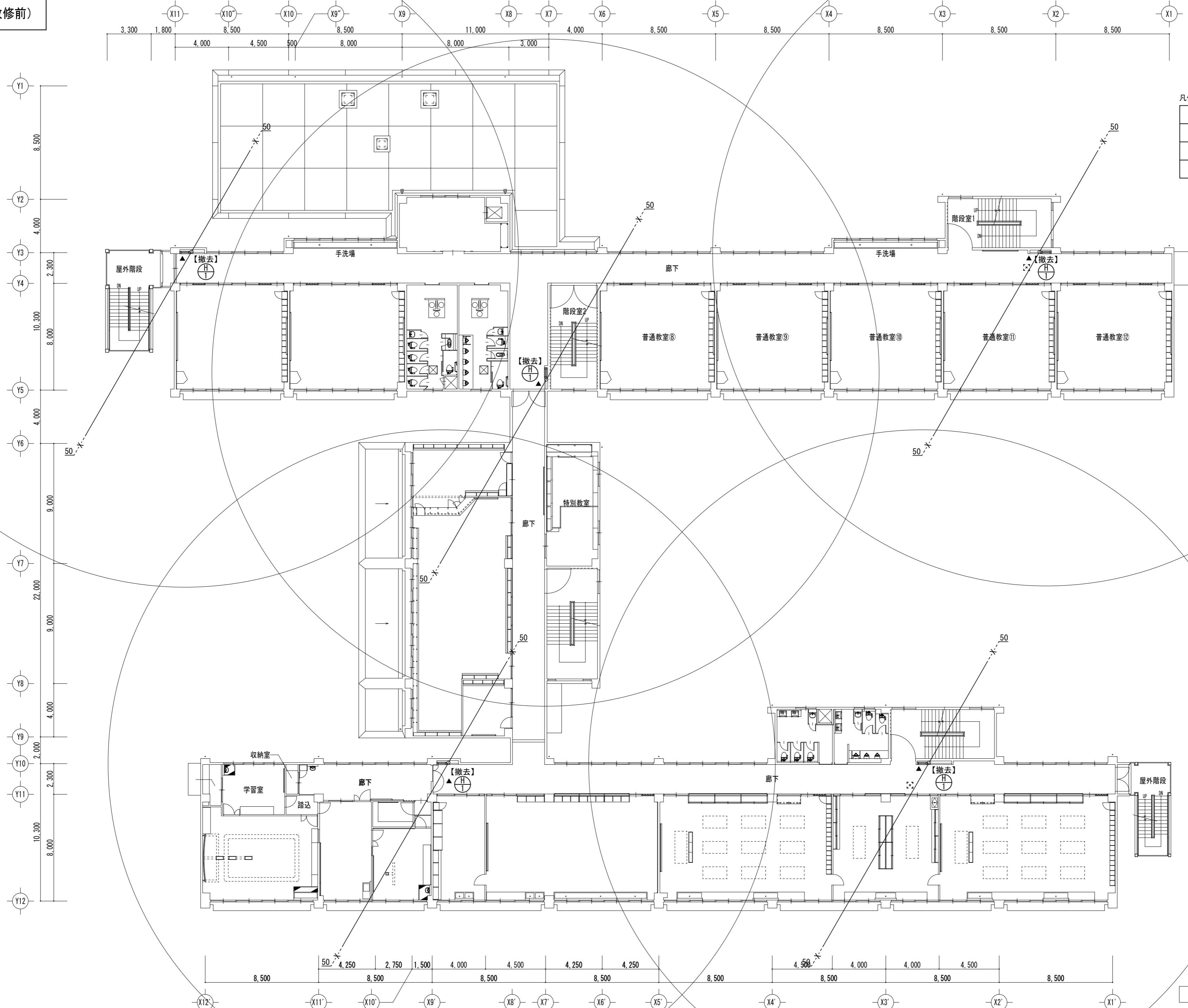
凡例

—X—	【撤去】既設消火管
- - -X- - -	既設消火管
▲	既設管切断、プラグ止
⊕	既設点検口 (450×450)



1階平面図 S=1/200

校舎 2階平面図 (改修前)

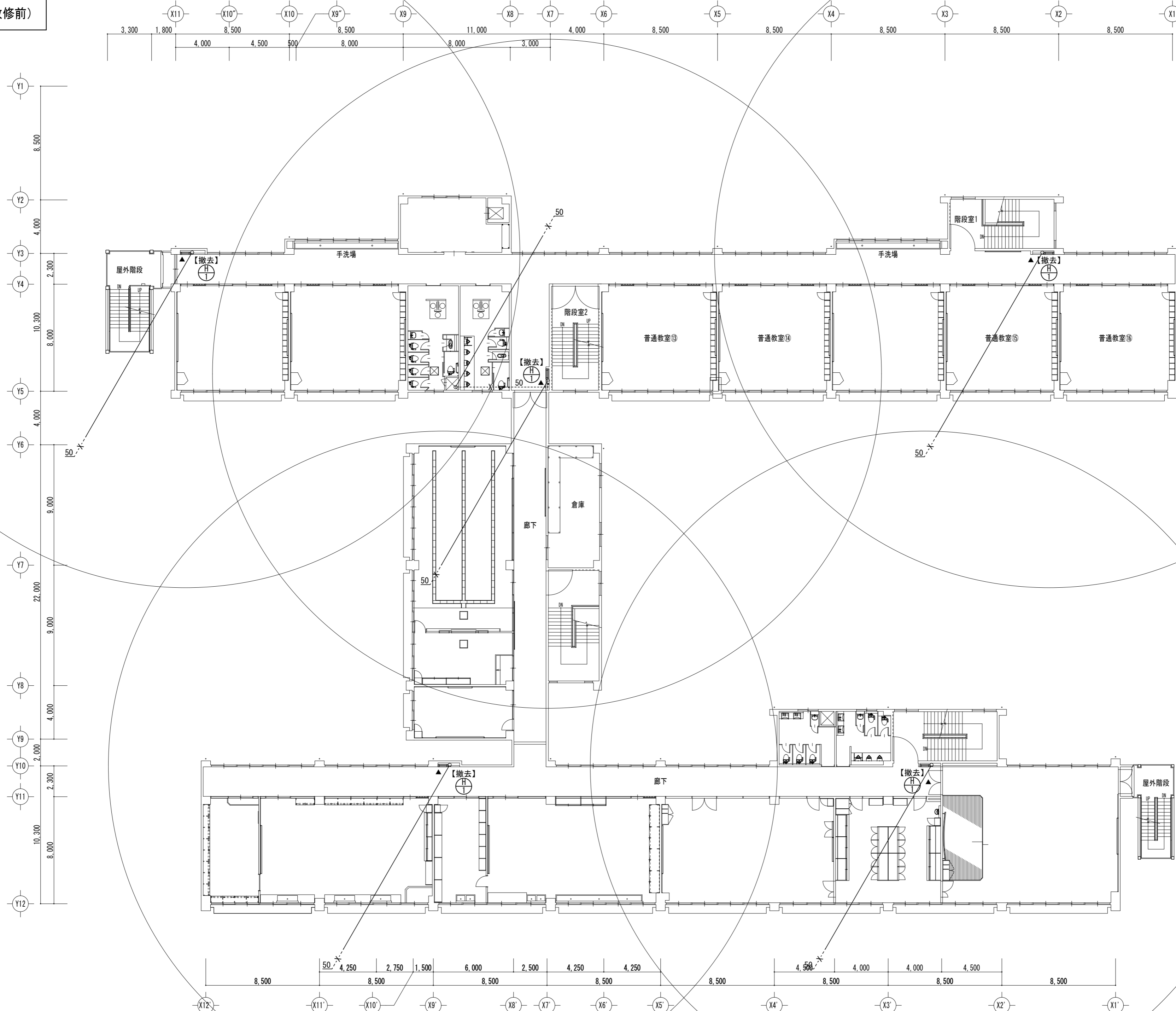


凡例

—x—	【撤去】既設消火管
---x---	既設消火管
▲	既設管切断、プラグ止
⊠	既設点検口 (450×450)

2階平面図 S=1/200

校舎 3階平面図 (改修前)



凡例

—x—	【撤去】既設消火管
---x---	既設消火管
▲	既設管切断、プラグ止

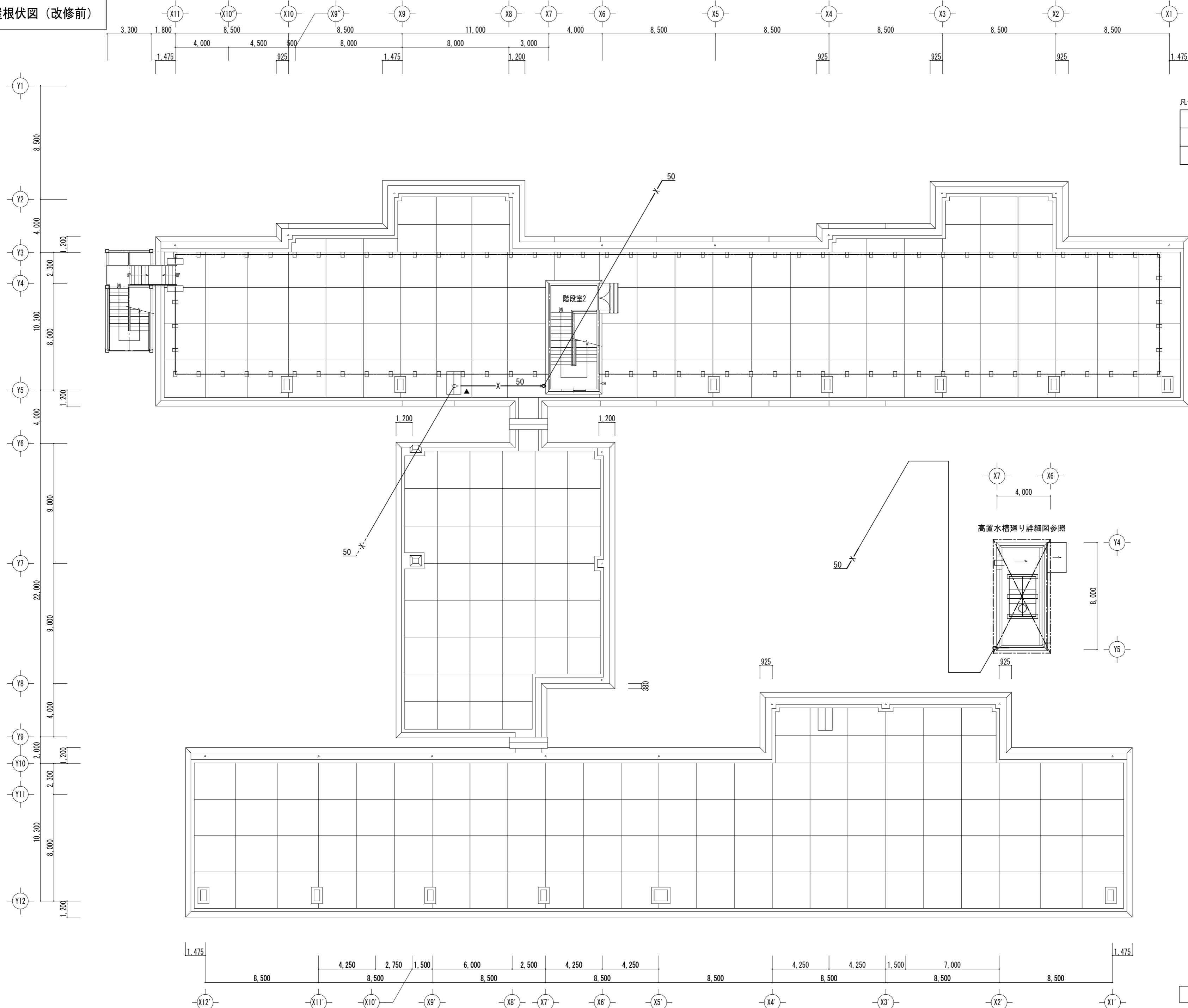
3階平面図 S=1/200

編 号 . . .	設計代表者 一級建築士 No.32551 田端 進也	設計担当者 一級建築士 No.32027 橋本 健一 二級建築士 No.4047 岸上 貴智	SCALE A2 1/200 A3 1/280 DATE	工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事 図面名称 屋内消火栓設備 校舎 3階平面図 (改修前)	M-28 原図: A2
-----------------------	-------------------------------------	--	---------------------------------------	---	----------------

田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-8-0-1 一級建築士 No.32551 田端 進也

設計代表者 一級建築士 No.32551 田端 進也	設計担当者 一級建築士 No.32027 橋本 健一 二級建築士 No.4047 岸上 貴智
-------------------------------------	--

SCALE A2 1/200 A3 1/280 DATE	工事名称 津市立南立城小学校長寿命化改修工事 図面名称 屋内消火栓設備 校舎 3階平面図 (改修前)
---------------------------------------	---

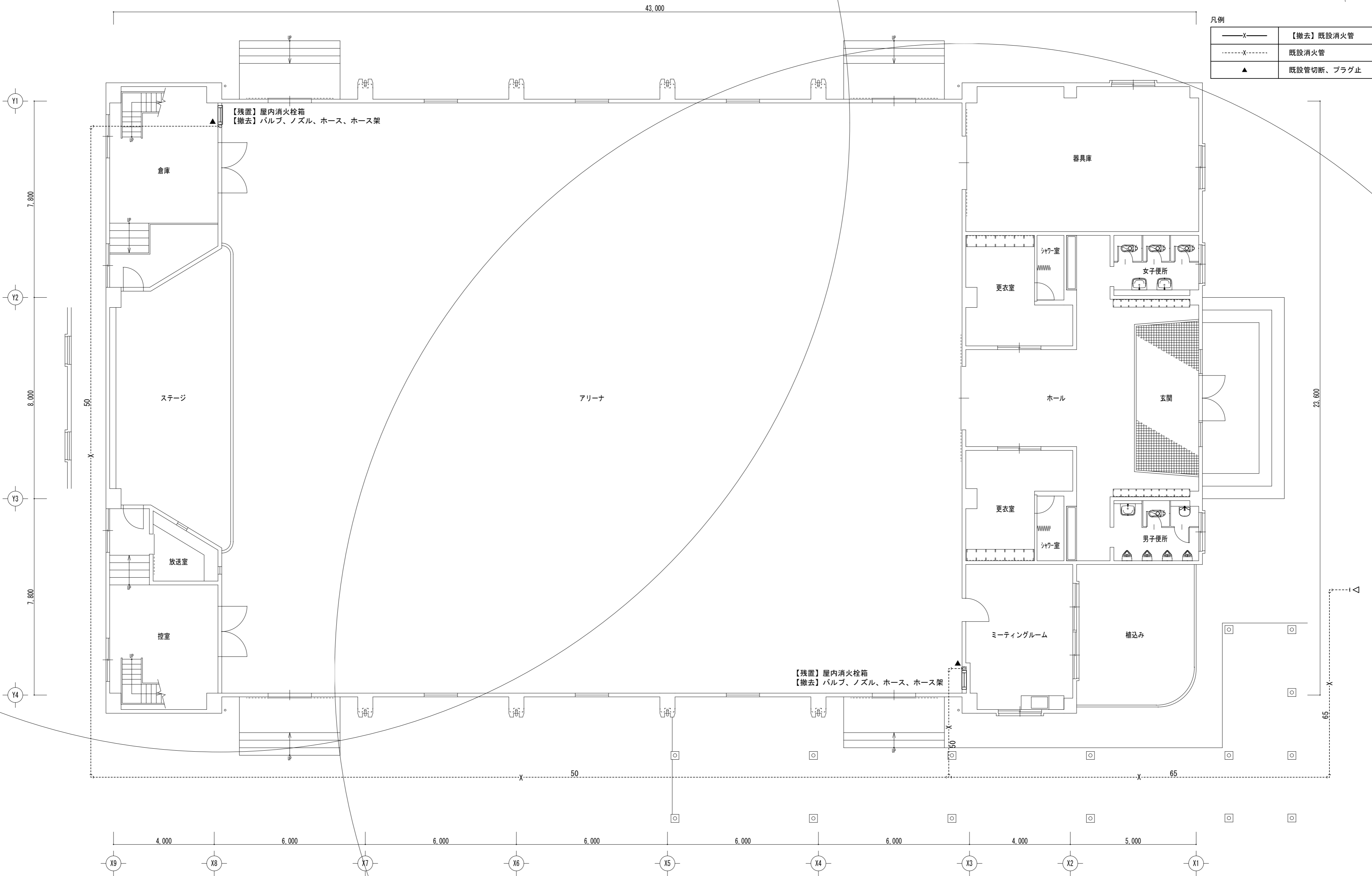


凡例

—X—	【撤去】既設消火管
- - -X- - -	既設消火管
▲	既設管切断、プラグ止

R階平面図・屋根伏図 S=1/200

屋内運動場 1階平面図 (改修前)



1階平面図 S=1/100

構 造 等	三重県知事登録第1-8-01 一級建築士 No.352551 田端 達也
-------------	--------------------------------------

(株)田端隆建築設計
 一級建築士
 No.352551
 田端 達也

設計代表者 一級建築士 No.352551 田端 達也	設計担当者 一級建築士 No.352557 橋本 健一 構造設計一級建築士 No.352557 井上 貴智
--------------------------------------	---

SCALE	1/100
DATE	1/14/20

工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
図面名称	屋内消火栓設備 屋内運動場 1階平面図 (改修前)

M-30
 原図: A2

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	
	01号機	
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	P11-CO
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法間口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	3停止（1-3階）
	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
	数居間隔	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 351mm~600mm ステンレスヘアライン（1-3階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1-3階）
	乗場数居	アルミ製（1-3階）
	乗場インジケーター	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1-3階）
	乗場インジケーター一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌コート（1-3階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形 ステンレスヘアライン（1-3階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌コート（1-3階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	
	01号機	
かご室仕様	天井	スタンダード：フラット（白色） 天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室数居	アルミ製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（10.1インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	2ヵ国語表示（日本語、英語）
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットLED（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	DCファン
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
	床保護マット	あり
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸センサー付き）
	遮煙機能	大臣認定品（CAS-1247（2）） 2枚戸両引き用（1-3階）
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	6V1局
	かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス
	かご室音響	かご室スピーカー
	高調波対策種類	DCリアクトル（Ki=1.8）
フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2-3階）	
レール支持方式	1フロア1ブラケット	
煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】	
揚重ビーム手配	建築工事	
仮設動力電源	1式 (NANW05024)	

乗場遮煙ドア設置上の条件

- 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧a接点, 接点電圧DC24V）

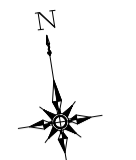
外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
 管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。
 （建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）
 もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。
 1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
 2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
 3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
 例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

工事区分表					
工事内容		建築	電気	設備	EV
1	昇降路の築造工事及び各階出入口、乗場機器等の穴あけ工事 （1）エレベーター施工図に対し、コンクリート打ちの誤差が生じた場合、必要に応じ、はつり又は肉付けのこと （2）昇降路壁は5cm2辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること （3）コンクリート強度は21N/mm2以上のこと （4）昇降路の構造は不燃材又は難燃認定材で作り覆うこと	○			
2	鉄骨構造階の以下鋼材設置工事 （1）レール支持用ファスナー、中間ビーム及び立柱 （2）三方枠、ハンガーケース、押ボタン等の取付用鋼材 （3）敷居取付材（敷居への作用荷重に対して、たわみは1mm以下となる部材とすること） （4）鉄骨材の耐火処理及び乗場出入口まわりの耐火処理	○			
3	エレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事				○
4	乗場機器取付後の出入口まわりの壁及び床の仕上工事	○			
5	各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事	○			
6	通過階がある場合、非常出入口の設置工事	○			
7	2方向出入口の場合、かごドア点検口の設置工事	○			
8	ビット防水工事	○			
9	ビット下部の使用がある場合、二重スラブ等の建築対策工事	○			
10	ビット段違いの場合、保護柵設置工事	○			
11	ビットが深い場合、埋め戻し・浅い場合、はつり工事	○			
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウト及び各種防音・防振工事	○			○
13	その他建築に関する工事	○			
14	動力用電源・照明用電源・接地線の受電端子までの引込工事（繋ぎ込み工事含む） （1）電源電圧はエレベーター側で設定する動力用電源電圧+5%~-5%以内、電圧不平衡率3%以内のこと （2）電源電圧変動は+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと （3）遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること （4）エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、対策を講ずること		○		
15	ビット内点検用コンセント設置工事（照明用電源とは別系統のこと）		○		
16	昇降路内の煙感知器及び点検口の設置工事 （1）点検口は錠付とし、戸開時にはエレベーターを停止させること（停止スイッチはEV工事） （2）建物に自火報設備がない場合、遮煙ドア適用階のエレベーターホールには火災感知器又は煙感知器を設置のこと		○		○
17	インターホン取付位置から制御盤までの配管配線工事		○		
18	火災時管制運転がある場合、火報信号の制御盤までの配管配線工事		○		
19	エレベーター遠隔監視用配管配線工事（最寄の電話中継盤から制御盤まで）		○		
20	その他設備連動に必要な接点供給工事		○		
21	かご内カメラがある場合、モニター設置場所から制御盤までのかご内カメラ用配管配線工事		○		
22	かご室スピーカーがある場合、放送設備から制御盤までの放送用配管配線工事（非常放送がある場合、3線式とすること）		○		
23	監視盤がある場合、監視盤電源の監視盤までの引込工事及び監視盤から制御盤までの配管配線工事		○		
24	昇降路内の電気工事貴通部分の防火区画処理工事		○		
25	昇降路の換気設備工事 （1）昇降路内温度40℃及び昇降路温度上昇7℃を超える場合、換気設備を設置すること （2）エレベーター機器発熱量 エレベーター駆動部（ 880W） +エアコン（ - W）			○	

エレベーター荷扱い条件

一度の荷扱い質量は【 250kg以下 】とすること（台車等の質量を含む）

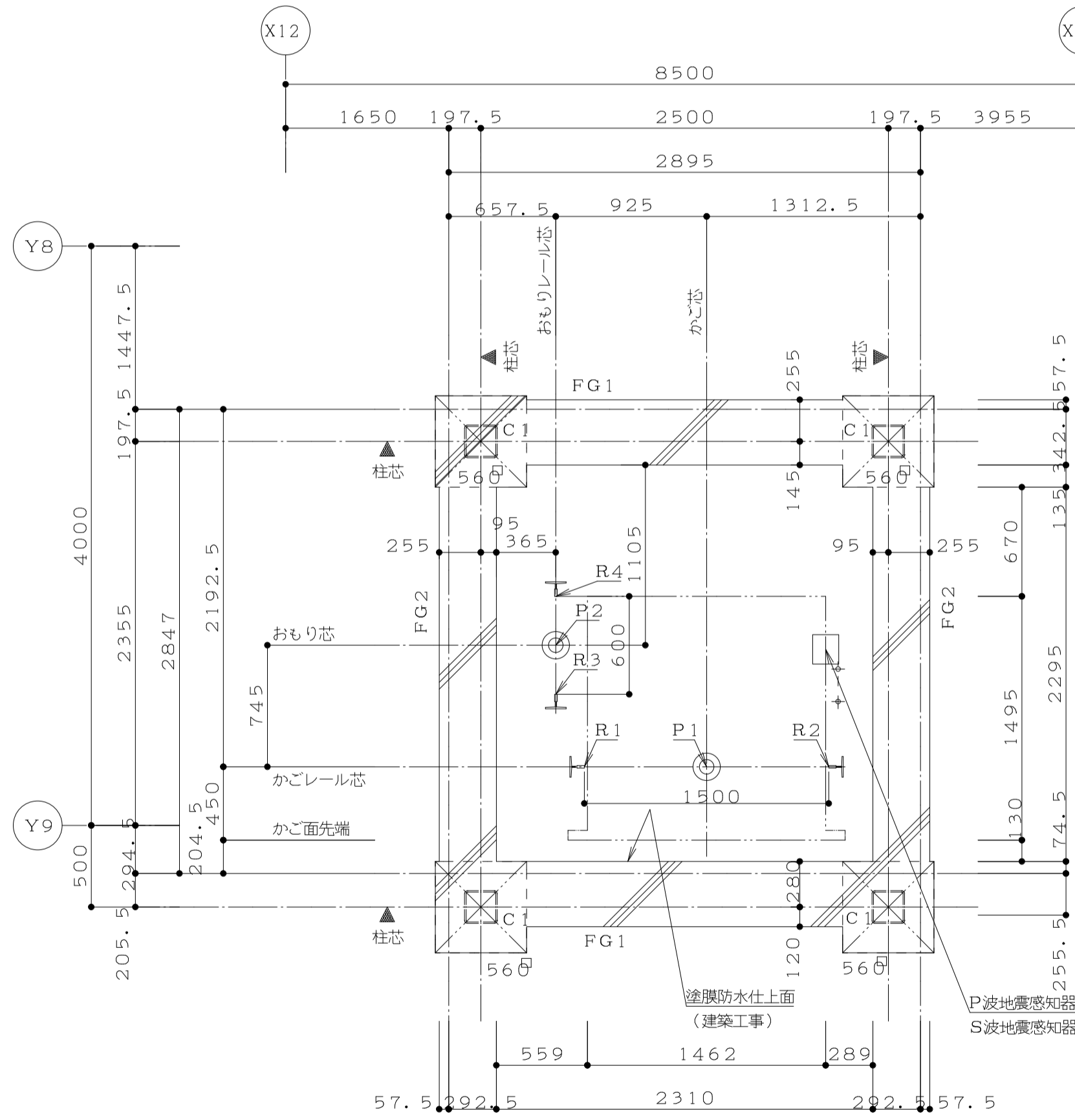


注意事項	
1	昇降路壁には電気・水道管等の配管・器具を埋め込まないこと
2	昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないこと
3	エレベーターの性能維持のため下記環境条件とすること (1) 昇降路内の温度は-5℃~4.0℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%以下且つ急激な温度変化等による結露・氷結がないこと (2) 金属を損耗又は腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスがないこと ①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガス及び海岸地区における潮風 ※昇降路標準環境の基準例 硫化水素ガス…H ₂ S=0.005 [ppm] 以下 亜硫酸ガス…SO ₂ =0.01 [ppm] 以下 塩化水素ガス…HCl=0.05 [ppm] 以下 塩素ガス…Cl ₂ =0.005 [ppm] 以下 (プールサイドの場合も含む) アンモニアガス…NH ₃ =0.1 [ppm] 以下 海岸地区における潮風…海岸より2km以上の地区 ※海岸より2km未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風・プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること ②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵 ③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉 (3) エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと(電磁波の電界強度が10V/m以下の環境とすること) (4) 昇降路の設置場所は標高1000m以下とすること
4	乗場付近へ風雨吹込み可能性がある場合、対策を講ずること (1) 外部から風雨が侵入しないよう雨水よけ設備の設置(ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等) (2) 乗場に向かって強風が吹くと想定される場合、防風対策(風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあるため)
5	乗場及び駆動・制御装置に直射日光(屋内ガラス越しや反射光を含む)が当たる可能性がある場合、対策を講ずること(センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため)
6	エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段等から最上階及び最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること(個人宅等占有部を經由しないこと)
7	昇降路内および各階乗場周辺の可燃物(木材・ウレタン等)・ガラスに対しての防火対策を講ずること(発泡ウレタンは溶接の火花に引火する恐れがあるため、昇降路内及び各階乗場付近では使用しないこと)
8	製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います 電動機(巻上機・駆動機)：JEC-2110、2130、JIS C-4034-1 制御盤：JEM1021、1460 尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
9	就労条件：施工作业は「週休二日(4週8休等)」を前提とした期間を確保させていただきます
10	ELE-Quickは三菱電機ビルソリューションズ(株)とのメンテナンス契約が必要になります

レール下端部荷重(長期荷重)			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
3.6	23.4	43.4	19.8

ピット荷重(短期荷重)	
P1 (kN)	P2 (kN)
75.2	63.5

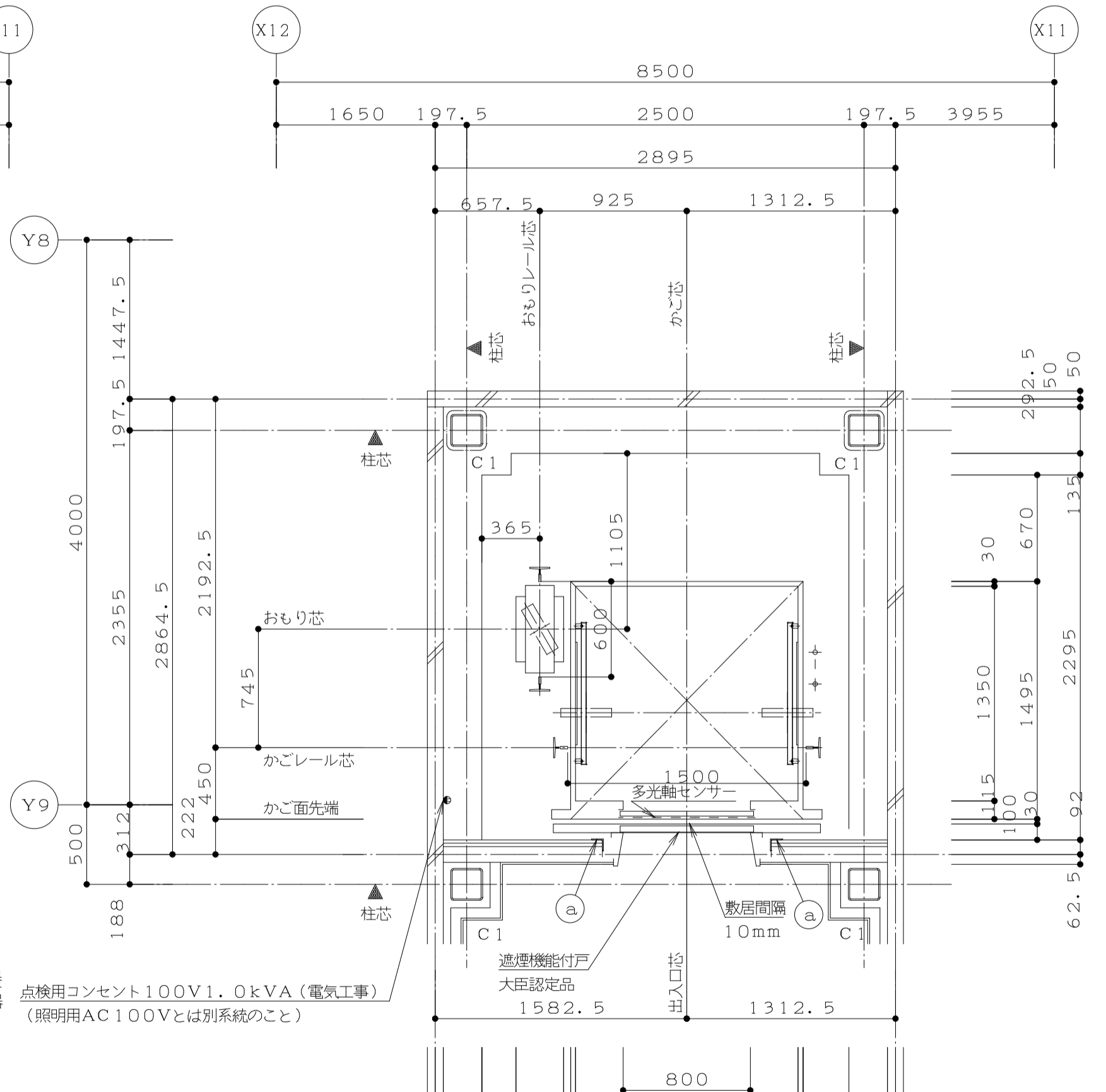
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75×75×6	建築工事



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階F.L面まで立ち上げて下さい(建築工事)

昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁(コンクリートの場合)にあと施工アンカーにより取付を行います



昇降路平面図 (1/30)
(1階)

C1 : □-200×200
 FG1 : 400×2000
 FG2 : 350×2000

つぎの事項を、用意・対応する場合は別途見積となります	
1	据付工事用現場詰所及び材料置場
2	据付工事用及び試運転調整用電力、セメント、小石等
3	据付工事用の仮設電源(本設電源と同仕様にて支給願います)
4	重量物の搬入に支障のない通路の確保
5	横引き距離30mを超える重量物の搬入
6	エレベーターシャフトが隣接する場合、落下物防止区画対策・安全対策(ネット等)
7	安全柵の先行取り付け(着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む)
8	展望用エレベーターの場合、施工時のガラス部分養生
9	エレベーターの工事使用
10	完了検査・引渡(施工)検査以外の現場検査の実施
11	標準施工手順と異なる施工(乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等)の実施
12	施工写真の撮影

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K _i)	6パルス等価 容量 [K _i × P _i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I _n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	6.5	4.1	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (K _i = 1.8相当)	AXIEZ-LINKs (750kg-45m/min)				33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

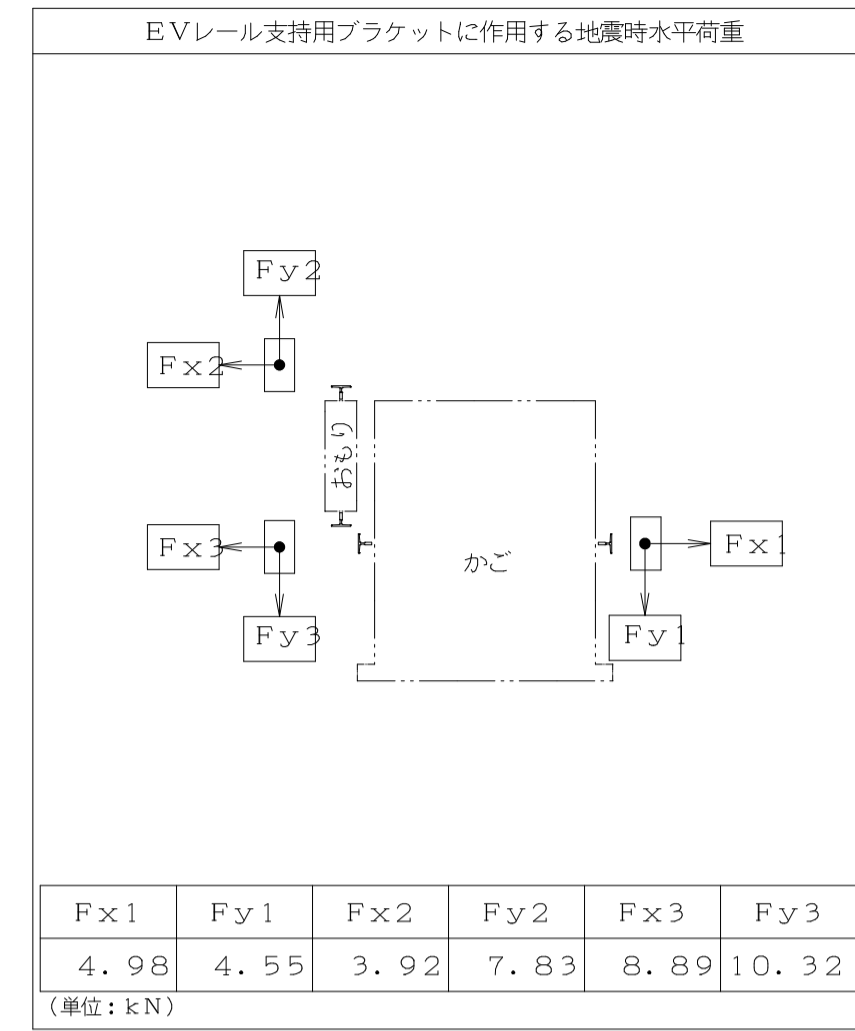
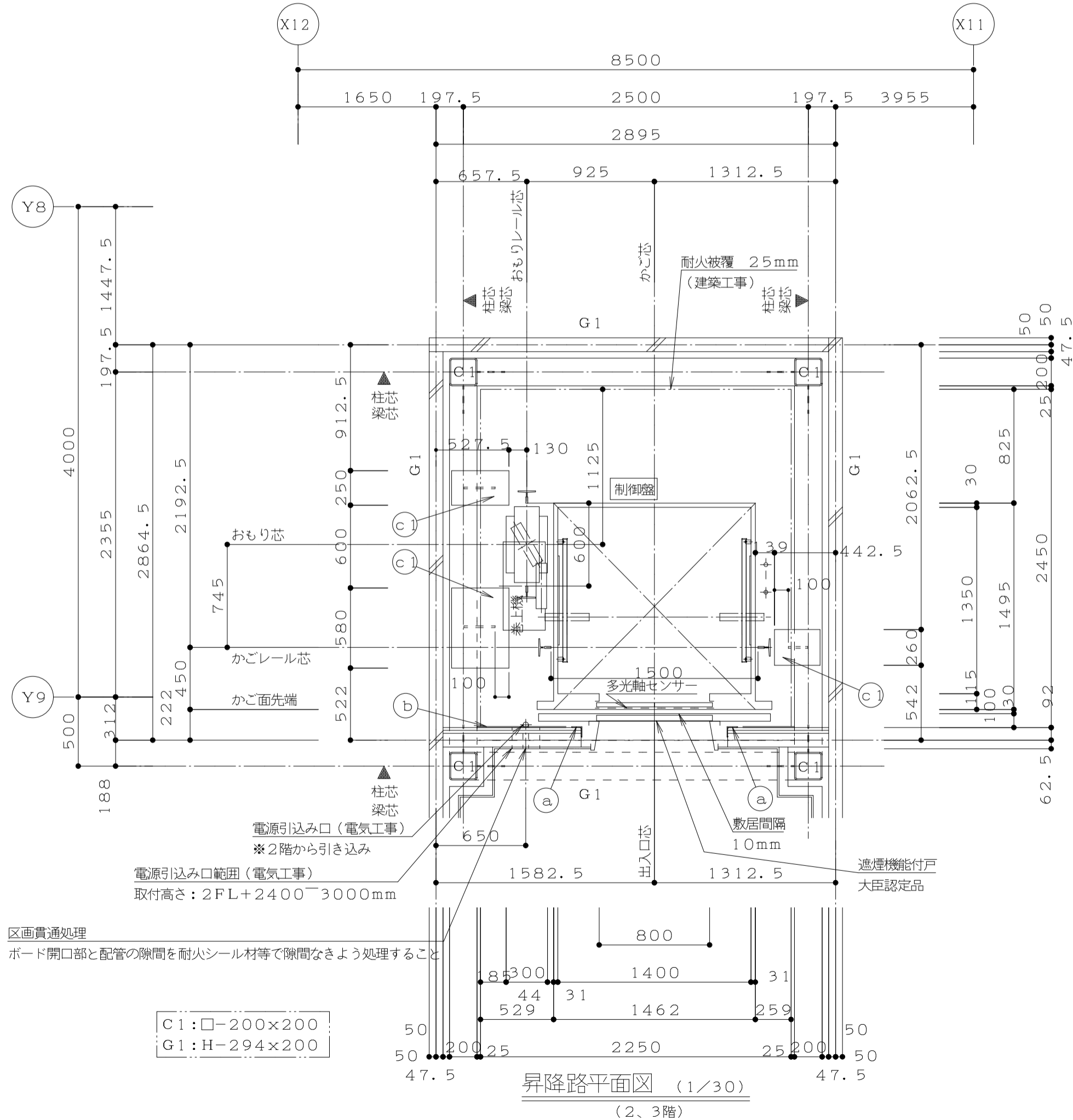
高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

※ エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、次の対策をお勧めします。

- エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する。
- エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する。
(エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要)
- エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする。



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値(*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC 3φ 210V 60Hz	3.8 kW	4 kVA	40AT	100 mA以上 0.2 秒以上	82mまで 8mm ² 142mまで 14mm ² 216mまで 22mm ²	3.5 mm ²

照明用電源AC1φ100V 60Hz (設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台) (*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込み口 (3FL+2400~3000mm)

動力用AC3φ-210V-60Hz

照明用AC1φ-100V-60Hz

D種接地工事

・インターホン用配管配線工事

CPEV-0.9x5P

・火災管制運転用配管配線工事

自火報より無電圧a接点支給 (接点定格DC24V)

・遠隔監視用配管配線工事

PVC-0.65x4C

・電源線引出し長さ 7000mm

(電気工事)

部材 記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75x75x6	建築工事
b	敷居取付材	L-100x100x7	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事

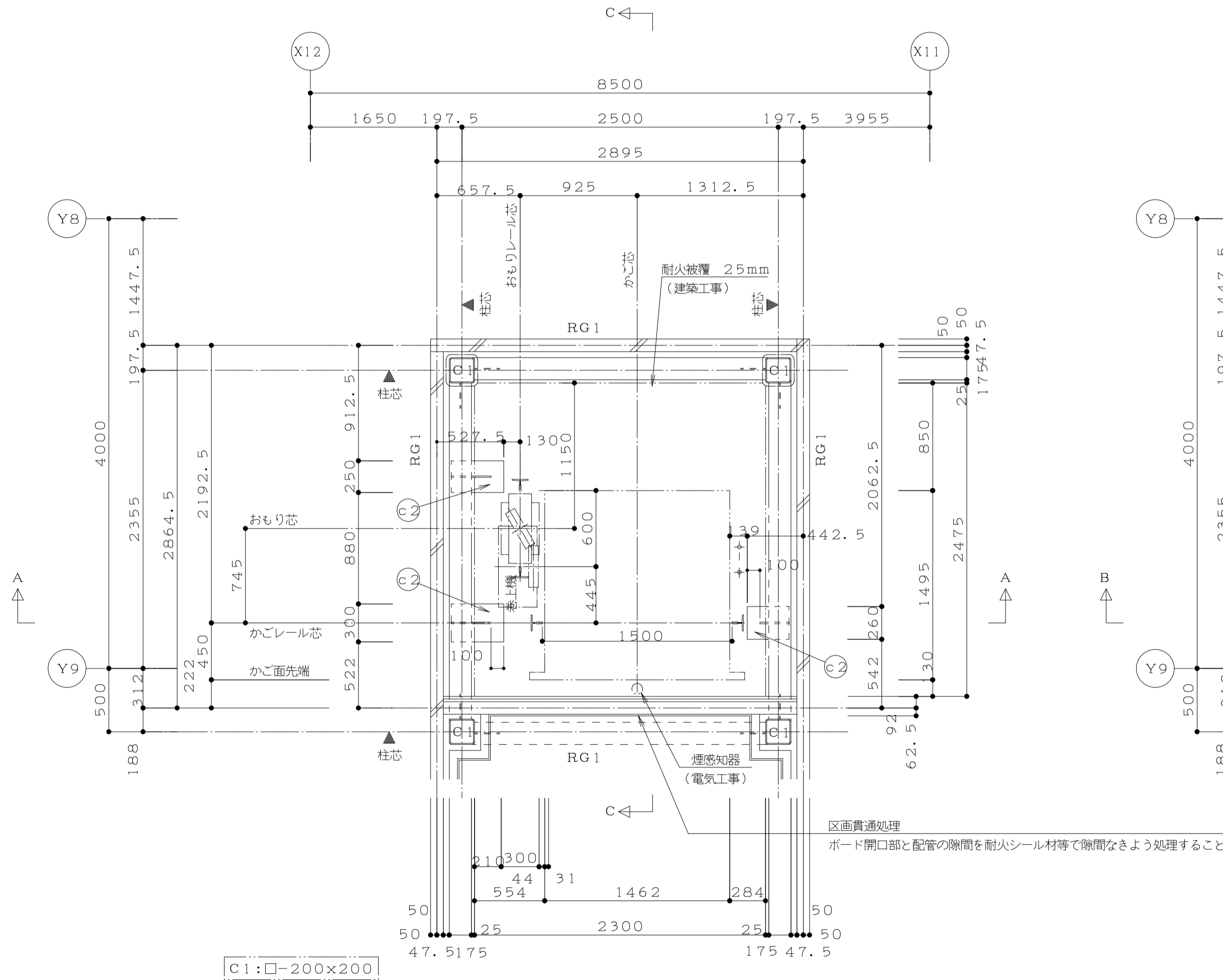
昇降路平面図 (1/30)
(2, 3階)

部材記号	名称	部材	工事区分
c2	レールブラケット取付用ファスナー (かさ下げ材・リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム	H-100×100×6×8	建築工事

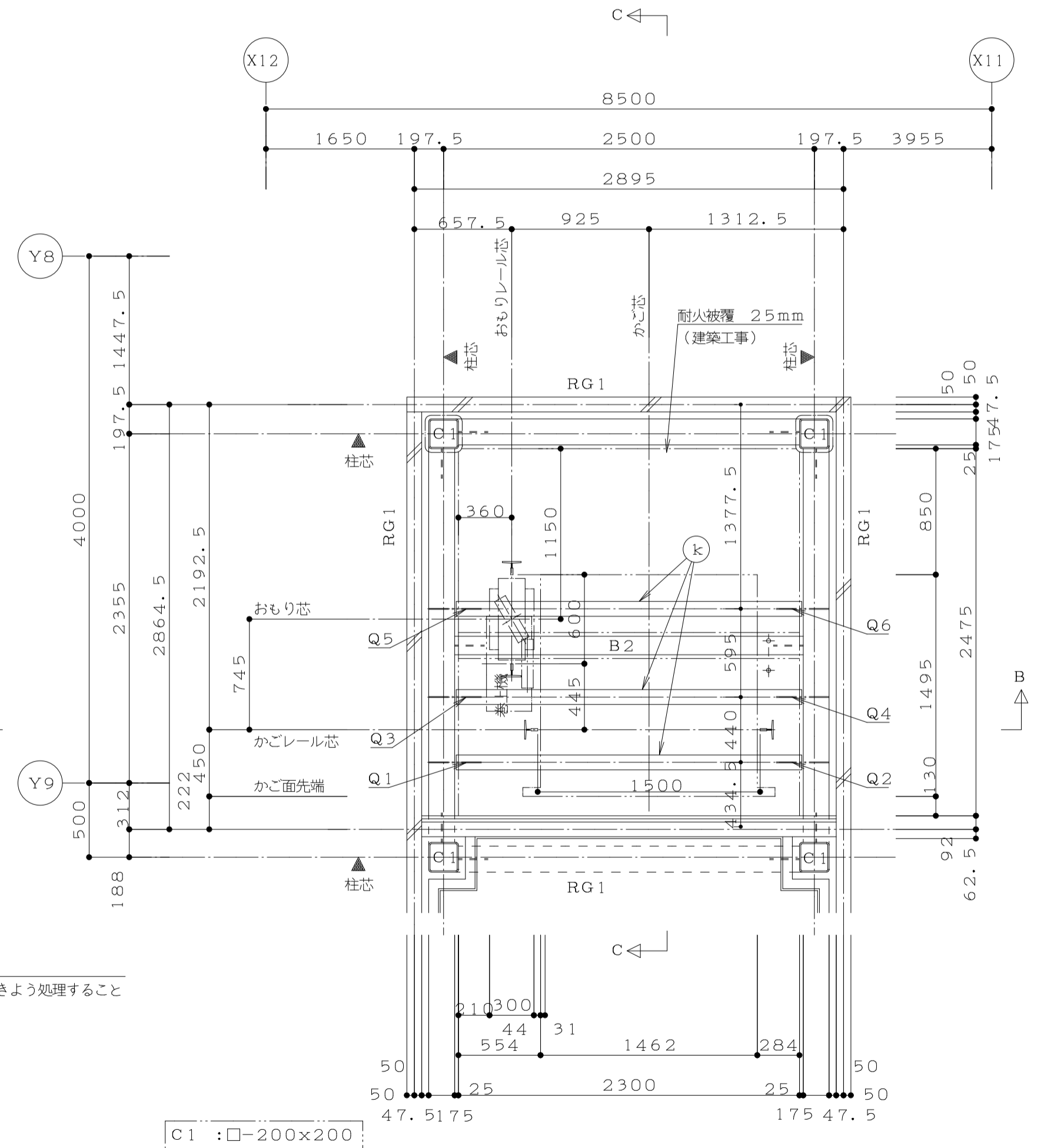
揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
6.0	2.0	8.0	10.0	16.0	11.0

Q1~Q6はEV据付時に作用する



昇降路平面図 (1/30)
(3FL+3407 ファスナープレート上端)
断面A-Aは別紙による



昇降路平面図 (1/30)
(3FL+3407 揚重ビーム下端)
断面A-Aは別紙による

C1 : □-200×200

C1 : □-200×200
RG1 : H-244×175
B2 : H-125×125

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
--	--

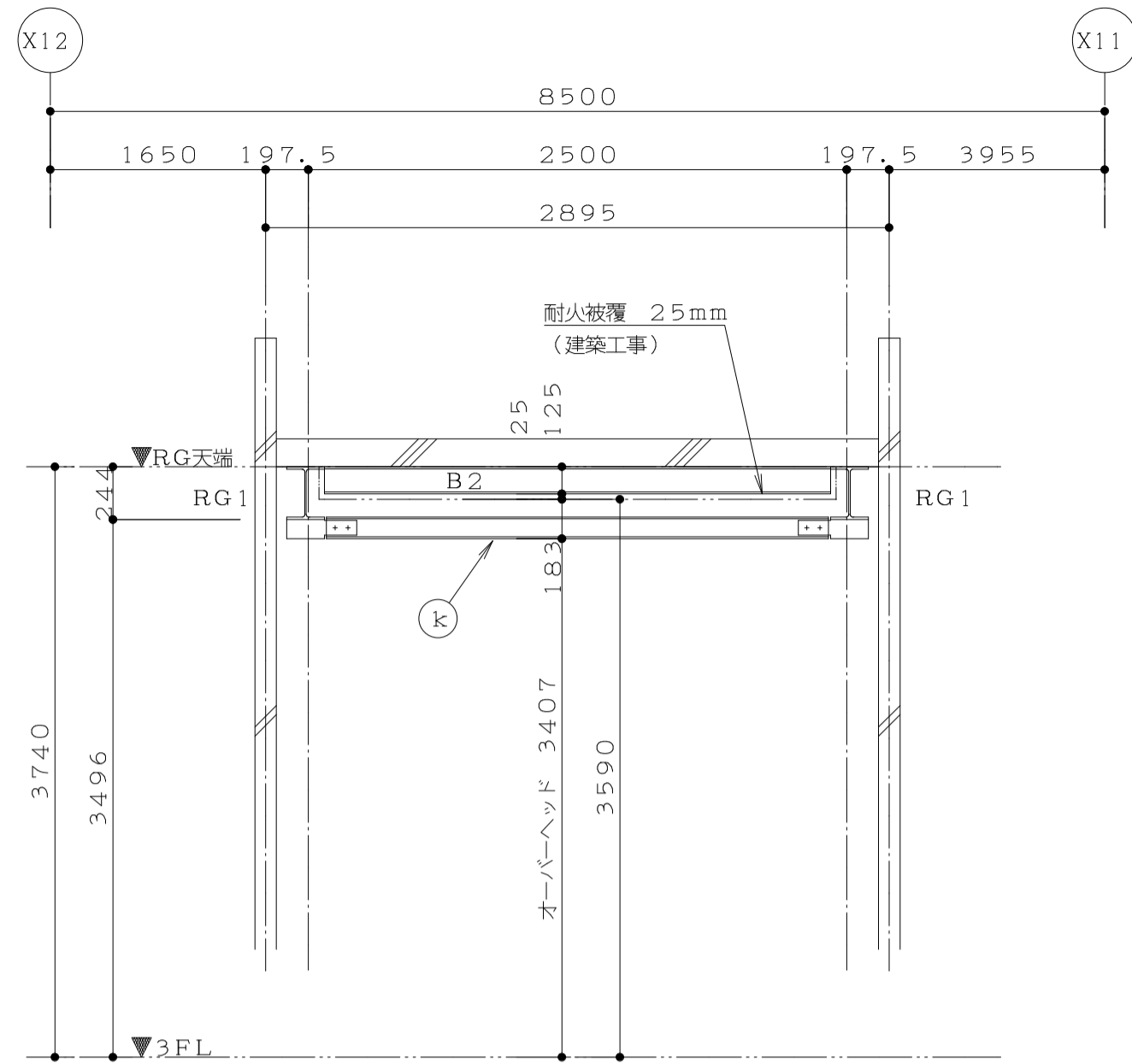
(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-8-01 一般建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一般建築士 No.352551 田端進也	一般建築士 No.352075 横倉健一 No.352076 村上良智

SCALE	A2 : 1/30
DATE	R 8. 2

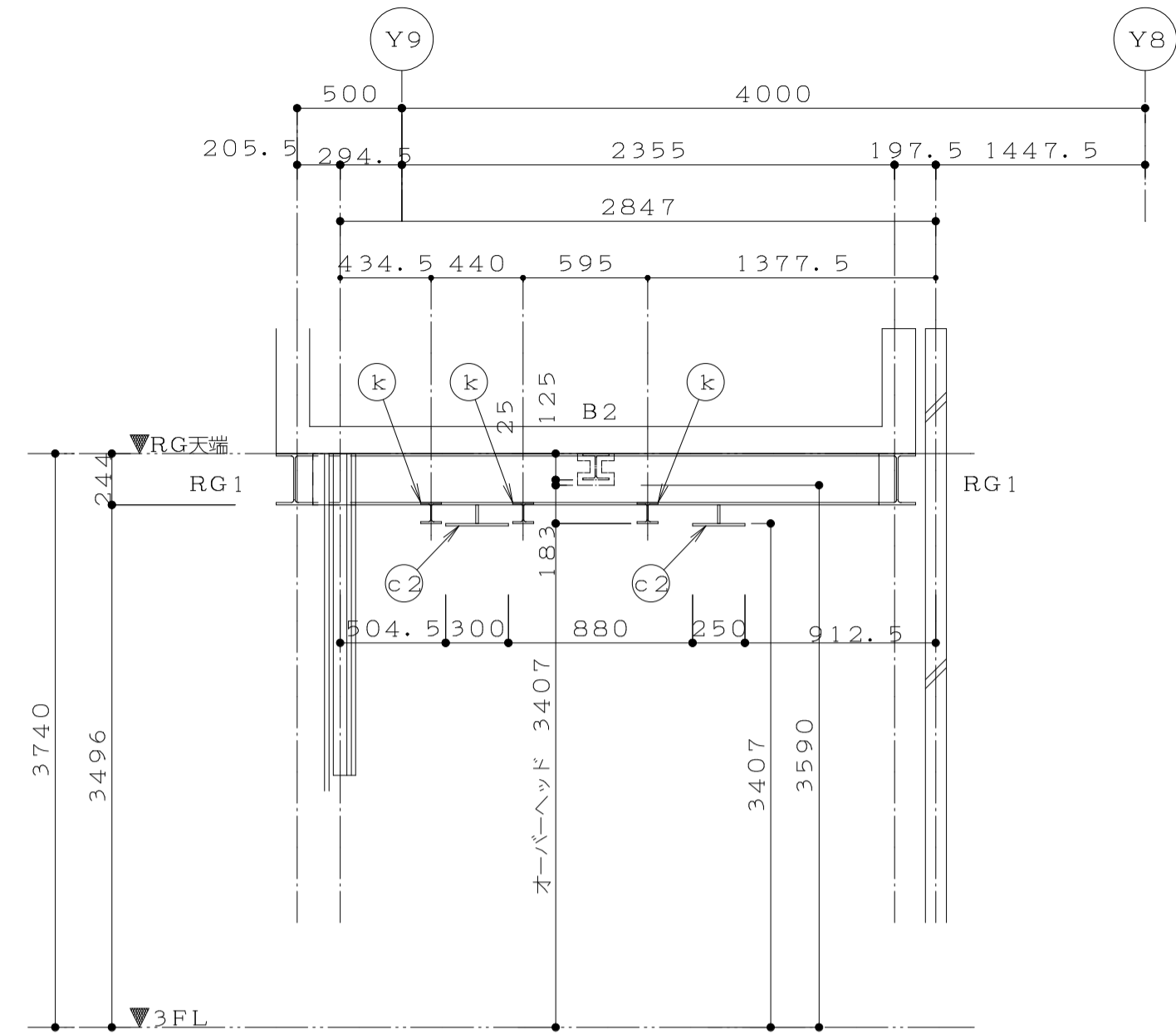
工事名称	津市立南立誠小学校長寿命化改修工事
図面名称	エレベーター詳細図④

E-V-04
原図: A2



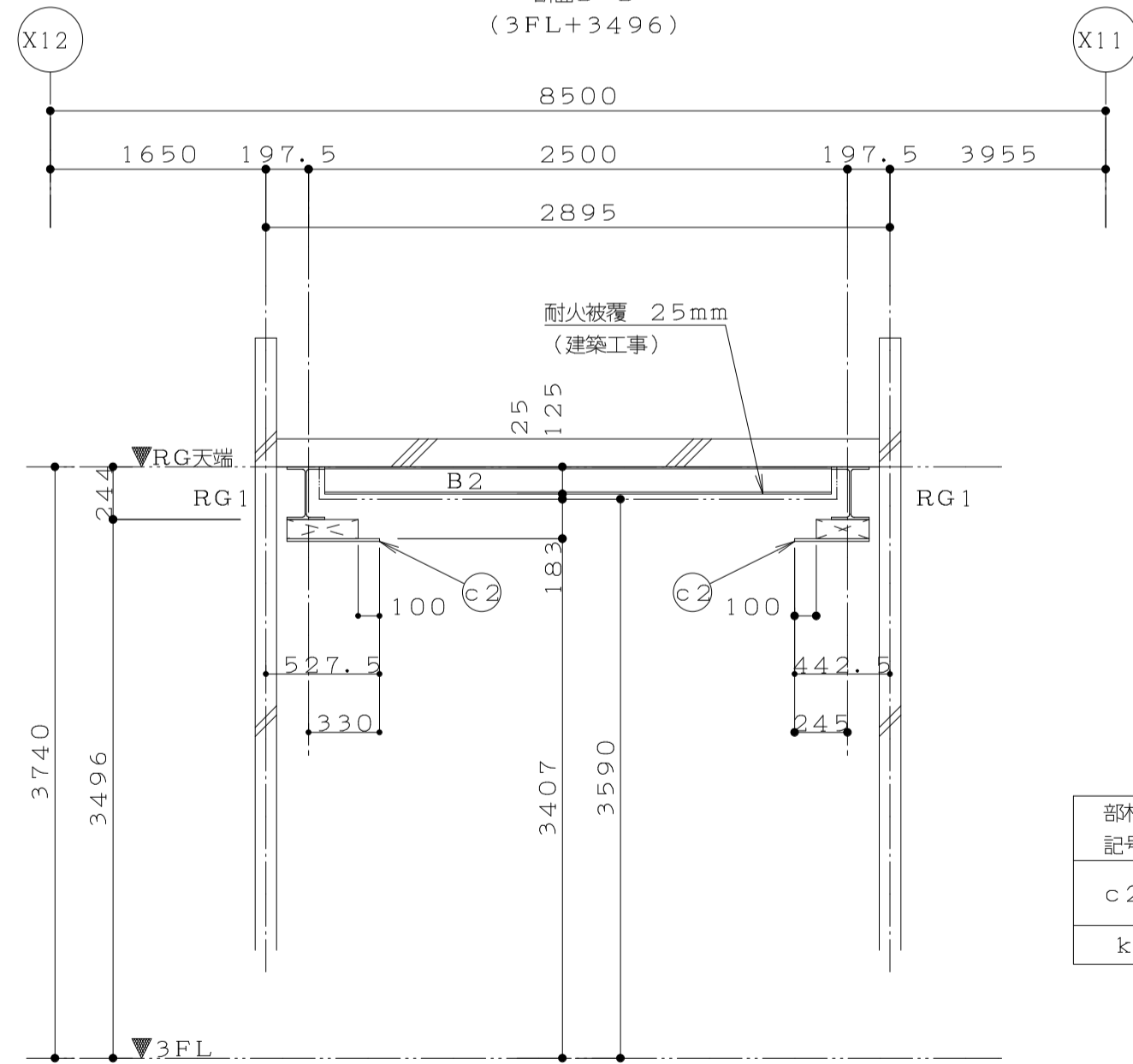
昇降路頂部断面図 (1/30)

断面B-B
(3FL+3496)



昇降路頂部断面図 (1/30)

断面C-C



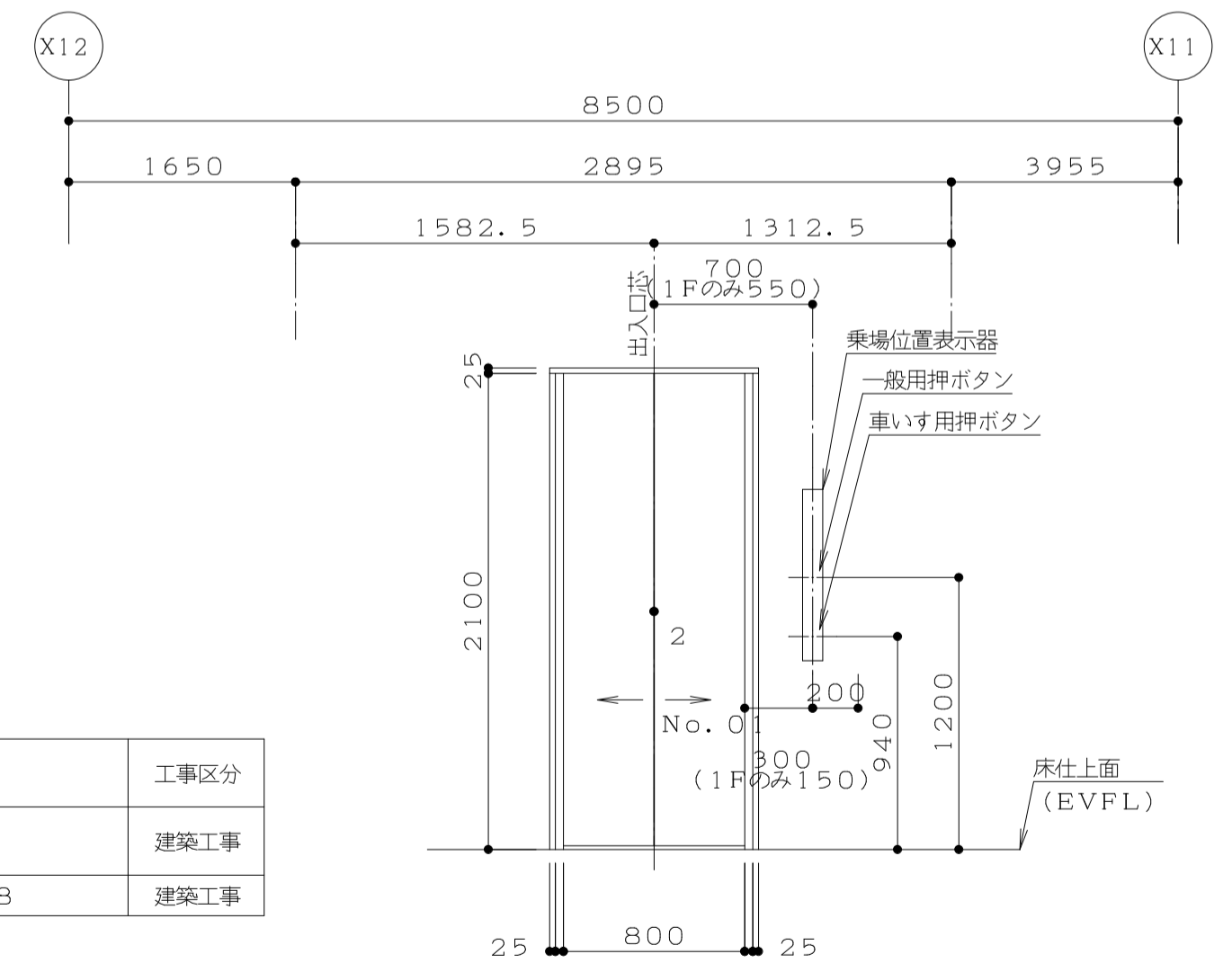
昇降路頂部断面図 (1/30)

断面A-A
(3FL+3400)

注) 昇降路頂部左右ファスナーは水平同一レベルで施工願います

RG1 : H-244×175
B2 : H-125×125

部材記号	名称	部材	工事区分
c2	レールブラケット取付用ファスナー (かさ下げ材・リップ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム	H-100×100×6×8	建築工事



乗場正面図 (1/30)

(No. 01号機)
(1-3階)

- 煙感知器（電気工事）
- ・外部より点検可能な構造として下さい
 - ・雨水浸入が無い様配慮下さい
 - ・点検口は錠付または工具を必要とするネジ付として下さい
 - ・EV連動スイッチ付（EV工事）
 - ・点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮下さい（300以内、鋼板1.6t）

昇降路内の温度は40℃以下とする

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方棒取付鋼材	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100×7	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー（リブ付）	PL-t12	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー（かさ下げ材・リブ付）	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム	H-100×100×6×8	建築工事

煙感知器施工例

煙感知器（電気工事）

- ・外部より点検可能な構造として下さい。
- ・雨水浸入が無い様配慮下さい。
- ・EV連動スイッチ付（EV工事）
- ・点検口は右記①または②として下さい。

①EV昇降路専用品（スイッチ取付台付き）（1）～（4）のいずれか

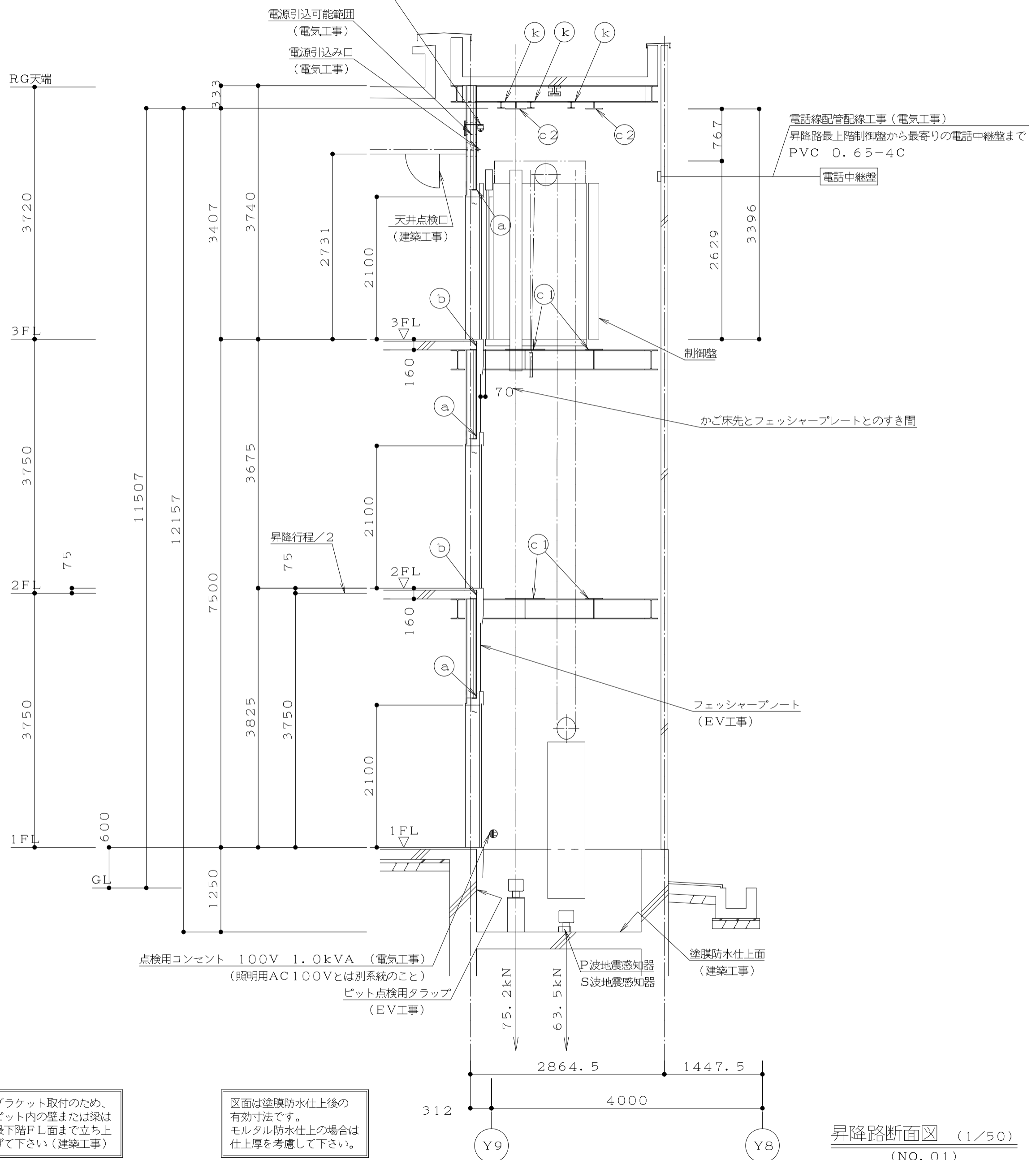
- （1）ホーチキ KUS-1C
- （2）能美防災 FXSJ001A-HU
- （3）ニッタン NID-T-G
- （4）パナソニック BV95351（BOX）+BV95381H（扉）

②以下2項目を満足する点検口 へ下図「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照

- （1）スイッチ取付スペース 200×90程度確保できる。
- （2）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かさないこと。

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階F.L面まで立ち上げて下さい（建築工事）

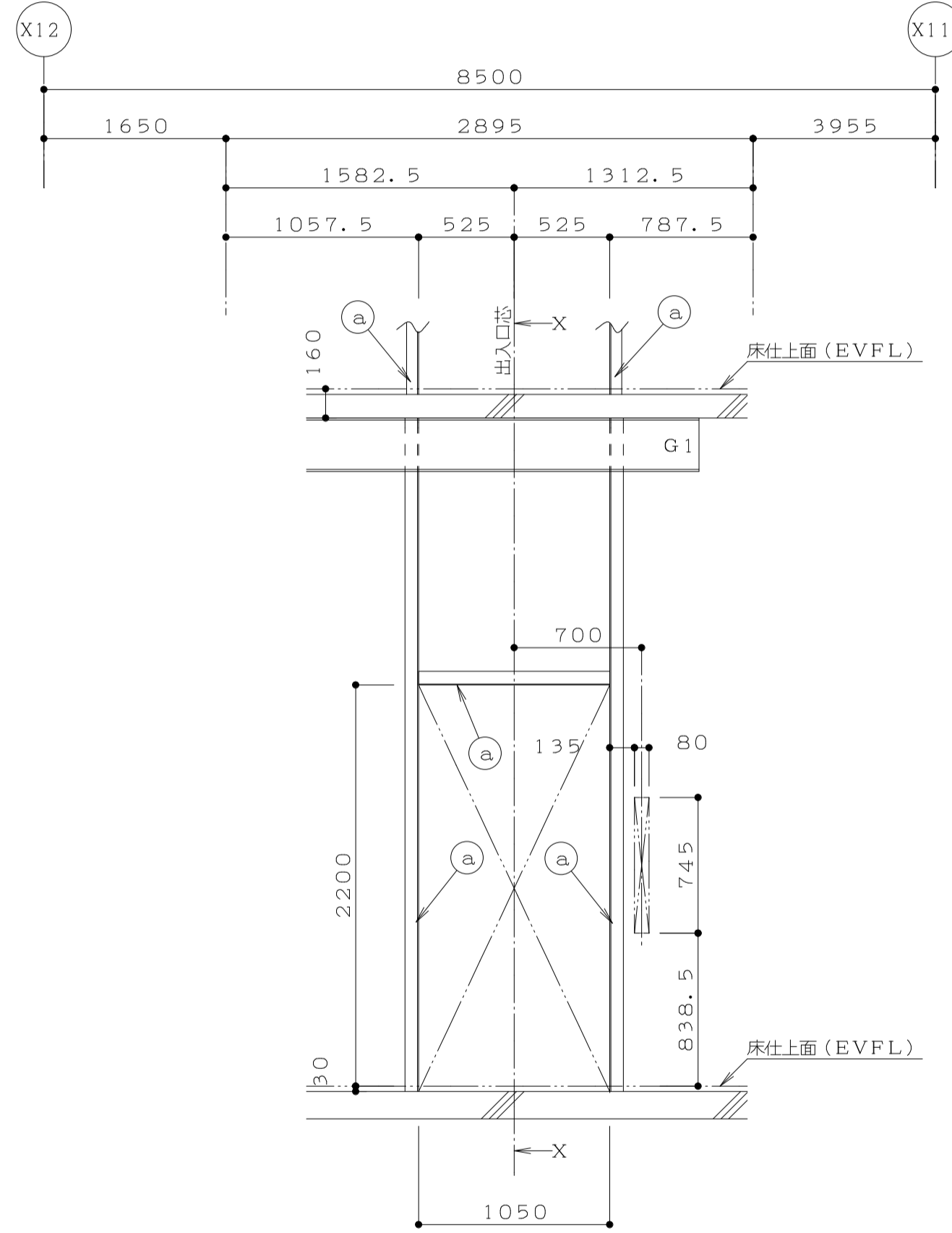
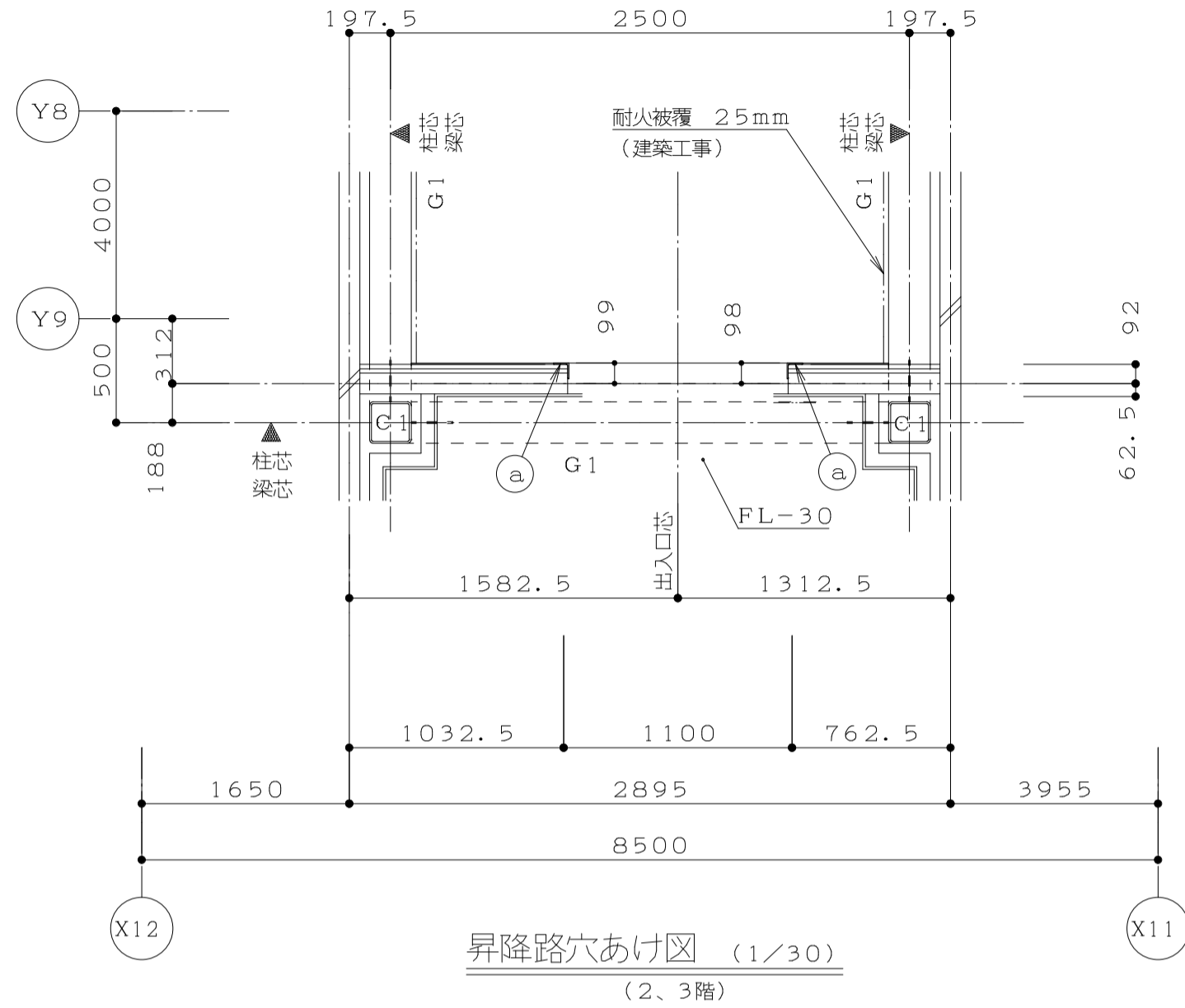
図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合仕上厚を考慮して下さい。



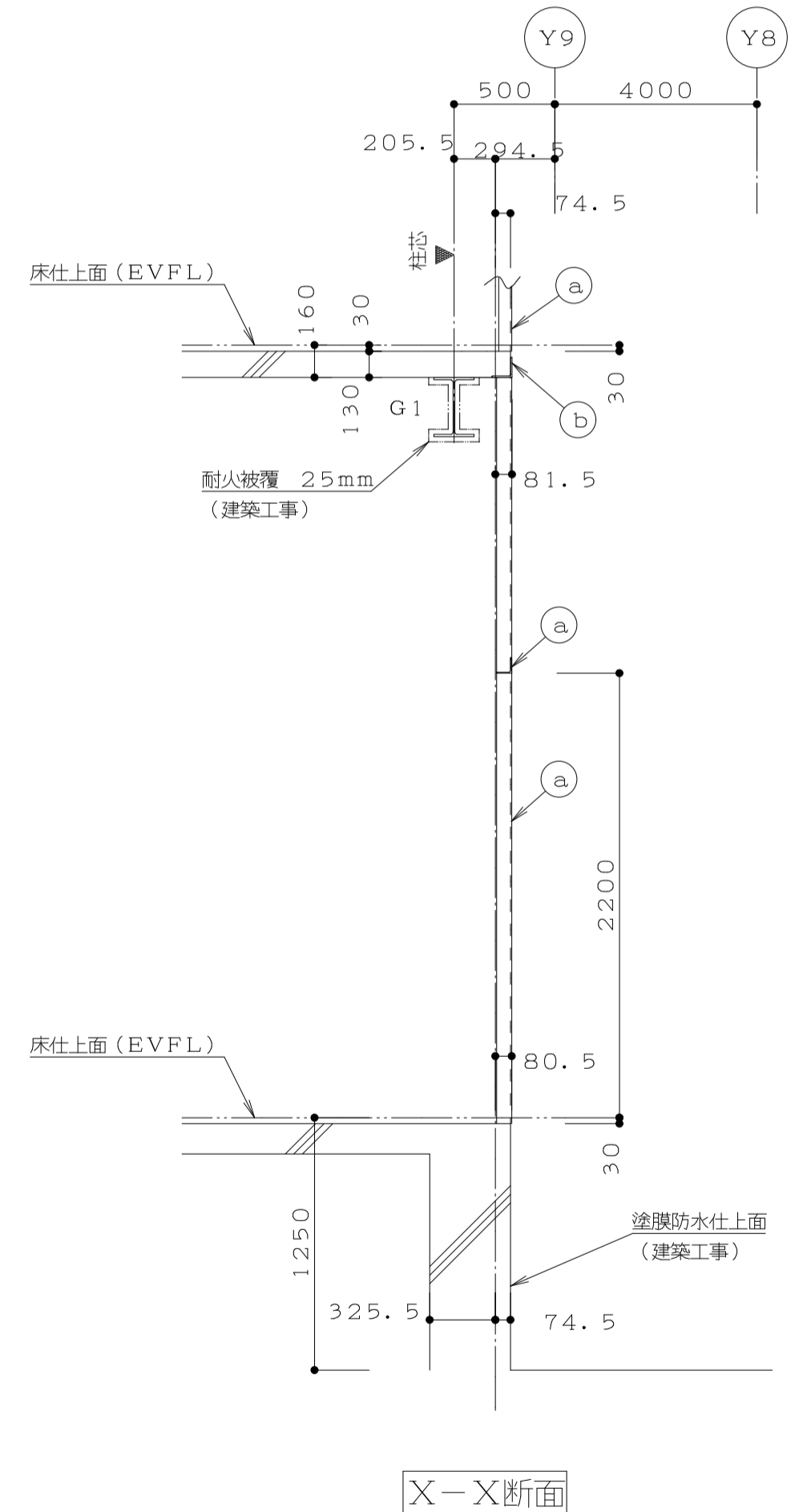
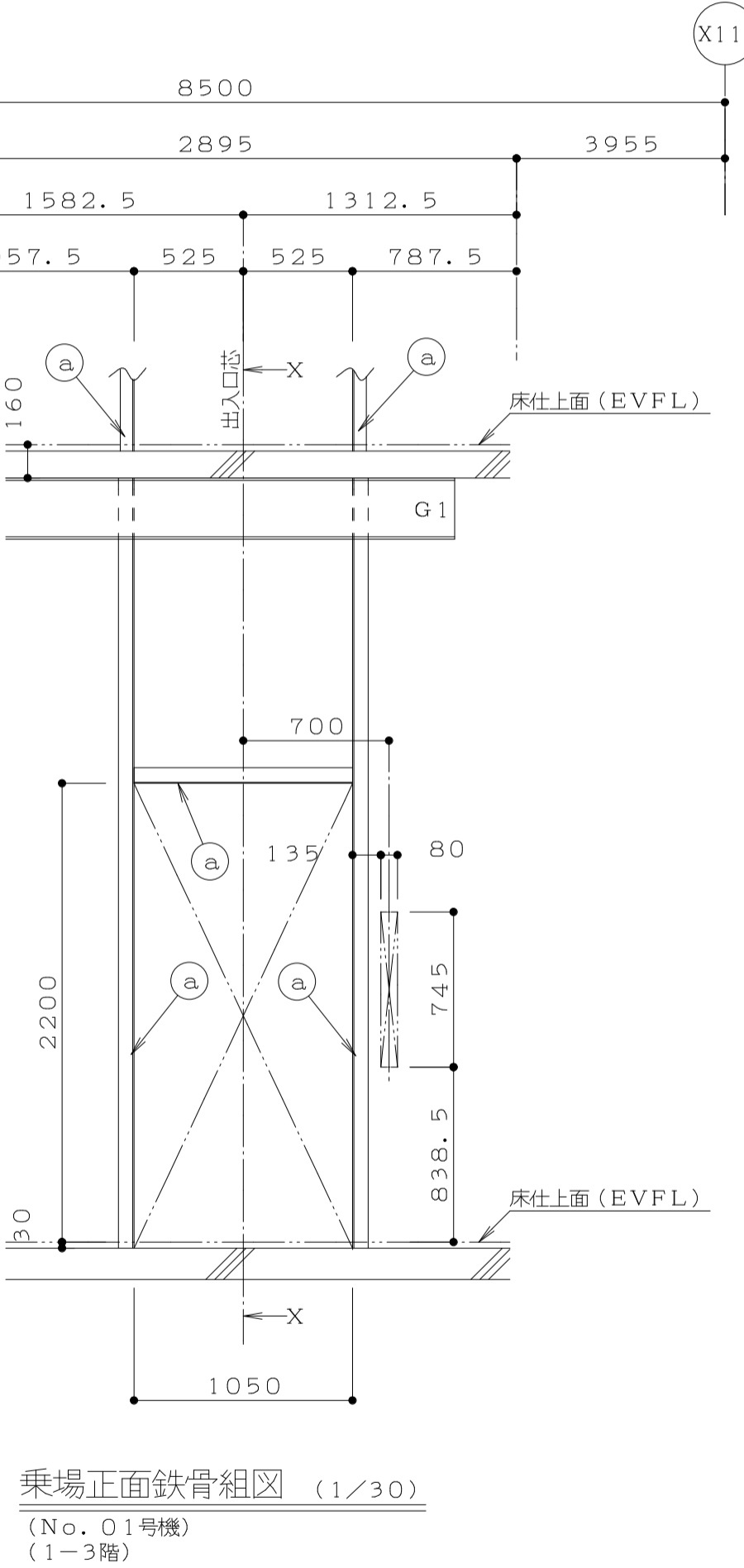
昇降路断面図 (1/50)
(NO. 01)

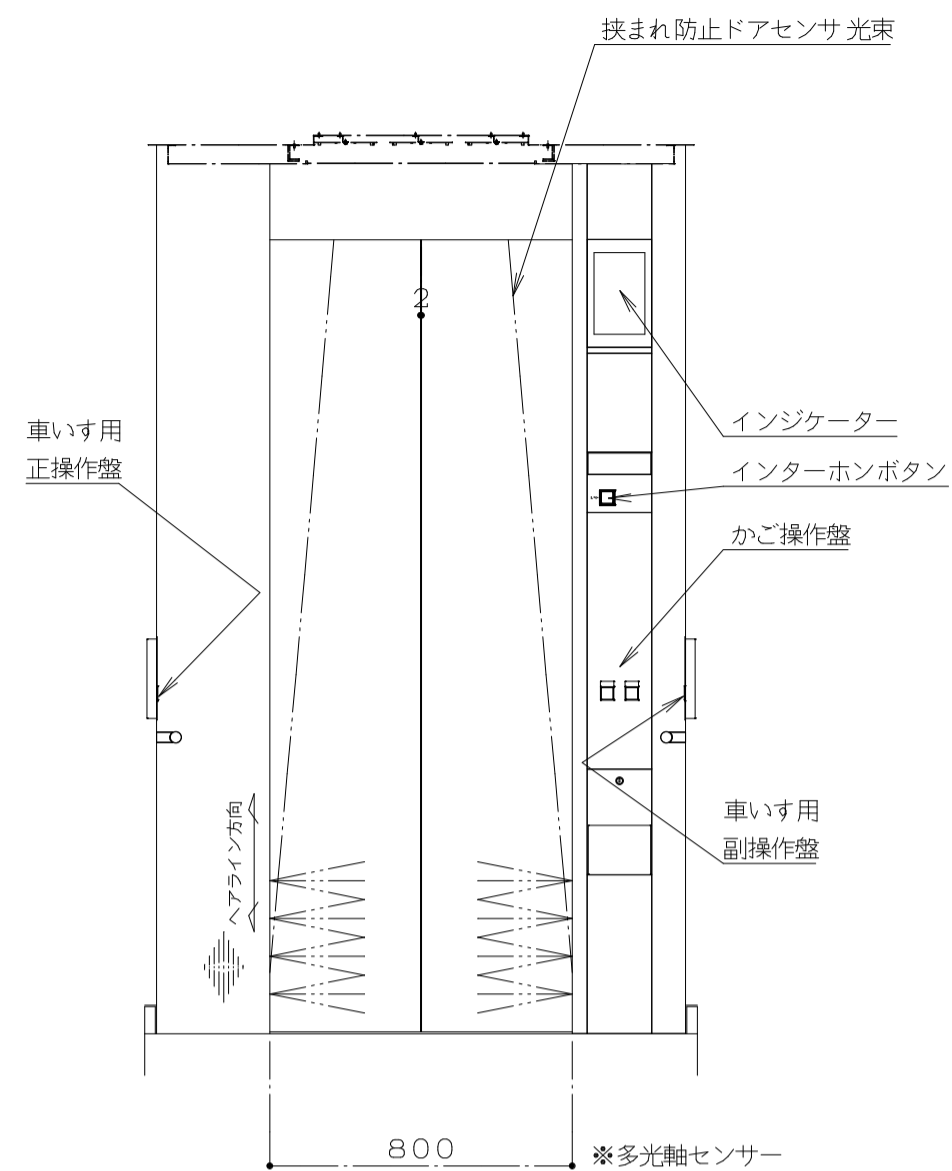
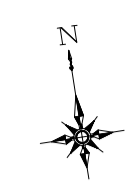
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100×7	建築工事

C2: □-200×200
G1: H-294×200

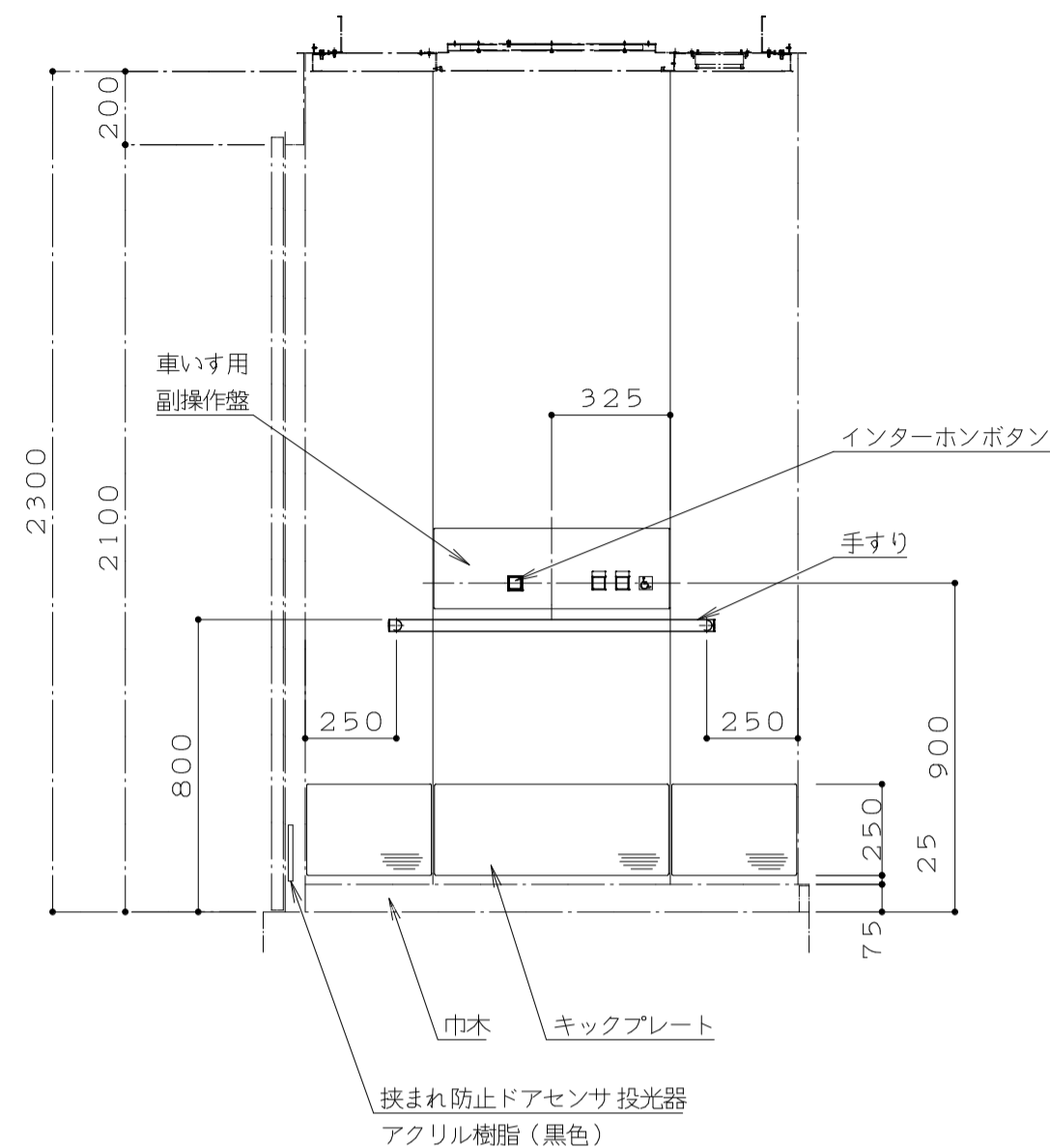


EVFL-70 (建築工事)

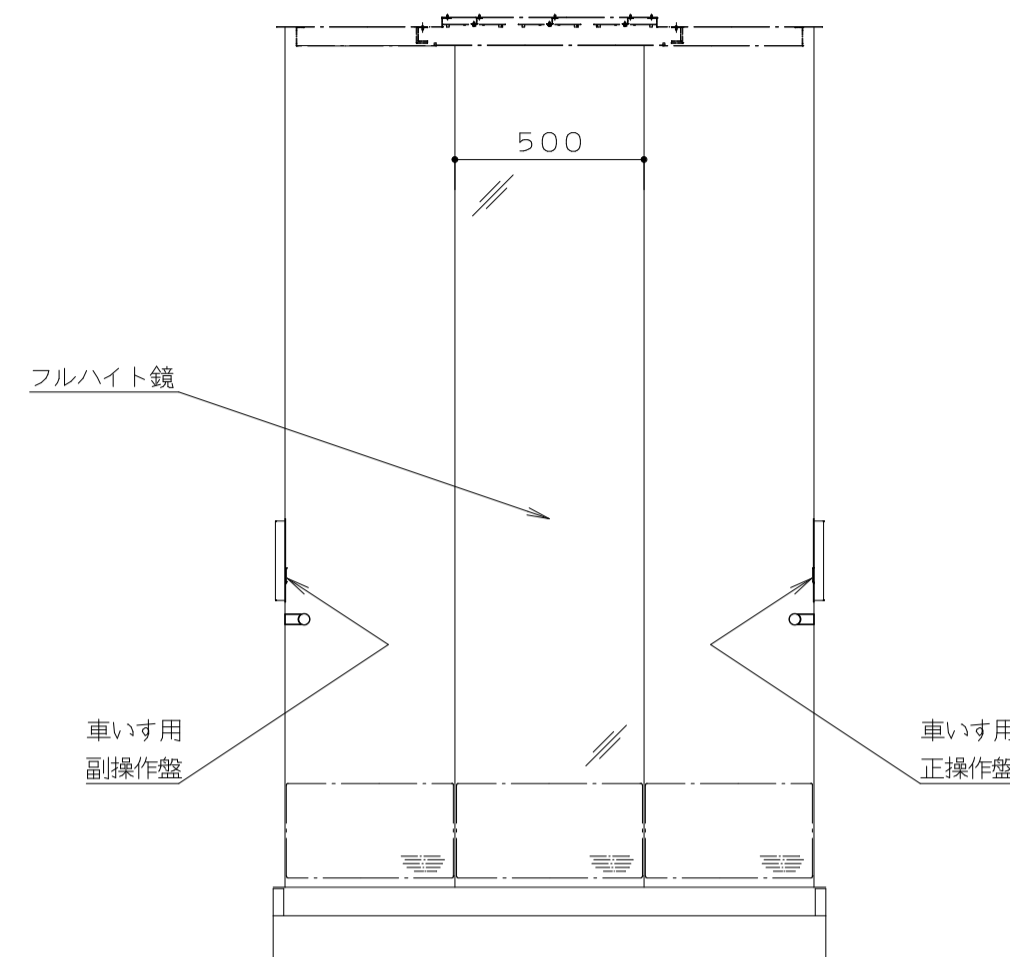




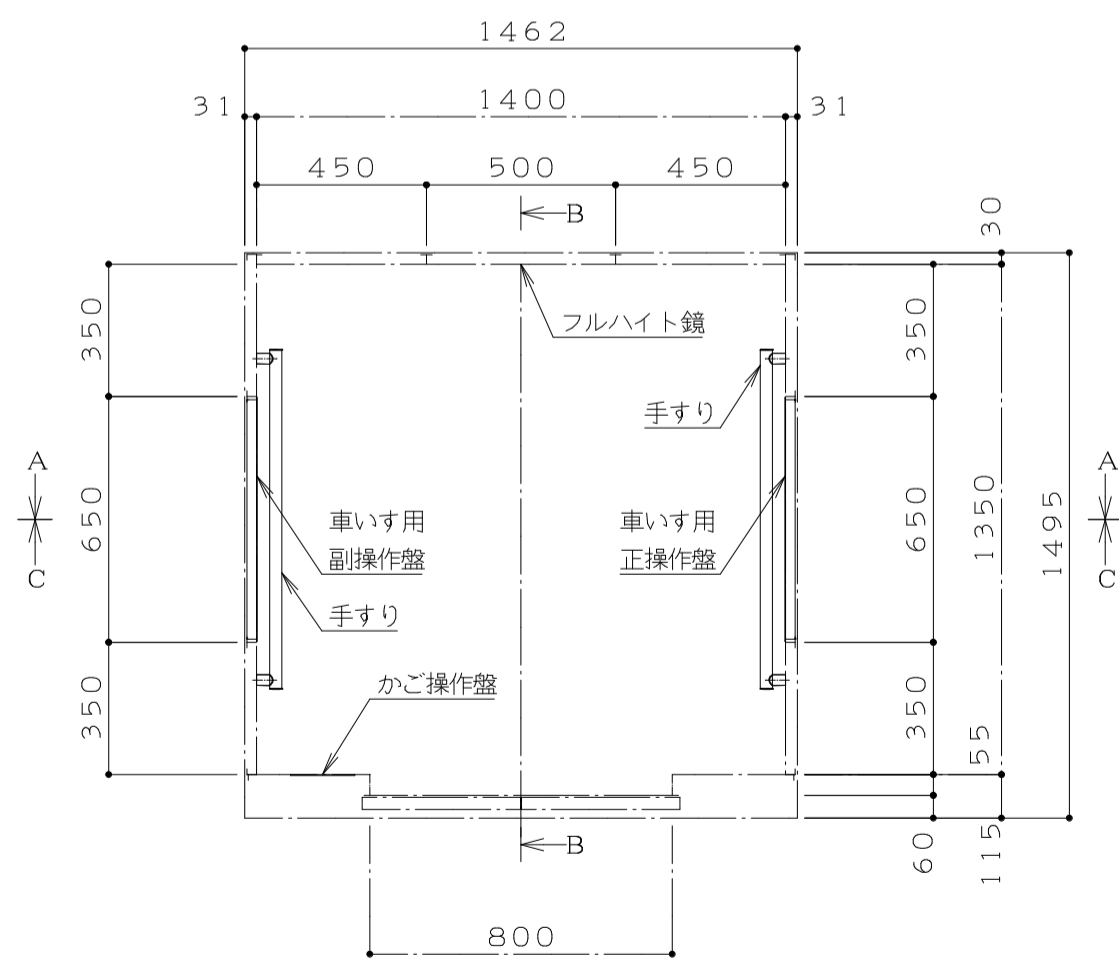
かご室正面図 (矢視A-A)



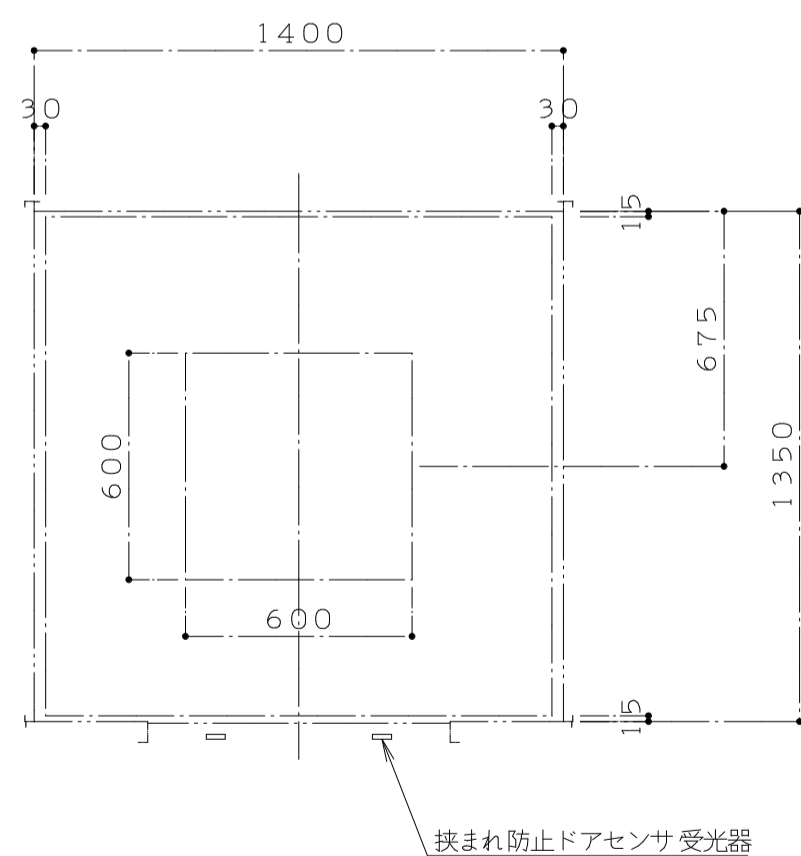
かご室側面図 (矢視B-B)



かご室背面図 (矢視C-C)



かご室平面図



天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	DC軸流ファン
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル 2mm (メーカー標準タイル)
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t1.5
手すり	ステンレスヘアライン仕上 (φ32) キャップ: 樹脂 (パールメッキ) ブラケット: アルミ ブラケットカバー: 樹脂 (パールメッキ)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上: ピス無
保護幕	磁石式 (保護幕高さ標準: 床面より上端まで1895mm)
床マット	あり